

第6回鷺沼駅周辺再編整備公共機能検討会議

兼 第18回政策・調整会議

日時:平成31年3月26日(火)9:45から

(定例局長会議及び

かわさきパラムーブメント推進本部会議終了後)

場所:第3庁舎7階災害対策本部室

1 鷺沼駅周辺再編整備に伴う公共機能に関する基本方針について

2 その他

(配布資料)

座席表

第17回政策・調整会議付議事案調書(報告事項)

資料1 鷺沼駅周辺再編整備に伴う公共機能に関する基本方針(案)に対する意見募集の結果について

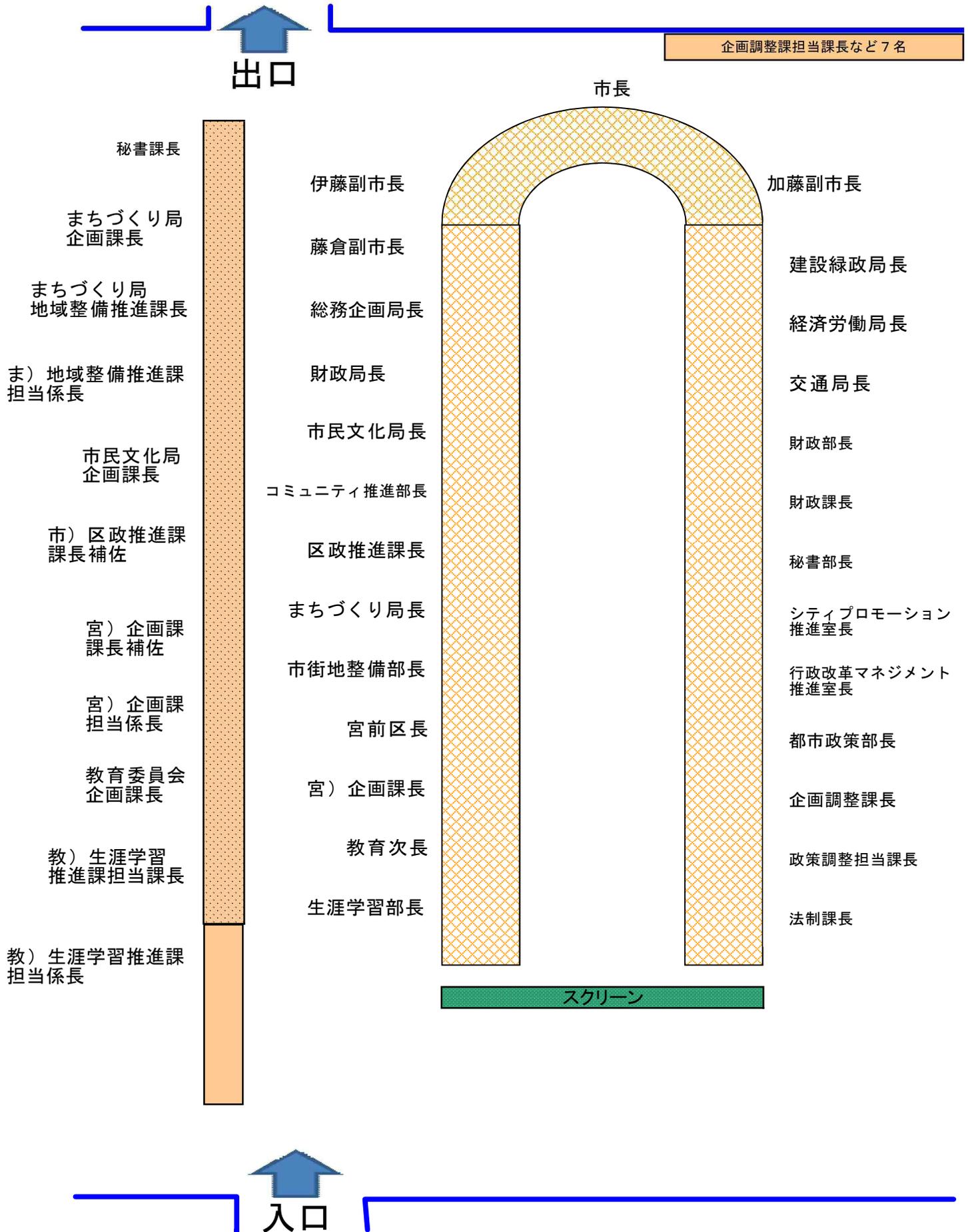
資料2 鷺沼駅周辺再編整備に伴う公共機能に関する基本方針概要版

資料3 鷺沼駅周辺再編整備に伴う公共機能に関する基本方針

第6回鷺沼駅周辺再編整備公共機能検討会議 兼 第18回政策・調整会議 座席表

(第3庁舎7階災害対策本部室)

平成31年3月26日(火)9:45~



平成30（2018）年度 第18回政策・調整会議付議事案調書（報告事項）

平成31年3月26日

件 名	鷺沼駅周辺再編整備に伴う公共機能に関する基本方針について	市民文化局、まちづくり局 教育委員会、宮前区役所
事 案 の 背 景 等		
<p>＜事案の背景、経緯＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 昭57年7月：宮前区役所庁舎供用開始 ・ 昭60年7月：宮前市民館・図書館開館 ・ 平成27年6月：東京急行電鉄株式会社と「東急沿線まちづくり」に関する包括連携協定を締結 ・ 平成29年3月：都市再開発方針において、鷺沼・宮前平駅周辺区域を「2号地区」として位置付け ・ 平成29年8月：権利者（民間事業者）5名が再開発準備組合（以下「準備組合」）を設立 ・ 平成29年9月：市全町内会連合会から、区役所等の一部機能の移転を求める要望書の提出 ・ 平成29年11月：再開発推進協議会から、区役所・市民館・図書館の移転を求める要望書の提出 ・ 平成30年2月：「鷺沼駅周辺再編整備に伴う公共機能の検討に関する考え方について」を公表 ・ 平成30年2月～：関係団体説明・ヒアリング、意見交換会、フォーラム、区民アンケート等を実施 ・ 平成31年2月：基本方針（案）について文教委員会、まちづくり委員会に報告 ・ 平成31年2月5日～3月6日：基本方針（案）についての意見募集を実施 <p>＜計画上の位置付け＞</p> <p>①法令上の位置付け　：無</p> <p>②計画上の位置付け　：川崎市総合計画「4-5-2 個性を活かした地域生活拠点等の整備」 「5-1-3 共に支え合う地域づくりに向けた区役所機能の強化」 「2-3-2 自ら学び、活動するための支援」</p>		
報 告 内 容		
<p>＜報告内容＞</p> <p>1　パブリックコメント手続等の実施結果 意見募集期間　：平成31年2月5日（火）～平成31年3月6日（水）（30日間） 意見提出数　　：概ね2,270人から17,829通（23,714件） その他、市民説明会（2月9日（土）、10日（日）開催）における意見・質問99件</p> <p>2　主な意見 民間事業者による再開発事業と公共機能の移転の関係性に関する意見、若者に選ばれるまちを目指すべきという意見、移転する理由に関する意見、市民館・図書館の分館の新設を求める意見、バスネットワークの充実を求める意見等。</p> <p>3　本市の対応 一部意見を反映し、記載の修正を加えるとともに、必要な時点更新等を行った上で、「鷺沼駅周辺再編整備に伴う公共機能に関する基本方針」を策定する。</p>		

市民との情報共有・参加・協働の状況、関係する局・区との調整状況及び議会対応等の予定

〈市民との情報共有・参加・協働の状況〉

- ・関係団体等説明・ヒアリング（約60団体）、まちづくりフォーラム（第1回、中間報告、第2回）、意見交換会（全4回）、無作為抽出による区民意識アンケート、意見箱（区役所窓口等7か所、インターネット）、区長と語ろう会（宮前区内8中学校の生徒、県立川崎北高等学校の生徒）等を実施
- ・パブリックコメントの実施と並行して市民説明会を実施
 - ・平成31年2月9日（土）有馬・野川生涯学習支援施設「アリーノ」
 - ・平成31年2月10日（日）向丘出張所及び宮前区役所

〈関係する局・区との調整状況と情報提供・公表の予定〉

副市長及び関係局（総務企画局・財政局・市民文化局・経済労働局・まちづくり局・建設緑政局・宮前区役所・交通局・教育委員会事務局）の局長級で構成される鷺沼駅周辺再編整備公共機能検討会議や、課長級会議などの場において協議・調整を実施

〈他都市の状況〉

市街地再開発事業に伴う公共施設の移転整備の状況

横浜市：平成25年 戸塚区役所及び戸塚区民文化センター
さいたま市：平成19年 さいたま市立中央図書館（複合施設内）
豊島区：平成27年 豊島区役所（複合施設内）

〈議会対応の予定〉

- ①所属委員会：文教委員会、まちづくり委員会
- ②委員会報告予定：平成31年5月下旬～6月上旬に所管事務報告（予定）
- ③その他の対応予定：3月28日（木）に全議員に資料配布

〈報道機関等への対応及び今後の広報予定〉

3月28日（木）に報道機関に情報提供

〈市民説明会、地元説明の実施予定〉

- ・今後、具体的な取組を進めていく中で説明（予定）

〈パブリックコメントの実施予定〉

なし

〈今後の政策・調整会議への付議予定〉

なし

〈今後の主なスケジュール〉

- ・平成31年度 環境影響評価（環境アセスメント）手続、都市計画手続の実施
- ・平成31年度 図書館・市民館に関する市民意見聴取（ワークショップ）の実施

添 付 資 料

資料1 鷺沼駅周辺再編整備に伴う公共機能に関する基本方針（案）に対する意見募集の結果について

資料2 鷺沼駅周辺再編整備に伴う公共機能に関する基本方針の概要

資料3 鷺沼駅周辺再編整備に伴う公共機能に関する基本方針

鷺沼駅周辺再編整備に伴う公共機能に関する基本方針（案）に対する 意見募集の結果について

1 概要

鷺沼・宮前平駅周辺地区は、本市総合計画において、「地域生活拠点」の一つとして位置付けられており、現在、民間事業者による再開発事業が計画されています。

本市では、再開発による鷺沼駅前バスターミナルの拡充などの効果を活用し、宮前区全体の将来を見据えた取組を推進するため、多角的な区民意見の把握に取り組み、「鷺沼駅前に望まれる公共機能は何か」ということを検討してきました。

この度、これまでに寄せられた区民意見や基礎調査の結果などを総合的に整理・検討し、市としての考えを準備組合が進める再開発計画に反映させるため、「鷺沼駅周辺再編整備に伴う公共機能に関する基本方針（案）」を取りまとめ、パブリックコメント手続及び市民説明会を実施し、市民の皆様からの御意見を募集しました。

その結果、パブリックコメント手続では概ね 2,270 人（市外、県外含む）の方から 17,829 通 23,714 件の御意見・質問を、市民説明会では 39 人の方から 99 件の御意見・質問をいただきましたので、御意見等の内容とそれに対する市の考え方を次のとおり公表します。

2 意見募集の概要

(1) パブリックコメント手続

意見の募集期間	平成 31(2019)年 2 月 5 日(火) ～ 3 月 6 日(水) (30 日間)
意見の提出方法	郵送、持参、FAX、電子メール
募集の周知方法	<ul style="list-style-type: none"> ・本市ホームページ ・市政だより宮前区版(2月1日号)、全市版(2月21日号)、宮前区版特別号(2月発行) ・各区役所、支所・出張所の閲覧コーナー、各市民館・図書館(分館含む)、かわさき情報プラザ、鷺沼行政サービスコーナー、市民文化局区政推進課で資料の閲覧 ・市民説明会の開催(計3回)
結果の公表方法	<ul style="list-style-type: none"> ・本市ホームページ ・各区役所、支所・出張所の閲覧コーナー、各市民館・図書館(分館含む)、かわさき情報プラザ、鷺沼行政サービスコーナー、市民文化局区政推進課で資料の閲覧

(2) 市民説明会

募集の周知方法	<ul style="list-style-type: none"> ・本市ホームページ ・市政だより宮前区版(1月1日号)、宮前区版特別号(2月発行) ・宮前区役所、向丘出張所、宮前市民館(分館含む)、図書館、かわさき情報プラザ、市民文化局区政推進課でチラシ配布 	
会場、日時、 参加人数	有馬・野川生涯学習支援施設(アリーナ)： 平成 31(2019)年 2 月 9 日(土)13:30～15:30	120 人
	向丘出張所：平成 31(2019)年 2 月 10 日(日)10:00～12:00	70 人
	宮前区役所：平成 31(2019)年 2 月 10 日(日)15:00～17:00	250 人

3 結果の概要

(1) パブリックコメント手続

意見提出数（意見件数）		17,829 通（23,714 件）
内訳	郵送	26 通（ 76 件）
	持参	17,543 通（23,167 件）
	F A X	72 通（ 116 件）
	電子メール	188 通（ 355 件）

※ 意見提出者数は概ね 2,270 人（市外、県外含む）。未記名や氏名判読不能な意見書があるため概数とした。

(2) 市民説明会

意見・質問者数（意見件数） (3 会場合計)	39 人（99 件）
---------------------------	------------

4 御意見の内容と対応

パブリックコメント手続では、民間事業者による再開発事業と公共機能の移転の関係性、若者に選ばれるまち、現区役所等へのシャトルバス、鷺沼駅周辺の渋滞対策、区役所の位置などについての御意見、御質問が寄せられました。

市民説明会では、移転する理由、再開発事業の全体像、区民への周知、市民館・図書館の分館の新設、バスネットワークの充実、市としての推進体制などについての御意見、御質問をいただきました。

本市では、これらの御意見を踏まえ、公共機能の方向性に関する基本的な考え方の中に、駅周辺の交通環境の改善や、若い世代に選ばれ、多世代が集まる拠点としていくことについて追加、今後の取組の中に、庁内の検討・推進体制について追加するなど、一部の御意見を反映し、「鷺沼駅周辺再編整備に伴う公共機能に関する基本方針」を策定します。

なお、今回実施したパブリックコメント手続では、基本方針（案）に対する反対、疑問、懸念等の御意見を多数いただきました。御意見に対する本市の考え方は 4 ページ以降にお示ししたとおりであり、基本方針の策定にあたり、（案）で示した方向性を大きく変えてはおりませんが、御意見の中には、情報の浸透不足による質問等も複数見受けられることから、引き続き、今後の取組の中で、継続的な説明、意見交換に取り組んでまいります（特に多数寄せられた意見に対する本市の考え方については、別紙に改めて整理しました。）。

【パブリックコメント手続における御意見に対する市の考え方の区分】

- A 御意見を踏まえ、「案」に反映したもの
- B 御意見の趣旨が「案」に沿ったものであり、御意見を踏まえて取組を推進するもの
- C 今後の取組を進めていく上で参考とするもの
- D 「案」に対する質問・要望の御意見であり、「案」の内容を説明・確認するもの
- E その他

【パブリックコメント手続における御意見の件数と対応区分】

項 目	A	B	C	D	E	計
(1) 経過、現状・課題に関すること (第1章、第2章)	2			915		917
(2) 市民意見の把握に関すること (第3章)				784	198	982
(3) 立地特性の比較、施設設置パターンの検討・比較に関すること (第4章)		1	1	5,107		5,109
(4) 公共機能の方向性・考え方、導入機能・規模の方向性に関すること (第5章)	3	62	479	8,117		8,661
(5) 駅アクセス向上の方向性に関すること (第5章)	5	19	22	1,350		1,396
(6) 現区役所等施設・用地、向丘出張所の機能のあり方の検討に関すること (第5章)			1,478	416		1,894
(7) 今後の取組に関すること (第6章)	2	16	13	1,956	1	1,988
(8) その他基本方針全般に関すること		1	4	2,584	178	2,767
合 計	12	99	1,997	21,229	377	23,714

※ 1 通の意見書の中に複数の御意見が含まれていた場合は、項目に合わせて分割・整理するとともに、長文の御意見は必要に応じて要約しています。

索引

■パブリックコメント手続における御意見の要旨と本市の考え方

(1) 経過、現状・課題に関する事(第1章、第2章)	5
(2) 市民意見の把握に関する事(第3章)	10
(3) 立地特性の比較、施設設置パターンの検討・比較に関する事(第4章)	21
(4) 公共機能の方向性・考え方、導入機能・規模の方向性に関する事(第5章) ...	43
(5) 駅アクセス向上の方向性に関する事(第5章)	79
(6) 現区役所等施設・用地、向丘出張所の機能のあり方の検討に関する事(第5章)	98
(7) 今後の取組に関する事(第6章)	111
(8) その他基本方針全般に関する事	128

■市民説明会における意見・質問

153

■「鷺沼駅周辺再編整備に伴う公共機能に関する基本方針」新旧対照表

169

パブリックコメント手続における御意見の要旨と本市の考え方

(1) 経過、現状・課題に関すること（第1章、第2章）（917件）

No.	意見・質問要旨	本市の考え方	区分
1	<p>今回の取組の目的は、公共機能を鷺沼駅周辺に移転する事ではなく、「若者、高齢者の住みやすい宮前区を将来にわたり持続可能な街にする」こと、宮前区を将来豊かな街にすることにあると考える。</p> <p>少子高齢化が進む中で、如何に若者が住みたい街にするかが喫緊の課題。現区役所は地理的中心でも区民が集う中心としての機能が希薄。駅から遠く坂の上であり高齢者、子ども連れのお母さん方が行きにくい。駅に近く、駐車スペースが確保でき、人々が気安く集える場所が望まれる。行政による区役所機能充実の計画と民間事業者との計画が合致し、民間・行政の調整が出来て本移転計画となったと解すべきだ。</p> <p>これまでの各会合で議論されていた、より住みよい宮前区への方向性のある内容を具体的事業計画の中に反映して頂きたい。若者の流入、高齢者の安心の暮らし、多くの社会活動が活発となるなど。区役所機能は従来型の行政サービスから福祉事業、子育て支援事業等々へと軸足を早急に動かす必要がある。IT化の充実、AIの活用等の機能の変化に対応した箱も大切。バリアフリーの言葉もなかった40年前の建物は改修しても、使えない箱に改変するだけだ。</p>	<p>御指摘のとおり、基本方針策定の目的は公共機能を移転することではなく、その先にある「より良い宮前区のミライ」を築いていくことにあると考えています。意見交換会（ワークショップ）においても、「子育てしたくなるまち 若い人が集まる 人を集める」というキャッチフレーズが提案されています。</p> <p>基本方針（案）においては、「基本的な考え方」の中で、「多世代が訪れ、多様なコミュニティを創出する新たな文化・交流拠点を形成」していくことなどを記載していますが、「若い人」に働きかける観点を加え、「第5章1(2)」に必要な内容を追記しました。</p> <p>また、こうしたコンセプトの実現のためには、公共機能の枠を越えた取組も重要となってくることから、目指すまちづくりの方向性に向けた民間事業者と連携した取組について、「第5章4」に必要な内容を追記しました。</p>	A
2	<p>基本方針（案）の第1章の1.にある基本方針の目的について、基本方針の目的とは。方針は方針であって目的ではない。目的は方針でもない。あえて言えば目的を達成するための方針である。</p>	<p>この項目は、「基本方針を策定することで目指すこと＝より良い宮前区のミライに繋げていく」ということを整理するために設定しました。項目の見出しを「基本方針策定の目的」に修正しました。</p>	A
3	<p>鷺沼駅再開発に乗じた移転とされていて、川崎市、宮前区が主導して街づくりをしている感がない。 (同趣旨他1件)</p>	<p>鷺沼・宮前平駅周辺地区は、本市総合計画において、おおむね行政区の単位である地域生活ゾーンの核である「地域生活拠点」として位置づけられており、鷺沼駅周辺を中心に、多様なライフスタイルに対応できるよう、「民間活力を活かした駅前広場の再整備等による、商業、都市型住宅、文化・交流などの都市機能の集積及び交通結節機能の強化に向けた取組を推進」することとしています。</p>	D
4	<p>“利便性”“建物の劣化”などが移転の大きな理由なら、開発業者主導の開発計画に飛び乗るのでなく、目的を十分に達せられる市(区)自身主導の計画を立案し、住民に提示し、合意を取得すべし。現在案は市(区)側の要望・要請がどの程度反映されているか説明会では明確でなかった。現在案では開発業者側に、市(区)側よりも、大きなメリットと思われる。</p>	<p>今回の民間事業者による再開発は、この総合計画上に位置付けられた取組として、交通結節機能としての駅周辺交通環境の改善などによる路線バスネットワークの充実など、宮前区全体の利便性向上に寄与する効果が期待されます。</p>	D
5	<p>民間の再開発に便乗して、区役所・市民館・図書館3施設を丸ごと、しかも土地付建物だったものを、開発業者が建て、管理する超高層ビル（住居と混在の複合ビル）に移転しようというのである。市当局自らフォーラムの席で「この開発計画がなかったら、移転は考えなかつ</p>	<p>本市としては、再開発によって交通利便性が高まり、都市としての機能が向上する鷺沼駅前に、公共機能を一体的に移転する可能性も含めて検討する機会であると捉え、取組を進めてきたところです。</p>	D

(1) 経過、現状・課題に関すること

No.	意見・質問要旨	本市の考え方	区分
	た」と明言してる。一体、誰のための、何のための 3 施設移転なのか、全く区民への説明のないまま、決定しようというのは暴挙である。		
6	鷺沼駅周辺を再開発しようという東急の計画は民間企業が行うもので、それに異論はない。その上に作るマンションは民間企業の発想であるが、そこにどうして区役所を入れなければならないのか。	鷺沼・宮前平駅周辺地区は、本市総合計画において、おおむね行政区の単位である地域生活ゾーンの核である「地域生活拠点」として位置づけられており、鷺沼駅周辺を中心に、多様なライフスタイルに対応できるよう、「民間活力を活かした駅前広場の再整備等による、商業、都市型住宅、文化・交流などの都市機能の集積及び交通結節機能の強化に向けた取組を推進」することとしています。	D
7	建築後 30 年を経過しているが、建て替えの緊急性はない、とされている。 元々鷺沼地区の振興・再開発を望むグループからの要望でプロジェクトがスタートしたというが、再開発地区はほとんど東急関連の地所であり、特定利害関係者によるプロジェクトの色合いが濃い。なぜ区が参加するのか？ 宮前区の特定の地区の振興に区が税金を投入して協力するのは不可解。 鷺沼を宮前区の核にするとのことだが、その必然性はない。それが宮前区の都市計画か。	今回の民間事業者による再開発は、この総合計画上に位置付けられた取組として、交通結節機能としての駅周辺交通環境の改善などによる路線バスネットワークの充実など、宮前区全体の利便性向上に寄与する効果が期待されます。 本市としては、再開発によって交通利便性が高まり、都市としての機能が向上する鷺沼駅前に、公共機能を一体的に移転する可能性も含めて検討する機会であると捉え、取組を進めてきたところです。	D
8	説明会で川崎市側は、民間デベロッパーの開発の関係で早く決めたいと言っていたが、これは市が民間デベロッパーに乗せられているだけだと思う。鷺沼駅周辺の再開発を行うのはよいと思うが、それに乗じて区役所等の公共機関を動かす必要は全くない。逆に、このタイミングで、区役所等の移転の話が出てくるのはあり得ない。川崎市と民間デベロッパーの間で何か陰であったのではないかと疑ってしまう。		D
9	鷺沼駅周辺再編整備は元々東急電鉄が主導で計画されたものである。そこへ鷺沼周辺の町内会、商店会が要望書を川崎市に提出した。区民の多くが要望したわけではなく、鷺沼駅周辺の利便性を優先した地域エゴだ。鷺沼駅は宮前区を中心から大きく外れ、区の 3 施設移転により、かえって不便になる区民が少なくない。 (同趣旨他 171 件)		D
10	鷺沼駅周辺だけがうるおうような、偏った町づくりに見えてしょうがない。宮前区全体が活性化になる方向で考え直してほしい。		D
11	宮前区全体を考えた場合、宮前平駅周辺にと考えてもいいのではないか。		D
12	引っ越し先を決めたのは、区役所、市民館、図書館、警察署等の行政機関が近いことが大きな理由。最終案を聞いて当初の計画と基本的に何ら変わっていないことに唖然とした。過去 3 回のフォーラムやワークショップで出された市民の要望は全て無視されている。 5 法人からなる準備組合を設立し鷺沼再開発を検討とあったが、この組合は東急による利潤	今回の取組では、区役所、市民館、図書館という区民が利用する施設の移転可能性を含めて検討していくため、区民の生活実感としてのニーズや課題の把握を重視し、様々な取組を通して、多角的な意見把握を進めてきました。 いただいた御意見について、反映の有無やその理由を一覧できるように整理していないことから、その状況がわかりにくくなっていますが、基	D

No.	意見・質問要旨	本市の考え方	区分
	<p>追求のための再開発計画に他ならない。行政が市民の意見を無視して、一私企業の言いなりになることは極めて不思議。裏で利権が絡んでいるのではとの疑念を持たざるを得ない。 (同趣旨他 1 件)</p>	<p>本方針（案）では、それぞれの取組でいただいた御意見を踏まえ、公共機能に関する基本的な考え方を取りまとめています。 例えば関係団体等説明・ヒアリングやフォーラム、意見箱等でいただいた御意見のうち、「今回の検討に期待する意見」については、概ね今回お示した方向性と一致しています。また、「今回の検討を懸念する意見」については、それぞれの質問、疑問に対して、「立地特性の比較」等の箇所でも本市の考え方をお示ししました。 なお、公共機能に関する本市の考え方は、今回の基本方針（案）で初めてお示ししましたので、「当初の計画」というものはありません。</p>	
13	<p>「鷺沼駅の交通結節機能の強化」と「市民館・図書館を一体的に移転・整備し」「宮前区の核となる地域生活拠点の形成」をすることが考え方の第一にあげられている。 そして「ベッドタウンから生活するまち」「一日過ごせるまち」「多世代が訪れ、多様なコミュニティを創設する新たな文化・交流拠点」など、これまでの街づくりビジョンなどにはなかった言葉が踊っている。 これは、従来市の総合計画で、鷺沼・宮前平駅周辺地区を一体のものとして、「身近な地域が連携した住みやすく暮らしやすいまちづくり」をめざす「地域生活拠点」としていたものを、鷺沼駅周辺だけを、宮前区の商業・交通・行政サービス・文化のすべての核にするという方向に転換したことを意味している。 地域を「核」と「周辺」に分け、「核」に投資を集中して地域の活性化を図るという「周辺」をおろそかにするやり方でいいのか。 高齢化時代に対応するには、なるべく身近で歩いてゆける場所に「核」を分散させることこそ求められているのではないか。 (同趣旨他 463 件)</p>	<p>鷺沼・宮前平駅周辺地区は、本市総合計画において、おおむね行政区の単位である地域生活ゾーンの核である「地域生活拠点」として位置づけられています。第 2 期実施計画においても、「民間活力を活かした駅前広場の再整備等による、鷺沼駅周辺を中心に商業、都市型住宅、文化・交流など多様な都市機能の集積及び交通結節機能の強化に向けた取組を推進します」として、鷺沼駅を中心とした取組の方向を明記しており、方向性を転換したものではありません。 また、宮前平駅周辺においても、駅周辺の動向等も踏まえ、適切な機能分担等を勘案しつつ、地域特性を活かした拠点の形成に向けた検討を行っていきます。</p>	D
14	<p>「宮前平駅から区役所までのアクセスが大変」という市民の声に答えるなら宮前平駅からシャトルバスを走らせればいいのか。シャトルバスの運行についても採算性やランニングコストなどの課題があると言っているが、移転に伴う費用より遥かに少ない費用で済むはず。 (同趣旨他 190 件)</p>	<p>区役所等施設へのアクセス性については、古くは昭和 57（1982）年の分区当初から課題として指摘されており、近年では、鷺沼駅・宮前平駅・区役所を結ぶシャトルバスの検討や、区役所・市民館・図書館の来庁者数調査、区役所を拠点としたバスターミナルの検討などを行った経過があります。 この中で、駐車場スペースを活用した折り返し運行は実現したものの、区役所駐車場部分の改修によるバスターミナルの検討は、現行駐車台数の確保、及び車両の転回スペースや待合スペース整備などの物理的な課題があり、実現に至りませんでした。また、シャトルバスの運行についても採算性やランニングコストなどの課題があり、実現していません。</p>	D
15	<p>区役所の移転は止めてほしい。現在の区役所で十分。交通の便は、宮前平駅からのバスを増やせば解決すること。 (同趣旨他 6 件)</p>	<p>アクセス性の改善は、将来的にも大変重要な課</p>	D
16	<p>現区役所より鷺沼のほうがアクセスしやすいと、移転の理由にアクセス面をあげているが、坂道が多いことは最初からわかっていたと思う。現状で区役所を結ぶバスを走らせられない</p>	<p>アクセス性の改善は、将来的にも大変重要な課</p>	D

(1) 経過、現状・課題に関すること

No.	意見・質問要旨	本市の考え方	区分
	理由をもっと具体的に示してほしい。採算性の面でいうなら、補助などできないのか。 (同趣旨他 54 件)	題ですが、現在の区役所等の立地を前提として解決しようとした場合には、今後想定される施設の建替え、維持・管理費用に加えて、継続的にシャトルバス等の費用を要することとなり、実現は困難です。	
17	<p>現在、バスは方向転換のため区役所前の駐車場に入ってきているので、区役所前で降車することとし、待合室は区役所 1 階に設け、運行状況がわかるようパネル設置をすればどこ行きのバスが来たかわかり、乗車しやすいのではないかと。面倒だが一旦区役所内に入れば、足の悪い方でも不自由が軽減され、区役所 1 階のエレベーターが利用できると思う。</p> <p>ただし、その場合、土日に利用するとなると区役所の 1 階、2 階の出入り口を開けておく必要がある。高齢化社会を見据えた検討をしてほしい。</p>		D
18	<p>第一回フォーラムで、シャトルバスの可能性について、市側の見解として、議事録に下記の記載がある。</p> <p>(市民文化局区政推進課)</p> <p>アクセスの話がございましたが、区役所へのアクセスが急坂だから移転をするというものではございません。シャトルバスという解決手法についても検討が必要だと思います。今の検討の発端は鷺沼駅の再開発があり、民間の力を活かしてよりよいまちづくりができないかというところがスタート地点です。その選択肢として区役所・市民館・図書館の移転可能性を挙げて検討するということであり、現時点で決定していることはございません。</p> <p>とはっきり検討が必要と言っている。しかしながら、この 1 年間でどういう検討をしたのか、ほったらかしになっている。そういう状態で、移転の話は論外だ。</p>	シャトルバスの運行可能性については、今年度の検討の中で、近年実施された調査や検討結果を改めて検証しましたが、採算性やランニングコストなどの課題があるという状況に変化はなく、現状での実現は困難です。	D
19	<p>現在の区役所の位置は、宮前区としてはベストだと思う。区を中心にあるということは非常に理想的。説明会では、区役所までのアクセスが悪いと説明していたが、区内各地からバスを運行すればよいだけだと思う。特に、宮前平駅からのバスは、川崎市バスであるにも関わらず、時間によって本数がまちまちで、本数もそれほど多いとは言えない。</p> <p>宮前平駅から溝口駅や生田駅、鷺ヶ峰営業所、聖マリアンナ医科大学方面にいくバスを全て区役所経由にすれば相当便利になる。</p> <p>また、現在、鷺沼駅止まりとなっている小杉駅方面からのバスを、川崎市バスのみ宮前区役所まで運行すればよい。そうすれば、鷺沼、有馬、野川地区の方も区役所に行きやすくなる。 (同趣旨他 3 件)</p>	<p>現在の区役所・市民館・図書館等は、地理的には宮前区の区域のほぼ中心に位置しています。区役所にアクセスするバスは平日では一日に約 280 本、そのうち宮前平駅発のものは約 140 本です。</p> <p>こうした中、平成 30 年 6 月に実施した区民意識アンケートでは、宮前区の生活環境への満足度を尋ねた 12 項目のうち、「区役所・市民館・図書館への距離」について、「不満である」もしくは「少し不満である」と答えた人は 59.3%でした。</p> <p>区役所等施設へのアクセス性については、古くは昭和 57 (1982) 年の分区当初から課題として指摘されており、近年では、鷺沼駅・宮前平駅・区役所を結ぶシャトルバスの検討や、区役所・市民館・図書館の来庁者数調査、区役所を拠点としたバスターミナルの検討などを行った経過があります。</p> <p>この中で、一部の試みは実現したものの、区役</p>	D

No.	意見・質問要旨	本市の考え方	区分
20	<p>区役所移転の必要性には疑問を感じている。建物はまだ問題なく使えるし、必要性を感じない。区役所は年に何度も利用するものではないので、坂があり不便というが、問題ない範囲だと思う。富士見坂を通らない道を選べば、坂もそこまで急ではない。駅から徒歩8分～10分程のため、むしろ比較的便利な場所だと思う。(同趣旨他3件)</p>	<p>所駐車場部分の改修によるバスターミナルの検討や、シャトルバスの運行についても採算性やランニングコストなどの課題があり、実現していません。</p> <p>アクセス性の改善は、将来的にも大変重要な課題ですが、現在の区役所等の立地を前提として解決しようとした場合には、今後想定される施設の建替え、維持・管理費用に加えて、継続的にシャトルバス等の費用を要することとなり、実現は困難です。</p> <p>なお、区役所職員の通勤・職場環境の改善を目的として、区役所等の移転・整備に関する検討を行うことはありません。</p>	D
21	<p>高齢者がアクセスしやすく利便性を一番に考えられると良い。この辺は坂道が多くなるべく平たい道路を選ぶと今の場所に新しく建てた方がいいと思う。</p>		D
22	<p>区役所移転反対。宮前平は駅から遠い、坂がきついということだが、2、3年もすれば無人の自動運転バスが走るのではないか。動く歩道みたいな使い方になったら、坂道の弱点もなくなると思う。</p>		D
23	<p>現在の庁舎は坂の上であり、上り下りが大変という声もあるそうだが、宮前平の自然の一部であり、起伏の豊かな自然環境のもとで、住民は普通に日々の暮らしを続けている。坂がきついから宮前平に住みたくない、という声は聞いたことがない。みんな地元を愛して暮らしているのだ。また一部に、区役所の職員が通勤に大変なので坂を嫌っている、との声もあるようだが、噴飯ものである。職員があの程度の坂を上る通勤がイヤなので、税金で移転させて欲しいというのは、まるで通用しない論理であろう。</p>		D
24	<p>宮前平駅から坂道を歩くのが大変だと言っているが跡地に学校ができようが、マンションができようが、皆歩くのが大変だ。市の関係だけが楽して良いのか。</p>		D
25	<p>市民館、図書館窓口の職員との会話の中で、移転に積極的なのは職員自身であることにも気が付いた。現地に建設されて35年も経過しているのに、商店やレストランもバスターミナルもなく、宮前平駅前も駅舎も寂れているのは不思議に思う。駅からの通勤徒歩10分、昼飯を食べるところもなく、退庁後買い物もできない。驚沼となれば、職員さんにとってこれらはすべて解消されるわけである。</p>		D

(2) 市民意見の把握に関すること (第3章) (982件)

No.	意見・質問要旨	本市の考え方	区分
1	<p>今回の計画のことを知らない人が多い。これからの宮前区の将来を考えるのであれば、若い世代の方たちにもこういう場に参加してもらわなければならない。新聞広告や広報誌、ホームページで広報したというが、若い世代で、新聞を定期購読している人がどれだけいるか、また広報誌は自治会に所属している人にしか配布されないのではないのか。</p> <p>ホームページで検索しても、トップに今回のことが大きくのっているわけではない。また宮前区は学生や一人暮らしをされている方も多いと思う。</p> <p>若い世代への周知徹底を、もっと図るべき。学校や子どもたち、PTAを使って周知することも一案。各家へポスティングすることはもちろん、区からのお知らせとして掲示板を作り、選挙のように知らせるべき。</p> <p>23万人いる区の一部にアンケートし、知っていた人がその10%。10%の認知度だった段階で周知を図る対策を取るべきだったのではないのか。</p>	<p>多様な世代の参加、意見把握は重要なことであると考えています。意見交換会(ワークショップ)参加者の選定にあたっては、10代から30代を優先当選としたり、40代の枠を拡大したりするなど、参加者の年齢バランス等を考慮し、抽選を行いました。さらに、子どもたちの意見を聞く機会として、宮前区内の中学生や高校生と区長が話し合う「区長と語ろう会」を開催したところで。</p> <p>また、平成30年6月に実施した区民意識アンケートの実施結果では、「区域や内容まで知っていた」という方が10.0%、「よく知らないが聞いたことがあった」という方が43.8%でした。このことから、この時点でも、何らかの情報に接していた方は53.8%いらっしゃったものと認識していますが、これまで、市政日より宮前区版への掲載やチラシの配布、ポスターの駅舎等への掲示、市ホームページへの掲載など、本市からの周知・広報のみならず、タウンニュースや新聞報道等の情報に接してこられた方もいらっしゃると考えております。今後も幅広い世代を対象として周知・広報し、御意見をいただきながら、取組を進めていきます。</p>	D
2	<p>そもそも移転話を知らない市民が大多数なのにそれを知らせる努力をせず、市長と議員だけで一方的に決定していいのか、と憤りを感じざるを得ない。もう少し区民の声を聞いてほしい。</p>		D
3	<p>移転案に関して、川崎市は住民に広く周知させてこなかった。「特段の理由はないが、これら三つの公共施設を鷺沼に移転させる可能性がある」との小さな記事が目にとまってしばらく後、公報「みやまえ」に2018年5月、その計画が小さな囲み記事で掲載された。8月には移転問題で周知度が10%と公表された。これも市(区)としては、いちおう「区民の声を聞いた」「やることはやりました」の範疇作り、お膳立てだったのかと今になって思い知った。</p> <p>今年2月始めに発行された「特別号」基本方針案は何と新聞の折り込みチラシの中に交じって入っており、多くの人々は気付かず、周知の機会を損なった。知らせたくない、じゃまされたくない、何か後ろめたい所があるのではと勘ぐられても仕方ない。</p> <p>昨年5月の小さな公表記事からまだ1年も経っておらず、自然発生的に集った住民達は勉強会や反対署名に走り回っている。それが特に高齢者たちだ。若い人は仕事と育児に忙殺されている。それなのに一方では、「5年も10年も前から決まっていたヨ」とか「3年前に不動産屋から聞いていた」と述べる人たちが居ておかしいのではないのか。</p> <p>(同趣旨他1件)</p>	<p>本市ではこれまで、市政日より宮前区版での広報やさぎぬまプロジェクトニュースの発行、ホームページへの掲載、公共施設や駅へのポスター掲出など、様々な手段により周知広報に努めてきました。御指摘の2018年5月の市政日より宮前区版は小さな囲み記事ではなく、区版1面全面でお知らせしています。</p> <p>また、平成30年6月に実施した区民意識アンケートの実施結果では、「区域や内容まで知っていた」という方は10.0%ですが、「よく知らないが聞いたことがあった」という方が43.8%でした。このことから、この時点でも、何らかの情報に接していた方は53.8%いらっしゃったものと認識しています。その後、本市からの周知・広報のみならず、タウンニュースや新聞報道等の情報に接してこられた方もいらっしゃると考えております。</p> <p>本年2月に発行した特別号については、情報の速達性を重視して、新聞折り込みでの配布をはじめ、公共施設や駅への配架を行ったところです。</p> <p>今後も幅広い世代を対象として周知・広報し、御意見をいただきながら、取組を進めていきます。</p>	E

No.	意見・質問要旨	本市の考え方	区分
4	検討の中で、移転先候補として、鷺沼以外にもあったのかなど、検討経過の広報活動の不足を感じている。		D
5	経緯の不明朗さ、費用の莫大さ、景観が損なわれる事で、基本計画に反対だ。 大分前にタウンニュースで区役所が移転する案があると読んだが、それ以後も市民日より、区報にも記載されることはなかった。そして突如ともいえる基本方針（案）には、大変驚いた。慌ててウェブサイトを見ても読みにくく、急いで区役所に行き、「かわさき市政だより 宮前区版特別号」を貰ってきた。それを読んでも、鷺沼に計画していることが、何階建てか、正確な費用はいくらか、何もわからず、情報公開について非常に不熱心だ。そして、パブリックコメントの締め切りは直近の3月6日。 (同趣旨他 21 件)		D
6	基本方針案の 3 施設移転は余りにも杜撰で、拙速にすぎる。区民の多くが今もって移転が議論されていることを知らないでいる。 今回発行の市政だより特別号などは、本来なら少なくとも今より半年位前に用意すべきものである。周知を徹底させて理解を得る、この基本姿勢が市当局には欠けている。		D
7	年輩の方はホームページを利用できない方もいるため移転話自体を知らない人も多数いる。そのため区役所からのお知らせではなくもっとわかりやすく TOP にもってきて知ってもらう必要があるのに改善されていない。区民のための役所のはずが本当に考えているのかが疑問である。納得のいく指標を示すべきである。	多様な世代の参加、意見把握は重要なことであると考えています。 今後もホームページや市政だより宮前区版をはじめ、様々な手法を活用して幅広い世代を対象に周知・広報し、御意見をいただきながら、取組を進めていきます。	E
8	市民の意見に関して、移転に対して前向きな意見を恣意的にまとめに用いている感が否めず、果たして資料に示されている意見が改ざんされていないものであるか信用しがたい。向丘のあたりのアンチテーゼの意見は、ワークショップ等で出させてガス抜きをするのが主目的で、答える必要は無いが書いておけばいいだろうくらいのスタンスなのではないか。 まとめを市が指示したのか、委託業者がまとめたもののチェックがもれたのかは分からないが、まともに向き合ったり応える気は無いのだろうと思った。	「第 3 章 市民意見の把握」については、様々な取組を通して把握してきた市民意見を整理したものです。それぞれ御参加いただいた区民の皆様がいらっしゃいますので、改ざんするようなことはありません。関係団体等説明・ヒアリングやフォーラム、意見箱等で寄せられた御意見については、期待や懸念を併記して記載しています。 また、「鷺沼駅周辺再編整備におけるコンセプトや機能・サービス」として整理した御意見については、区役所等の移転の有無にかかわらず、再開発に望む意見として整理可能なものを抽出しました。	D
9	東急発表の乗客数とアンケート結果から 鷺沼駅 定期 37,606 人 計 63,214 人 (通勤、通学 21.4%) (買い物 27%) 宮前平駅 定期 34,567 人 計 51,787 人 (13.1%) (13.6%) 宮崎台 定期 31,731 人 計 50,138 人 (10.6%) (14.9%)	なお、基本方針（案）は、これまでに把握してきた市民意見や基礎調査の結果などについて、本市として総合的に整理・検討し、取りまとめたものであり、委託業者が作成したものではありません。	D

(2) 市民意見の把握に関すること

No.	意見・質問要旨	本市の考え方	区分
	<p>と、地形上、バス、道路の状況から、それぞれの駅を利用しているのである。</p> <p>しかし、この数字は、川崎市が昨年 6 月に実施したとされるアンケート結果(右側に記載)と全く一致しない。</p> <p>アンケート集計の偽装も含めて、信ぴょう性、または抽出適正に疑問が生じる。</p>		
10	<p>行政として取り組んだ関係団体・ヒアリング、まちづくりフォーラム、意見交換会、区民アンケート等で出されたものを、各々、どう判断、まとめとしたのか。疑問、意見についての理解を求めるためにどう回答したのか。</p> <p>例えば、意見交換 4 回目のまとめの方向性はどようだったのか。この体制の組み方で良かったのか。意見交換会④F グループのまとめへの対応はどうしたのか(P27)このパプコメについてもどう扱うにされるのか心配になる。採りました、やりただけでなく、どう反映されたか、反映できない理由は何か。一つひとつの誠実で真摯な対応をお願いしたい。</p>	<p>今回の取組では、区役所、市民館、図書館という区民が利用する施設の移転可能性を含めて検討していくため、区民の生活実感としてのニーズや課題の把握を重視し、様々な取組を通して、多角的な意見把握を進めてきました。</p> <p>いただいた御意見について、「反映の有無やその理由」等として整理していないことから、その状況がわかりにくくなっていますが、基本方針(案)では、それぞれの取組でいただいた御意見を踏まえ、公共機能に関する基本的な考え方を取りまとめています。</p> <p>例えば、関係団体等説明・ヒアリングやフォーラム、意見箱等でいただいた御意見のうち、「今回の検討に期待する意見」については、概ね今回お示した方向性と一致しています。また、「今回の検討を懸念する意見」については、それぞれの質問、疑問に対して、「立地特性の比較」等の箇所でも本市の考え方をお示ししました。</p>	D
11	<p>フォーラムや意見交換会で民意をヒアリングしたにも関わらず、どれほどまでに実際の政策に反映されたかどうか不透明。参加した区民、セッティングした行政側が時間と労力を割いて開催した意義がどこにあるのか、やってもやらなくても結果は変わらなかったように感じる。あいまいな政策は区民に不信感を覚えさせるだけでなく、せっかく検討の機会を設けても議論する方向が脱線してしまう。区役所の移転に反対する区民に、きちんと説明する責任がある。</p>	<p>今回のパブリックコメント手続でも、様々な質問・意見をいただいていますので、この資料で反映の有無等について御説明しております。</p> <p>今後もいただいた御意見には真摯かつ誠実に対応し、より多くの皆様に御理解いただけるように取り組んでいきます。</p>	D
12	<p>これまでフォーラムで、ワークショップで、アンケートでと、市当局は区民の意識調査をし、意見を聞いてきた旨を繰り返し、その内容を基本方針案に反映したと説明している。</p> <p>しかし、ワークショップ及びアンケートとフォーラムとでは見解は全く異なっている。</p>		D
13	<p>区民の意見が反映されていないと思う。(同趣旨他 1 件)</p>		D
14	<p>鷺沼駅周辺の土壌の弱さは何回もフォーラムで指摘されている。それでもこりずに、計画を策定しようとしている市は、民主主義の国とは思えず、独裁的だ。少しは区民の意見を聞け。</p>		D
15	<p>移転に関して中学生に話を聞いたとありましたが実際に利用しているのはその親であったり祖父母の方が圧倒的に多いはず。</p> <p>子供の意見をそのまま反映させるのは説得力に欠ける。</p>	<p>フォーラムや意見交換会において、子どもの意見も聞いてほしいとの御意見をいただき、区内の中学生及び高校生が、区長と宮前区のまちづくりや自分の将来のことなどについて意見交換を行う区長と語ろう会を実施したものです。</p> <p>多様な世代の参加、意見把握は重要なことであると考えており、参加していただいた中学生・高</p>	D

No.	意見・質問要旨	本市の考え方	区分
		<p>校生からも貴重な御意見をいただきました。</p> <p>その他、市民意見把握の取組として、フォーラムや意見交換会、区民意識アンケート等を通していただいた市民意見や基礎調査の結果などを総合的に整理・検討し、基本方針（案）を取りまとめたものです。</p>	
16	<p>区民の意見がどれ程反映されているのか全く明確ではない。市民説明会は計画の説明ということで、区民が了承したわけではない。もう一度この案をベースにした賛否の住民アンケートを実施すべき。パブリックコメントはどれだけ反映されたか分からないので不十分。</p> <p>(同趣旨他 6 件)</p>	<p>区役所などを移転するかどうかという観点から「賛成」、「反対」ということに着目され、再度アンケート等を実施するべきという御意見をいただいているところですが、本市としてはこれまで、宮前区の未来をどのように描くか、その中で核というものをどう作っていくか、ということを重視し、検討を進めてきました。</p>	D
17	<p>区民意見の合意が出来てない状況で、行政主導の移転は、後々禍根が残る。宮前区全世帯へ</p> <p>①鷺沼駅周辺へ区役所・市民館・図書館全て移転する</p> <p>②鷺沼駅周辺へ市民館・図書館を移転し、区役所は現在地に残す</p> <p>③現在の区役所・市民館・図書館は残し、新たに鷺沼駅周辺に行政窓口・図書館（分館）・多目的ホールを作る</p> <p>以上の三択を宮前区全世帯で実施することにより、区民の意見が集約できる。これを行わないで移転などを決めるべきではない。</p> <p>今回の基本方針案は、区民の立場を考えてない行政主導の政策決定手法である。何故なら、フォーラム・意見交換会・関係団体説明会等に於いての住民意見が反映されていない。</p> <p>(同趣旨他 1 件)</p>	<p>今回の基本方針（案）では、本市として、市民の皆様からの御意見や基礎調査の結果等を総合的に整理・検討し、公共機能の方向性及び基本的な考え方をお示ししました。市民の皆様の中には、お住まいの地域や年代、ライフスタイル等により、多様な考え方・捉え方があるものと認識しておりますので、今後も移転の賛否を問うようなアンケートの実施は考えておりません。</p>	D
18	<p>アンケートの内容を見る限りではまさか「区役所移転の是非を問うもの」とは思わないだろう。アンケートの使用目的が、この後、区役所移転の有無にかかわってくるとわかっているならば、無作為に抽出されたという方たちからもっと多くの回答が得られ、状況が変わっていたのだらうと思う。周知徹底を（若い世代中心に）計り、再度アンケートか選挙を実施すべき。</p>		D
19	<p>宮前区役所、市民館、図書館の鷺沼駅前移転はその検討が 1 年足らずの短期間で、一方的に移転の方針を決めたのは区民の意向を無視している。納税している区民全員に賛否の意向を確認すべく、返信用ハガキのついた手紙を郵送された方が良いと思う。</p>		D
20	<p>もともと何もないところに区民の役にたつ施設をつくるなら善意を感じるが、十分ことたりでいるのに新たに作るという考えは何か利害関係があるのではと考えてしまう。市長・地主・建設会社がクリーンならいいのだが、そのへんのところを調査してほしい。市町村税が上るのは困る。一方的にきめるではなく、選挙並みに</p>		D

(2) 市民意見の把握に関すること

No.	意見・質問要旨	本市の考え方	区分
	区民の意見をきいてほしい。住民票の情報なしで、葉書などで確認してほしい。		
21	宮前区役所・市民館・図書館の移転の話を耳にしたのが昨年の春頃だった。その後、だいぶ経ってから文章で概要を知ったが、このように大事なことをこんなに短期間に決めてしまっている物かとはなはだ疑問に思っている。 住民投票のような形で皆に納得のいくように決まれば良いと考える。		D
22	移転計画を知らない人が多すぎる。移転をすすめる中心者が各駅の前でアンケート等をしてもいいのでは。		D
23	住民が賛成、反対と分かれるのは良いことだとは思えない。住民投票をすることも一案ではないだろうか。	住民投票制度は、本市の自治の基本を定める自治基本条例第 31 条に規定された重要な参加の制度の一つであり、市政に係る重要事項について、直接、住民の意思を確認するため、住民投票を実施することができるかとされています。	E
24	再開発には少なからず利権が発生する。もしそれにかこつけて利用するのであれば区民にはありがた迷惑。本当に必要で、クリアな事業であれば区民投票で公平に決めるべき。できない理由はないはずで開票もオープンにすべき。ネット中継でもすれば宮前区＝クリーンとうたえて住みたい町になるはず。	その発議は、投票資格者である住民、議会、市長とされていますが、本件については、住民投票条例の適用除外事項「専ら特定の地域に関する事項」に該当することなどから、今後も実施することは考えておりません。	E
25	「宮前区民の 8 割ぐらいは移転の話を知らない」というような意見が出ていた。市は「ご理解いただくように周知の努力をしている」というような回答をしていたが、本当にそう思うなら沖縄県のように宮前区民の住民投票をしてほしい。法的効力はないにしても、投票となれば、住民に周知することには確実になる。市が「住民投票を行いたくない」となると「周知する努力を怠った」にほかならない。「これから住民投票なんて、民間業者の再開発スケジュールに間に合わない」は理由にならない。住民投票の結果として「移転反対」が多数であれば、それが民意であると明確になる。		E
26	区役所・図書館・区民センター等を鷺沼に移すのは反対。区民投票を実施し、区民の民意を尊重すべきではないか。 (同趣旨他 9 件)		E
27	アンケート調査で、野川と有馬の回答数が突出していた。人口分布と一致とあるが、一致していないように思われる。アンケート用紙が人口密度に比例して配布されたのであれば、野川、有馬の人達にとって鷺沼に移転してほしいということが切実で、回答数が多かったのか?宮崎、宮前平の人達はあまり関心がなく、回答数が少なかったのか?前提がわからず疑問が生じた。もう少し考察がないと、結論に誘導されていく懸念がある。	平成 30 年 (2018) 年 6 月に実施した区民意識アンケートは、住民基本台帳に登録された区内在住の 18 歳以上の方から無作為に 2,000 人を抽出し、調査対象としました。 回答者の居住地別の割合は、人口分布とほぼ一致しており、野川と有馬の割合が突出しているということはありません。	D

No.	意見・質問要旨	本市の考え方	区分
28	1年半程度検討してきたと言っていたが、1年半とはたいそう短い期間で強行的に決めたのだなと思った。区役所を移転するということは市民にとってはかなり大きなことなので時間をかけて検討すべき。 (同趣旨他6件)	今回の民間事業者による再開発は、この総合計画上に位置付けられた取組です。本市としては、再開発によって交通利便性が高まり、都市としての機能が向上する鷺沼駅前に、公共機能を一体的に移転する可能性も含めて検討する機会であると捉え、取組を進めてきました。	D
29	区民の一部の方しか知らない内に、鷺沼への移転では皆さんが納得できない。 (同趣旨他3件)	検討期間については、もっと時間をかけて検討するべきである、また、認知度が低いので周知を徹底すべきである等との御意見がある一方で、市としての考えを早期に示してほしいという御意見も多数いただいています。	D
30	行政は、東急の意向に沿って出来るだけ早く移転問題を終わらせようとしており、地域住民にもこの問題をあまり知らせないようにしている。昼間は仕事で東京に行っていることが多く、地域コミュニティに関心が薄いため「川崎都民」と揶揄されるこの地域の住民なら、情報公開は形式的にやっておけばいいだろうという考えが見える。	今回の検討では、区役所・市民館・図書館という区民が利用する施設の移転可能性も含めて検討するため、区民の生活実感に基づくニーズや課題の把握を重視し、より多くの区民の参加機会を確保し、意見交換会やフォーラムをはじめ、多角的な取組により区民意見の把握を進めてきました。また、専門的な検証を要するものは、外部専門家 の知見を活用しています。 これまでいただいた区民意見を踏まえた市としての考えを、準備組合が進めている計画に着実に反映させていくためにも、再開発の検討スケジュールを考慮し、平成30年度内に「基本方針」を策定して取組を推進していきます。	D
31	移転反対。市長は、市民参加型の政治指向で、車座集会の実施などを行うと宣伝しているが、なぜ、この件に関する情報公開をされなかったのか。市長に対する不信はつのるばかり。	本市ではこれまで、1970年代にスタートした区民懇話会をはじめとして、様々な分野でコミュニティづくりや市民参加・協働による施策を展開してきました。	D
32	川崎市はこの間、一部の部局では「市民協働」で施策を推進して、全国的にも高い評価を得ていた。 それが今回の問題に関して一部の市民とだけ相談をして、1割にも満たない認知度の中で事を強引に押し進めるやり方は、「川崎方式」ではない。川崎市民としての誇りを傷つけられた思いだ。 (同趣旨他2件)	平成17(2005)年に策定した自治基本条例では、情報共有・参加・協働を自治運営の基本原則としてきたところです。 今回の取組につきましても、限られた期間ではありましたが、意見交換会による創造的な議論、フォーラムによる幅広い参加者との意見交換、区民意識アンケートによる統計的な意識把握など、多角的な手法により、区民意見把握の取組を進めてきました。 これまでいただいた御意見につきましては、お住まいの地域や年代、ライフスタイル等により、様々な考え方・捉え方があるものと考えておりますので、今後も引き続き、継続的な説明、意見交換に取り組んでまいります。	D
33	現段階での移転決定には反対。時期尚早でしっかりと議論をした上で移転の決定をして欲しい。議論する時間が短すぎる。有識者会議や議会の委員会等で専門的な見地から議論がされている様子はなく、市民のワークショップでの少し偏った意見集約で、移転が決まってしまうのは少し危険な気がする。	限られた検討期間ではありましたが、学識経験者や少数の市民代表による外部委員会を組織するのではなく、より多くの区民の参加機会を確保し、意見交換会(ワークショップ)による創造的議論、フォーラムによる幅広い参加者との意見交換、アンケート調査による統計的な意識把握、区役所の日常業務等に関わりのある団体等を対象とした説明・ヒアリング、区役所等の施設やインターネットに設置した意見箱など、限られた時間の	D
34	市民の意見をよく聞いてほしい。 (同趣旨他13件)		D

(2) 市民意見の把握に関すること

No.	意見・質問要旨	本市の考え方	区分
35	行政が市民の意見を聞かずに市民の方を向かないで、大企業の都合に合わせて行動する、大企業の下請機関に成り下がるようでは困ったもので、今までこの地に住んで、一生懸命働き納税してきた者として、詐欺にあって泥沼に蹴落とされたようなものだど怒りを持っている。 (同趣旨他6件)	中で多角的な意見聴取を実施しながら検討を進めてきました。 専門的な検証を要するものは、外部専門家の知見を活用した基礎調査を実施し、これらの情報を総合的に整理・検討した結果として「基本方針(案)」を取りまとめています。 また、川崎市議会におきましても、各定例会での議論に加え、常任委員会である文教委員会及びまちづくり委員会において、所管事務報告や陳情審査の場を通じて、様々な議論がされてきたものと認識しております。 今後もより多くの区民の皆様に御理解いただくことが重要であると考えておりますので、引き続き、継続的な説明、意見交換に取り組んでまいります。	D
36	もし鷺沼に区役所が移転することとなれば、近隣(鷺沼駅周辺)一部の市民の意見のみを受け入れ、反対する市民の意見を無視し、民間デベロッパーのペースに飲み込まれた公共機関移転の例として、後世に伝えられると思う。もっと市民の意見を聞いてから、移転の計画を進めるべき。		D
37	市はフォーラムで、あれ程反対意見があったのにそれを無視して、3施設移転の案を出した。これは、フォーラムをやったという事実だけで、民意を受け止めようとしない姿勢は非難に値する。このような態度を改めないなら、今後、後悔することになる。		D
38	市民説明会等に何度か参加したが、川崎市役所、宮前区役所の対応は結論ありき、期限ありきの一方的かつ稚拙なもので、「宮前区役所等の移転に伴う不利益を被る多くの住民から出された前向きかつ建設的意見には一切耳を傾けようとしていない。 形式だけのアリバイ作りの説明会の運営により、地域住民の地域に対する愛情や思いを踏みにじる結果となり宮前区内の住民に大きな対立と溝を作った。 市民説明会は住民のためのものであり、行政のアリバイ作りのためにあるのではないことを踏まえて、今後の行政手続きは行政本意ではなく住民本位で進めていくべきである。もっと住民の意見を真摯に取り入れるべきである。 (同趣旨他1件)	2月9日、10日に開催した市民説明会は、本市としての考え方をお示しした基本方針(案)について御説明し、区民の皆様から御意見を伺う場として開催しました。 一方、これまで開催してきた4回の意見交換会、3回のまちづくりフォーラムでは、特に結論を設定することなく、様々な御意見をいただいております。 今後もより多くの区民の皆様に御理解いただくことが重要であると考えておりますので、引き続き、継続的な説明、意見交換に取り組んでまいります。	D
39	区役所・図書館・区民センター等を鷺沼に移すのは反対。当初平成27年ころから業者と川崎市は、区役所は鷺沼ありきで進めてきた。区民の意見交換は僅か半年で結論を出そうとしている。結論をだすのが早すぎる。 (同趣旨他9件)	平成27(2015)年6月の東急電鉄株式会社との包括連携協定締結を契機に、駅前広場の再編整備等に合わせ、多様な都市機能の集積と交通結節機能の強化に向けた取組を推進することとしてきましたが、区役所を鷺沼駅周辺に移転することありきで進めてきたということはありません。 その後、鷺沼駅前地区再開発準備組合が設立されたのは平成29(2017)年8月です。こうした動きの中、議会各会派や市民等から出された意見・要望について、準備組合からも同年12月、市の速やかな検討が要請されました。これらの状況を踏まえ、本市では、平成30(2018)年2月に「検討に関する考え方」を公表し、多角的な意見把握の取組に着手しました。	D
40	市民合意のない基本計画には反対。鷺沼駅前再開発について、東急と川崎市は2015年6月に包括連携協定を締結し、2017年8月には、民間事業者による準備組合を設立、再開発の準備をすすめてきた。市民の意見を聞くためワークショップが開始されたのは2018年6月だ。 宮前区23万人の生活を左右する大問題で、最低3年はかけて市民討議すべき事項。市民合意		D

No.	意見・質問要旨	本市の考え方	区分
	のある基本方針を作り直すことを求める。 (同趣旨他 651 件)	本市では、限られた期間の中で、より多くの区民の参加機会を確保し、多角的な意見把握に取り組んでまいりました。今後もいただいた御意見には真摯かつ誠実に対応し、より多くの皆様に御理解いただけるよう取り組んでまいります。	
41	川崎市と東急は市民を抜きにして鷺沼駅前再開発を決めておきながら、8ヶ月程の猶予期間を残す時期になって、ワークショップを開くことにより、市民討議を尽くしたかのように見せている。 やましいことがなければ、最初から堂々と市民に諮ったのではないか。一度も市長が表に出ないのは後ろ暗い事があるのではないか。		D
42	市当局は3施設移転の話をH30.5月に区民にはじめて公表した。この東急による再開発計画の話はH27.6月の包括協定で決まった。 なぜそれだけの時間がありながら、宮前区民は突然に3施設移転を切り出され、区民への周知も十分とは言えず、しかも疑問も不明な点多々ある中で、一方的に<3施設移転の結論>を呑むよう迫られなければならないのか。		D
43	民間事業者による再開発事業とあるが、市民のためというより、東急に儲けがあるようにしか感じられない。 東急とは長いこと議論をしていたのかもしれないが、一番大事な市民との対話、市民からの意見をしっかりきいて欲しい。たくさんの反対の声を無視しても押し進める理由は何か。		D
44	どうして急に今現在の場所に何一つ不満は無いのにこういう事になったのか。鷺沼は地盤が弱く道路もアップダウンが多い。この土地に移転の計画が有るとは驚きだ。 何か知らない所で何らかの力が働いたとしか思えない。しかも鷺沼は、隣はすぐ横浜市になり非常に不便な場所となる。 8割は反対の声が多いのに尊い血税を一部の人の為に消費するのは納得がいかない。		D
45	民間の再開発に便乗して3施設を移転しようという発想自体、本末顛倒である。しかも僅か8ヶ月のうちに決定するというのだから何とも異様としか言いようがない。		D
46	「パブリックコメント」は何のためにやるのか。小杉再開発の時も「低炭素都市づくり政策」のパブコメが行われ、これが開発規制の緩和のための“かくれみの”であると大勢の反対意見が出たのに、結局無視された。「市民の意見を聞く」というのがポーズだけなら行政不信が増すだけ。 (同趣旨他 5 件)		D
47	パブリックコメントを6日にしめきり後は、市の方で決定し、進めるというスケジュールには賛成できない。一旦立ち止まって案を練り直してほしい。		D

(2) 市民意見の把握に関すること

No.	意見・質問要旨	本市の考え方	区分
48	<p>住民の意見を聞くとしてヒアリングをしているが、現在この公共施設（区役所・市民館・図書館）を利用している方の現状・意見が見えていない。利用の理由、目的、時間等。移転すれば、当然ながら便利になる人、不便になる人が出てくる。公共機関は不便になる人に手を差し伸べるのが必要ではないか。この対策はどうなるのかといった観点も必要だ。</p> <p>以上の点からこの案は不完全と考えるので、再検討すべきだ。</p>	<p>関係団体等説明・ヒアリングは、区役所の日常業務で関わりのある団体を対象としました。これらの団体に所属されている方々は、程度の差はあるものの、様々な理由、目的等により、日頃から区役所等をご利用いただいているものと考えております。いただいた御意見としては、今回の検討に期待する意見がある一方で、懸念する意見等もあります。</p> <p>今回の再開発では、拡充されるバスターミナルを活用し、様々な方面からの路線バスネットワークの充実を図ることで、区内全体の利便性向上に資する取組を推進してまいります。</p>	D
49	<p>「してはならないワークショップ」</p> <p>①ワークショップのメンバーはいろんな媒体を利用して公平に集めること。 ファシリテータは、移転賛成派の立場にある市役所の職員が入るべきでない。イロハのイである。あのコンサルタント会社も、フォーラムの講演のように、移転派であり市から落とすところを指定されているとのこと。</p> <p>②ワークショップの報告が、さぎぬまプロジェクトニュースで報告されているが、毎回、傍聴内容と明らかに違う内容になっている。これは相当悪質である。このニュースのフォーラムの報告も、めちゃくちゃで話にならない。そこまで、情報操作をするのか。一般的には、区民、特にパソコンを使えない人は、これを信用してしまう。</p> <p>ワークショップ後の出口でメンバーからインタビューした音声記録がある。そのメンバーは、移転すれば不便になるし、ワークショップでは、「驚沼派と区職員のファシリテータ」から発言をシャットアウトされ、誘導されたという内容だ。その他、第3回ワークショップでは、傍聴席に近いグループのあるメンバーから、区職員(女性)にワークショップを仕切らないでくださいという、発言がなされた。第4回ワークショップでは、Fグループでは、検討の期間が短すぎる、何故こんなに急がないといけないのかと疑問を呈しているが、プロジェクトニュースでは何ら報告されていない。</p>	<p>意見交換会（ワークショップ）の参加者については、本市ホームページや市政だより宮前区版、第1回まちづくりフォーラム会場などにおいて公平に募集し、年齢や地域バランスを考慮して、抽選で選出しました。</p> <p>また、ワークショップのファシリテータは、参加者同士の話し合いがスムーズに行われるように支援、促進する役割を担うものであり、中立的な立場から参画することが望ましいことから、今回の意見交換会においても、コンサルタント会社に運営支援を委託しました。</p> <p>職員については、このファシリテータをサポートする役割で各テーブルに配置しました。本市として総合的な検討の結果として基本方針（案）をお示しした現在とは異なり、意見交換会開催時は「参加者の率直な御意見を伺う」期間であり、職員が「移転賛成派の立場にある」ということはありませんでした。</p> <p>コンサルタント会社についても、御指摘のような「移転派である」というようなことはありません。</p> <p>ワークショップは本来、一定のルールの中で率直な意見交換を行い、創造的な議論を積み重ねていくところに価値があります。今回実施した4回の意見交換会については、各回とも試行錯誤の中、少しでも参加者の率直な意見を引き出し、参加者同士の意見交換を促すことで、創造的な議論の場となるよう創意工夫をしております。今後も引き続き改善の努力を重ね、継続的な説明、意見交換に取り組んでまいります。</p>	E
50	<p>「坂道がキツイ」が何故3施設移転の主理由になるのか?人前で「坂道がキツイ」を移転の理由の一番目に臆面なくあげられる人とは一体どういう類の人かと大変いぶかしく思う。この人に防災の視点、司令塔の役割、向後30から50年先のことも…と話しても耳に入るだろうか? 反対している人は、単に遠くなるからイヤダというような人もいますが、その割合はそれ程多くはない。(又近くなる人でも反対している人も少なくはない)問題は市当局の移転ありきの一方的に強引な決め方に対し、強くNO!と反対してい</p>	<p>本市では、これまでにいただいた御意見や基礎調査結果、更には将来展望等を総合的に整理・検討して基本方針（案）を取りまとめました。現区役所等へのアクセス面の課題についても、基本方針（案）でお示しした方向性の根拠となる諸条件の一つです。</p> <p>今回の取組では、区役所・市民館・図書館の移転可能性も含めて検討してきましたが、「移転ありき」で検討を進めてきたということはありません。</p> <p>本市では、限られた期間の中で、より多くの区</p>	E

No.	意見・質問要旨	本市の考え方	区分
	<p>る。(フォーラムの場で高まる反対はほとんどこれである。)従って、基本方針が変わろうと反対している人は増え続けるだろう。問題は単に〈移転、是か、非か〉を突き抜けて、市当局の強引な進め方に、矛先は更に鋭く向かうとことを覚悟しておくように。</p> <p>(同趣旨他 88 件)</p>	<p>民の参加機会を確保し、多角的な意見把握に取り組んでまいりました。今後もいただいた御意見には真摯かつ誠実に対応し、より多くの皆様に御理解いただけるよう取り組んでまいります。</p>	
51	<p>鷺沼駅周辺再開発の基本方針案では、鷺沼移転後の跡地利用について、「現区役所等施設・用地の活用については、今後、宮前区全体の将来のまちづくりや現区役所周辺エリアの活性化等の観点から課題やニーズを整理し、市民参加で検討」するとしているが、何とも奇妙である。基本方針案のアリーノでの説明会では司会者が「反対意見があることは承知している」と述べるなど、市としても多くの地域でいろいろな反対意見が出ていることは承知の上で今回の基本方針案の発表を強行したものであり、宮前区全体の将来ビジョンを検討することなく「鷺沼移転ありき」で進めてきたものがある。</p> <p>本来、「宮前区全体の将来のまちづくり」は鷺沼移転の可否を検討する際の必須の前提条件であり、今回の基本方針案ではその検討がなされていないことを自ら暴露したものである。</p> <p>よって、基本方針案は意見聴取の手续に看過できない重大な瑕疵があるのであるから、これを取り消し、再度意見聴取と検討を行って策定すべきものであると考える。</p> <p>(同趣旨他 13 件)</p>	<p>鷺沼・宮前平駅周辺地区は、本市総合計画において「地域生活拠点」の一つとして位置づけられており、「鷺沼駅周辺を中心に商業、都市型住宅、文化・交流など多様な都市機能の集積及び交通結節機能の強化に向けた取組を推進」することとしています。</p> <p>今回の取組では、民間事業者による再開発により鷺沼駅前のバスターミナルが広がるなど、交通結節点としての機能の向上が見込まれることなどから、この機会を捉えて、鷺沼駅前に望まれる公共機能は何か、ということを検討してきたものです。</p> <p>本市といたしましては、意見交換会等で寄せられた様々な市民意見や基礎調査結果等の諸条件、更には将来展望を総合的に整理・検討し、鷺沼駅周辺再編整備に伴う公共機能の方向性及び基本的な考え方をまとめました。</p> <p>お住まいの地域や年代、ライフスタイル等により、反対意見も含め、多様な考え方、捉え方があるものと認識しておりますが、「宮前区全体の将来ビジョンを検討することなく鷺沼移転ありきで進めてきた」ということはありません。</p> <p>準備組合が進めている再開発の検討スケジュールを考慮し、市としての考えを計画に着実に反映させていくため、平成 30 年度内に「基本方針」を策定し、引き続き、市民の皆様への御意見を伺いながら、基本方針(案)でお示した方向性等の実現に向けた取組を推進していきたいと考えています。</p>	D
52	<p>これまでの本件での市当局の進め方、決め方(私たちはワークショップやフォーラムの進め方、周知方法の問題などを含め(いわゆる川崎方式)とその特異性を命名している)の問題については依然として残したままである。</p> <p>(同趣旨他 91 件)</p>	<p>限られた検討期間ではありましたが、学識経験者や少数の市民代表による外部委員会を組織するのではなく、より多くの区民の参加機会を確保し、意見交換会(ワークショップ)による創造的議論、フォーラムによる幅広い参加者との意見交換、アンケート調査による統計的な意識把握、区役所の日常業務等で関わりのある団体等を対象とした説明・ヒアリング、区役所等の施設やインターネットに設置した意見箱など、多角的な意見聴取を実施しながら検討を進めてきました。</p> <p>専門的な検証を要するものは、外部専門家の知見を活用した基礎調査を実施し、これらの情報を総合的に整理・検討した結果として「基本方針(案)」を取りまとめています。</p> <p>今後もより多くの皆様に御参加いただき、率直な御意見をいただけるよう、継続的な説明、意見交換に取り組んでまいります。</p>	E

(2) 市民意見の把握に関すること

No.	意見・質問要旨	本市の考え方	区分
53	<p>H30 年度の区民アンケート等、区民の意見を反映させる場（機会）の周知方法が足りず、特に共働き世帯・子育て世帯の参画が不十分だったと思う。移転案を紙面で見た時、既に移転が決定との書き方がなされているなど、これでは意見を伝えられないとあきらめてしまった。</p> <p>区民への周知が不十分なまま移転計画がすすめられたことに対し、不満が大きい。</p> <p>(同趣旨他 2 件)</p>	<p>多様な世代の参加、意見把握は重要なことであると考えています。意見交換会（ワークショップ）参加者の選定にあたっては、10 代から 30 代を優先当選としたり、40 代の枠を拡大したりするなど、参加者の年齢バランス等を考慮し、抽選を行いました。さらに、子どもたちの意見を聞く機会として、宮前区内の中学生や高校生と区長が話し合う「区長と語ろう会」を開催したところです。</p> <p>今後の取組におきましても、幅広い年代の方々に御参加いただけるよう、周知・広報に取り組みます。</p>	D

(3) 立地特性の比較、施設設置パターンの検討・比較に関すること（第4章）

(5, 109 件)

No.	意見・質問要旨	本市の考え方	区分
1	50～60年持つ公共施設を30年強でつぶすのはまだ十分に利用価値、使用価値があることを考えれば使用価値を早々と廃棄することになる。そのコストを見込むべき。今やらなければならない理由が薄弱である。	現在の区役所・市民館・図書館の敷地、施設では、バリアフリーに関して、南北方向の敷地の高低差による構造上の課題や、通路や出入り口の幅が狭いなど、施設面での課題が指摘されています。新たな施設の整備により、利用者のニーズに対応した環境整備を図るなど、サービスの向上に向けた取組を推進します。	D
2	こんなに短いサイクルで建て替える合理性は何か。民間の再開発都合に乗っかるだけではないのか。補助金が出るといっても税金である。保育園・幼稚園等の整備・増設など、緊急性の高い区民ニーズは多い。まだ使える区役所をつぶすとなれば、現区役所の存続使用価値を放棄するのであるから、その分を新庁舎建設のコストに上乗せしないと正しいコストは出ないのではないのか。	また、現在の区役所・市民館・図書館の建物については、本市の貴重な財産であることから、①市による施設・用地保有、②宮前区全体と周辺エリアの将来を見据えた課題やニーズの整理、③市民参加による検討、を基本的な考え方として、活用のあり方について検討していきます。 現時点の想定スケジュールでは、最終的に区役所が鷺沼駅周辺地区に移転を完了し、現区役所等施設・用地が新たな用途で活用可能となるまでには、約10年間の期間を要します。現区役所等施設は築47年を越えることとなりますが、建物の継続使用の有無も含め、活用のあり方について検討していきます。	D
3	宮前区役所・市民館・図書館の鷺沼地区への移転について反対。 鷺沼・宮前平地区を宮前区政の拠点と位置付けるならば、宮前平に於いて、巨額を投じた現施設を活かし、更に充実させることが肝要だと考える。その方がコスト面からも有益だ。 現施設が存在することを前提に引っ越してきた人々が多いことも、考慮に入れるべき。	現在の区役所・市民館・図書館の敷地、施設では、バリアフリーに関して、南北方向の敷地の高低差による構造上の課題や、通路や出入り口の幅が狭いなど、施設面での課題が指摘されています。 また、基本方針（案）でお示したコスト比較は、今回設定した各パターンの比較をするため、公的基準に基づき、一定の条件を仮定し、算出したものです。	D
4	今ある区役所・図書館・市民館ホールなどをバリアフリー化し、長寿命化を目指してほしい。その方が税金の無駄遣いにはならない。	本市といたしましては、意見交換会等で寄せられた様々な市民意見やコスト比較も含めた基礎調査結果等の諸条件及び宮前区の将来展望を総合的に整理・検討し、鷺沼駅周辺再編整備に伴う公共機能の方向性及び基本的な考え方をまとめました。	D
5	わずか築35年で取り壊し移転は有り得ない。現建物をリニューアルして再利用すべし。 (同趣旨他4件)	今回の鷺沼駅前再開発では、路線バスネットワークの充実により、宮前区全体の発展に資する鷺沼駅へのアクセス性向上効果等を活かし、将来を見据えたコンパクトなまちづくりを推進するため、区役所・市民館・図書館を一体的に移転・整備し、宮前区の核となる地域生活拠点の形成を図ってまいります。	D
6	現在37年目の宮前区役所、市民館、図書館の耐用年数は60年。10年以内に建替えなければならない理由はない。		D
7	区役所、市民館、図書館は35年余りで「老朽化しているから移転だ」と市は言うが、他の地方自治体の例を見ても50年以上使用されており、35年で移転するということは聞いたことがない。		D
8	コスト面は、まだ今後27年間も使える区役所を放棄することは大変な市民財産の喪失だ。市は学校・市営住宅の使用期間を80年と定めているのに、なぜ宮前区役所は60年と短縮してコスト計算するのか。移転した場合とコストは同じ	現時点の想定スケジュールでは、最終的に区役所が鷺沼駅周辺地区に移転を完了し、現区役所等施設・用地が新たな用途で活用可能となるまでには、約10年間の期間を要します。現区役所等施設は築47年を越えることとなりますが、建物の	D

(3) 立地特性の比較、施設設置パターンの検討・比較に関すること

No.	意見・質問要旨	本市の考え方	区分
	<p>と市民説得のためではないか。他の公共施設と同じ扱いをすれば、47年間の半世紀も使用できるわけだから、まさに税金の無駄使いである。こうした面を考慮し、現区役所を存続させ、鷺沼に支所を作ることを求める。 (同趣旨他 616件)</p>	<p>継続使用の有無も含め、活用のあり方について検討していきます。 また、コスト比較にあたって設定した算出期間については、かわさき資産マネジメントカルテで定める建築物の目標耐用年数である「60年」を適用したものです。</p>	
9	<p>説明会では鷺沼に建てられる新しい区役所の具体的な内容の説明が全くなかった。建物の大きさ、高さ、区役所が専有する面積などが全く呈示されなかった。そのような状態であるにもかかわらず、建物建設の予算の案を出してきたが、実際にその通りになるのか。</p>	<p>基本方針(案)でお示ししたコスト比較は、今回設定した各パターンの比較をするため、公的基準に基づき、一定の条件を仮定し、算出したものです。予算の案ではありません。区役所等が占有する面積は、現施設と同様のものとして算出しています。 実際の整備にあたっては、仕様を決定し、設計を行うなどして算出していくこととなります。</p>	D
10	<p>コスト比較の内容について ①現地建替えの場合、本体整備費 42億(区役所) ②鷺沼駅周辺の場合、本体整備費 78億(区役所) なぜにこのような大きな差が出るのか。 また同様に①と②の想定修繕費で比較すると ①年間 5,500万円、②年間 8,000万円 このように大幅コスト増となるのに移転する理由はあるのか。試算の根拠が疑われる表だと思う。</p>	<p>コスト比較については、今回設定した各パターンの比較をするため、公的基準に基づき、一定の条件を仮定し、算出したものです。 まず、本体整備費については、基本方針(案) P.64～65の「コスト試算の算定条件」とおり、①の現地建替えの場合は「幸区役所整備費」の単価である 478千円/㎡を、②の鷺沼駅周辺に移転する場合は「小杉駅南口地区西街区床取得単価」である 749千円/㎡に加え、「幸区役所内装工事費」の単価である 169千円/㎡を基準に設定しているため、御指摘のような差が発生しています。 また、想定修繕費については、「新施設の想定修繕費C」についての御指摘だと考えますが、これは①に関しては、保全期間が 29年間であるために大規模修繕に係る費用が含まれていない一方で、②については同費用が含まれているため、差異が生じています(①については、「現施設の仮修繕計画に基づく想定修繕費A」の方に同費用が含まれています。)</p>	D
11	<p>費用の比較も曖昧である。どちらが安いかという観点や費用対効果の提示は行政として必要だが、十分に検討されているとは思えない。グラフを見ると移転の方が高くなっており、さらに移転後の将来の建て替えは考慮されていない。移転による経済効果もあるのかもしれないが、そのような試算もしているのかは資料からはわからない。今の区役所に建て替えを行う緊急性は全くなく、築 30年程度では老朽化とは言えない。まだ十分に使用できる施設を放棄するのはもったいないし、そんなことをする自治体は他にあるのか。移転後は取り壊しになると思うが築 30年の建物(立派なホールもあるのに)を壊すのは本当にもったいない。</p>	<p>新施設の仕様や設計、更には現区役所等施設・用地の活用方針等が未定の段階では、実際の事業費に近い累計費用を算出することができません。そこで今回は、設定した各パターンの比較をすることを目的として、公的基準に基づいて一定の条件を仮定し、必要な経費を算出しました(すべてのパターンに共通する解体費、移転費(1回分)は算出していません。また、現区役所等用地について、他用途への活用可能性を資産価値として評価し、財産台帳価格を保有資産として考慮しています。) 算定期間については、かわさき資産マネジメントカルテで定める建築物の目標耐用年数である「60年」としています。この期間であれば、時期の前後はあっても、新規建替えや大規模修繕など、建物の整備・維持管理に必要な取組がそれぞれ同じ回数ずつ必要となり、比較条件として適しているためです。</p>	D
12	<p>費用面で現地建替えと移転とを比較するため、ある程度正確な数値を公表すべきである。 例えば、鷺沼周辺へ移転の場合、区役所等の</p>	<p>算定期間については、かわさき資産マネジメントカルテで定める建築物の目標耐用年数である「60年」としています。この期間であれば、時期の前後はあっても、新規建替えや大規模修繕など、建物の整備・維持管理に必要な取組がそれぞれ同じ回数ずつ必要となり、比較条件として適しているためです。</p>	D

No.	意見・質問要旨	本市の考え方	区分
	<p>移転費及び現区役所等の解体費及び解体後の整備費を含めた累計費用を算出し、2078年までに掛る総費用をそれぞれ市民へ提示してほしい。</p> <p>なお、現区役所等用地は売却しないと明言されているので、用地財産台帳価格は除くこと。</p> <p>これまでの比較資料では、総費用が不明確であり、結果あれもこれもと費用がかさみ、最終的に現在の想定額と大きくギャップがでることが予想され、移転方針の判断に大きな影響が出る可能性がある。</p> <p>大きな税金を掛けた事業であり、慎重に費用を算出し公表してほしい。</p>	<p>現時点の想定スケジュールでは、最終的に区役所が鷺沼駅周辺地区に移転を完了し、現区役所等施設・用地が新たな用途で活用可能となるまでには、約10年間の期間を要します。現区役所等施設は築47年を越えることとなりますが、移転後解体するという方針を定めているものではなく、解体の有無も含め、活用のあり方について検討していきます。</p>	
13	<p>コスト的に大差ないような見積もりだが、建設費が膨らんで倍という話はよくある。10年後の結果に責任を取れる人はいない。民間、行政の複合ビル弊害はこれから出てくることだろう。</p> <p>(同趣旨他1件)</p>	<p>コスト比較については、今回設定した各パターンの比較をするため、公的基準に基づき、一定の条件を仮定し、算出したものです。今後、新施設の仕様や設計、更には現区役所等施設・用地の活用方針等について検討を進め、より実際の事業費に近い累計費用を算出していきます。</p>	D
14	<p>コスト見積もりの結論が“コスト優位性がわからない”では何のために見積検討したのかわからない。決定に当たっては重要な案件なので、きちんと精査して予測してほしい。お金の検討なくして再開発はあり得ない、誰が金を出すのか知っていて、市民に訴えているのか？</p>	<p>今回は、設定した各パターンの比較をすることを目的として、公的基準に基づいて一定の条件を仮定し、必要な経費を算出しました(すべてのパターンに共通する解体費、移転費(1回分)は算出していません。また、現区役所等用地について、他用途への活用可能性を資産価値として評価し、財産台帳価格を保有資産として考慮しています。)</p>	D
15	<p>財政計画あまりにも未熟では。移転してもしなくとも区・市の政策として示して欲しい。</p>	<p>各パターンの累計費用は算出可能ですが、算出期間の設定によって大きく変わることから、端的に想定累計費用でコスト面での優位性を判断することは困難であるとなりました。</p>	D
16	<p>鷺沼に区役所等に移転した場合、建設費は示されていたが、宮前平の区役所の解体や建替えの費用については言及がなかった。</p> <p>これを考えると、鷺沼に移転することによって、さらに大きな費用がかかるものと考えられる。それなら、現庁舎を改築するなり、耐震工事を行うなどした方が、よほど費用がかからないと思う。</p>	<p>本市としては、区役所等は将来にわたって市民生活に必要な施設であり、維持・更新が必要であることから、時期の前後があっても所要のコストがかかるものと考えています。</p> <p>なお、現区役所等施設・用地については、移転後解体するという方針を定めているものではなく、解体の有無も含め、活用のあり方について検討していきます。</p>	D
17	<p>200億とか300億という大金を使って、まだ35年しか経っていない区役所、市民館を壊すとは何と無駄なことをするのか。鷺沼に必要ななら区役所の支所、図書館の分館を作ればよい。</p> <p>(同趣旨他21件)</p>		D
18	<p>想定される費用が意図的に矮小化されている。想定額より実際の額は相当高額となることが明白だ。</p>		D
19	<p>移転した時の予算額が出ているがまったく少な目に出ている。第三者が見積りをすればおそらく2倍以上はかかると思う</p>		D
20	<p>建て直してでなく耐震基準適合までの修理の費用を知りたい。</p>		D

(3) 立地特性の比較、施設設置パターンの検討・比較に関すること

No.	意見・質問要旨	本市の考え方	区分
21	東急と一部の住民に乗って後から費用が多くかかることはさげなければいけない。これからの費用を考え、やめてほしい	今回は、設定した各パターンの比較をすることを目的として、公的基準に基づいて一定の条件を仮定し、必要な経費を算出しました（すべてのパターンに共通する解体費、移転費（1回分）は算出していません。また、現区役所等用地について、他用途への活用可能性を資産価値として評価し、財産台帳価格を保有資産として考慮しています。）。 各パターンの累計費用は算出可能ですが、算出期間の設定によって大きく変わることから、端的に想定累計費用でコスト面での優位性を判断することは困難であるとなりました。	D
22	市民、区民は「190～200億の買い物」をする時に、現在の「さぎぬまプロジェクト（案）」のような資料で納得ができているのか。市民、区民をバカにしていると思えない。	本市としては、区役所等は将来にわたって市民生活に必要な施設であり、維持・更新が必要であることから、時期の前後があっても所要のコストがかかるものと考えています。	D
23	宮前区に125億から200億の税金をつぎ込むことは、その正当性がない。麻生区の区民館はまだまだ使える。同時にできたのに、宮前区だけ移転するのはおかしい。市と町会のエゴだ。	なお、現区役所等施設・用地については、移転後解体するという方針を定めているものではなく、解体の有無も含め、活用のあり方について検討していきます。	D
24	市民説明会中で「移転に伴う市の財政負担はどのくらいか」という参加者の質問に対し、「現段階では答えられない、はっきりしていない」との市の返答には驚いた。税金がどれくらい使われるのかわからないのに、市役所等の移転の方針を打ち出したということか？このまま計画が進められ、市の財政負担が予想以上にふくれ上がっても方針は変わらないのか。あまりにも無謀ではないか。	御指摘の費用は、鷺沼駅周辺に移転する場合の「新施設の想定整備費」ですが、移転せずに長寿命化して現地で建替える場合は、約117億円の費用を要することになります。今回のコスト比較では、この「新施設の想定整備費」に「想定修繕費」を加えた累計費用を算出しました。	D
25	移転費用が132億円と記載されているが、それだけの高額なコストをかけてメリットが宮前区民にあるとは思えない。（跡地の有効活用が決まっていて、その効果が期待できるならまだ理解できるが）132億円は区民含め神奈川県民の税金から拠出されるなら県民として神奈川県に税金を納める気がなくなる。今までふるさと納税はしていなかったが、今後考え直す人が増えると思うし、それが神奈川県知事、宮前区長の選挙にも明確に影響が出ると思う。	区役所・市民館・図書館は、将来にわたって市民生活に必要な施設であることから、時期の前後はあっても、いずれ所要のコストがかかるものと考えています。	D
26	移転費用の点も考えるとより一層強く移転する事に反対。野川有馬地区の方々には区役所まで一本で行ける交通手段を考えてほしい。この費用に充ててほしい。		D
27	現在の区役所等は老朽化が進み、その保全に多大な費用も予定されていることだろうが、新築とは比べようがない。古い建物も、工夫と市職員の気配りと区民の理解で、文化、生活の年輪を重ね価値ある物になると思う。		D
28	移転に「125億」という数字があるが以前の説明会では試算の根拠がなかった。この数字はどこから？また費用の原資はどこからくるのか？	「移転で使う125億円」という御指摘の費用は、今回の基本方針（案）ではなく、中間報告まちづくりフォーラムの際にお示しした鷺沼駅周辺に移転する場合の「新施設の想定整備費」だと考えられますが、この金額は、設定した各パターンの比較を行うため、公的基準に基づき、一定の条件を仮定して算出したものです。 この金額は実際の事業費とは異なりますが、財源としては、再開発に伴い市民館・図書館を整備	D

No.	意見・質問要旨	本市の考え方	区分
		する場合に通常見込まれる国庫補助金を考慮するとともに、事業費平準化のための市債の活用などが想定されるところです。	
29	超高層ビルでは管理費や修繕費 大規模修繕費積立金が嵩み財政を圧迫する (同趣旨他 297 件)	管理費や修繕費、大規模修繕積立金については、市の単独施設もしくは民間との複合施設のどちらにも必要な経費で、御指摘のとおり、複合施設の方が高額になる可能性はありますが、公共施設と民間施設の連携による相乗効果が見込まれることから、単独施設では得られない効果を活用し、新たな賑わいや交流の促進を目指してまいります。	D
30	現区役所は川崎市所有の土地だが、高層ビルに間借りした場合の賃料・管理費・手数料等ランニングコストが示されていない。 (同趣旨他 1 件)	なお、コスト比較では、保留床取得（土地に関する権利を含む）を仮定しており、賃料の発生は想定していません。	D
31	今回の移転計画案は全て東急が儲かるようになっていて 市民館、区役所、図書館が移転すれば高額な家賃収入がある	管理費や修繕費、大規模修繕積立金については、市の単独施設もしくは民間との複合施設のどちらにも必要な経費ですが、御指摘のとおり、複合施設の方が高額になる可能性はあります。また、コスト比較では、保留床取得（土地に関する権利を含む）を仮定しており、賃料の発生は想定していません。	D
32	コスト面については分かりづらさを感じており、整備コストでの比較がされているが、賃貸料がいくらになるのかが不明であり、正しい比較ができているとは受け取ることができない。 高立地な場所に移転するので、自己所有地よりもコストがかかることは理解しているので、その負担が適正と思える額であるのか、判断の材料を提示していただきたい。	今後、新施設の仕様や設計、更には現区役所等施設・用地の活用方針等について検討を進め、より実際の事業費に近い累計費用を算出してまいります。	D
33	施設の賃貸費も高額だろうと思われる。バスルートの変更や移転費用、施設賃貸料をいまの区役所を売却することなく維持していくことが可能なのか？	現区役所等施設・用地については、本市の貴重な財産であることから、市による保有を原則として今後の活用のあり方について検討していくなど、基本方針に基づく今後の取組については、中長期的な財政状況を見通しながら、宮前区のより良いまちづくりに向けた取組を着実に推進してまいります。 なお、コスト比較では、保留床取得（土地に関する権利を含む）を仮定しており、賃料の発生は想定していません。	D
34	これでは川崎市が東急の手玉に取られ、いいように遣られる。超高層ビルに区役所・市民館・図書館を丸ごと移転することは東急に宮前区を売るのと殆ど同義になり、区財政圧迫の要因と化すだろう。後でそれに気付いても抜け出る方法はない。(再移転しようにもそのスペースでは引き受け手を見つけれないから)	今後の取組につきましては、準備組合とも連携を図りながら、再開発によって交通結節機能をはじめ、都市としての機能が向上する鷺沼駅周辺に、宮前区役所・市民館・図書館を鷺沼駅前に移転・整備し、宮前区全体の活性化を促す「核」としての地域生活拠点の形成を図ってまいります。	D
35	継続と移転の比較として、鷺沼に集中することで起きるデメリットは検証されたのか？生活者にとって移転による日常のメリットがあるとは思えない。移転しても完全なバリアフリー及びその他の施設が完全になることはない。行政職員にとっての効果はある。コストの比較程度の差ならこの移転計画は無駄としか言えない。	現在の区役所等施設の継続利用と移転の比較については、「立地特性の比較」として、現区役所等施設のある宮前平周辺と鷺沼駅周辺の立地特性の比較を、アクセス性、防災性、周辺の土地利用の視点で比較・評価を行いました。また、「施設設置パターンの検討と比較」として、3 パターンを設定した上で、建物の維持管理・運営面やコスト面について比較・評価を行ったものです。	D

(3) 立地特性の比較、施設設置パターンの検討・比較に関すること

No.	意見・質問要旨	本市の考え方	区分
		<p>なお、区役所職員の通勤・職場環境の改善を目的として、区役所等の移転・整備に関する検討を行うことはありません。</p>	
36	<p>区役所移転に反対。区役所、警察署、消防署が一カ所にある現場所が将来懸念される大災害に備えてベスト。 区役所を消防署、警察署と離すと連携を欠き、司令塔としての機能を十分に果たさない。 (同趣旨他 45 件)</p>	<p>災害発生時には、市・区災害対策本部、消防署、警察をはじめ、道路公園センター、神奈川県、国、消防団などの区民、そして各避難所など、各機関が相互に連携しながらも、地域防災計画や各機関の本部の方針に基づき、組織ごとの指揮系統により、自律的に災害対策を実施できるよう日頃から訓練等を行っています。</p>	D
37	<p>区役所、消防署、警察署、市民館が一つの場所にそろっているのに離らす必要がない。防災面、利便性にも優れている。 (同趣旨他 35 件)</p>	<p>各機関の立地の遠近にかかわらず、更なる機動性・即応性を確保していくため、防災行政無線など情報通信手段の確保や、防災訓練等を通じて、効率的・効果的な災害時の協力連携体制の一層の強化を図り、災害に対応していきます。</p>	D
38	<p>私企業の開発案件に、賃料を払ってまで公共施設を、しかも防災拠点となる区役所を、警察、消防と離して移転するという事は、将来の宮前区の発展を見据えた案ではないと思う。</p>	<p>今後の少子高齢社会を見据え、駅周辺に公共機能を集約していく、コンパクトなまちづくりが重要と考えています。</p>	D
39	<p>現在の区役所を消防署、警察署とわざわざ離す必要など全くない。なぜ、区役所を鷺沼に移す、しかも民間のタワービルの中に入れる必要があるのか、全く理解できない。 鷺沼駅前のタワービルに入居して、区役所が大災害時に司令塔として機能し、出動できると本当に思うのか？</p>	<p>今後、区役所は福祉や介護などの相談機能が一層重要になってくる中で、障がい者、高齢者、子育て家族、外国人など多様な方がアクセスしやすい立地にあることは重要です。</p> <p>また、再開発により建物・設備が更新されることにより、現区役所等施設では、構造的に対応が難しいバリアフリー対応や、耐震性・機能性の更なる向上が図られることとなります。</p>	D
40	<p>なぜ、3 施設を移転しなければならないのか、不明。 どうして現在、警察署、消防署と隣接していて防災時の対応にも望ましい環境にある区役所等を市当局は区民の意見を十分に聞かずに移転しようとするのか、明確に答えてほしい。 このまま基本案を決定して、市当局に新たなリスクを区内に持ち込むことに断固反対する。</p>	<p>市民館・図書館については、民間事業者との連携による相乗効果が期待でき、区民の利便性や効用を一層高めるチャンスとなります。</p> <p>駅周辺に公共機能を集約し、需要が高まることで、バスネットワークも充実しやすくなると考えています。</p> <p>一方で、災害に強いまちづくりを進めることは重要な施策であると認識しております。</p>	D
41	<p>防災のことを真剣に考えるのなら、移転すべきではない。あまりに無責任な計画だ。</p>	<p>災害発生時には、市・区災害対策本部、消防署、警察をはじめ、道路公園センター、神奈川県、国、消防団などの区民、そして各避難所など、各機関が相互に連携しながらも、地域防災計画や各機関の本部の方針に基づき、組織ごとの指揮系統により、自律的に災害対策を実施できるよう日頃から訓練等を行っています。</p>	D
42	<p>区役所移転反対。警察、消防、区役所が並んでる現場所が理想の形、なぜくずすのか。 前面の道路も広い。鷺沼駅は今でも道路の混雑がひどい。 災害が起った時は身動きとれず、災害対処の拠点になり得ない。街づくりの基本はまず安全な場所で区役所はその中心であるべき。</p>	<p>また、災害時の交通混雑の応急対策として、地域防災計画に基づき、緊急活動道路等の機能復元や放置車両等の車両移動等の交通対策に加え、帰宅困難者一時滞在施設の開設など、混乱防止及び帰宅困難者対策等に取り組むこととしています。</p>	D
43	<p>鷺沼駅周辺に移転しなければならない大きな理由がはっきり解らない。今より以上に混雑して災害時にはどうするのか。</p>	<p>今後も、各機関の立地の遠近にかかわらず、更なる機動性・即応性を確保していくため、防災行政無線など情報通信手段の確保や、防災訓練等を通じて、効率的・効果的な災害時の協力連携体制の一層の強化を図り、災害に対応していくとともに、必要な災害対策本部機能が果たせるよう、的確な対応を図ってまいります。</p>	D

No.	意見・質問要旨	本市の考え方	区分
44	<p>以前、区長が驚沼であろうと現在の区役所の位置でも災害が起こった際の指示（連絡）には支障がないとの発言があった。上記の通信方法は？東日本の震災において電話はほぼ不通状態におちいった。であれば、役所、警察、消防が固まっている利点をわざわざ崩す必要性を感じられない。</p>	<p>緊急時の通信手段として区役所には防災行政無線が設置されています。通常の電話回線やインターネットが不通になった場合、こうした設備を活用して関係機関との連絡調整を行います。</p> <p>また、通常の通信手段の迅速な復旧も重要となります。</p> <p>今後も、更なる機動性・即応性を確保していくため、防災行政無線など情報通信手段の確保や、防災訓練等を通じて、効率的・効果的な災害時の情報収集体制の一層の強化を図り、災害に対応していきます。</p>	D
45	<p>警察署、消防署と区役所が近隣にあることで、災害時の対応など素早くできるのではと期待をしていたが、非常時はどのように対応するつもりか。尻手黒川を渡らなければ警察署と消防署にたどり着けない。尻手黒川に何かあったらどうするのか。土橋交差点は大雨のとき洪水している。土砂災害危険もある。渡れず、電話も電気も使えないとき、職員は歩いて走って山を上り下りして対応するつもりか。 (同趣旨他 1 件)</p>	<p>災害対策に当たっては、国、地方公共団体及びその他の公共機関それぞれが、適切に役割分担し、それぞれが実施主体として、必要な体制を確立し、責任の所在を明確にすることとしています。</p> <p>また、災害対策基本法には、防災計画の作成等、災害対策の基本を定めることにより、総合的かつ計画的な防災行政の整備及び推進を図ることやそれぞれの実施主体は相互に連携協力を確保することなど、行政の責務が明記されており、その実効性の確保に向けて、防災訓練を実施し、毎年、地域防災計画の見直しを行うなど防災行政の推進を図っているところです。</p> <p>災害発生時には、市・区災害対策本部、消防署、警察をはじめ、道路公園センター、神奈川県、国、消防団などの区民、そして各避難所など、各機関が相互に連携しながらも、地域防災計画や各機関の本部の方針に基づき、組織ごとの指揮系統により、自律的に災害対策を実施できるよう日頃から訓練等を行っています。</p> <p>今後も、各機関の立地の遠近にかかわらず、更なる機動性・即応性を確保していくため、防災行政無線など情報通信手段の確保や、防災訓練等を通じて、効率的・効果的な災害時の協力連携体制の一層の強化を図り、災害に対応していきます。</p>	D
46	<p>防災の2拠点体制の意味がわからない。</p> <p>広報では区役所が驚沼周辺に移転する場合、驚沼（区役所）、宮前平（消防署・警察署）の2拠点体制として被災リスクを分散させることが可能とある。</p> <p>震度6以上を想定すると、災害時に区役所は指令塔の役割で、最初に、交通網の掌握（電車・道路）が必要。特に道路公園センターからの報告によって、時々刻々と変わる変化を掌握し、警察、消防、道路公園センターの連携で障害を取り除き、火災、建物崩壊、人命救助に努めなければならない。歩いて数分のところに防災機能が集中すること、特にすぐ指令がだせる中心に区役所があることが重要。2拠点は2つに機能が分散し、命令、指示が錯綜するおそれがあり大災害時の初動には対応できない。 (同趣旨他 480 件)</p>	<p>災害対策に当たっては、国、地方公共団体及びその他の公共機関それぞれが、適切に役割分担し、それぞれが実施主体として、必要な体制を確立し、責任の所在を明確にすることとしています。</p> <p>区役所が、すべての機関の司令塔の役割を果たすわけではありませんが、警察署や消防署と隣接していることは現区役所等施設に優位性があることは、基本方針（案）でお示ししたとおりです。</p> <p>2拠点体制の考え方は、機能を分散するのではなく、適切な役割分担を行うとともに、様々な状況を想定して、相互補完による柔軟な対応可能性をお示ししたものです。</p> <p>また、災害対策基本法には、防災計画の作成等、災害対策の基本を定めることにより、総合的かつ計画的な防災行政の整備及び推進を図ることやそれぞれの実施主体は相互に連携協力を確保す</p>	D

(3) 立地特性の比較、施設設置パターンの検討・比較に関すること

No.	意見・質問要旨	本市の考え方	区分
47	<p>「リスク分散論」のまやかしである。</p> <p>現在の宮前平地区が防災面で優位とされる一番の理由は区役所・消防署・警察署が隣接しており、緊急時の人命救助などの機動的対応に大きな利点となる点である。</p> <p>しかし、基本方針（案）では、現在地の消防署・警察署と鷺沼の区役所の2拠点であればリスクが分散できるからいいという「リスク分散論」を新たに持ち出している。</p> <p>防災という大事な問題が、どちらでもいいようないい加減な扱いになっている。「区役所を鷺沼移転したら消防署・警察署と離れるという問題があるけれども、それを補うためにこんな方策を取ります」とでも言った方がまだ誠意を感じる。</p> <p>(同趣旨他 458 件)</p>	<p>ることなど、行政の責務が明記されており、その実効性の確保に向けて、防災訓練を実施し、毎年、地域防災計画の見直しを行うなど防災行政の推進を図っているところです。</p> <p>移転後、防災行政機関の運営・運用の検証など、より一層の連携確保に向けた取組を行っていきます。</p>	D
48	<p>区役所の移転理由として、市当局は<リスク分散論>という案を急ぎょ捏ね上げ、2/9～10の説明会で<はじめて公表>した。—現在の地から区役所を鷺沼に移し、消防署+警察署を各々拠点とすれば2拠点となり、リスク分散がはかれるというものである。全く詭弁としか言いようがない。当の市当局は本気でこのような机上案が非常時に機能すると考えているのか。</p>		D
49	<p>色々と1年間調査や議論を重ねられた結果が資料としてまとめられているのだと思うが、論理的な結論であるのかどうかという点では疑問が残る。最初から移転ありきで論を進めているからこそのおかしさであるのではないか。</p> <p>地盤や防災についての観点では既存の区役所の方が優位性があるように思う。</p> <p>しかし、リダンダンシーという言葉を用いることによって、それまで宮前平と鷺沼で比較していた論理展開を、どちらかが正解というのではなく2つを両立させることが正解としている。論点のすり替えに加え、一般性の低い言葉で目くらましを図っているのではないか。</p>	<p>「地形・地質」については、両立地とも留意すべき点があり、基礎構造への配慮が必要となりますが、杭基礎構造にすることで建物への影響は生じないと考えています。</p> <p>災害時の、宮前区内の第一次緊急輸送道路（尻手黒川線・国道246号線）からのアクセスについては、両区域で大きな差異はみられません。駅前においては、災害時の交通混雑が懸念されるため、災害時のアクセスについては、宮前平に優位性が見られますが、災害時の交通混雑の応急対策として、地域防災計画に基づき、緊急活動道路等の機能復元や放置車両等の車両移動等の交通対策に加え、帰宅困難者一時滞在施設の開設など、混乱防止及び帰宅困難者対策等に取り組むこととしています。</p>	D
50	<p>鷺沼駅周辺は、土砂災害警戒区域に指定されている。防災上、区役所、警察署、消防署が隣接している、現在地が最も理想的である。</p>	<p>土砂災害警戒区域とは、崖崩れが発生した場合に生命または身体に危害が生ずるおそれがある区域として、土砂災害防止法に基づき、崖地の角度や高さにより一律に指定される区域であり、崖の崩れやすさなどを表すものではありません。</p>	D
51	<p>建設予定の土地には土砂災害危険区域も含まれており、地震が近い将来予測されている今、規模の大きな建物は建設すべきでない。</p> <p>災害時は鉄道及び道路も遮断され、鷺沼だけの問題でなく、隣の横浜市にも多大な影響を及ぼすに違いない。</p> <p>建設地の安全性を精査し、市民に十分な説明をし、納得が得られてからの計画にすべき。</p> <p>(同趣旨他 3 件)</p>	<p>再開発における複合施設を建設する際には、地質調査の結果に応じた杭基礎構造による頑強な地盤（支持層）への支持を行うなど、地形に配慮した上で鷺沼へ移転後も、必要な災害対策本部機能も含め区役所の役割を果たせるよう、的確な対応を図ってまいります。</p> <p>また、災害発生時には、市・区災害対策本部、</p>	D

No.	意見・質問要旨	本市の考え方	区分
52	区役所移転反対。狭い鷺沼駅前に、土砂災害計画区域に高層ビル 2 棟つめすぎ。いかに現代建築で深く杭を打ち込もうと、元沼地、脇は線路で切り落ちてるところ。頑丈な土地とは思われない。その分費用もかさむだろうし、建築費も高くつく。	消防署、警察をはじめ、道路公園センター、神奈川県、国、消防団などの区民、そして各避難所など、各機関が相互に連携しながらも、地域防災計画や各機関の本部の方針に基づき、組織ごとの指揮系統により、自律的に災害対策を実施できるよう日頃から訓練等を行っています。	D
53	市長は鷺沼駅改札口から駅前広場をながめたことがあるか。また改札口から左方向に歩き市のハザードマップに抵触する古い橋を渡り反対側の方から鷺沼駅ホームとその辺りの地形をじっくりご覧になっていただきたい。素人の私でも本当に大丈夫なのかと不安に思った。	今後も、各機関の立地の遠近にかかわらず、更なる機動性・即応性を確保していくため、防災行政無線など情報通信手段の確保や、防災訓練等を通じて、効率的・効果的な災害時の協力連携体制の一層の強化を図り、災害に対応していきます。	D
54	ハザードマップに係っている場所に作る理由が分からない。 駅前を便利にすることはできるかもしれないがその分、人や車等の数も増えるので安全面の確保は？ (同趣旨他 1 件)	土砂災害警戒区域とは、崖崩れが発生した場合に生命または身体に危害が生ずるおそれがある区域として、土砂災害防止法に基づき、崖地の角度や高さにより一律に指定される区域であり、崖の崩れやすさなどを表すものではありません。 再開発における複合施設を建設する際には、地質調査の結果に応じた杭基礎構造による頑強な地盤（支持層）への支持を行うなど、地形に配慮した上で鷺沼へ移転後も、必要な災害対策本部機能も含め区役所の役割を果たせるよう、的確な対応を図ってまいります。 また、交通広場の拡充とともに、駅前の安全対策にも的確に取り組んでいきます。	D
55	田園都市線の通る鷺沼の陸きょうはハザードマップにずっとのっているところなので、大地震の際は必ず、ほう落する。こんな危険な場所に市の 3 施設を移転するのは、常識的に考えられない暴挙だ。	御指摘の鷺沼橋については、平成 15（2003）年に耐震対策を実施済みです。 引き続き、災害に強いまちづくりに取り組んでまいります。	D
56	鷺沼駅周辺は、ハザードマップにかかっており、大地震の際は液状化の恐れもあり危険な地域である。 その時には、区役所から緊急車両も出入りが出来ず、大混乱が起きると想定される。 区役所が防災本部としての機能が発揮できず、災害の復帰が遅れる恐れもある。 このような地域へ区役所を移転するなど、防災都市を目指す市は、何を考えているのか。 (同趣旨他 53 件)	土砂災害警戒区域とは、崖崩れが発生した場合に生命または身体に危害が生ずるおそれがある区域として、土砂災害防止法に基づき、崖地の角度や高さにより一律に指定される区域であり、崖の崩れやすさなどを表すものではありません。 また、大規模盛土造成地の分布図は、一定の規模以上の盛土が行われている造成地を一律に抽出したもので、盛土の危険性を表したものではありません。 なお、本地域は、液状化危険度分布の対象外地域となっています。	D
57	鷺沼駅周辺の移転予定地は、ハザードマップにかかっており、しかも鷺沼駅付近は深い谷を埋めているため、盛り土をしている。大地震の際などは、液状化の恐れがある危険な地域に、区の 3 施設をなぜ移転をするのか。 南海トラフ地震の発生率は今後 30 年以内に 70%~80%（NHK スペシャル）であり、駅周辺への道路は液状化で寸断され、市の公用車は建物から出ることすら不可能である。 区役所は消防署、警察署と離れてしまい、連	再開発における複合施設を建設する際には、地質調査の結果に応じた杭基礎構造による頑強な地盤（支持層）への支持を行うなど、地形に配慮した上で、鷺沼へ移転後も必要な災害対策本部機能も含め区役所の役割を果たせるよう、適確な対応を図ってまいります。 また、災害発生時には、市・区災害対策本部、消防署、警察をはじめ、道路公園センター、神奈川県、国、消防団などの区民、そして各避難所など、各機関が相互に連携しながらも、地域防災計	D

(3) 立地特性の比較、施設設置パターンの検討・比較に関すること

No.	意見・質問要旨	本市の考え方	区分
	<p>携を欠き、司令塔としての機能を失う。実際に東日本大震災時には警察のインフラが止まり、区役所の水を使用した事実がある。 (同趣旨他 176 件)</p>	<p>画や各機関の本部の方針に基づき、組織ごとの指揮系統により、自律的に災害対策を実施できるよう日頃から訓練等を行っています。 今後も、各機関の立地の遠近にかかわらず、更なる機動性・即応性を確保していくため、防災行政無線など情報通信手段の確保や、防災訓練等を通じて、効率的・効果的な災害時の協力連携体制の一層の強化を図り、災害に対応していきます。</p>	
58	<p>公共施設をハザードマップに指定されている場所に近接して建設するなどは、次の理由から行政としては、してはならない。(特に人が集まるホール、災害対策本部となる区役所など) 1) 国連の持続可能な開発目標の 11. 住み続けられるまちづくりの指針に反する。特に地方自治体が取るべき責務は、3.11 東日本大震災および昨年西日本豪雨災害の例から明らかである。すなわちレジリエンス強化(防災、減災、国土強靱化)の観点から公共施設を建設するなどは、断層のある場所に原発を建設するのと同じことである。 2) 説明会で説明されたような、何メートル掘ったら大丈夫という問題ではない。 3) 対策指令場所を分散させるというものでもない。 4) つまり、ハザードマップを考慮した都市計画そのものの見直しが求められているのです。また、フォーラムで説明されたような、ハザードマップに指定されているからと言って問題ではないというものではない。 5) また、鷺沼から現区役所を含む宮前区全体への車両によるアクセスは、尻手黒川線の土橋交差点ともう一つは、旧鷺沼プール(鷺沼ふれあい広場)の横を通る狭い道しかない。緊急時のアクセシビリティに問題がある。緊急時には、鷺沼へもアクセスできず、鷺沼からも宮前区全体にアクセスできないおそれがある。</p>	<p>土砂災害警戒区域は、土砂災害の注意が必要な区域を周知し、大雨や台風などによる土砂災害への警戒が必要な時には、安全を確保していただくことなどを目的に定められており、土砂災害警戒区域に指定されることが直接、がけ崩れの危険性を示しているということではありません。 再開発における複合施設を建設する際には、地質調査の結果に応じた杭基礎構造による頑強な地盤(支持層)への支持を行うなど、地形に配慮した上で、必要な災害対策本部機能も含め区役所の役割を果たせるよう、的確な対応を図ってまいります。 また、災害発生時には、市・区災害対策本部、消防署、警察をはじめ、道路公園センター、神奈川県、国、消防団などの区民、そして各避難所など、各機関が相互に連携しながらも、地域防災計画や各機関の本部の方針に基づき、組織ごとの指揮系統により、自律的に災害対策を実施できるよう日頃から訓練等を行っています。 今後も、各機関の立地の遠近にかかわらず、更なる機動性・即応性を確保していくため、防災行政無線など情報通信手段の確保や、防災訓練等を通じて、効率的・効果的な災害時の協力連携体制の一層の強化を図り、災害に対応していきます。 災害時のアクセスについては、宮前区内の第一次緊急輸送道路(尻手黒川線・国道 246 号線)からのアクセスについては、両区域で大きな差異はみられません。 また、地域防災計画では、緊急活動道路等の機能復元を位置付けており、災害時の被害状況に応じた的確に対応していきます。</p>	D
59	<p>防災対策・コスト面を配慮した場合、現区役所は今の場所に置くことが適切である。鷺沼駅周辺の一部は大規模盛土造成地であり、土砂災害警戒区域に指定されている。 沢地に 14メートルの盛土をし、17メートル位までが軟弱地盤であり、大地震の際は崩落する危険がある。崩落の際は線路が埋まり、橋が壊れ、しかも道路は 1 本のため、大災害の時の対応は困難である。現宮前区役所から東名に通じる道路も盛土造成地だというのが、山を切り土したものであり、沢地の埋め立てより、強固な地盤を有している。 (同趣旨他 616 件)</p>	<p>再開発における複合施設を建設する際には、地質調査の結果に応じた杭基礎構造による頑強な地盤(支持層)への支持を行うなど、地形に配慮した上で鷺沼へ移転後も、必要な災害対策本部機能も含め区役所の役割を果たせるよう、的確な対応を図ってまいります。</p>	D

No.	意見・質問要旨	本市の考え方	区分
60	移転予定地は地盤に不安があり危険である。 (同趣旨他 4 件)		D
61	沼であった場所の地盤の脆弱性と今後起こりうる災害時への対策として、地盤（活断層の有無、沼地の土壌含めて）の調査内容、そこに耐震を確実なものとするための建築方法、対策、設計図、主となる責任の所在などについて、住民に対して明らかな説明がなされない限り、危険な政策であるとしかいいようがない。 (同趣旨他 1 件)		D
62	区役所移転予定地区（北街区）のような危険な地形に公設物件を建設することには、絶対反対である。		D
63	鷺沼はその地名の由来からもわかるようにもともと地盤が緩いところ。そこに緊急時の防災拠点となる区役所を移転し、かつ渋滞等でいざという時の交通がマヒする可能性を考慮すると、防災拠点という点では非常に問題があり、非常時の対応をどう考えているのか？日々の通勤を楽にしたいという区役所勤務の公務員の方の意見があるのかもしれないが、区役所機能というのは防災を考慮していざという時に十分にその役割を果たすことをもっと重視すべきではないか？	再開発における複合施設を建設する際には、地質調査の結果に応じた杭基礎構造による頑強な地盤（支持層）への支持を行うなど、地形に配慮した上で鷺沼へ移転後も、必要な災害対策本部機能も含め区役所の役割を果たせるよう、的確な対応を図ってまいります。 また、地域防災計画では、災害時の交通混雑の応急対策として、緊急活動道路等の機能復元や放置車両等の車両移動等の交通対策に加え、帰宅困難者一時滞在施設の開設など、混乱防止及び帰宅困難者対策等に取り組むこととしています。	D
64	鷺沼地域は沼地を埋めて盛土をして造成されたとのこと。このような土地に区役所等公共施設(大規模なもの)を移転する計画の是非について討議、検討が十分されていない時点での決定には賛成できない。	大規模盛土造成地の分布図は、一定の規模以上の盛土が行われている造成地を一律に抽出したもので、盛土の危険性を表したものではありません。 再開発における複合施設を建設する際には、地質調査の結果に応じた杭基礎構造による頑強な地盤（支持層）への支持を行うなど、地形に配慮した上で鷺沼へ移転後も、必要な災害対策本部機能も含め区役所の役割を果たせるよう、的確な対応を図ってまいります。	D
65	埋め立てられた不安定な鷺沼駅前へのタワービル？跡地利用計画は？等々、疑問不安だらけの基本案は全く理解できない。 第一に区民が納得安心して生活出来る環境整備事業案を提示してほしい。	今後の少子高齢社会を見据え、駅周辺に公共機能を集約していく、コンパクトなまちづくりが重要と考えています。 今後、区役所は福祉や介護などの相談機能が一層重要になってくる中で、障がい者、高齢者、子育て家族、外国人など多様な方がアクセスしやすい立地にあることは重要です。 また、再開発により建物・設備が更新されることにより、現区役所等施設では、構造的に対応が難しいバリアフリー対応や、耐震性・機能性の更なる向上が図られることとなります。 市民館・図書館については、民間事業者との連携による相乗効果が期待でき、区民の利便性や効用を一層高めるチャンスとなります。 駅周辺に公共機能を集約し、需要が高まることで、バスネットワークも充実しやすくなると考えています。	D

(3) 立地特性の比較、施設設置パターンの検討・比較に関すること

No.	意見・質問要旨	本市の考え方	区分
		<p>一方で、災害に強いまちづくりを進めることは重要な施策であると認識しております。再開発における複合施設を建設する際には、地質調査の結果に応じた杭基礎構造による頑強な地盤（支持層）への支持を行うなど、地形に配慮した上で鷺沼へ移転後も、必要な災害対策本部機能も含め区役所の役割を果たせるよう、的確な対応を図ってまいります。</p> <p>また、現区役所等施設・用地については、平成34（2022）年度を目途に、当施設・用地活用の基本的な考え方を定める「（仮称）宮前区役所等施設・用地の活用に関する基本方針」の策定に向けた取組を進めていきます。取組に当たっては、段階的な検討ステップを踏み、地域課題や行政需要、地域ニーズ等との調和を勘案しながら、市民参加手法の導入や必要に応じて民間事業者のノウハウの活用等を行い、検討を深めていきます。鷺沼駅周辺再編整備及び路線バスネットワークの充実とともに、現区役所等施設・用地の活用検討、更には向丘出張所の機能検討を含め、より良い宮前区のミライに繋がる取組を推進してまいります。</p>	
66	<p>鷺沼駅周辺は大規模盛土造成になっている。田園都市線（旧・沢地）とその壁面、現広場と銀行側が盛土である。建物は岩盤まで杭をうったため、おそらく震度7でも大丈夫だろうが、道路、線路壁面の盛土法面は震度6ぐらいでも崩壊または円弧滑りを起こす可能性が大きい。</p> <p>それにくらべて、現宮前区役所は交差点付近の盛土法面は、平面で盛土法面ではない。</p> <p>盛土法面は、盛土が崩壊しないようにするため斜面長、高さに対する安定勾配で決めていま建物の安全は基本方針でのべているが、道路や広場の盛土にはふれていない。なんの対策もしなければ、大震災で鷺沼駅一帯が円弧滑りで崩壊する危険があり、交通は遮断され、公共機能は停止する。</p> <p>（同趣旨他6件）</p>	<p>「地形・地質」については、両立地とも留意すべき点があり、基礎構造への配慮が必要となりますが、御指摘のとおり、杭基礎構造にすることで建物への影響は生じないと考えられます。</p> <p>盛土の力が地震時に作用する方向については、当該地の造成前の地盤の谷筋方向に滑ろうとする力とは別に、線路方向の構造物にも土圧が生じますが、この擁壁等は鉄道事業者が鉄道施設としての設計基準に基づき、周辺地形を踏まえ築造されていますので、線路方向の土圧に対しても安定性が確保されているものと考えております。引き続き、道路やライフラインの安全対策につきましては、地域防災計画等に基づき、各施設管理者による適切な対応を図ってまいります。</p> <p>また、災害時の、宮前区内の第一次緊急輸送道路（尻手黒川線・国道246号線）からのアクセスについては、両区域で大きな差異はみられません。また、地域防災計画では、緊急活動道路等の機能復元を位置付けており、災害時の被害状況に応じた的確に対応していきます。</p>	D
67	<p>地震等の対策・評価が不十分である。</p> <p>評価では両地域とも△としているが、これは意図的に現状を歪めたものである。</p> <p>鷺沼の跨線橋周辺は地山と盛土を含めた軟弱地盤が17m程あり、なおかつ盛土法面となっている。地震時には盛土法面は崩壊または円弧滑りを起こす可能性が大である。</p> <p>鷺沼駅周辺の道路については、地盤改良を行わないと線路へ向かって土砂崩れが起きる可能性が大である。</p> <p>一方現区役所交差点付近の盛土部は法面となっていない。地盤の変形はあっても崩壊することはありえない。同一の評価をすることはとても専門家が評価したとは考えられない。</p> <p>現区役所から尻手黒川線にアクセスする道路の一部と鷺沼駅周辺の法面について土砂災害区</p>	<p>今後、計画の具体化に合わせて、防災面での検討も深め、更なる機動性・即応性の確保に向けて、引き続き、災害に強いまちづくりに取り組んでいきます。</p>	D

No.	意見・質問要旨	本市の考え方	区分
	<p>域としているが、尻手黒川線へアクセスする道路の法面は切土法面で、鷺沼駅周辺の法面は盛土法面です。地震時の安定では切土法面が安定している。</p> <p>地形・地質の評価として現区役所が△であれば鷺沼駅周辺は×である。</p> <p>建物への影響は生じないと想定、としているが、建物は残っても周辺のアクセス道路が通行不能となれば、地震時の災害拠点の立地条件には適合しない。</p> <p>「国交省の災害拠点建築物の立地の選定、配置及び規模等」によれば、拠点機能の継続のため、できるだけ周辺のライフラインや災害拠点建築物へのアクセスに障害等が発生しない立地とする。このガイドラインとの整合は取れているのか？ (同趣旨他 462 件)</p>		
68	<p>〈地形・地質に関する比較表〉に地下水位の比較データがある。「ガイドマップかわさき」の「地質図集」の掲載データを引用されている様だが、宮前平の地下水位 -1.7mは、ID: 28-03165 (No. 55-32 と同じ) のデータで、鷺沼駅の地下水位 -6.7m は、駅前交叉点のデータである。</p> <p>しかし、地下水位は、地図上の調査地点を幾つか参照すればすぐに解るとおり、ほんの数メートルしか離れていない場所でも非常に大きく変動している。</p> <p>例えば、宮前平の No. 55-33～No. 55-38 の柱状図を見れば、付近で地下水位が-10m より深い地点も複数ある。地下水位の深さは地盤の盤石さの尺度の 1 つだが、このような「移転推進派に都合のよいデータ」だけをピンポイントで取り上げて、鷺沼付近がいかにも宮前平よりも盤石であるかの様に「印象操作」するのは姑息ではないか。</p>	<p>「建物支持が可能と想定される地盤までの深さ・地下水」については、御指摘のとおりポイントにより状況が異なるため、「近傍参考値」とし、評価を行っていません。</p> <p>再開発における複合施設を建設する際には、地質調査の結果に応じた杭基礎構造による頑強な地盤（支持層）への支持を行うなど、地形に配慮した上で鷺沼へ移転後も、必要な災害対策本部機能も含め区役所の役割を果たせるよう、的確な対応を図ってまいります。</p>	D
69	<p>3 施設移転に強く反対。基本案は撤回するべき。</p> <p>鷺沼駅前の超高層複合ビルに区役所等 3 施設を入れて、もし、大災害が起こり、同ビル内の上下から、あるいは近隣の超高層ビルから出火したら、強いビル風に煽られて大火災が起こり、煙にまかれる危険性がつねにある。</p> <p>警察署、消防署と切り離し、移転して区役所が司令塔機能を今以上に発揮できると考え、2 拠点構想(危険を分散するという考え方)などをひねり出すことは認識不足もはなはだしい。</p> <p>もし移転したために、区役所が焼けぬまでも、非難、脱出せざるを得ない事態が現実に来たら、市当局は責任がとれるのか。 (同趣旨他 89 件)</p>	<p>鷺沼駅前、防火地域に指定されており、一定の基準を超える建築物は、耐火建築物にしなければならない規制がかかっています。そのため、住戸等から火災が起こった場合でも、燃え広がりにくい建物構造となります。また、一定の高さ以上の建物の場合、スプリンクラーの設置も義務付けられており、防火対策が的確に行われるものと考えております。</p> <p>また、区役所については、住居棟とは独立した電力、設備、導線等を確保し自律性を確保するなど、区役所機能の運営に支障をきたさないよう取り組んでまいります。</p> <p>このような対策が講じられていても、火災が発生した場合の対策は重要と認識していますので、今後とも、必要な災害対策本部機能も含め区役所の役割を果たせるよう、ハード、ソフトの両面からの的確な対応を図ってまいります。</p>	D

(3) 立地特性の比較、施設設置パターンの検討・比較に関すること

No.	意見・質問要旨	本市の考え方	区分
70	<p>3 施設の移転は反対。もっと事の本質を理解してほしい。</p> <p>超高層複合ビル(簡単には雑居ビル)に入居することの問題点は2つに大別される。</p> <p>非常時には、大震災により、仮に傾かないとしても、相当の被害が予想される。それだけで済めばいいが、震災後に発生する火災の危険も高くなる。周辺建物は住宅密集地で超高層複合ビルが建っているとならば、ビル風による火災の急速な拡大が予想される。司令塔の区役所が火に巻かれることも想定してほしい。</p> <p>(同趣旨他 184 件)</p>	<p>鷺沼駅前は、防火地域に指定されており、一定の基準を超える建築物は、耐火建築物にしなければならない規制がかかっています。そのため、住戸等から火災が起こった場合でも、燃え広がりにくい建物構造となります。また、一定の高さ以上の建物の場合、スプリンクラーの設置も義務付けられており、防火対策が的確に行われるものと考えております。</p> <p>また、区役所については、住居棟とは独立した電力、設備、導線等を確保し自律性を確保するなど、区役所機能の運営に支障をきたさないよう取り組んでまいります。</p>	D
71	<p>3 施設の移転に強く反対。市民館・図書館＋広場は区役所が非常時に司令塔として機能・活動するために必要である。</p> <p>1 なぜ、現在の建物＋土地を自ら捨てて駅前の民間の超高層ビル(住居と混在)に入るのか？どれだけ非常時の危険を深刻に検討しているのか？</p> <p>2 地震について建物は大丈夫と市当局は「受け売り」で言うが、実際どうか？</p> <p>3 地震によって駅前周辺道路が陥没したり、うねりが出た場合、区役所から出動できない</p> <p>4 地震というと揺れ、倒壊が先ず頭に浮かぶが、本当に怖いのは、その後の火災である。駅前の便利な超高層複合ビルに入る、ビル風は吹く、区役所の上下、左右から火災の危険－移転したことによって新たに生じるリスクである。</p> <p>(同趣旨他 86 件)</p>	<p>このような対策が講じられていても、火災が発生した場合の対策は重要と認識していますので、今後とも、必要な災害対策本部機能も含め区役所の役割を果たせるよう、ハード、ソフトの両面からの確な対応を図ってまいります。</p>	D
72	<p>3 施設の移転に強く反対。消防車では高層ビルは、消火できないことを知っているか。火災の火より、煙にまかれて死ぬ方が今では多いことを知っているか。</p>	<p>鷺沼駅前は、防火地域に指定されており、一定の基準を超える建築物は、耐火建築物にしなければならない規制がかかっています。そのため、住戸等から火災が起こった場合でも、燃え広がりにくい建物構造となります。また、一定の高さ以上の建物の場合、スプリンクラーの設置も義務付けられており、防火対策が的確に行われるものと考えております。</p>	D
73	<p>3 施設を移転して駅前のタワービル(住宅との複合)に入ると言うが、どれだけその超高層のタワービルにリスクがあることが分かっているとは思えない 32 階建てと噂に聞くが、それは高さ 100m になる由。</p> <p>我々であれば、よいと思って入居しても引越すことができるが、市役所等にはその自由はない。引き取り手がない/次の転居先がないからである。移転して 30 年、50 年とタワービルで過ごすリスクと経費は生半可なものではなく、そのリスクには震災後に発生するであろう、火災の惨禍に遭うことも入れねばなるまい。そうなっては司令塔などの話ではなくなる。</p>	<p>また、区役所については、住居棟とは独立した電力、設備、導線等を確保し自律性を確保するなど、区役所機能の運営に支障をきたさないよう取り組んでまいります。</p> <p>このような対策が講じられていても、火災が発生した場合の対策は重要と認識していますので、今後とも、必要な災害対策本部機能も含め区役所の役割を果たせるよう、ハード、ソフトの両面からの確な対応を図ってまいります。</p>	D
74	<p>鷺沼駅 3 施設移転に反対。高層ビルの場合、当然、飲食店が入る、そこから火災が起きた場合、市の施設に引火する恐れがある。複合ビルだと住宅もあり、上から下から失火するおそれがあり、大変危険。そこに市の施設が入るのは</p>		D

No.	意見・質問要旨	本市の考え方	区分
	とんでもない。 (同趣旨他 1 件)		
75	超高層複合ビルは危険。下は商業施設や飲食店、上の住居などがあり、失火した場合、焼死より、煙にまかれて一酸化中毒で死ぬ場合があるかに多い。新建材がほとんど、昔ながらの木材は使われていない。煙にまかれ、出口も分からず、多くの人が入り出す複合ビルなのでパニックが起こりやすい。そのような複合ビルに市の施設を入れることはおろかなことである。 (同趣旨他 1 件)		D
76	防災を担う施設は、単館が望ましい。 震災の危険度が上がっているのと最近のニュースにある。複合施設は危険のリスクが大き。単館が望ましい。	駅前街区、北街区ともに、大地震時にも倒壊せず建物としての機能を維持できるよう、公共機能が導入される建物の的確な耐震機能、防火機能を確保するよう取り組んでまいります。合わせて、必要な災害対策本部機能も含め区役所の役割を果たせるよう、ハード、ソフトの両面からの的確な対応を図ってまいります。	D
77	超高層複合ビルに区の中核施設を移すというなら、その<リスク分析>は、市当局がお手盛りで片手間に行くような事ではなく、超高層複合ビル問題研究家数名に依頼してそれぞれから記名入りの報告書を集め、慎重に検討すべき大事である。市当局がそうした作業を行ったと、これ迄聞いていない。	なお、再開発事業に関する計画内容は、準備組合により、現在検討が進められており、建物の床面積や高さ、階数など、様々な条件等による検討を行っているものと伺っております。 その内容については、環境アセスメント手続きなどを通して示されるものと考えており、環境アセスメントの内容が早期に示されるよう、準備組合に対して働きかけてまいります。	D
78	2月26日(火)6時NHKニュースで茨城県沖でマグニチュード7から7.5の地震がおきる可能性が80%とっている。東日本大震災のせいで、更に危険がせまっている。 この重大事に、高層複合ビルで、区役所の機能を果たせるのか、福田市長はその責任をとれるのか市職員は本当に安全性に責任をもたないのか。「タワーリングインフェルノ」という映画を見たでしょ。いいかげん反省しろ。		D
79	移転反対。区役所は現在の自前の土地に独立して存在している。移転後は、庁舎の上に、高層の区分所有の住宅が建つとか。後々、メンテナンスの問題など、区分所有者との厄介なことが想定される。わざわざ、災いをまねくことはやめた方がよい。	区役所については、住居棟とは独立した電力、設備、導線等を確保し自律性を確保するなど、区役所機能に支障をきたさないよう取り組んでまいります。	D
80	3 施設の移転は反対である。それ以上に超高層複合ビル(簡単に言えば雑居ビル)に入るのはトンデモナイことである。超高層ビルに入居することの問題点は2つに大別される。 1 平時: 当然乍ら通常のオフィス専用のビルに比べ、管理費、修繕費、大規模修繕積立金はそれぞれ相当割高になる。 2 非常時: 大震災により仮に傾かないとしても相当の被害が予想できる雑居ビルであるから、当然震災後に発生する火災の危機も高くなる。周辺は住宅密集地で超高層ビルが建っているとすれば、ビル風の問題もあって、司令塔の区役所が火に巻かれることも想起してほしい。	管理費や修繕費、大規模修繕積立金については、市の単独施設もしくは民間との複合施設のどちらにも必要な経費ですが、御指摘のとおり、複合施設の方が高額になる可能性はあります。公共施設と民間施設の連携による相乗効果など、単独施設では得られない効果を活用し、新たな賑わいや交流の促進を目指してまいります。なお、コスト比較では、保留床取得(土地に関する権利を含む)を仮定しており、賃料の発生は想定していません。 次に、鷺沼駅前、防火地域に指定されており、一定の基準を超える建築物は、耐火建築物にしなければならない規制がかかっています。その	D

(3) 立地特性の比較、施設設置パターンの検討・比較に関すること

No.	意見・質問要旨	本市の考え方	区分
		<p>ため、住戸等から火災が起こった場合でも、燃え広がりにくい建物構造となります。また、一定の高さ以上の建物の場合、スプリンクラーの設置も義務付けられており、防火対策が的確に行われるものと考えております。</p> <p>また、区役所については、住居棟とは独立した電力、設備、導線等を確保し自律性を確保するなど、区役所機能の運営に支障をきたさないよう取り組んでまいります。</p> <p>このような対策が講じられていても、火災が発生した場合の対策は重要であると認識していますので、今後とも、必要な災害対策本部機能も含め区役所の役割を果たせるよう、ハード、ソフトの両面からの的確な対応を図ってまいります。</p>	
81	<p>区民の安全を守るため、防災対策を抜本的に強化してほしい (同趣旨他 507 件)</p>	<p>災害に強いまちづくりの推進は、大変重要な行政課題です。</p> <p>再開発に合わせて建物・設備を更新することにより耐震性や耐火性、運営面を考慮した機能性の向上を図るなど、既存建物以上の安全性と機能性を確保するとともに、周辺エリアを防火地域に指定していることから、機能更新等にあわせて、面的な市街地の防災性向上を誘導することで、宮前区災害対策本部をはじめとした区役所（災害時）の「機能」を確保します。</p> <p>また、新たな拠点配置による区役所（区本部）と消防署・警察署等との的確な役割分担を踏まえ、更なる機動性・即応性の確保に向けて、移転後、防災行政機関の運営・運用の検証など、より一層の連携確保に向けた取組を行ってまいります。</p>	D
82	<p>区民の命を守ることを最優先で考えるまちづくりを目指してほしい。</p> <p>都市計画の目的は、ハード・ソフトを組み合わせた災害に強い地域づくりを最優先に立案すべき。</p> <p>また、災害対応において行政の責任は大きい一方、市民も防災都市づくりの担い手として都市計画づくりの段階から参加し、地域防災力向上に努める必要がある。</p> <p>宮前区民の防災に対する意識、安全安心なまちづくりへの区民意見が多く寄せられる中、市は鷺沼駅の利便性を高く謳い、区役所等を移転する方針案を発表した。また、大規模災害時、防災拠点となる重要な区役所機能（市民館機能）を考慮せず、移転方針案を打ち出した。</p> <p>資料では、災害時の交通混雑が懸念されるため、災害時のアクセスについては宮前平（現区役所）の優位性を認めている。大規模災害時の鷺沼駅周辺道路及び駅乗降客による大混雑が予測され、その時の区役所機能及び市民館機能の停滞を想定し、現区役所の優位性を感じている。</p> <p>何故、川崎市防災都市づくり基本計画を策定しながら、この様な雑踏のど真ん中へ区役所等の移転案を打ち出したのか。</p>	<p>災害に強いまちづくりの推進は、大変重要な行政課題です。</p> <p>再開発に合わせて建物・設備を更新することにより耐震性や耐火性、運営面を考慮した機能性の向上を図るなど、既存建物以上の安全性と機能性を確保するとともに、周辺エリアを防火地域に指定していることから、機能更新等にあわせて、面的な市街地の防災性向上を誘導することで、宮前区災害対策本部をはじめとした区役所（災害時）の「機能」を確保します。</p> <p>また、新たな拠点配置による区役所（区本部）と消防署・警察署等との的確な役割分担を踏まえ、更なる機動性・即応性の確保に向けて、移転後、防災行政機関の運営・運用の検証など、より一層の連携確保に向けた取組を行ってまいります。</p> <p>災害時の交通混雑の応急対策としては、地域防災計画に基づき、緊急活動道路等の機能復元や放置車両等の車両移動等の交通対策に加え、帰宅困難者一時滞在施設の開設など、混乱防止及び帰宅困難者対策等に取り組むこととしており、今後も、必要な災害対策本部機能が果たせるよう、的確な対応を図ってまいります。</p>	D

No.	意見・質問要旨	本市の考え方	区分
	<p>区民の命を最優先で考えるまちづくり政策と相反する方針案である。3月に予定されている基本方針に向けて、修正を強く要望する。</p>		
83	<p>新しい区役所、市民館、図書館について、今後の産業変化を考え、電気、通信などインフラについては、柔軟かつ環境を意識し、災害に強い形としてください。</p>	<p>非常時の電気、通信などのインフラの確保は非常に重要な課題と認識しておりますので、今後、耐震・不燃化等とともに防災の観点からの検討を深め、再開発準備組合と連携しながら、災害に強いまちづくりに努めてまいります。</p>	B
84	<p>大きな地震の起きる確率が大幅に修正された現在、災害に対する備えを万全にするのは行政機関にとっては必須のこと。現在の鷺沼駅周辺再編整備による区役所の移転は周辺地域の住民にとっても大きな不安材料になると思われる。</p> <p>東名高速道から運ばれる救援物資や人が、スムーズに目的地に運ばれるとは到底思えない道路状況が起きることは十分考えられる。</p> <p>このことは、災害対策本部としての機能を果たすべき区役所としては、致命的な欠陥と考える。市民の命と財産を一番に考えていただきたい。 (同趣旨他2件)</p>	<p>避難・救助をはじめ、物資供給等の応急活動のために、緊急車両の通行を確保すべき重要な路線である緊急輸送道路について、宮前区内の第一次緊急輸送道路(尻手黒川線・国道246号線)からのアクセスについては、鷺沼駅周辺と現区役所周辺で大きな差異は見られません。</p> <p>また、両立地とも、都市計画道路に接続していますが、特に、駅前においては、災害時の交通混雑が懸念されるため、災害時のアクセスについては、宮前平に優位性が見られます。</p> <p>なお、災害時の交通混雑の応急対策として、地域防災計画に基づき、緊急活動道路等の機能復元や放置車両等の車両移動等の交通対策に加え、帰宅困難者一時滞在施設の開設など、混乱防止及び帰宅困難者対策等に取り組んでまいります。</p>	D
85	<p>今後予想される首都圏直下型地震を想定し、国土交通省が平成30年5月に作成した「防災拠点等となる建築物に係る機能継続のガイドライン」に則ったものとする。</p> <p>また駅隣接という位置にあるため、帰宅困難者が避難や短期滞在ができるような機能を備えること。</p>	<p>駅前街区、北街区ともに、大地震時にも倒壊せず建物としての機能を維持できるよう、公共機能が導入される建物の耐震機能、防火機能等を確保し、国のガイドラインに準拠して取り組んでまいります。合わせて、必要な災害対策本部機能も含め区役所の役割を果たせるよう、ハード、ソフトの両面からの確かな対応を図ってまいります。</p> <p>また、帰宅困難者対策は重要な課題と認識しております。現在、鷺沼においては、帰宅困難者一時滞在施設を指定しておりますが、区役所移転に伴う更なる帰宅困難者対策については、必要に応じて検討してまいります。</p>	D
86	<p>公共施設による防災機能の強化は何よりも重要な課題である。現在の区役所は老朽化がはじまっており、大規模災害が万が一発生した場合に何が起きるか予想ができない。とはいえ、現在の区役所部分に補修や建て替えを行うとなると、その工事期間中に役所が最大限に機能を発揮できない恐れが生じてしまう。</p> <p>新しい拠点に、一から施設を作り直すことが、区役所としての機能を健全に維持する為に最も重要な課題だと感じる。鷺沼駅前に区役所ならびに公共施設を建設する際には、防災機能や避難拠点としての役割を十分に検討していただきたい。</p> <p>旧来の重油による発電機は、多量の燃料が必要で、大規模災害のように数日にわたり電力供給が不安定になるような状況には対応しきれな</p>	<p>災害に強いまちづくりは重要な施策であると認識しております。</p> <p>再開発に合わせて建物・設備を更新することにより耐震性や耐火性、運営面を考慮した機能性の向上を図るなど、既存建物以上の安全性と機能性を確保するとともに、周辺エリアを防火地域に指定していることから、機能更新等にあわせて、面的な市街地の防災性向上を誘導することで、宮前区災害対策本部をはじめとした区役所(災害時)の「機能」を確保します。</p> <p>頂いたご意見は参考とさせていただき、今後、耐震・不燃化等とともに防災の観点からの検討を深め、再開発準備組合と連携しながら、災害に強いまちづくりに努めてまいります。</p>	C

(3) 立地特性の比較、施設設置パターンの検討・比較に関すること

No.	意見・質問要旨	本市の考え方	区分
	<p>い。一方で、ガス供給の復旧は速いため、ガスが復旧し次第ガス発電に切り替えることができる、デュアルフューエル型非常用発電機の導入を求める。旧鷺沼プールリアにある貯水槽への水道水のくみ上げポンプの稼働のための電力としても重要で、非常時のインフラとして冗長なシステムの設計をぜひお願いしたい。</p> <p>さらには、通常時からCGS 発電機を用いた自営電力・熱源の確保も検討していただきたい。再開発エリアの温水やエネルギー供給を一元化し、CO2 排出量の削減に努めていただきたい。</p> <p>鷺沼・土橋の両小学校との連携も重要である。新たな役所やホール等の公共施設と併用し、緊急時の避難場所として活用していただきたい。</p> <p>災害用備蓄の確保もぜひお願いしたい。旧鷺沼プール地下の貯水槽が近くにある為、非常時にも一定量の水道水を確保できることは特に鷺沼への移転において防災・避難拠点としては有利な立地を感じる。</p>		
87	<p>震災時の二次災害として、市街地の火災があるが、鷺沼駅周辺で火災が発生した場合は災害拠点としての機能が果たせないのでは。十分な対策は取られているのか？</p> <p>住居棟に区役所が入ることになっているが、震災時はマンションの住民対策に追われて区民は疎外されるのではないかと心配だ。</p> <p>(同趣旨他 414 件)</p>	<p>区役所は、災害時には区の災害対策本部として、災害対策活動の総合調整や情報収集、関係機関との連絡調整など、区の災害対策活動の拠点施設となることから、鷺沼へ移転後も、必要な災害対策本部機能も含め区役所の役割を果たせるよう、的確な対応を図ってまいります。</p>	D
88	<p>今後 30 年のうちに当地を襲う大震災を想定し、移転先で果たして区役所が司令塔の役割を果たせるかどうか。また更に出動ができるかどうか。出動さえままならぬ事態に陥ったなら移転賛成派だった人も手の平を返したごとく市当局を糾弾する側に回ることを覚悟してください。その場合、市政上どうするのか「危機管理」策を検討されるよう強く警告する。</p>	<p>災害対策に当たっては、国、地方公共団体及びその他の公共機関それぞれが、適切に役割分担し、それぞれが実施主体として、必要な体制を確立し、責任の所在を明確にすることとしています。</p> <p>また、災害対策基本法には、防災計画の作成等、災害対策の基本を定めることにより、総合的かつ計画的な防災行政の整備及び推進を図ることやそれぞれの実施主体は相互に連携協力を確保することなど、行政の責務が明記されており、その実効性の確保に向けて、防災訓練を実施し、毎年、地域防災計画の見直しを行うなど防災行政の推進を図っているところです。</p> <p>移転後、防災行政機関の運営・運用の検証など、より一層の連携確保に向けた取組を行ってまいります。</p>	D
89	<p>鷺沼駅周辺の防災対策が気になる。十分調査をされたのか疑問がある。人口密集地域ほどより厳密な調査が必要。</p>	<p>基本方針（案）では、鷺沼駅周辺と現区役所周辺の両立地において、「地形・地質」、「災害時のアクセス」、「建物整備環境等」について、比較を行いました。</p> <p>両地域の立地条件にはそれぞれにメリット・デメリットがあるものの、大規模災害の被害想定では大きな差異はなく、必要な災害対策が可能な状況と考えています。</p> <p>また、再開発に合わせて建物・設備を更新する</p>	D

No.	意見・質問要旨	本市の考え方	区分
		<p>ことにより耐震性や耐火性、運営面を考慮した機能性の向上を図るなど、既存建物以上の安全性と機能性を確保するとともに、周辺エリアを防火地域に指定していることから、機能更新等にあわせて、面的な市街地の防災性向上を誘導することで、宮前区災害対策本部をはじめとした区役所（災害時）の「機能」を確保します。</p> <p>今後、計画の具体化に合わせて、防災面での検討も深め、更なる機動性・即応性の確保に向けて、引き続き、災害に強いまちづくりに取り組んでいきます。</p>	
90	<p>仮に、3 施設が基本案の通りに鷺沼駅前に移転した場合であっても＜移転是非か＞の問題が終わることはない。</p> <p>今回問題とされるのは、反対を知らながら取って移す区役所等であり、将来大震災が発生したときに市当局が強引に進めた移転が果たして正しかったのかの検証を区民は求めるだろう。「元の位置であれば、このような惨状にはならなかったのに…」などと嘆くような事態が区民にふりかかれば、一体区民はどのような手に出るか？何年後、何十年後に市当局の責任を問われる＜リスク＞が存在することを自覚願いたい。</p>	<p>本市では、宮前区のミライのまちの姿をどうしていくか、その中での核をどう作っていくかという観点から、これまで、意見交換会やフォーラム、意見箱への意見など、様々な取組を通して、鷺沼駅周辺に求められる公共機能やまちづくりに関する御意見、防災に関することや仮に移転することとした場合の現区役所等の活用に関する事など様々な御意見をいただいております。</p> <p>こうした御意見については、お住まいの地域や年代、ライフスタイルにより多様な考え方・捉え方があると認識しています。</p> <p>一方で、区役所等の移転の有無にかかわらず災害に強いまちづくりは重要な施策であると認識しております。</p>	D
91	<p>現在地と鷺沼駅前の利点・難点（メリット・デメリット）を抽出し、比較し、一覧できる表が必要になるが、市当局は、鷺沼移転前提の比較表を作成し、区民を誘導する目的に利用した。平常時と非常時の分け方により移転問題の在りかが鮮明になる。</p> <p>その結論とは、移るな危険！！これでも、市当局は「区役所移転」を強行するというのか！？現時点で鷺沼駅前への移転を決めようとする市当局の行為は、単に愚かしいだけに止まらず、大きなリスクを呼び込む行為である。</p> <p>川崎市は「備える。かわさき」をスローガンに、非常時の防災体制の整備を急いでおり、同時に、市民にも様々な機会に意識を高め、各自がそれぞれ対策を取るよう促しているのに、市の防災部門は、鷺沼移転について声をあげ、警告しないのか。現在地は防災専門家なら誰もがうらやむ好条件の立地である。もしもの時、区役所は中枢・司令塔としての役割を担い、区民全体の安全を守る活動を求められる機関に早変わりしなければならないことを、私たち区民が認識し、市当局にもそれを要求しなければならない。</p>	<p>「地形・地質」については、両立地とも留意すべき点があり、基礎構造への配慮が必要となりますが、杭基礎構造にすることで建物への影響は生じないと考えています。</p> <p>また、災害対策に当たっては、国、地方公共団体及びその他の公共機関それぞれが、適切に役割分担し、それぞれが実施主体として、必要な体制を確立し、責任の所在を明確にすることとしています。</p> <p>また、災害対策基本法には、防災計画の作成等、災害対策の基本を定めることにより、総合的かつ計画的な防災行政の整備及び推進を図ることやそれぞれの実施主体は相互に連携協力を確保することなど、行政の責務が明記されており、その実効性の確保に向けて、防災訓練を実施し、毎年、地域防災計画の見直しを行うなど防災行政の推進を図っているところです。</p> <p>移転後、防災行政機関の運営・運用の検証など、より一層の連携確保に向けた取組を行ってまいります。</p> <p>今後も、必要な災害対策本部機能が果たせるよう、的確な対応を図ってまいります。</p>	D
92	<p>「基本方針（案）の概要」及び説明では、鷺沼駅周辺再編整備に伴う、区役所・市民館・図書館の移転を前提に案が作成されているが、そもそも宮前区として 50 年・100 年を考え、区役所・市民館・図書館はどうあるべきかを、大前提として検討すべきではないか。</p>	<p>今後の少子高齢社会を見据え、駅周辺に公共機能を集約していく、コンパクトなまちづくりが重要と考えています。</p> <p>今後、区役所は福祉や介護などの相談機能が一層重要になってくる中で、障がい者、高齢者、子育て家族、外国人など多様な方がアクセスしやす</p>	D

(3) 立地特性の比較、施設設置パターンの検討・比較に関すること

No.	意見・質問要旨	本市の考え方	区分
	<p>特に大震災が予測されている現在、区役所はどんな場所にあるべきか、また住民の貴重な情報をどう安全に管理すべきか、素早く災害対応するには、どんな機能とどう連携すべきか、交通渋滞にならないセンター機能を発揮するには、等々検討すべきことがいろいろあると思う。</p> <p>またこういったことが、今後の区役所にとって最重要課題だと思う。</p>	<p>い立地にあることは重要です。</p> <p>また、再開発により建物・設備が更新されることにより、現区役所等施設では、構造的に対応が難しいバリアフリー対応や、耐震性・機能性の更なる向上が図られることとなります。</p> <p>市民館・図書館については、民間事業者との連携による相乗効果が期待でき、区民の利便性や効用を一層高めるチャンスとなります。</p> <p>駅周辺に公共機能を集約し、需要が高まることで、バスネットワークも充実しやすくなると考えています。</p> <p>一方で、災害に強いまちづくりを進めることは重要な施策であると認識しております。</p> <p>地域防災計画では、災害時の交通混雑の応急対策として、緊急活動道路等の機能復元や放置車両等の車両移動等の交通対策に加え、帰宅困難者一時滞在施設の開設など、混乱防止及び帰宅困難者対策等に取り組むこととしています。</p> <p>今後、計画の具体化に合わせて、防災面での検討も深め、移転によるメリットを生かした更なる機動性・即応性の確保に向け、引き続き、災害に強いまちづくりに取り組んでいきます。</p>	
93	<p>3 施設の移転に反対。</p> <p>1 現在の立地は区のある中心にある。鷺沼は南端、便も悪い。</p> <p>2 警察署、消防署とも連携して、大災害発生時の司令塔としての役割を果たす上で、軽々しく区役所を移転すべきではない。</p> <p>3 現在地は地震発生時の火災被害をこうむる可能性が著しく低い。(対して鷺沼駅前の超高層複合ビルに入居することによる火災リスクは格段に高まり、区役所の司令塔としての機能自体を奪う事態も想定される。</p> <p>4 区役所移転について、消防署と協議されたことが本日まで無いとのこと。</p>	<p>今回の鷺沼駅周辺再編整備と合わせて、交通広場を拡充し、鷺沼駅を中心とした様々な方面からの路線バスネットワークの充実を図ることが、重要であると認識しておりますので、拡充されるバスバス等を活用し、小田急線方面などの路線新設や鷺沼駅周辺する区役所等へ向丘地区方面からのアクセス強化を図っていきます。</p> <p>また、災害に強いまちづくりを進めることは重要な施策であると認識しております。</p> <p>災害発生時には、市・区災害対策本部、消防署、警察をはじめ、道路公園センター、神奈川県、国、消防団などの区民、そして各避難所など、各機関が相互に連携しながらも、地域防災計画や各機関の本部の方針に基づき、組織ごとの指揮系統により、自律的に災害対策を実施します。</p> <p>また、鷺沼駅前は、防火地域に指定されており、一定の基準を超える建築物は、耐火建築物にしなければならない規制がかかっています。そのため、住戸等から火災が起こった場合でも、燃え広がりにくい建物構造となります。また、一定の高さ以上の建物の場合、スプリンクラーの設置も義務付けられており、防火対策が的確に行われるものと考えております。</p> <p>区役所については、住居棟とは独立した電力、設備、導線等を確保し自律性を確保するなど、区役所機能の運営に支障をきたさないよう取り組んでまいります。</p> <p>このような対策が講じられていても、火災が発生した場合の対策は重要と認識しておりますので、今後とも、必要な災害対策本部機能も含め区役所の役割を果たせるよう、関係局とも連携を図りな</p>	D

No.	意見・質問要旨	本市の考え方	区分
		<p>がら、ハード、ソフトの両面からの的確な対応を図ってまいります。</p> <p>今後も、更なる機動性・即応性を確保していくため、防災無線など情報通信手段の確保及び適切な活用や、防災訓練等を通じて、効率的・効果的な災害時の協力連携体制の一層の強化を図り、総力を挙げて災害に対応していきます。</p>	
94	<p>宮前区は山坂が多い上、交通の便が悪く、どこに行くにもバス便で向丘出張所も活動停止状態にしておいてもバス便を増やさず（地域の住民はとて不便な思いをしている。）とても住みにくい不便な町である。</p> <p>これだけ全国で災害が次々と続き宮前区にもいつ災害が起こるか分からない時に司令塔であり避難所になる大事な区役所が区のはじっこに移し警察や消防署とバラバラになる事は区民にとって不安であり不利益になる事は目に見えている。移転は絶対許せない思いである。</p>	<p>今回の鷺沼駅周辺再編整備により、交通広場を拡充する計画です。</p> <p>鷺沼駅は宮前地区方面を主とした多くの路線バスの起終点となっており、再編整備に当たっては、鷺沼駅を中心とした様々な方面からの路線バスネットワークの充実を図ることが、重要であると認識しておりますので、拡充されるバスバス等を活用し、小田急線方面などの路線新設や鷺沼駅周辺に移転する区役所等へ向丘地区方面からのアクセス強化を図るための既存路線の再編などについて、バス事業者と連携した取組を進めてまいります。</p> <p>また、災害発生時には、市・区災害対策本部、消防署、警察をはじめ、道路公園センター、神奈川県、国、消防団などの区民、そして各避難所など、各機関が相互に連携しながらも、地域防災計画や各機関の本部の方針に基づき、組織ごとの指揮系統により、自律的に災害対策を実施できるよう日頃から訓練等を行っています。</p> <p>今後も、各機関の立地の遠近にかかわらず、更なる機動性・即応性を確保していくため、防災行政無線など情報通信手段の確保や、防災訓練等を通じて、効率的・効果的な災害時の協力連携体制の一層の強化を図り、災害に対応していきます。</p>	D
95	<p>「防災面で差異は見られない」はごまかしである。かわさき市政だより特別号では現在地（宮前平地区）と鷺沼駅前と比較して、両者に「大規模災害の被害想定に差異は見られない」としている。その理由を「両立地とも留意すべき点あり」で済ませている。どちらにも盛り土があるのは同じだとしても、鷺沼駅周辺の法面上部が土砂災害警戒区域に指定されていること、交通アクセス面での道路幅、駅前混雑への懸念など、質的な違いはすでに明らかになっているのに、これらを見直し「差異は見られない」と結論づける。これでは、まじめな検討とはいえない。</p> <p>（同趣旨他 445 件）</p>	<p>被害想定については、東日本大震災の教訓を踏まえて見直しを行い、本市に大きな被害をもたらす可能性がある地震の想定を最新の科学的知見に基づいて見直し、地域社会に関するデータを更新し、被害想定を実施したものです。その結果、想定地震での震度分布、想定地震による液状化危険度、浸水被害予測、津波浸水被害予測について、両区域で差異は見られません。</p> <p>「地形・地質」については、両立地とも留意すべき点があり、基礎構造への配慮が必要となりますが、杭基礎構造にすることで建物への影響は生じないと考えています。</p> <p>災害時の、宮前区内の第一次緊急輸送道路（尻手黒川線・国道 246 号線）からのアクセスについては、両区域で大きな差異はみられません。駅前においては、災害時の交通混雑が懸念されるため、宮前平に優位性が見られますが、災害時の交通混雑の応急対策として、地域防災計画に基づき、緊急活動道路等の機能復元や放置車両等の車両移動等の交通対策に加え、帰宅困難者一時滞在施設の開設など、混乱防止及び帰宅困難者対策等に取り組んでまいります。</p>	D

(3) 立地特性の比較、施設設置パターンの検討・比較に関すること

No.	意見・質問要旨	本市の考え方	区分
96	<p>自然環境の劇的変化の時代を迎え、地震、大水害、高層ビルに依る強風の変化等々を考えると、大きな建築物は集中より分散の時代に入っている。</p>	<p>都市計画マスタープランでは、少子高齢化の進行による長期的な人口動態の変化など環境の変化等を踏まえ、「めざす都市構造」として、「魅力にあふれ、個性ある都市拠点の形成」を位置付け、「商業・業務、都市型住宅等の機能の集積を図るとともに、都市基盤等の整備を進め、安全で快適な利便性の高い都市機能がコンパクトに集約し、それぞれの地域特性や個性を活かす地域生活拠点の形成」を目指すこととしています。</p> <p>また、国の施策等を踏まえ、「駅周辺における取組」として、「公共公益施設の建替えや大規模な土地利用転換の契機を捉え、交通利便性の高い駅周辺地区等においては、公共公益施設の集約や多様なニーズに対応した都市機能の誘導を図るとともに、路線バスなどの公共交通による駅へのアクセス向上に向けた取組」を推進することで、「コンパクトで効率的なまち」を目指すこととしており、こういった理念を踏まえたまちづくりに取り組んでいます。</p>	D
97	<p>大災害時、駅に人が集まり、大パニックになる。</p>	<p>災害時の駅前混雑の懸念につきましては、地域防災計画に基づき、緊急活動道路等の機能復元や放置車両等の車両移動等の交通対策に加え、帰宅困難者一時滞在施設の開設など、混乱防止及び帰宅困難者対策等に取り組み、的確に対応していきます。</p>	D
98	<p>移転反対。駅前に区役所は必要か。災害が発生したとき、沿線の通勤者が殺到して区のコントロールセンターの用をなさないのでないか。</p>	<p>現在、鷺沼駅周辺においては、帰宅困難者一時滞在施設を指定しておりますが、区役所移転に伴う更なる帰宅困難者対策については、必要に応じて検討してまいります。</p>	D
99	<p>移転した場合、災害時、向丘地区は高津役所の支援を受けることになる可能性がある。</p>	<p>災害時、救急や消防は宮前平及び最寄りの消防署から出動します。</p> <p>また、指定された避難所が、住民の方々の支援拠点となりますので、お困りの際は、お近くの避難所に移動してください。</p>	D

(4) 公共機能の方向性・考え方、導入機能・規模の方向性に関すること（第5章）

(8,661件)

No.	意見・質問要旨	本市の考え方	区分
1	<p>このプロジェクトに関して、大賛成の意志を表明する。地域をまわっているとまず区役所の不便を指摘する。子育てのための保健所、老人のための相談コーナーは特に悲惨である。バス便を便利にしようとする交渉するも、バスのバースが一杯で便数が増やせない由、そこへでてきたのが民間の駅前開発である。この開発が完了すると宮前区に与えるプラスの相乗効果は計り知れないものがある。</p> <p>①宮前区の核を作ることによって（バス便整備が条件だが）何回も乗り換えずに区役所に来ることができる。</p> <p>②バリアフリーの面でも、現在の区役所は地形上これ以上よくなることは望めない。新しくなれば一挙に解決する。</p> <p>③箱ものを作って商業施設をもってくるという発想ではなく、コミュニケーションをとる場所として、このプロジェクトが完成すれば情報発信の機能をそなえる宮前の中心になりえる。さすればまわりも良くなる。</p> <p>④この建物を利用して循環型の町をつくりコンパクトシティ化して宮前区に多い若い女性の働く場所等も提供する様にして働き方改革にも寄与できる。田園都市線の混雑の改善にも寄与できる。区役所、図書館、文化会館が1カ所にまとまる事によって便利性も高まり、さらにサテライトオフィス、シェアオフィス、TEL UP オフィス等を作る事により循環型のコンパクトシティが実現できる。</p> <p>⑤コミュニケーション能力の良い場所（町）が実現すれば人と人とのつながりによる人助けが生まれ、これこそ地域防災の原点であり、こういう点からも相乗効果がみこまれる。</p> <p>⑥町が良くなれば安心安全という意味でも効果が現れる。</p> <p>等々、相乗効果はまだたくさんあると思う。ワークショップで大変いい意見が多数あったことも忘れてはならない。</p>	<p>本市では、意見交換会等で寄せられた様々な市民意見や基礎調査結果等の諸条件を総合的に整理・検討し、今回の再開発を、より良い宮前区のミライにつながる契機と捉え、鷺沼駅周辺再編整備に伴う公共機能の方向性及び基本的な考え方を取りまとめました。</p> <p>「基本的な考え方」では、「鷺沼駅の交通結節機能の強化を踏まえた宮前区の核となる地域生活拠点の形成」や、「民間施設等との連携による文化・交流拠点の形成と新たなコミュニティの創出」等を掲げております。</p> <p>今後も引き続き、市民の皆様の御意見を伺いながら、基本方針（案）でお示しした方向性等の実現に向けた取組を推進してまいります。</p>	B
2	<p>鷺沼駅周辺は地域生活拠点として素晴らしい良いまちが出来るなど大変喜んでいる。</p> <p>これで再開発等で人気を得ている二子玉川、たまプラーザ、武蔵小杉と同じように鷺沼・宮前平エリアが再び人気のエリアになるのではないかと期待している。</p>		B
3	<p>当該計画の推進を願う。駅前の平坦な地に公共機能が充実される機会が与えられた意義を再認識し、より区民の活動がしやすくなることを期待する。</p>		B
4	<p>将来の街の形、姿を考えた場合、交通アクセスの充実、人々が集まり、生活をエンジョイできる</p>		B

(4) 公共機能の方向性・考え方、導入機能・規模の方向性に関すること

No.	意見・質問要旨	本市の考え方	区分
	場所が必要となる。鷺沼は南北では宮前区の中心となり、また急行電車の停車駅である。この立地を生かしてここを地域生活拠点として、今後宮前区の益々の発展の為に鷺沼駅周辺再編整備の基本方針（案）について賛成する。		
5	<p>かつて名古屋駅直結の高層ビルである JR セントラルタワーズのホテル部門での開業準備に携わり、開業からずっと業務を行ってきたが、駅前立地の利便性による集客力のすごさには大変驚いた。公共、商業施設等は立地条件が絶対的な強みとなる。</p> <p>基本計画（案）の区役所、図書館や市民館等を鷺沼駅周辺に移転する事により市民生活の利便性がより一層向上することから鷺沼駅周辺再編整備に伴う基本方針（案）について大いに賛成する。</p>	<p>本市では、意見交換会等で寄せられた様々な市民意見や基礎調査結果等の諸条件を総合的に整理・検討し、今回の再開発を、より良い宮前区のミライにつながる契機と捉え、鷺沼駅周辺再編整備に伴う公共機能の方向性及び基本的な考え方を取りまとめました。</p> <p>「基本的な考え方」では、「鷺沼駅の交通結節機能の強化を踏まえた宮前区の核となる地域生活拠点の形成」や、「民間施設等との連携による文化・交流拠点の形成と新たなコミュニティの創出」等を掲げております。</p> <p>今後も引き続き、市民の皆様の御意見を伺いながら、基本方針（案）でお示した方向性等の実現に向けた取組を推進してまいります。</p>	B
6	<p>本計画に関するキーワードは、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・老朽化による、建て替えの時期 ・アクセスの改善 ・地域の活性化 ・子育て交流・学べる環境 ・高齢化社会 <p>の5つだと思ふ。</p> <p>鷺沼駅前への移転は区民にとって、とても有意義と考える。「高品位な行政サービス」「家族が寛げ、買物が楽しめ、学べる」高齢者に優しい、空間・複合ビルをお願いしたい。</p>		B
7	<p>宮前区役所の鷺沼駅移転に賛成。</p> <p>宮前平に住んでいるため、現在の区役所は徒歩圏内であり、鷺沼に移転すると電車での移動が必要になるという個人的なデメリットはあるとはいえ、老朽化した施設の現状、また区内全域からの交通の便の悪さのため、他区の駅隣接の区役所に比べて区内に賑わいが形成されておらず、改善の絶好の機会だと思ふ。</p> <p>せっかくの投資となるので、箱モノを作るのではなく、また民間の言いなりになるだけでなく、アンケートや、パブリックコメント、さらには説明会や討論会など、積極的に住民をこれからも巻き込んでハード面、ソフト面ともに良い施設づくりを目指してほしい。</p>		B
8	<p>宮前区の地域生活拠点の一つの機能として、行政機関が有ることは望ましい。</p> <p>今回の再開発で宮前区のヘソが出来る事であり、市の決めた移転方針については、当然の事と考察し、大賛成である。</p> <p>(同趣旨他2件)</p>	<p>今回の再開発による鷺沼駅の交通結節機能の向上効果等を活用し、将来的な少子高齢化の一層の進行を見据えたコンパクトなまちづくりを推進するため、宮前区役所・市民館・図書館を一体的に移転・整備し、宮前区の核となる地域生活拠点の形成を図ります。</p>	B
9	<p>移転して現代社会にあった未来の社会に合った社会になったら。子どもも年寄りも住みやすい地域になることは目に見えている。議論の余地はない。</p>		B

No.	意見・質問要旨	本市の考え方	区分
10	区役所等の移転についても、現在の状態ではいずれ立ち行かなくなり、そうなったときには手遅れだと思う。今日明日に移転することはできないのだから、早めに次の用地なり建て替え場所なりを考えなければならないと考える。まだ具体的な設計は決まっていないと思うので、今回の基本方針案を基に、より良い街にしてほしい。	今回の再開発による鷺沼駅の交通結節機能の向上効果等を活用し、将来的な少子高齢化の一層の進行を見据えたコンパクトなまちづくりを推進するため、宮前区役所・市民館・図書館を一体的に移転・整備し、宮前区の核となる地域生活拠点の形成を図ります。	B
11	区役所、図書館、文化会館の移転に大賛成である。子育てから現在の介護まで保健所から行政の相談コーナーまで非常に大変な思いをして利用してきた。 鷺沼の再開発で宮前区に核ができて、コンパクトシティ化が図れると思う。 働き方改革でサテライト勤務化なども加速度的に進み、バス便が整備できれば周辺の地域にも多大なる影響力があるし、宮前区の価値もあがると思う。早く進めてほしい。 (同趣旨他1件)		B
12	少子高齢化が進む中、交通の利便性が高い鷺沼駅周辺に区役所、図書館等を集める政策案には賛成である。 効率的なコンパクトシティを目指すと共に、防災対応力の向上、東京・横浜市と連携した地域活性化にも資すると考える。		B
13	都市機能及び交通機能が再編・強化されることは、まちづくりに繋がるので良い。		B
14	少子高齢化が進む中で、宮前区の中心地に活力がなければ区全体で地盤沈下が起こる恐れがある。再開発を機に鷺沼に区役所が入れば、区全体を牽引する宮前区発展の核となり、活力の波及効果も最大限期待できる。そうなれば、若年層の流入等も期待でき、これからのエリア間競争にも勝ち残ることができると思う。		B
15	超少子高齢化社会を迎え人口減少局面を迎える中で、コンパクトシティ+ネットワークを形成するために良い選択だと思う。 再開発という機会を捉えての事業であることから、反対される方からは、強引さや結果ありき、都合の良いデータ作成などに見えている部分もあると思うが、引き続き地域の分断が起きぬよう努めていただければと思っている。 総合的には大変有意義で、とてもよい計画だと思う。		B
16	鷺沼再開発に賛成である。役所が駅に来たら、バス路線が増え、今までより行きやすくなると思う。図書館も学生や多くの方が学校帰りに勉強できたりどこかへ行くついでに返却も出来て便利になる。 バス路線も新たな路線が増えることで利用の幅も広がるので良いと思う。		将来的な少子高齢化の一層の進行が見込まれる中では、区役所や市民館・図書館への公共交通によるアクセス性の確保がより重要になります。 鷺沼駅前再開発では、交通広場の拡充や、路線バスネットワークの充実により、宮前区全体の発展に資する鷺沼駅へのアクセス性向上に向

(4) 公共機能の方向性・考え方、導入機能・規模の方向性に関すること

No.	意見・質問要旨	本市の考え方	区分
17	<p>鷺沼駅周辺で民間事業者が再開発事業を行うことに際し、市が、公共機能を盛り込んだ案を投入することは大変に時宜を得た素晴らしいことと思う。市の基本方針(案)を読み、さらに市民説明会に参加して、この感を強くした。</p> <p>バスターミナルを整備し、区役所と市民館、図書館が駅前で新たに区内各所とつなぐ交通ネットワーク内に立地できることは、まさに区民のためになる、理にかなった方針と思う。</p>	<p>けた取組を推進します。</p> <p>こうした鷺沼駅の交通結節機能の向上効果等を活かして区役所等を一体的に移転・整備し、宮前区の核となる地域生活拠点の形成を図ります。</p> <p>また、現在の区役所・市民館・図書館の敷地、施設では、バリアフリーに関して、南北方向の敷地の高低差による構造上の課題や、通路や出入り口の幅が狭いなど、施設面での課題が指摘されています。新たな施設の整備にあたっては、バリアフリーはもとより、利用者のニーズに対応した環境整備を図るなど、サービスの向上に向けた取組を推進します。</p>	B
18	<p>今の区役所、市民館、図書館、保健所に行くには交通の便が悪い。宮前平駅から長い坂道を上っていくのは高齢者にとって極めて苦しい、且つ手動車イスの方ではまず行くのは無理。乳母車を利用する方々も苦勞している。</p> <p>今回の市の提案による鷺沼駅周辺への移転については、利便性の向上の面からも賛成である。 (同趣旨他 8 件)</p>		B
19	<p>転入直後は、何度も区役所に行く必要があり、利便性の悪さを非常に痛感した。</p> <p>公的機関は誰にでも平等に利用しやすいものでなければならず、それは、利用時間や施設の用途、料金に限らず、立地特性も非常に重要である。</p> <p>現在の区庁舎は駅から遠いばかりでなく、経路も非常に高低差があり、辿り着くまでに非常に苦勞する状況である。区民にはお年寄りも多く公共交通機関を利用して向かう為には、バスを利用する必要があるが、駅近接で高低差の無い場所に移設されれば、老若男女隔てなく利用しやすい状況に改善されると思う。</p> <p>また、図書館等の区民サービスの施設も移設する事により、区の施設がより区民に利用され、税金が有効活用される事にもつながると思う。</p> <p>誰もが利用しやすい場所に、誰もが利用したい施設をつくり、区民皆に最大限活用される施設を作るよう希望する。</p>		B
20	<p>バスでしか宮前区役所へ行くことができず、地元の区役所にも関わらず、往復だけで 2 時間かかることもあり、非常に不便だと常々感じている。</p> <p>鷺沼駅前に移転されれば、アクセス性は大きく向上し、不便さは解消されると確信している。</p> <p>特に、東急を含めた周辺土地を進めるべき。駅と一体的に開発することで、バリアフリー導線もきちんと設けることができ、現在のような長い坂道を登らなくても済む。アクセス性が向上すれば、行政と住民の距離感が近くなり、ひいては高齢者に優しい街として宮前区が認知され、行政も地元も東急も皆がハッピーになれる街になるのではないだろうか。</p>		B
21	<p>鷺沼駅と駅前広場等で集中的に鉄道・バス便又、役所・市民館・図書館等 1 つの所に集められる場所はこの場所しかない。開発より 2 次開発は</p>	<p>将来的な少子高齢化の一層の進行が見込まれる中では、区役所や市民館・図書館への公共交通によるアクセス性の確保がより重要になりま</p>	B

No.	意見・質問要旨	本市の考え方	区分
	50年目である。今また暮らしの様も変わってきた。今に合った町作りをお願いしたい。	す。	
22	今の区役所・市民館等の建物は古くなってきており、バリアフリーの観点でも問題が多い。 また、今の区役所は最寄り駅より少し歩かないといけなく、鷺沼駅前になるのであれば、急行も止まる駅であり、便が良くなると思う。	鷺沼駅前再開発では、交通広場の拡充や、路線バスネットワークの充実により、宮前区全体の発展に資する鷺沼駅へのアクセス性向上に向けた取組を推進します。 こうした鷺沼駅の交通結節機能の向上効果等を活かして区役所等を一体的に移転・整備し、宮前区の核となる地域生活拠点の形成を図ります。	B
23	現在の区役所は、長い坂の上であり、公共交通機関を利用してアクセスするには大変不便に感じている。定期バスは、出ているものの、野川からだすと本数が限られており、仕事に行く前に少し寄って、用事を済ませる事ができなかった。 鷺沼駅前へ移転されれば、アクセス性が格段に向上し、高齢化や障害者の方々も、大変便利になると思う。便利な場所にあれば、利用頻度も増え、施設としての役割が格段と上がるといえる。 車を所有していない市民など、多様性を考える公共交通機関でのアクセス性向上は非常に重要な視点であると考え、移転に対してとても期待しており、ぜひ実現してもらいたい。	また、現在の区役所・市民館・図書館の敷地、施設では、バリアフリーに関して、南北方向の敷地の高低差による構造上の課題や、通路や出入り口の幅が狭いなど、施設面での課題が指摘されています。新たな施設の整備にあたっては、バリアフリーはもとより、利用者のニーズに対応した環境整備を図るなど、サービスの向上に向けた取組を推進します。	B
24	川崎市営地下鉄、JR 武蔵野南線の旅客化が現実的でない以上、宮前平駅は宮前区の核とは成り得ない。加えて宮前平駅廻りは尻手黒川線と丘陵の斜面の間にあり、平地に乏しいことから駅前整備もままならず、更には区役所等のアクセスにも難がある。 また宮崎台駅周辺も交通結節点として弱い。よって宮前区内の内、駅前整備が可能な鷺沼駅を発展の核とするべきであり、市民サービスに関わる施設を鷺沼駅に集約すべきである。 有馬、野川エリアなどバスに頼らなければならない住民にとって、身近な繁華街であるたまプラーザ、二子玉川、武蔵小杉などは現状は車でのアクセスでないと不便であり、バスで行け、通勤経路でもある鷺沼駅が活性化することは望ましいことであると考えます。 現状の鷺沼駅周辺は街が古すぎて魅力を全く感じないので、早く整備を行い、魅力度を上げてもらいたい。ひいてはそれが鷺沼だけでなく郊外住宅地のイメージしかない宮前区、更には川崎市や田園都市線の価値を高めることに繋がるので期待している。		B
25	中原区に住んでいるが、以前、宮前区役所に用事があり訪問した際、「随分不便なところにあるな」という印象をうけた。 これは、恐らく長く急な坂道を登って行かなければならないことが理由と考えている。市民・区民にとって、行政機能へのアクセスは生活利便性の確保の観点から大変重要なことであり、改善できることであれば、駅に近く交通の便がよく、起伏のある道等を通らず、高齢者等でも訪問しやすい場所に変更等されることが望ましいと考える。		B

(4) 公共機能の方向性・考え方、導入機能・規模の方向性に関すること

No.	意見・質問要旨	本市の考え方	区分
26	現在の区役所・市民館・図書館などは坂の上であり、アクセス面で問題があると思う。特にお年寄りなどには負担が大きいのと思う。 誰もが利用しやすい公共施設とするために利便性の良い駅前に移転する事で現状の問題点を解決できると思う。 また、鷺沼駅周辺の活性化につながり、街に賑わいが出来、魅力のある街づくりが出来る。	将来的な少子高齢化の一層の進行が見込まれる中では、区役所や市民館・図書館への公共交通によるアクセス性の確保がより重要になります。 鷺沼駅前再開発では、交通広場の拡充や、路線バスネットワークの充実により、宮前区全体の発展に資する鷺沼駅へのアクセス性向上に向けた取組を推進します。	B
27	区役所等が駅近くに移転することに賛成。 今後高齢化が進む中では、区役所等の市民サービスは車でのアクセスの良さより電車やバスでのアクセスの良さが優先されてくると考える。	こうした鷺沼駅の交通結節機能の向上効果等を活かして区役所等を一体的に移転・整備し、宮前区の核となる地域生活拠点の形成を図ります。	B
28	現庁舎のように、区役所だけでなく消防署などの各機関がまとまっていることは利便性のうえでもとても重要である。鷺沼駅前になることは、アクセス改善につながるため、評価できる。 新しい庁舎を建てることで、市民サービスを向上し、さらに街の発展に寄与してほしい。	また、現在の区役所・市民館・図書館の敷地、施設では、バリアフリーに関して、南北方向の敷地の高低差による構造上の課題や、通路や出入り口の幅が狭いなど、施設面での課題が指摘されています。新たな施設の整備にあたっては、バリアフリーはもとより、利用者のニーズに対応した環境整備を図るなど、サービスの向上に向けた取組を推進します。	B
29	市民・区民にとって、行政機能へのアクセスは生活利便性の確保の観点から大変重要なこと (同趣旨他 2 件)		B
30	現在、鷺沼の駅周辺の車の渋滞はとてひどい状態である。 再開発にて図書館や区民センターを新設することは、区民のコミュニケーションの場となりバスターミナルの拡充で渋滞が解消されるならば、大変よい計画だと思う。	鷺沼駅前再開発では、交通広場の拡充や、路線バスネットワークの充実により、宮前区全体の発展に資する鷺沼駅へのアクセス性向上に向けた取組を推進します。この効果を活かして区役所等を一体的に移転・整備し、宮前区の核となる地域生活拠点の形成を図ります。	B
31	今の鷺沼駅前、混雑は年配の人間がいきき出来ない程である。区役所のことはぜひこの再開発にもなって行っていただきたい。		B
32	バス便を充実させた駅前計画を望む ・宮前区役所移転は賛成		B
33	駅直結となることで現在の庁舎からの大幅なアクセス性の改善がみこめ、市民サービスの向上に繋がる。また、駅直結だからこそ、区民の利用者数の増加が見込め、現地建て替えに比べると相応のコストをかける意義を見出しやすく、その費用対効果も高いと考える。		B
34	宮前区中心的な位置に区役所・市民館・図書館・ホール等そして電車の他にバス路線等のアクセスが充実できる場所は他にないと思う。 被災リスクの分散（鷺沼・宮前平）。今まで以上の建物の安全性。役所・消防署・警察署等の分散。以上で災害時の機能を十分補える。	近年、全国各地で地震や大雨等による自然災害が発生し、今後 30 年以内に首都直下地震の発生する確率が 70%程度とされる中、災害に強いまちづくりの推進は、大変重要な行政課題です。	B
35	地域防災に関して、実際に災害になった時に動くのはだれか。 警察でも消防でもない隣近所の人たち、地域ボランティアの人たちである。それにはもっとコミ	現在の区役所周辺と鷺沼駅周辺の立地条件にはそれぞれにメリット・デメリットがあるものの、大規模災害の被害想定では大きな差異はなく、両立地とも必要な災害対策が可能です。 そこで、今回の再開発に合わせて建物・設備	B

No.	意見・質問要旨	本市の考え方	区分
	ユニケーションの取りやすい地域にしていかなければならない。その為に再開発はチャンスである。区役所、図書館、文化センターなどの駅前移転大賛成である。宮前区の情報の発信基地になりえる。	を更新することにより耐震性や耐火性、運営面を考慮した機能性の向上を図るなど、既存建物以上の安全性と機能性を確保するとともに、周辺エリアを防火地域に指定していることから、機能更新等にあわせて、面的な市街地の防災性向上を誘導することで、宮前区災害対策本部をはじめとした区役所（災害時）の「機能」を確保します。	
36	立地条件として、鷺沼駅周辺は土砂災害危険区域であり、したがって防災リスクがあるとの意見も出ているが地質的に見れば線路側面はたしかに該当するが再開発地域はそれに該当せず。 防災リスク上から云えば警察・消防署から離れることによるリスク分散メリットの方が高いのではないかと地質上からは略々同じようなものではないか。 まちの将来性・発展性からも移転には賛成。	また、区役所、消防署、警察署が隣接している現況の拠点性を解消することとなりますが、鷺沼（区役所）、宮前平（消防署・警察署）の2拠点体制として被災リスクを分散し、新たに回復力（レジリエンス）と多重性（リダンダンシー）を確保します。また、協力・連携体制は引き続きしっかりと確立します。	B
37	鷺沼駅に図書館を作ってほしい。 鷺沼周辺を文化的魅力ある街にしてほしい。そのためには図書館が必要である。 運営の民間委託もおもしろいと思う。区民が学んだり、文化的な刺激を得られる街づくりをお願いしたい。	今回の再開発に伴い、市民館・図書館を駅前に移転することで、アクセス性の向上に伴う来館者の増加や、同じ建物内の店舗や駅前商店街など商業施設・民間施設との近接による相互連携の可能性が生じます。また、施設の更新により、新たな施設・設備を活用したサービスの可能性が広がります。	B
38	図書館と市民館のそれぞれを大きく、沢山利用できる大規模な施設を。 鷺沼駅に大きく広い図書館を	こうした新たな可能性の創出が期待できる機会を最大限に活かしながら、社会教育及び生涯学習に係る環境を整備し、事業の充実やサービスの向上を目指します。	B
39	図書館ができることに賛成	なお、施設規模については、今後も生涯学習施設としての取組の推進に向けて、現施設と同程度を基本として検討を進めていきます。	B
40	鷺沼駅への市役所、図書館移転を強く希望する。 現在の立地ではアクセス性に難があり、不便。必要書類が欲しいとき、本を借りたい時、足が遠のいてしまう。高齢者や赤子を抱えた親はさらに実感しているであろう。 行政の核となる部分は、区民が集まりやすい場所に設置するのが望ましい。様々な人が集まり、交流を図ることで、区の活性化、区民の生活の質が上がり、皆が豊かに暮らしていける。		B
41	市民ホールや地域コミュニティ形成の仕掛けとなる施設を作ることにより、鷺沼駅周辺の活性化が期待できる 保育園、図書館など、市民生活の日常使いの利便性に寄与する施設を集積することで、より住み易い街づくりを。		B
42	鷺沼駅は、宮前区全体の中心から大きく外れ、移転により却って不便になる区民が少なくない。 高い公費を使って全移転する必要があるとは思えない。 (同趣旨他 55 件)	少子高齢化の一層の進行が確実な中で、これからの区役所（平常時）には、福祉や介護、生活支援に関する相談など、市民ニーズに応じたきめ細やかな行政サービスを着実に提供していくことが求められており、こうしたサービスの利用者は、自ら希望して区役所を訪れるものではなく、必要性からの利用が大半であり、高齢化が進む中では、公共交通によるアクセス性の	D
43	移転をする必要もないのに区民の血税 125 億円も支出することに合点がいけない。相続税を 2 億円近く支払った者としては我慢がならない。鷺沼		D

(4) 公共機能の方向性・考え方、導入機能・規模の方向性に関すること

No.	意見・質問要旨	本市の考え方	区分
	に公共機関が集中するのは何かの力が働いている としか思えない。	確保がより重要になります。	
44	鷺沼は山の上です。歩いて区民館にも行かれない。 年をとるとよけい無理だ。 (同趣旨他 2 件)	その中で、鷺沼駅前の再開発区域は、急行の 停車駅から至近であり、駅にアクセスするバス 路線は現状の本数に加え、交通広場の拡充により、 拡充に併せた路線バスネットワークの充実が 図られるなど、現在の区役所等が立地する場所 に比べてアクセス性に関して優位性が見られ ます。	D
45	区役所を駅前に移転したところで坂が多い宮前 区。周辺住民は坂を徒歩・バスで行く事になる。 現在とあまりアクセス面で変化はない。	本市といたしましては、これらの状況や意見 交換会等で寄せられた様々な市民意見や基礎調 査結果等の諸条件及び宮前区の将来展望を総合 的に整理・検討し、鷺沼駅周辺再編整備に伴う 公共機能の方向性及び基本的な考え方をまとめ ました。	D
46	鷺沼には行政サービスがあるので十分	今回の鷺沼駅前再開発では、路線バスネット ワークの充実により、宮前区全体の発展に資す る鷺沼駅へのアクセス性向上効果等を活かし、 将来を見据えたコンパクトなまちづくりを推進 するため、区役所・市民館・図書館を一体的に 移転・整備し、宮前区の核となる地域生活拠点 の形成を図ってまいります。	D
47	鷺沼駅の交通広場を拡充してバス路線を増やす のは大いに結構である。でも何故区役所移転が利 便性の向上に繋がるのか。土橋、宮崎、小台、宮 前平、馬絹、神木、鷺沼の住民も、仮に鷺沼に区 役所が移ったとしてもそこに行くには歩くかマイ カーで行くかバスで行くかタクシーを使うかしか ない。それならば宮前区のほぼ中央に位置する現 在の区役所の方が利便性はあると思う。 「区役所移転は利便性の向上に繋がる」は結局市 側の後付け理由である。東急の計画に乗ろうと思 った時に市の誰かが考えた理由である。その証拠 に区役所移転はそれを望む区民の声が何千と高ま って出てきたものではない。逆に区民にとっては 寝耳に水で、あっという間に 3,000 も署名が集ま るといのは大変なことではないか。		D
48	基本方針案にもあるように人口の密集地は宮前 平駅と宮崎台駅、鷺沼になっている。市の示す分 布図から見ても宮前平と宮崎の丁度真ん中であ る。人口分布から言っても丁度良い位置にある。 鷺沼駅周辺では偏りすぎだ。 (同趣旨他 426 件)	平成 30 年 6 月に実施した区民意識アンケ ートでは、宮前区の生活環境への満足度を尋ねた 12 項目のうち、「区役所・市民館・図書館への 距離」について、「不満である」もしくは「少 し不満である」と答えた人は 59.3%でした。 区役所等施設へのアクセス性については、古 くは昭和 57 (1982) 年の分区当初から課題と して指摘されてきました。鷺沼駅前の再開発区域 は、急行の停車駅から至近であり、駅にアクセ スするバス路線は現状の本数に加え、交通広場 の拡充により、拡充に併せた路線バスネットワ ークの充実が図られるなど、現在の区役所等が 立地する場所に比べてアクセス性に関して優位 性が見られます。	D
49	郵便局も鷺沼駅周辺だが、現在、不在郵便物 を取りに行く際もかなり遠く感じる。 宮前区の中央に施設はあるべき。 現在の場所は宮前区の中央にある場所なので、 宮前区役所・市民館・図書館として利用しやすく 適した場所だと思う。		D
50	宮前平は坂が多くて駅から図書館(現)までの 距離を移動するのが少し大変だが、広々とした空 間という意味では鷺沼駅の交通の多いにぎやかな 環境より市民にとって憩いの場として、こちら宮 前平のほうが気持ちよく利用できるように感じる。	平成 30 年 6 月に実施した区民意識アンケ ートでは、宮前区の生活環境への満足度を尋ねた 12 項目のうち、「区役所・市民館・図書館への 距離」について、「不満である」もしくは「少 し不満である」と答えた人は 59.3%でした。 区役所等施設へのアクセス性については、古 くは昭和 57 (1982) 年の分区当初から課題と して指摘されてきました。鷺沼駅前の再開発区域 は、急行の停車駅から至近であり、駅にアクセ スするバス路線は現状の本数に加え、交通広場	D
51	宮前区役所は現在宮前平にあり、警察署、図書 館に隣接し、現在の所在地は宮前区民にとって大 変利便性が高い。宮前区役所は現在地に存置すべ き。		D

No.	意見・質問要旨	本市の考え方	区分
52	宮前区は区民サービス施設が他区に比べ充実していない。現市民館、図書館の位置は緑も多く周辺の環境が良い。	<p>の拡充により、拡充に併せた路線バスネットワークの充実が図られるなど、現在の区役所等が立地する場所に比べてアクセス性に関して優位性が見られます。</p> <p>本市といたしましては、これらの状況や意見交換会等で寄せられた様々な市民意見や基礎調査結果等の諸条件及び宮前区の将来展望を総合的に整理・検討し、鷺沼駅周辺再編整備に伴う公共機能の方向性及び基本的な考え方をまとめました。</p> <p>民間事業者による再開発によって交通結節機能をはじめ、都市としての機能が向上する鷺沼駅周辺に、宮前区役所・市民館・図書館を移転・整備し、宮前区全体の活性化を促す「核」としての地域生活拠点の形成を図ってまいります。</p>	D
53	子供の事を考え、安全が現在地で充分である。図書館は現状で移転の必要がない		D
54	何より図書館移転には大反対だ。現在毎週のように図書館に行っており、鷺沼に移転すると不便になる。複数の小学校や宮前平中学がある地域から図書館をなくすのは、子供にとっても不利益だと思う。		D
55	子供が図書館を良く利用するが、遠くなると通えなくなる。 (同趣旨他 4 件)		D
56	子供が小さい時図書館で夏休み、冬休みの宿題を参考書を見ながらやっていた。今のままで何一つ不自由を感じないのに無理矢理の移転とは何かみえない上層部の意図を感じる。気持ちの良いものではない。		D
57	子育てにおいて市民館をよく利用し又は無くしてはならない公共の場所である。子供達のパレエの発表会地元サークルなど前の広場が広く又前の道路も広く安心して陽当りの良い場所でも有難く思っている。移転する必要がどこにあるのか？		D
58	公共の物は大きく考えて身近にまとまって活動し、みんなの便利差を考えていかなければならない。鷺沼駅は交通の便も良くない。少ない1部の利害を重んじないでほしい		D
59	3施設が移転すると、不便になる。区民の大多数の意向を無視する移転はやめてほしい。		D
60	鷺沼は駅としては大きいですが、宮前区の端にあり、他の地区の方の利便を考えると最適な場所とは思えない。むしろ鷺沼地域への局所的な利益誘導ではないか。 区役所などの交通の便利・不便は、自動運転やIT 技術の進歩など今後の技術革新も期待できる中、必ずしも駅前がないといけないわけではないと思う。		D
61	説明会で鷺沼駅に急行が止まるので、区役所も鷺沼にすべきと言っている方がいた。鷺沼駅に急行が停車するのは、鉄道の車庫があり、列車の出入庫の関係でホームを多く設置したことから、急行と各駅停車の乗換ができるので急行を停車させているだけだ。そのようなところに都市機能を集中させて意味があるのか。宮前区の広域的な発展のために宮前平に区役所を残した方がいい。		D
62	宮前区民が宮前区内を移動する場合、田園都市線を中心にして考え、実際にそれを利用して移動	D	

(4) 公共機能の方向性・考え方、導入機能・規模の方向性に関すること

No.	意見・質問要旨	本市の考え方	区分
	<p>しているとは思わない。宮前区民を主体に考えれば鷺沼に移転することに、何のメリットは存在しない。対外的には、急行の停車駅ということで聞こえは良いかもしれないが、実用性、利便性には殆ど結びつかず、安易に移転しまえば、宮前区民、100年の後悔になりかねないと考える。</p>	<p>るバス路線は現状の本数に加え、交通広場の拡充により、拡充に併せた路線バスネットワークの充実が図られるなど、現在の区役所等が立地する場所に比べてアクセス性に関して優位性が見られます。</p> <p>民間事業者による再開発によって交通結節機能をはじめ、都市としての機能が向上する鷺沼駅周辺に、宮前区役所・市民館・図書館を移転・整備し、宮前区全体の活性化を促す「核」としての地域生活拠点の形成を図ってまいりたいと考えております。</p>	
63	<p>鷺沼は、宮前区を中心から遠く、区民が利用する区役所など重要な施設を置くのには適していないように思う。実際、向ヶ丘地域からのアクセスも、今の宮前区役所よりも悪くなってしまい、かえって不便とを感じる人が増える。計画の再検討をお願いしたい。 (同趣旨他1件)</p>		D
64	<p>移転反対。 急行の停車駅だということを主張しているが、向ヶ丘地区にとっては、全く関係のない話である。 (同趣旨他2件)</p>		D
65	<p>神木本町は不便なところなので、鷺沼に区役所がいったら、更に不便になる。住民無視の移転には反対します。</p>		D
66	<p>区役所を鷺沼に移転するメリットが理解しかねます。宮前区の北部方面の居住者は鷺沼に移動するのは大変不便だ。</p>		D
67	<p>普段から車で移動する人が多い宮前区民のための区役所を、駅前へ移転する必要性は感じられない。</p>	<p>長期的な傾向として、自動車による移動の割合は減少傾向にあり、鉄道、バス、自転車、徒歩の割合が増加傾向にあります。</p> <p>また、高齢者（65歳以上）は年齢とともにバスの分担率が高まる傾向にあり、今後の超高齢社会の到来を見据えると、身近な駅へのアクセス性向上、路線バスの重要性がますます高まっています。</p>	D
68	<p>区役所、市民館、図書館が近くにあるので住宅を購入したり店舗を出した人にとっては、合理的な理由もなく一方的に移転することは納得できない。 (同趣旨他42件)</p>	<p>鷺沼・宮前平駅周辺地区は、本市総合計画において「地域生活拠点」の一つとして位置づけられており、「鷺沼駅周辺を中心に商業、都市型住宅、文化・交流など多様な都市機能の集積及び交通結節機能の強化に向けた取組を推進」することとしています。</p>	D
69	<p>鷺沼の開発には賛成だが、区役所・図書館移転には反対である。この地区に住んでいる人も40年経ち高齢化している。若い方達も増えている様に思う。</p> <p>年配の方達が歩いて区民館で趣味を楽しみ、若い子連れのママ達は図書館でゆっくり本を読んであげ楽しく時間を過ごしている。今住んでいる人達、ここを利用している人達はどこに行けば良いのか。バスに乗って鷺沼なんて絶対に行かない。鷺沼を若い人達の街にするのは結構だが、何年も住んでいる人達の事をもっと考えて計画をたててほしい。税金を沢山使うだろうからまずは地元の人達の意見を良く聞き、どうしたら良いのか再検討をお願いしたい。</p>	<p>今回の取組では、民間事業者による再開発により鷺沼駅前のバスターミナルが広がるなど、交通結節点としての機能の向上が見込まれることなどから、この機会を捉えて、鷺沼駅前に望まれる公共機能は何か、ということを検討してまいりました。その中では、区役所・市民館・図書館という区民が利用する施設の移転可能性を含めて検討していくため、区民の生活実感としてのニーズや課題認識を重視し、多角的な意見把握に取り組んできました。</p> <p>本市といたしましては、意見交換会等で寄せられた様々な市民意見や基礎調査結果等の諸条</p>	D

No.	意見・質問要旨	本市の考え方	区分
70	区の重要な3施設を、現在の場所から移転する必要はない。しっかり管理して、宮前区らしい歴史と伝統を残していく場所にして行くことが望ましい。	件及び宮前区の将来展望を総合的に整理・検討し、鷺沼駅周辺再編整備に伴う公共機能の方向性及び基本的な考え方をまとめました。	D
71	宮前区においてはどの場所に建設しても上り坂になってしまう。また、築35年の建物を移転の必要性についても十分に納得のいく説明がなされておらず、駅の再開発に乗じた不要な計画である。	民間事業者による再開発によって交通結節機能などが向上する鷺沼駅周辺に、宮前区役所・市民館・図書館を移転・整備し、宮前区全体の活性化を促す「核」としての地域生活拠点の形成を図ってまいります。	D
72	丘陵地帯なのでどこへ行くにも急坂を超えなければならず、移動手段には苦労はしたが少しずつ開発が進みそこそこ自然も残り、居住地としては気に入っていた。役所へのアクセスもよく、図書館、市民館も大いに活用した。加齢で丘陵地帯の移動が大変になった今、近いようでもアクセスの悪い不便な鷺沼に公共施設のすべてが移転するという。移転によって恩恵を被るのは一体誰か。移転に伴う莫大な建設費用は市民の血税。理にかなわない計画は到底納得できない。	また、民間施設と行政施設の相乗効果による機能・空間の実現を図り、文化・交流拠点の形成と新たなコミュニティの創出を図ります。 現区役所等施設・用地は、本市の貴重な財産として、活用のあり方について市民参加で検討してまいります。	D
73	移転に反対。宮前区の大半の住民がデメリットの方多いと感じている。①税金の無駄使い②公共の施設（区役所、警察署等）隣接している方が便利③市の基本方針は白紙に戻し再検討行うべき④東急と川崎市の談合はやめるべき⑤市長の独断と一部の人の考えて行動する事ではない		D
74	今回の移転の件は何かしっくりこない。将来は年金が出なくなるといわれている中、まだ使える建物があるのに移転をし、多額の税金を使う意味があるのか。移転で喜んでいる方に会ったことはない。 駅前には商業施設を置き経済を発展させるほうが街が潤うと思う。なぜ区役所なのか。不便さを解消するために、カードを作って住民票をどこからでも取りやすくしているのに。 今の場所で利用しやすくするために、小型の100円バス、もしくは無料バスを走らせるとか、わかりやすく税金を使ってほしい。やり方はいろいろあると思う。 なぜ移転が必要なのかをはっきりしてもらって納得をすればだれも反対はしないと思う。		D
75	鷺沼再開発ありきの公共機能移転方針には反対である。本末転倒以外の何物でもない。 「鷺沼だから区全体のために良い」という論拠が薄弱だ。「既得権」を得ていた地区に何をパーター提供するか、を明示しなければ納得は得られない。 各地区の課題は、移転決定後何らかの対策を検討したい、という文言が随所に見られるが、「課題への解決策」があって、「その実現のためには鷺沼移転が有効である」、という論旨展開が求められる。		D

(4) 公共機能の方向性・考え方、導入機能・規模の方向性に関すること

No.	意見・質問要旨	本市の考え方	区分
76	<p>鷺沼駅周辺に宮前区役所、市民館、図書館を移転、整備し、宮前区全体の活性化を促す「核」としての地域生活拠点の形成を図るとあるが、イメージが湧かない。鷺沼駅は宮前区のはずれにあり、鷺沼駅周辺の活性化にはなると思うし、人口も増えることだろう。しかし、それが宮前区全体の活性になる？鷺沼駅から遠い地域はますます不便となり（バス便があっても遠い）宮前区内の地域格差が拡大すると思う。</p>	<p>鷺沼駅再開発では、交通広場の拡充や、路線バスネットワークの充実により、宮前区全体の発展に資する鷺沼駅へのアクセス性向上に向けた取組を推進するとともに、多様なライフスタイルに対応した都市機能の集積により、利便性の向上を図ります。</p> <p>こうした鷺沼駅の交通結節機能の向上効果等を最大限に活かすことで、宮前区全体の活性化を促す「核」としての地域生活拠点の形成を図っていきたく考えております。</p>	D
77	<p>商業地、行政地という住民生活の要素を一部の地域に集中させること必要か？区内の種々地域に分散する事により、当該地域夫々の活性が維持出来る筈。地域創生・活性計画の縮小区内版。</p>	<p>本市では、国の施策等を踏まえ、少子高齢化の進行による社会的要請や今後の人口減少を見据えた地域課題に効果的に対応するとともに、地球環境に配慮した都市の形成を推進するため、「コンパクトで効率的なまち」を目指すこととしており、「駅周辺における取組」として、「公共公益施設の建替えや大規模な土地利用転換の契機を捉え、交通利便性の高い駅周辺地区等においては、公共公益施設の集約や多様なニーズに対応した都市機能の誘導を図るとともに、路線バスなどの公共交通による駅へのアクセス向上に向けた取組」を推進するものとしております。</p>	D
78	<p>鷺沼を再開発してもたまプラーザ駅、溝の口駅には勝たない。</p> <p>梶ヶ谷、宮崎台、宮前平、鷺沼各駅の真ん中にある現在の場所のまま住民の希望にそうことで各駅との結びつきと発展を考えてもいいのでは？</p> <p>高齢者にとって、あまり混雑する1極集中より、分散したままのネットワーク作り（交通とか支援体制）のほうが大切ではないか？</p>	<p>その中で、民間事業者による再開発によって交通結節機能をはじめ、都市としての機能が向上する鷺沼駅周辺に、宮前区役所・市民館・図書館を移転・整備し、宮前区全体の活性化を促す「核」としての地域生活拠点の形成を図ってまいりたいと考えております。</p> <p>また、身近な地域においては、計画的に整備された良好な市街地、町内会や自治会などの地域コミュニティを活かした協働の取組によるまちづくりを推進してまいります。</p>	D
79	<p>跡地利用について意見を出したが、根底にあるのは移転反対である。</p> <p>そもそも核の形成というのは、地方都市の過疎化が進む言葉であって、宮前区においては2045年になっても高齢化が進むものの、人口がほぼ変動なしということから、核をつくる必要性は低い。</p> <p>それよりこれまで区役所が現在の位置にあることで均衡がとられてきた区全体のバランスが、鷺沼のみの一点集中になりすぎて結果的に区全体の評価が落ちることが懸念される。区全体のマスタープランにも影響を及ぼし、人々の生活にも多大な影響を及ぼす。それに対する説明が、核の形成、アクセス性の改善という言葉で片付けるにはあまり説明が少ないと思う。</p>	<p>その中で、民間事業者による再開発によって交通結節機能をはじめ、都市としての機能が向上する鷺沼駅周辺に、宮前区役所・市民館・図書館を移転・整備し、宮前区全体の活性化を促す「核」としての地域生活拠点の形成を図ってまいりたいと考えております。</p> <p>また、身近な地域においては、計画的に整備された良好な市街地、町内会や自治会などの地域コミュニティを活かした協働の取組によるまちづくりを推進してまいります。</p>	D
80	<p>鷺沼駅再開発にともない公共施設を3施設も移転するということが1つの地域に集約しすぎるのは区の発展という意味でも考えられない。</p> <p>例えば横浜市青葉区では、たまプラーザは、商業地区として発展していて区役所は、消防署も近い市が尾にある。</p> <p>企業や大学も集中を避けるため色々画策している中、商業地域と文教施設を集中させるのは言語道断だ。</p> <p>施設の賃貸費も高額だろうと思われるので移転は考えず、現地域を活性化させることが市役所区役所のやるべき姿あるべき姿だと思う。</p>	<p>本市では、国の施策等を踏まえ、少子高齢化の進行による社会的要請や今後の人口減少を見据えた地域課題に効果的に対応するとともに、地球環境に配慮した都市の形成を推進するため、「コンパクトで効率的なまち」を目指すこととしており、「駅周辺における取組」として、「公共公益施設の建替えや大規模な土地利用転換の契機を捉え、交通利便性の高い駅周辺地区等においては、公共公益施設の集約や多様なニーズに対応した都市機能の誘導を図るとともに、路線バスなどの公共交通による駅へのアクセス向上に向けた取組」を推進するものとしております。</p>	D

No.	意見・質問要旨	本市の考え方	区分
81	鷺沼は、駅周辺の道路が狭く、交通量容量が大きくなりにくいと思うので、これ以上機能を集中させるべきではない。鷺沼は商業地区、宮前平を行政地区と分けることで、宮前区は1か所に集中せず、広く発展する。災害のときも分散していた方が被害も小さくなる。	<p>その中で、民間事業者による再開発によって交通結節機能をはじめ、都市としての機能が向上する鷺沼駅周辺に、宮前区役所・市民館・図書館を移転・整備し、宮前区全体の活性化を促す「核」としての地域生活拠点の形成を図ってまいりたいと考えております。</p> <p>また、身近な地域においては、計画的に整備された良好な市街地、町内会や自治会などの地域コミュニティを活かした協働の取組によるまちづくりを推進してまいります。</p>	D
82	宮前区域全体の均衡ある発展を考えるなら、市民館等については現在の地に建て替えを再検討すべきではないか。青葉区たまプラーザが近接する鷺沼では元々集客力が劣位になるのは自明であり、宮前平、宮崎台周辺への区域発展・分散効果を望む。		D
83	交通結節機能の強化、交通渋滞・満員電車の緩和をした上で、民間商業施設の充実や活性化による「宮前区の核となる生活拠点の形成」を図ることは大いに結構。だが、そこに公共機能まで集約させる必要はないのではないか あくまでも公共機能は広く、一極集中は周囲の衰退を招くと考える (同趣旨他 8 件)		D
84	区役所、図書館、市民館の移転に反対します。色々要素はあるのですが、主に行政と商業が一箇所に集めるという考えに対し懸念を持っています。 行政と商業が一極集中するのは、特に現状人口が多い地域にとってはデメリットが多いと考えます(内訳は下記 2 点)。行政の中心と商業の中心はむしろ別の場所に存在するべきだと考えます。		D
85	交通結節機能の強化、交通渋滞・満員電車の緩和をした上で、民間商業施設の充実や活性化による「宮前区の核となる生活拠点の形成」を図ることは大いに結構。 だが、そこに公共機能まで集約させる必要はないのではないか あくまでも公共機能は広く、一極集中は周囲の衰退を招くと考える。		D
86	鷺沼一極集中は、宮前区の動線を考慮すれば有り得ない話である。		D
87	災害等を考えた場合一極集中は良くない。		D
88	鷺沼駅再開発にともない公共施設を3施設も移転するということが1つの地域に集約しすぎるのは区の発展という意味でも考えられない。コンビニで戸籍謄本も取れる時代に わざわざ、駅前に区役所移転しなくても サービスコーナーで充分である。 お年寄りやバスで入口に乗りつけられたほうが負担がない。体の不自由な方も建物の目の前のパーキングを利用できた方が 便利なのは間違いない。商業地域と文教施設を集中させるのは、言語道断だ。		<p>本市では、国の施策等を踏まえ、少子高齢化の進行による社会的要請や今後の人口減少を見据えた地域課題に効果的に対応するとともに、地球環境に配慮した都市の形成を推進するため、「コンパクトで効率的なまち」を目指すこととしており、「駅周辺における取組」として、「公共公益施設の建替えや大規模な土地利用転換の契機を捉え、交通利便性の高い駅周辺地区等においては、公共公益施設の集約や多様なニーズに対応した都市機能の誘導を図るとともに、路線バスなどの公共交通による駅へのアクセス向上に向けた取組」を推進するものとしております。</p> <p>その中で、民間事業者による再開発によって交通結節機能をはじめ、都市としての機能が向</p>

(4) 公共機能の方向性・考え方、導入機能・規模の方向性に関すること

No.	意見・質問要旨	本市の考え方	区分
89	<p>移転反対。フォーラム、説明会などで、市の説明を聴くと、一極集中の無理な説明をやらされている。</p>	<p>上する鷺沼駅周辺に、宮前区役所・市民館・図書館を移転・整備し、宮前区全体の活性化を促す「核」としての地域生活拠点の形成を図ってまいりたいと考えております。</p>	D
90	<p>宮前区役所等の移転には反対だ。今まで長きにわたって機能してきた区役所や図書館や市民館を鷺沼に移転するというのは、理解できない。なぜ、機能している施設を壊して、別に建て替えるのか。いまあるものは大切に使い続けるべきではないか。「市の財政は厳しい」と言っているのに、こんな計画を立てていいのか？</p> <p>鷺沼駅周辺の再開発と区役所等の移転は切り離すべきだ。宮前平駅周辺は公共施設で人の行き来があり、鷺沼駅周辺は再開発の特色で賑わうという。これで何が問題か。</p>	<p>また、身近な地域においては、計画的に整備された良好な市街地、町内会や自治会などの地域コミュニティを活かした協働の取組によるまちづくりを推進してまいります。</p>	D
91	<p>現在の宮前区のように、行政機関が1か所に集中している自治体は中々存在しない。非常に利便性にはなっている。行政の中心が定着するのに長い年月が必要であり、やっと宮前区も定着し始めたばかりだと思える。川崎市のような赤字の地方公共団体が、地勢的にも中心からはずれ、新たな箱物を造り、今ある一極集中の利便性を損なおうとする考えは、バブル時代から抜け出してきたような時代と逆行する。</p>	<p>今後の少子高齢社会を見据え、駅周辺に公共機能を集約していく、コンパクトなまちづくりが重要と考えており、これまでも総合計画に基づき、駅周辺のまちづくりとそれらをつなぐ交通ネットワークの充実に取り組んできました。今回の取組は、再開発によって交通結節機能をはじめ、都市としての機能が向上する鷺沼駅周辺に、区役所・市民館・図書館を移転・整備し、宮前区全体の活性化を促す「核」としての地域生活拠点としての形成を図るものです。</p> <p>現在は、区役所・市民館・図書館、消防、警察が1か所に集中しており、移転後は消防や警察と離れた場所になりますが、災害発生時には、市・区災害対策本部、消防署、警察をはじめ、各機関が組織ごとの指揮系統により、自律的に災害対策を実施しており、鷺沼（区役所）と宮前平（消防署・警察署）の2拠点体制とすることで被災リスクを分散し、新たに回復力（レジリエンス）と多重性（リタンダンシー）を確保します。</p> <p>各機関の立地の遠近にかかわらず、更なる機動性・即応性を確保していくため、防災無線など情報通信手段の確保及び適切な活用や、防災訓練等を通じて、効率的・効果的な災害時の協力連携体制の一層の強化を図り、災害に対応していきます。</p> <p>なお、区役所等は将来にわたって市民生活に必要な施設であり、維持・更新が必要であることから、整備手法や時期の前後があっても所要のコストがかかるものと考えています。</p>	D
92	<p>現在示されている案は 鷺沼を盛り上げることばかりが考えられており、同じ宮前区なのに宮前平地区のことははっきりしないがしろにされていると思う。</p> <p>今まで鷺沼が賑やかな商業地区であるのに対し宮前平は落ち着いた文教地区という地域カラーがあったが、区役所・市民館・図書館を全面移転するという事は宮前平地区の特色をすっかり奪う</p>	<p>本市では、国の施策等を踏まえ、少子高齢化の進行による社会的要請や今後の人口減少を見据えた地域課題に効果的に対応するとともに、地球環境に配慮した都市の形成を推進するため、「コンパクトで効率的なまち」を目指すこととしており、「駅周辺における取組」として、「公共公益施設の建替えや大規模な土地利用転換の契機を捉え、交通利便性の高い駅周辺</p>	D

No.	意見・質問要旨	本市の考え方	区分
	<p>ことになる。それに伴って区役所を経由するバス便の削減あるいは廃止など、生活の利便性が大きく低下することも予想される。</p> <p>鷺沼を中心として盛り上げれば 宮前区全体も活性化されるだろうという論理には疑問を感じる。地域に大きな偏りがでないような計画を御願いたい。</p> <p>市保有の広い土地とまだまだ使える建物を廃棄費用までかけて捨てて手狭な高層ビルに間借りするのは愚策だと思う。</p>	<p>地区等においては、公共公益施設の集約や多様なニーズに対応した都市機能の誘導を図るとともに、路線バスなどの公共交通による駅へのアクセス向上に向けた取組」を推進するものとしております。</p> <p>その中で、民間事業者による再開発によって交通結節機能をはじめ、都市としての機能が向上する鷺沼駅周辺に、宮前区役所・市民館・図書館を移転・整備し、宮前区全体の活性化を促す「核」としての地域生活拠点の形成を図ってまいります。</p> <p>また、身近な地域においては、計画的に整備された良好な市街地、町内会や自治会などの地域コミュニティを活かした協働の取組によるまちづくりを推進してまいります。</p> <p>なお、移転後の現区役所等施設・用地については、周辺地域の課題や行政需要、地域ニーズ等との調和を勘案しながら、市民参加で検討を進めてまいります。</p>	
93	<p>区役所と図書館の移転に反対する。宮前平は区役所のある街。区の顔ともいえる建物も立派で、中央の広場も高低差を利用して素敵である。それを失って、東急が開発する鷺沼に一極化するのでは区内の多様性、ひとつの街の特徴を失うと考える。</p> <p>県外にも知れ渡る富士見台小学校、宮前平中学校の高い人気と評判は図書館、区役所と合わさって一帯の文教イメージを作っている。特徴のない宮前区の大切にすべきアピールポイントだと思う。</p> <p>すでに再開発が決まった鷺沼ではなく民間事業者による街の開発や、経済効果を宮前平でも得たほうが得策ではないかと考える。</p>	<p>本市では、現施設に関するバリアフリー面やアクセス面などの課題、意見交換会等で寄せられた様々な市民意見や基礎調査結果等の諸条件、そして宮前区の将来展望を総合的に整理・検討し、鷺沼駅周辺再編整備に伴う公共機能の方向性及び基本的な考え方をまとめました。</p> <p>今回の鷺沼駅前再開発では、路線バスネットワークの充実により、宮前区全体の発展に資する鷺沼駅へのアクセス性向上効果等を活かし、将来を見据えたコンパクトなまちづくりを推進するため、区役所・市民館・図書館を一体的に移転・整備し、宮前区の核となる地域生活拠点の形成を図ってまいります。</p> <p>また、現区役所等施設・用地は、本市の貴重な財産として、宮前区全体と周辺エリアの将来を見据え、活用のあり方について市民参加で検討してまいります。</p>	D
94	<p>現施設の周辺に住む人は鷺沼駅まで行かなくては施設の利用ができない。バスでの移動が困難な人の対策は考えているのか？</p> <p>市民サービスを謳うのであれば、施設を1か所に集中するのではなくて、歩いて行ける場所に施設を設けることではないか。</p> <p>(同趣旨他 473 件)</p>	<p>本市では、駅やバス停までの公共交通へのアクセス向上については、徒歩や路線バスによる対応を基本としておりますが、その他の交通手段への対応として、駐車、駐輪スペースの確保や駐車施設のバリアフリー対応について、「川崎市建築物における駐車施設の附置等に関する条例」などに基づき、適切な台数や仕様となるよう、準備組合と調整を図ります。</p> <p>また、現在、市内に新たな社会教育施設を整備する計画はありませんが、今後も各区に1館ずつ設置している市民館及び図書館並びに既設の分館等を軸としながら、学校施設の有効活用等の様々な手法を総合的に用いて、地域に身近な場所できめ細やかなサービスの提供を行ってまいります。</p> <p>現区役所等施設・用地は、本市の貴重な財産として、活用のあり方について市民参加で検討してまいります。</p>	D

(4) 公共機能の方向性・考え方、導入機能・規模の方向性に関すること

No.	意見・質問要旨	本市の考え方	区分
95	<p>諸条件及び将来展望を踏まえた総括から、現区役所へのアクセス性の課題、継続利用と移転の比較、準備組合との調整・・・等の説明を市から受けたが、余りにも移転への理由としては、理解しかねる内容である。</p> <p>現区役所等施設へのアクセスが課題（宮前平から区役所までの坂道が課題）と捉えておれば、これまでの37年間、行政の無策としか言いようがない。</p> <p>宮前平駅から乗合タクシーやシャトルバスを市の補助金を使い、走らせておれば既に解決された問題である。これからも必要と判断すれば対策をやるべきだろう。</p> <p>必要性が低いと判断されれば、これまで区役所へのアクセスが悪いとの移転理由が消える。</p> <p>先んじて建物を・設備を更新すれば・・・とあるが、現区役所等を建替えれば、最新型の建物、設備になる。そのようなことに対する比較を行い、大きな優位性とはおかしな比較である。</p>	<p>区役所等施設へのアクセス性については、古くは昭和57（1982）年の分区当初から課題として指摘されており、近年では、鷺沼駅・宮前平駅・区役所を結ぶシャトルバスの検討や、区役所・市民館・図書館の来庁者数調査、区役所を拠点としたバスターミナルの検討などを行った経過があります。</p> <p>この中で、駐車場スペースを活用した折り返し運行は実現したものの、区役所駐車場部分の改修によるバスターミナルの検討は、現行駐車台数の確保、及び車両の展開スペースや待合スペース整備などの物理的な課題があり、実現に至りませんでした。また、シャトルバスの運行についても採算性やランニングコストなどの課題があり、実現していません。</p> <p>アクセス性の改善は、将来的にも大変重要な課題ですが、現在の区役所等の立地を前提として解決しようとした場合には、今後想定される施設の建替え、維持・管理費用に加えて、継続的にシャトルバス等の費用を要することとなり、実現は困難です。</p> <p>また、施設更新については、区役所を築60年まで長寿命化した後に現地で建て替える場合より、早期に新設整備され、十分な機能確保が図られる再開発区域内の方が、業務継続等の観点から優れていることをお示したところですが、鷺沼駅周辺再編整備に伴う公共機能の方向性及び基本的な考え方のとりまとめにあたっては、こうした諸条件及び将来展望、並びに準備組合から提示された情報を総合的に整理・検討を行ったものです。</p>	D
96	<p>仮に基本案の通り3施設の移転が実施されたとすると、移転後3～5年も経ずして、賛成派として3施設移転を支持していた人たちから「こんな筈ではなかった」との声が上がるだろう。彼らは自分たちが主役での街づくりを想定していただけですが、現実に駅前タワービル住宅部分に大挙して一斉に入居する所謂「新入植者」が街を占拠してしまい、自分たちが否応なく脇に追いやられていく事態に陥ることが分からないのだろう。その当て外れは確実に生活環境の悪化につながり、彼らは自らのおおきな過ちを身を以て思い知ることになるだろう。私の意見は以上の理由から如何に彼らが望もうとも3施設移転を市当局は決定すべきではないということである。</p>	<p>本市においても、整備後のエリア価値の向上に向けた周辺地域との協働・連携などソフト面での取組やコミュニティの構築は重要と考えており、他地区の事例等も参考に、効果的な取組を検討してまいりたいと考えております。</p>	D
97	<p>区役所移転に反対である。民間と共有の複合ビルでのシナジー効果期待ということだが、この10年来の動き、商業主義に乗せられた動きの様に思う。不動産業、建設業の利益第一主義に乗せられている。街の発展は大事なことだが、慎重な取組をお願いしたい。</p>	<p>鷺沼駅前に移転・整備することで、他の施設との複合施設となることで、維持管理に関する自由度が低くなるなどの課題がありますが、バリアフリー・ユニバーサルデザイン対応が可能であり、市民ニーズが多様化する中で、区役所・市民館・図書館に求められる機能と民間施設との連携、機能・空間の融合や多機能化を図</p>	D

No.	意見・質問要旨	本市の考え方	区分
98	区役所の民間施設との複合で相乗効果が見込まれるとあるが、どのようなシナジー効果があるだろうか。服装はたまプラーザへ行く。飲食ではあまり効果がないのではないか。建物の管理・維持が自前でできないということが大問題にすべき。	<p>ることで、相乗効果が見込まれるメリットがあるものと考えております。</p> <p>具体的な機能・サービスとして、市民館・図書館機能については、駅前という多様な施設が集積する立地を活かして、商業施設や商店街、駅、保育所など、同じ建物内や近隣の店舗・施設・団体等に対して積極的な働きかけを行い、新たな関係性を構築することによって、民間事業者等と連携した幅広い生涯学習事業や図書館サービス、イベント等の実施をめざしてまいります。</p>	D
99	区役所移転反対。自前の土地、建物があるのになぜ民間と共同の複合ビルの区分所有を買うのか	<p>今回の施設整備においては、意見交換会での提案や「これからのコミュニティ施策の基本的考え方」を踏まえながら、再開発事業による施設整備として、これまでの区役所・市民館・図書館としての単一的な施設ではなく、民間施設との連携、機能・空間の融合や多機能化を図ることによる相乗効果により、新たな賑わいや交流の促進を図ることで、多世代が訪れ、多様なコミュニティを創出する新たな文化・交流拠点を形成してまいります。</p> <p>なお、再開発事業においては、容積率の規制緩和は行わないこととしております。</p>	D
100	昨今、公共施設と民間施設の連携融合による相乗効果ということで、複合ビルに同居する例があるようだが、これは全く、この7、8年の規制緩和の動きと連動しているように思われる。この影響、弊害が表れるのはこれからではないか。行き過ぎた緩和は見直すべきと言う意見もあるように思う。	<p>今回の施設整備においては、意見交換会での提案や「これからのコミュニティ施策の基本的考え方」を踏まえながら、再開発事業による施設整備として、これまでの区役所・市民館・図書館としての単一的な施設ではなく、民間施設との連携、機能・空間の融合や多機能化を図ることによる相乗効果により、新たな賑わいや交流の促進を図ることで、多世代が訪れ、多様なコミュニティを創出する新たな文化・交流拠点を形成してまいります。</p> <p>なお、再開発事業においては、容積率の規制緩和は行わないこととしております。</p>	D
101	区長は宮前区＝鷺沼といったシンボルを作りたいといていたが公共機能＝シンボルとは理解しがたい。	<p>本市としては、意見交換会等で寄せられた様々な市民意見や基礎調査結果等の諸条件及び宮前区の将来展望を総合的に整理・検討し、鷺沼駅周辺再編整備に伴う公共機能の方向性及び基本的な考え方をとりまとめました。</p> <p>その中の方向性の一つとして、民間事業者による再開発によって交通結節機能をはじめ、都市としての機能が向上する鷺沼駅周辺に、宮前区役所・市民館・図書館を移転・整備し、宮前区全体の活性化を促す「核」としての地域生活拠点の形成を図ることをお示したところでございます。</p>	D
102	移転後の姿は良くわからないが、高層ビルの中での移動は年配者に苦痛になる恐れもある。	<p>移転した場合、区役所・市民館・図書館とも、低層部に整備することをお示したところですが、再開発事業の施設整備にあたっては、ユニバーサルデザインへ配慮した計画となるよう誘導してまいります。</p>	D
103	移転新計画案を見ると区役所・市民館、ホール・図書館が分かれており道路をまたいでいかななくてはならない。建物内で行き来できるのかもしれないが、それでは今とまったく変わらず意味もない。年配者にとって不便極まりない。案内板等を出したところで便利ではなく、不便である。	<p>移転した場合、区役所・市民館・図書館とも、低層部に整備することをお示したところですが、再開発事業の施設整備にあたっては、ユニバーサルデザインへ配慮した計画となるよう誘導してまいります。</p> <p>また、今後の取組として、歩行者の安全性向上、交通流の円滑化に向け、駅周辺の高低差を活かした歩車分離の可能性などについて、準備組合に検討を働きかけ、適切な交通対策が図られるよう取り組んでまいります。</p>	D

(4) 公共機能の方向性・考え方、導入機能・規模の方向性に関すること

No.	意見・質問要旨	本市の考え方	区分
104	区役所 市民館 図書館の全面移転には反対する。現在それらの施設が果たしている機能のすべてを 鷺沼駅周辺に立つ高層ビルのわずか数フロアに収められるとは到底思えない。それではサービスの低下につながる。	区役所機能については、今後も身近な地域の総合行政機関としての取組を推進していくため、将来的な組織再編等への対応を想定しつつ、現庁舎と同程度の施設規模を基本とし、市民館・図書館機能については、今後も生涯学習施設としての取組を推進していくため、現施設と同程度の施設規模を基本とすることを、基本方針にお示ししたところです。	D
105	限られた土地の高層化した建物の中に区役所の公共機能を集約し、移転することが「身近な地域が連携した住みやすく暮らしやすいまちづくり」になるのか (同趣旨他 8 件)	本市では、超高齢社会の到来を見据え、地域のニーズにきめ細かくに対応するため、「誰もが安心して暮らせる住まいと住まい方の充実」や「地域生活拠点及び交通利便性の高い身近な駅周辺などのまちづくり」を推進することとしており、併せて、身近な地域間の相互連携を促すため、公共交通を主体とした駅へのアクセス向上等の「将来にわたる市民の暮らしを支える交通ネットワークなどの強化」に取り組むこととしております。	D
106	鷺沼のみに税金を投入して鷺沼の活性化を目的とするのは、区民の総意と言えるのか？ そもそも、宮前平は田園都市の中心地として起伏する丘と豊かな緑、穏やかな景観、混雑や喧騒の繁華街もない閑静な住宅地、豊かな文教資産など、ゆったりした田園都市としてのアイデンティティを持っている。その中心が宮前区役所であり、図書館・市民ホールなどのもたらす豊かさである。宮前区に人口集中の繁華街はいらない。 これが、鷺沼駅前の住宅ユニットの下など、都会の喧騒と渋滞、鉄道により南北が分断された場所の区役所では、雑踏の中、長い間いることもできず、区役所の落ち着いた空間が失われてしまうだろう。	これらの取組により、鉄道を主軸とした都市の一体性と都市機能の向上を図り、身近な地域が連携するまちづくりを進めてまいりたいと考えています。	D
107	現宮前区役所、警察署、広場、市民館、消防署が平地に揃った光景をぜひ見てほしい。「何故移転なのか？」解らない私共住民の理由だ。創立より 35 年余りすっかり地元にとけこんで人口増加著しい住民、その子どもたちの「生涯教育の場」また「共生の場」「憩いの場」、区民祭りに集う場としてしっかり定着している。 それはひとえにこの場所が好立地（文教区）であること、交通渋滞がない広い道に側していること、緑が多く落ち着いた雰囲気醸し出していること等の外に、川崎市自前の土地であること、災害時には区役所、警察、消防が共に連携がとれやすいこと、東名川崎インターにより近いこと土砂崩れの心配がより少ないことだ。 宮前平駅からの急坂を難点に言う人がいますが、宮前区はほぼどこへ行くにも坂道を通る。ひるがえせば景観がよいということだ。バスも充実してきた。三つの駅を通るシャトルバスという案もある。意見書で 30 項目以上の問題点を示したので、反論があれば答えていただきたい。	現施設については、バリアフリー面や建物の維持管理面、アクセス面などの課題があり、こういった課題や意見交換会等で寄せられた様々な市民意見や基礎調査結果等の諸条件及び宮前区の将来展望を総合的に整理・検討し、鷺沼駅周辺再編整備に伴う公共機能の方向性及び基本的な考え方をまとめました。 今回の鷺沼駅前再開発では、路線バスネットワークの充実により、宮前区全体の発展に資する鷺沼駅へのアクセス性向上効果等を活かし、将来を見据えたコンパクトなまちづくりを推進するため、区役所・市民館・図書館を一体的に移転・整備し、宮前区の核となる地域生活拠点の形成を図ってまいります。 また、併せて民間事業者による再開発事業との連携により、民間施設と行政施設の相乗効果による機能・空間の実現を図り、文化・交流拠点の形成と新たなコミュニティの創出を図ってまいります。 なお、意見書に記載された内容については、各項目に分割し、それぞれに対して、市の考え方をお示ししております。	D
108	高齢者で足腰が弱くなるばかりだ。今のままで移動させないでください。	現在の区役所等施設へアクセスする既存路線の運行状況等を踏まえ、拡充されるバスパース	D

No.	意見・質問要旨	本市の考え方	区分
109	<p>図書館で本を借りたりするので、今の場所だと歩いて行けるので便利だ。</p> <p>もう少し年をとったら、不便なところでは利用しなくなる。今だとバスで直通に行けるのでとても便利だ。</p>	<p>等を活用し、向丘地区方面などからのアクセスを強化し、利便性等の向上に向け、平成 30 年度に実施しているパーソントリップ調査の結果や、路線バスの利用実態、需要動向、事業採算性等を踏まえながら、引き続き、バス事業者との協議・調整を行い、路線バスネットワークの充実に向けた取組を進めてまいります。</p>	D
110	<p>宮前に分区され、現地点に区役所、市民館、警察署、消防署設置され生活してきた。今の住所地からこれらの施設に行くのは、バス一本で行く。現在年金生活となり、もし鷺沼に移転すると宮前平までバスで行き、電車に乗り鷺沼に行くようになると交通費が電車の分だけ多くなる。市民館での催しや区役所での書類提出など、行く機会が結構あるので、電車代 240 円（現在は）プラスになることが重なっていくと負担となる。</p>	<p>本市といたしましては、これらの取組や意見交換会等で寄せられた様々な市民意見や基礎調査結果等の諸条件及び宮前区の将来展望を総合的に整理・検討し、鷺沼駅周辺再編整備に伴う公共機能の方向性及び基本的な考え方をまとめました。</p> <p>今回の鷺沼駅前再開発では、路線バスネットワークの充実により、宮前区全体の発展に資する鷺沼駅へのアクセス性向上効果等を活かし、将来を見据えたコンパクトなまちづくりを推進するため、区役所・市民館・図書館を一体的に移転・整備し、宮前区の核となる地域生活拠点の形成を図ってまいります。</p>	D
111	<p>人の話をきかないで、勝手に移転を決めてはいけない。跡地利用についても予め案を示すべきだ。馬絹連絡所がなくなり、不便になった。区役所までは歩くと 30 分かかり、鷺沼に移転するとかなり遠くなり、年寄りではとても歩くことができない。これまでバス代もかからず区役所に来られたが、区役所に来るたびに交通費がかかるようになってくれるのか。鷺沼まで行くような方法を提示してほしい。（60 歳以上の高齢者の公共交通機関の無料パスなど）</p>	<p>現在の区役所等施設へアクセスする既存路線の運行状況等を踏まえ、拡充されるバスバス等を活用し、向丘地区方面などからのアクセスを強化し、利便性等の向上に向け、平成 30 年度に実施しているパーソントリップ調査の結果や、路線バスの利用実態、需要動向、事業採算性等を踏まえながら、引き続き、バス事業者との協議・調整を行い、路線バスネットワークの充実に向けた取組を進めてまいります。</p> <p>本市としては、これらの取組や意見交換会等で寄せられた様々な市民意見や基礎調査結果等の諸条件及び宮前区の将来展望を総合的に整理・検討し、公共機能の方向性及び基本的な考え方をまとめました。</p> <p>今回の鷺沼駅前再開発では、路線バスネットワークの充実により、宮前区全体の発展に資する鷺沼駅へのアクセス性向上効果等を活かし、将来を見据えたコンパクトなまちづくりを推進するため、区役所・市民館・図書館を一体的に移転・整備し、宮前区の核となる地域生活拠点の形成を図ってまいります。</p> <p>なお、本市では満 70 歳以上の方に、社会参加の支援を目的として、市内を運行するバスに優待乗車できる高齢者特別乗車証明書を交付しています。</p>	D
112	<p>区役所・市民館・図書館を何故移転する必要があるのか。移転賛成の連中は「坂がキツイ」を繰り返すだけ。市当局自ら「今回の再開発の話がなければ移転は考えなかった」とフォーラムの場で明言しているにも関わらず、それでも＜移転ありき＞の姿勢を変えず、今回の基本案、3×移転を出してきた。単に 3×移転に反対する以上に、市当局が一体誰のために本案を作成したかを問う。</p>	<p>今回のプロジェクトは、まちづくりフォーラムや意見交換会、区民意識アンケートなど、多角的な取組により把握してきた区民意見や、専門業者への委託により進めてきた基礎調査の結果等を総合的に整理・検討した結果として、宮前区役所・市民館・図書館の移転の有無も含めた公共機能の方向性を明らかにし、引き続き、市民の方々にとって、より良い宮前区のミライ</p>	D

(4) 公共機能の方向性・考え方、導入機能・規模の方向性に関すること

No.	意見・質問要旨	本市の考え方	区分
		<p>に繋がる取組を推進していくことを目的としているものです。</p> <p>なお、最初から「移転ありき」で検討してきたということはありません。</p>	
113	<p>鷺沼に区役所が移転すると、鷺沼の地価評価額は上がるが、宮崎 5,6 丁目、神木 1,2 丁目土橋了丁目、けやき平の広範囲において地価が下がる恐れがある。鷺沼は区の端で、現区役所は区の中心地のため、当然影響は大きい。将来的に、地価の減少は、住んでいる人、住宅の資産減少につながっていき宮前区全体の資産減少、消費の減少へとつながる。</p> <p>(同趣旨他 450 件)</p>	<p>今回の検討は、宮前区全体の将来を見据えた取組を推進するため、再開発によって交通利便性が高まり、都市としての機能が向上する鷺沼駅前に、公共機能を一体的に移転する可能性も含めて検討する機会であると捉え、区民の皆様からこれまでに様々な場面でいただいた御意見やコスト面を含めた基礎調査の結果に加え、宮前区の将来展望などを総合的に整理・検討した結果、区役所・市民館・図書館を鷺沼駅周辺に移転・整備するという方針をお示ししたものです。</p>	D
114	<p>区役所や図書館が建設されてから長い年月がたち、地域の住民にとっては生活の中に溶けこんできた、あるべき「あたりまえの施設」になっている。施設に関係してさまざまな商店や施設がなくなり、住宅街も増え、にぎやかになってきた。</p> <p>その中心的存在だった施設がなくなれば、どれほど多くの人たちが戸惑うか想像してみたい。それらの施設の存在は、利用することができなくなり不便といった単純な問題ではない。</p> <p>それらの施設があるから引っ越してきたという人も多いと聞いた。</p> <p>店を閉店しなければならぬ等々の切実な問題を抱える人も多いはずだ。地域としての価値の低下があれば、地価にも影響してくる。</p> <p>現在ある施設をなくすことには、絶対反対だ。</p>	<p>また、現区役所等施設・用地についても、本市の貴重な財産として、地域課題の解決や魅力ある地域づくりに向けた活用のあり方について、宮前区全体と周辺エリアの将来を見据え、市民参加の手法も取り入れながら検討を進めてまいります。</p> <p>なお、土地評価額については、様々な要因により上下するものと考えておりますが、結果としてあらわれるものであり、現時点で確定的な予見を持つことは困難です。</p>	D
115	<p>民間と行政の施設の一体化は本当に相乗効果を生むのか？全国あちらこちらで見るとは効果的には殆ど見えない。機能・空間においては連動性は期待できない。</p>	<p>市民館・図書館が駅前に移転することで、アクセス性の向上に伴う来館者の増加や、再開発により建設される同じ建物内の店舗や駅前商店街など商業施設・民間施設との近接による相互連携の可能性が生まれます。</p> <p>また、施設が更新されることで、新たな施設・設備を活用したサービスの可能性が広がります。</p> <p>こうした、新たな可能性の創出が期待できる施設の移設・更新という機会を最大限に活かしながら、社会教育及び生涯学習にかかる環境を整備し、事業の充実やサービスの向上を目指していきます。</p>	D
116	<p>人口が集中することで行政に対する意見も人口が多い地域のものが力を持つようになり、行政サービスもそこが優先されるようになる。これにより地域格差が発生、または拡大すると考える。</p>	<p>鷺沼駅再開発では、交通広場の拡充や、路線バスネットワークの充実により、宮前区全体の発展に資する鷺沼駅へのアクセス性向上に向けた取組を推進するとともに、多様なライフスタイルに対応した都市機能の集積により、利便性の向上を図ります。</p> <p>こうした鷺沼駅の交通結節機能の向上効果等を最大限に活かすことで、宮前区全体の活性化を促す「核」としての地域生活拠点の形成を図っていきたくと考えております。</p>	D

No.	意見・質問要旨	本市の考え方	区分
117	<p>現在、鷺沼駅前にはすでに宮前区の行政サービスセンターが存在しており、簡易に行政サービスを受けられる配慮がされている。</p> <p>しかし今回の鷺沼駅周辺再整備により宮前区役所、市民館等が鷺沼駅前に集中し、宮前平には出張所も市民館も新設しないため、宮前平の住民は行政サービスを受けるのに鷺沼駅前まで行かなければならない。</p> <p>鷺沼の住民がすでに不便なく行政サービスを受けられることを踏まえると、宮前平の住民だけが一方的に行政サービスの不利益を強いられるのは、行政の公平性に反する。出張所等の新設で宮前平の住民に対する行政サービスの利便に配慮すべきである。</p>	<p>これまで本市では、区役所サービスについては、「区役所と支所・出張所等の窓口サービス機能再編実施方針（平成 21（2009）年 3 月策定）」に基づき、転入・転出と福祉サービスなど、手続きの種類によって区役所と支所・出張所を使い分けることなく、1 か所で必要なすべての窓口サービスを提供できるようにするとともに、限られた財源・資源を最大限に活用していくため、出張所の届出窓口の区役所への集約など、様々な取組を推進してきました。</p> <p>少子高齢化や核家族化などにより市民生活が多様化する中で、行政サービスも専門化、複雑化し、それぞれの窓口や相談体制が連携して取組を推進しています。</p>	D
118	<p>宮前区役所、市民館、図書館の鷺沼駅前移転は反対する。区役所機能の一部移転については反対しない。全移転というのは、自ら企画した現在の機能を自ら全否定することになる。</p>	<p>将来的に人口減少への転換が確実に予測される中で、これからの区役所には、誰もが住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができるよう、福祉や介護、生活支援に関する相談など、市民生活に必要な取組を一体的に推進する地域の総合行政機関としての役割が、一層重要になっていくことが想定されます。</p> <p>こうした中長期的な展望に立ち、区役所については、今後も機能を切り分けることなく（分庁舎を設置することなく）、将来にわたって市民ニーズに応じたきめ細やかな行政サービスを着実に提供していきます。</p>	D
119	<p>移転反対である。現在、市民館広場では、若者達が、ブレイクダンスの練習を自由に整然と、やっている。特別に作って用意した場ではない。若者達が自然な形で集まり、楽しんでいる。市長も随行者なしで、休みの日にそっと観に来てほしい。若者達は規則に敏感で、用意したニオイのものなど、見向きもしない。それが若者達だ。</p>	<p>鷺沼駅前再開発を契機とした施設整備においても、民間施設との連携、機能・空間の融合や多機能化を図ることなどにより、新たな賑わいや交流の促進を目指します。</p> <p>若者の自然発生的な文化、活動は、地域の賑わいや発展に寄与するものと考えていますので、今後の取組の中で検討してまいります。</p>	C
120	<p>良く耳にすることは駅周辺の住民も賛成よりも反対の方が多いうだ。駅周辺の人達も区役所、市民館、図書館が移転することにビックリしている。</p>	<p>鷺沼駅前の再開発区域は、急行の停車駅から至近であり、駅にアクセスするバス路線は現状の本数に加え、交通広場の拡充により、拡充に併せた路線バスネットワークの充実が図られるなど、現在の区役所等が立地する場所に比べてアクセス性に関して優位性が見られます。</p> <p>本市といたしましては、これらの状況や意見交換会等で寄せられた様々な市民意見や基礎調査結果等の諸条件及び宮前区の将来展望を総合的に整理・検討し、鷺沼駅周辺再編整備に伴う公共機能の方向性及び基本的な考え方をまとめました。</p> <p>今回の鷺沼駅前再開発では、路線バスネットワークの充実により、宮前区全体の発展に資する鷺沼駅へのアクセス性向上効果等を活かし、将来を見据えたコンパクトなまちづくりを推進するため、区役所・市民館・図書館を一体的に移転・整備し、宮前区の核となる地域生活拠点の形成を図ってまいります。</p> <p>また、これまで市民説明会や市政だより特別号などにより周知を図ってまいりましたが、引</p>	D

(4) 公共機能の方向性・考え方、導入機能・規模の方向性に関すること

No.	意見・質問要旨	本市の考え方	区分
		き続き、今後予定している都市計画の説明会や、市民館・図書館の導入機能に関する意見聴取などの様々な機会を捉えて、更なる周知を図ってまいります。	
121	東急による再開発に東急の株主でもない一般納税者区民が利用される図は東急が言う「我は法に沿ってやっているから文句を言われる筋はない」で仕上げられる方向。仕上げの許認可は市長がただ印を押せば済む。区役所、市民館、図書館、保健所は納税者の財産で東急の私物ではない。	今回のプロジェクトは、まちづくりフォーラムや意見交換会、区民意識アンケートなど、多角的な取組により把握してきた区民意見や、専門業者への委託により進めてきた基礎調査の結果等を総合的に整理・検討した結果として、宮前区役所・市民館・図書館の移転の有無も含めた公共機能の方向性を明らかにし、引き続き、市民の方々にとって、より良い宮前区のミライに繋がる取組を推進していくことを目的としているもので、民間企業のために実施しているものではありません。	D
122	民間がなぜ、公共施設をビルの中にとりこもうとしているか考えてほしい。市に高く売りつけ、他の住宅部分を安くし、利益を得るためだ。民間の利益のために、私たちはおどらせられてはならない。		D
123	東急の商売の販促となるような鷺沼移転は反対。現在地の環境をより評価！！ (同趣旨他 1 件)	<p>現施設については、バリアフリー面や建物の維持管理面、アクセス面などの課題があり、こういった課題や意見交換会等で寄せられた様々な市民意見や基礎調査結果等の諸条件及び宮前区の将来展望を総合的に整理・検討し、鷺沼駅周辺再編整備に伴う公共機能の方向性及び基本的な考え方をまとめました。</p> <p>今回の鷺沼駅前再開発では、路線バスネットワークの充実により、宮前区全体の発展に資する鷺沼駅へのアクセス性向上効果等を活かし、将来を見据えたコンパクトなまちづくりを推進するため、区役所・市民館・図書館を一体的に移転・整備し、宮前区の核となる地域生活拠点の形成を図ってまいります。</p> <p>また、併せて民間事業者による再開発事業との連携により、民間施設と行政施設の相乗効果による機能・空間の実現を図り、文化・交流拠点の形成と新たなコミュニティの創出を図ってまいります。</p> <p>なお、現区役所等施設・用地は、本市の貴重な財産として、活用のあり方について市民参加で検討してまいります。</p>	D
124	川崎市SDG s にもとづき実施ください。 SDG s を的確にとらえた取組を着実に進めるために、総合計画の 23 の政策、及び、73 の施策と、SDG s の 17 のゴール等との対応を示している。特に ゴール 10 人や国の不平等をなくそう …各国内及び各国間の不平等を是正する。 ゴール 11 住み続けるまちづくりを …包括的で安全かつ強靱(レジリエント)で持続可能な都市及び人間居住を実現する。 ゴール 12 つくる責任 つかう責任 …持続可能な生産消費形態を確保する。 SDG s が 2030 年を目指した目標であることから、取組期間を平成 42(2030)年までとする。	<p>本市では、将来にわたる持続的な発展を図るため、国際的な取組である持続可能な開発目標 (SDG s) 達成に寄与する取組を進めていく必要があることから、平成 31 (2019) 年 2 月に「川崎市持続可能な開発目標 (SDG s) 推進方針」を策定しました。</p> <p>同推進方針では、SDG s の理念や国の動向を踏まえながら、総合計画に位置付けた各施策・事務事業を実施することを基本としておりますので、本方針においても、総合計画と同様に、<u>市民や地域の団体、企業などの多様な主体との連携を図りながら関連事業を実施し、SDG s 達成に寄与する取組を推進することとして、「第 1 章 3」に必要な内容を追記しました。</u></p>	A
125	川崎市持続可能な開発目標に沿っているのか。		A

No.	意見・質問要旨	本市の考え方	区分
126	<p>今回は又とない機会と思う。個人的には区役所の移転は不便になるが、長期的な視点で若い人が仕事や生活に追われ、利便性が益々求められることや現区役所ではシニアにとっての不便さを考え併せると、方向性に賛同する。</p> <p>3施設を移転すると鷺沼周辺の交通混雑に拍車をかけること必定であり、有馬方面の方々にも却って不便になりかねないので区役所のみを移転に賛成する。</p>	<p>将来的な少子高齢化の一層の進行が見込まれる中では、区役所や市民館・図書館への公共交通によるアクセス性の確保がより重要になります。</p> <p>鷺沼駅前再開発では、交通広場の拡充や、路線バスネットワークの充実により、宮前区全体の発展に資する鷺沼駅へのアクセス性向上に向けた取組を推進します。</p> <p>こうした鷺沼駅交通結節機能の向上効果等を活かして区役所等を一体的に移転・整備し、宮前区の核となる地域生活拠点の形成を図ります。</p> <p>また、現在の区役所・市民館・図書館の敷地、施設では、バリアフリーに関して、南北方向の敷地の高低差による構造上の課題や、通路や出入り口の幅が狭いなど、施設面での課題が指摘されています。新たな施設の整備にあたっては、バリアフリーはもとより、利用者のニーズに対応した環境整備を図るなど、サービスの向上に向けた取組を推進します。</p>	B
127	<p>鷺沼駅周辺は区民からのアクセスは良好なので図書館や市民会館の移転は意味があると思うが土日に稼働していない区役所の移転は鷺沼駅再整備にマイナスになるのではないかと？</p> <p>マイナンバーカード導入により区民の区役所へのアクセスは減少しているはずである。マイナンバーカードは住民票など近くのコンビニで受け取れることを売りにしている。</p> <p>鷺沼駅周辺には商業施設など作って人が集まるようにすべきだと思う。区役所の老朽化が心配であれば図書館と市民会館が移転したのちその場所に区役所を立て直す方がふさわしい。</p>	<p>将来的な少子高齢化の一層の進行が見込まれる中では、区役所や市民館・図書館への公共交通によるアクセス性の確保がより重要になります。</p> <p>鷺沼駅前再開発では、交通広場の拡充や、路線バスネットワークの充実により、宮前区全体の発展に資する鷺沼駅へのアクセス性向上に向けた取組を推進します。</p> <p>こうした鷺沼駅交通結節機能の向上効果等を活かして区役所等を一体的に移転・整備し、宮前区の核となる地域生活拠点の形成を図ります。</p>	D
128	<p>区役所の事務部分は通常はほとんど利用しない。一年に一回行くか行かないかだ。何か問題があると通うことになると思うが、普通に生活している人にとって利用回数はあまりない。その観点で、区役所が駅前を占拠するのは町の発展にとって有益かどうかは、その適否を十分に検討する必要がある。建物上部に配置するとか、住人の流れを最優先する必要がある。</p>	<p>また、現在の区役所・市民館・図書館の敷地、施設では、バリアフリーに関して、南北方向の敷地の高低差による構造上の課題や、通路や出入り口の幅が狭いなど、施設面での課題が指摘されています。新たな施設の整備にあたっては、バリアフリーはもとより、利用者のニーズに対応した環境整備を図るなど、サービスの向上に向けた取組を推進します。</p>	D
129	<p>区役所は現在の場所に残して鷺沼には図書館のみを移転させればいいのでは。</p>	<p>将来的な少子高齢化の一層の進行が見込まれる中では、区役所や市民館・図書館への公共交通によるアクセス性の確保がより重要になります。</p>	D
130	<p>パターン比較の「③区役所は今のままで市民館・図書館を駅周辺に移す」という案に賛成である。区役所を移すメリットが役所の説明ではよくわからない。特にコスト面が心配で出費が多くなると予想される文化施設はD判定なので移すメリットがある。国の補助金も出ると聞いたので。最大の理由は使う出費に対して区民が受ける益が少ないと判断したからだ。</p>	<p>鷺沼駅前再開発では、交通広場の拡充や、路線バスネットワークの充実により、宮前区全体の発展に資する鷺沼駅へのアクセス性向上に向けた取組を推進します。</p> <p>こうした鷺沼駅交通結節機能の向上効果等を活かして区役所等を一体的に移転・整備し、宮前区の核となる地域生活拠点の形成を図ります。</p> <p>また、現在の区役所・市民館・図書館の敷地、施設では、バリアフリーに関して、南北方</p>	D

(4) 公共機能の方向性・考え方、導入機能・規模の方向性に関すること

No.	意見・質問要旨	本市の考え方	区分
		向の敷地の高低差による構造上の課題や、通路や出入り口の幅が狭いなど、施設面での課題が指摘されています。新たな施設の整備にあたっては、バリアフリーはもとより、利用者のニーズに対応した環境整備を図るなど、サービスの向上に向けた取組を推進します。	
131	<p>少子高齢化社会に対応すべきである。市は、鷺沼を核として公共交通によるアクセス性の確保がより重要、宮前区全体の発展に資する鷺沼駅へのアクセス性向上を推進する、区役所は福祉、介護、生活支援に関する相談などの行政サービスを提供する場所とある。</p> <p>鷺沼に職員を集中し、地域はボランティア任せでは、パソコン・ロボットになじまない高齢者を放置することになりかねない。</p> <p>少子高齢化社会では、身近に福祉、介護、生活支援を受けられる場所が必要であり、自宅から歩いて行ける場所に、相談だけでなく活用できる行政サービス機能が必要である。</p> <p>(同趣旨他 405 件)</p>	<p>本市では、誰もが住み慣れた地域や自らが望む場で安心して暮らし続けることができる地域の実現をめざし、地域包括ケアシステムの構築に向けた取組を推進しています。</p> <p>地域包括ケアシステムにおける地域づくりの取組では、区役所の保健師をはじめ、社会福祉職や心理職等の専門職が協働して地域に出向き、関係団体や関係機関と連携を図りながら面接や相談をとおして、市民の生活課題の解決に向けた取組を進めています。今後は、例えば自宅では保健師等に相談しにくい事情がある場合には、出張所で面接や相談を行うなど、場の活用についても連携が進むよう取組を推進することとしています。</p>	D
132	<p>区役所内に限ることなく、保健所機能を充実させて、乳児から高齢者、皆の利用を推進できることを願っている。現在、多くの部門に分割され、自分の行きたい部門が判断しにくい一面もあるので、一か所でのつながりと、専門家のアドバイスも受けられることを願う。</p>	<p>本市では、誰もが住み慣れた地域や自らが望む場で安心して暮らし続けることができる地域の実現をめざし、地域包括ケアシステムの構築に向けた取組を推進しています。本市の地域包括ケアシステムについては、高齢者をはじめ、障害者や子ども、子育て中の親などに加え、現時点で他社からのケアを必要としない方々を含めた「すべての地域住民」を対象として、その構築を推進することとしています。</p> <p>また、「区役所と支所・出張所等の機能再編実施方針改定版」においても、共に支え合う地域づくりに向けて、区役所等の窓口サービス機能や体制を見直し、市民目線に立った利便性の高いサービスの提供を行うこととしておりますので、引き続きわかりやすい窓口サービスの提供を目指してまいります。</p>	D
133	<p>免許証更新などで市民のアクセスが必要な宮前警察を移転した方が意味があると思う。消防署も警察と連携して動ける鷺沼地区に移転すべきと思う。</p>	<p>今回、移転の検討対象とする公共施設については、市民の利便性向上を図るため、市民利用という観点から整理しており、警察署や消防署の市民利用機会は他の施設に比べて限定的であることから、原則として対象外としています。</p>	D
134	<p>今ある古民家や施設を補強して区のあちこちに居場所があったり、子どもスペースやお年寄りがくつろぐスペース、交流スペースがあったら、どんなによいことだろう。ボランティアだけでやっていくのには限界がある。鷺沼へ移転するお金でみんなの声や工夫を集めて、住みよい街（地域）にしていこう。</p>	<p>本市では、平成 31 年（2019）年 3 月に「これからのコミュニティ施策の基本的考え方」を策定しました。この「考え方」は、市政におけるコミュニティ施策の羅針盤となる基本的な考え方として、地域包括ケアシステム推進ビジョンの取組をコミュニティ施策の視点から支え、相互補完的に充実させる位置付けのものです。</p> <p>この中でお示しした取組の一つに「地域レベルの新たなしくみ」として、「地域の居場所『まちのひろば』の創出」があります。これ</p>	D

No.	意見・質問要旨	本市の考え方	区分
		<p>は、誰もが気軽に集える出会いの場として、官民問わず、多様な地域資源を活用して「まちのひろば」を創出し、人材・資源のネットワーク化や情報共有の促進、地域課題の解決等に取り組み、ひいては市民のつながりの向上を図ることとしています。</p> <p>今後、「まちのひろば」を生み出す仕組みづくりを進め、川崎のまちのそこかしこに多様な居場所が生まれていくように取り組んでいきます。</p>	
135	<p>公共施設の用途として、近年話題になっている“ソーシャライジング”(一人ひとりが日々のライフスタイルの中で、自分らしく等身大で、社会的な目的を持って生活すること)というキーワードから、人のため、社会のために活動や体験ができる施設を組み込んでもらえるると他区民の利用頻度が高まると思う。</p>	<p>今回の施設整備においては、これまでの区役所、市民館・図書館としての単一機能的な施設ではなく、民間施設との連携、「機能・空間の融合や多機能化」を図ることによる相乗効果により、新たな賑わいや交流の促進を目指します。さらに、市民館・図書館に加えて区役所も含めた公共機能を一体的に移転・整備することで、地域人材の育成や市民活動支援など、これまでも相互に連携して進めてきた取組を継承、発展させ、コミュニティに関わる施策の総合化を図ることとしております。</p> <p>御提案の観点につきましても、今後の検討に活かしてまいります。</p>	B
136	<p>宮前区の強みは区役所と、3 駅に近い小・中学校が中心となった文化・学習環境が整った子育てしやすい文教区であり、現状の強みを標榜しつつ拠点を鷺沼に置いた民間とコラボの町づくりをするのは良い。具体的なコンセプトを全面に出した町づくりをお願いしたい。</p> <p>①鷺沼に公共施設を移転しても、二子玉川、たまプラーザ、青葉台、武蔵小杉、溝口にはなれない。鷺沼ならではのソフト重視の町づくりをお願いしたい。</p> <p>②宮前区は鷺沼一極ではない、宮前平、宮崎台がともに発展し今日に至っているのは明白、行政サービス、予算等の偏りがないように IT を駆使した平等なサービスを願う</p> <p>③公共施設が鷺沼に移転すると横浜市に隣接していることにより、市、区のリソースが市・区民に100%還元されない。区役所について、災害時は帰宅困難者(鷺沼～中央林間)あふれる、宮前区の区民の避難所として機能するのか。</p>	<p>今回の取組では、民間事業者による再開発により鷺沼駅前のバスターミナルが広がるなど、交通結節点としての機能の向上が見込まれることなどから、この機会を捉えて、鷺沼駅前に望まれる公共機能は何か、ということを検討してまいりました。その中では、区役所・市民館・図書館という区民が利用する施設の移転可能性を含めて検討していくため、区民の生活実感としてのニーズや課題認識を重視し、多角的な意見把握に取り組んできました。</p> <p>本市といたしましては、意見交換会等で寄せられた様々な市民意見や基礎調査結果等の諸条件及び宮前区の将来展望を総合的に整理・検討し、鷺沼駅周辺再編整備に伴う公共機能の方向性及び基本的な考え方をまとめました。</p> <p>民間事業者による再開発によって交通結節機能などが向上する鷺沼駅周辺に、宮前区役所・市民館・図書館を移転・整備し、宮前区全体の活性化を促す「核」としての地域生活拠点の形成を図ってまいります。</p>	B
137	<p>コンパクトシティの考え方はわからないではないが、武蔵小杉のような極端な発展の仕方にはなあってほしくなく、宮前区全域でバランスよく発展できるような方向で考えてほしい。</p>	<p>また、民間施設と行政施設の相乗効果による機能・空間の実現を図り、文化・交流拠点の形成と新たなコミュニティの創出を図ります。</p> <p>なお、区民の避難所は区役所ではなく、近隣の小・中学校が指定されています。</p>	B
138	<p>市の提案した「区役所機能の鷺沼移転案」はこの有事の際の防災機能の低下を招くものとして強く反対する。市の説明資料では 60 年後(2078 年)で見た場合、コストはほぼ同等となっている</p>	<p>コスト比較については、御指摘のとおり、算出期間の設定によって累計費用が大きく変わることから、端的に想定累計費用でコスト面での優位性を判断することは困難です。また、区役</p>	D

(4) 公共機能の方向性・考え方、導入機能・規模の方向性に関すること

No.	意見・質問要旨	本市の考え方	区分
	<p>が、これは数字上のゴマカシである。100年後までみたら、建替え案の方が経済性は良くなり、何よりも自前のビルという自由度が担保される。区分所有権を持つビルには様々なリスクがあり、明らかにしてほしい。</p> <p>良案の妥協案として、鷺沼には区役所の分室を設け、平時の行政サービスの充実を図る。図書館も分室を作る。市民館はそのままとする。川崎市は3000億の債務がある。</p>	<p>所・市民館・図書館は、将来にわたって市民生活に必要な施設であることから、時期の前後はあっても、いずれ所要のコストがかかるものと考えています。</p> <p>また、区役所については、手続きの種類によって区役所と支所・出張所を使い分けることなく、1か所で必要なすべての窓口サービスを提供できるよう、様々な取組を推進してまいりました。今後も機能を切り分けることなく、将来にわたって市民ニーズに応じたきめ細やかな行政サービスを着実に提供していくため、鷺沼に新たに分室を設置することは困難であると考えております。</p> <p>市民館・図書館については、各区の市民館・図書館・分館等を拠点として、学校施設の有効活用などによる市民の皆様の生涯学習の場の確保とともに、自動車文庫による市内巡回や大学図書館との相互連携などによる図書館サービスの提供を推進しています。</p> <p>交通結節機能をはじめ、都市としての機能が向上する鷺沼駅周辺に市民館・図書館を移転・整備することにより、利便性の向上が図られ、宮前区民をはじめ多くの市民の皆様の御利用につながるものと考えています。</p>	
139	<p>宮前区は鷺沼だけではない。もっと皆さんが使いやすい場所に移転すべき</p>	<p>今回の民間事業者による再開発は、本市総合計画上に位置付けられた取組として、交通結節機能としての駅周辺交通環境の改善などによる路線バスネットワークの充実など、宮前区全体の利便性向上に寄与する効果が期待されます。</p> <p>本市としては、再開発によって交通利便性が高まり、都市としての機能が向上する鷺沼駅前に、公共機能を一体的に移転する可能性も含めて検討する機会であると捉え、取組を進めてきたものであり、他の移転候補地を検討する予定はありません。</p>	D
140	<p>区役所を移転させる必要があるなら、駅前ではなく北部市場側の現在発展しきれていない地域を発展させる目的を込めてそういった地域に移転させるべきだと思う。主要駅と区役所間のバス便を充実させることでその間の区間の地域発展につながると思う。</p>		D
141	<p>駅から遠いというなら、宮前平駅のロイヤルの土地を買えばよい。</p>		D
142	<p>将来を見据えたコンパクトなまちづくりとは何か。何を見据えてコンパクトにするのか。文脈からすると区役所、市民館、図書館の行政サービスを縮小すると言う事か。縮小などんでもない。そうでないというならなにが具体的に拡充されるのか。図書館の本がふえるのか。司書の人数がふえるのか。区民が使う会議室、グループ室が幾つふえるのか。なにも全体像が示されていない。ツタヤが運営する図書館の横にコーヒーショップができるから便利、快適と言いたいのか。行政は企業のためにあるのではなく市民、区民への行政サービスを使命としているはずである。</p> <p>(同趣旨他 460 件)</p>	<p>本市では、国の施策等を踏まえ、少子高齢化の進行による社会的要請や今後の人口減少を見据えた地域課題に効果的に対応するとともに、地球環境に配慮した都市の形成を推進するため、「コンパクトで効率的なまち」を目指すこととしており、「駅周辺における取組」として、「公共公益施設の建替えや大規模な土地利用転換の契機を捉え、交通利便性の高い駅周辺地区等においては、公共公益施設の集約や多様なニーズに対応した都市機能の誘導を図るとともに、路線バスなどの公共交通による駅へのアクセス向上に向けた取組」を推進するものとしております。</p> <p>その中で、民間事業者による再開発によって交通結節機能をはじめ、都市としての機能が向上する鷺沼駅周辺に、宮前区役所・市民館・図書館を移転・整備し、宮前区全体の活性化を促</p>	C

No.	意見・質問要旨	本市の考え方	区分
		<p>す「核」としての地域生活拠点の形成を図ってまいりたいと考えております。</p> <p>また、身近な地域においては、計画的に整備された良好な市街地、町内会や自治会などの地域コミュニティを活かした協働の取組によるまちづくりを推進してまいります。</p> <p>なお、「何を見据えてコンパクトにするのか。」との御意見を踏まえ、コンパクトなまちづくりをめざす目的を追記しました。</p>	
143	<p>保健所も移転するのか。駅前で、上には住宅も入るようなところに保健所を作っているのか？嫌がる人もいるのではないかな。</p>	<p>現在の区役所には、保健所機能も含まれています。今回も区役所と切り分けることなく移転することを検討していきます。</p>	D
144	<p>市政だより宮前区版特別号に順じてコメントする。 1 ページの1 作成された現状認識文書はどの様なスタッフで検証したのか？情報開示してほしい。</p>	<p>「公共機能の方向性」については、これまで様々な機会を通じていただいた市民意見や基礎調査の結果等の諸条件及び宮前区の将来展望等を総合的に整理・検討し、鷺沼駅周辺再編整備に伴う公共機能の方向性としてお示したものです。</p> <p>基礎調査については、専門的な検証を要するものとして、専門業者への委託により外部専門家の知見を活用いたしました。行政内部の体制としては、市民文化局、まちづくり局、宮前区役所、教育委員会事務局が連携しながら取組を進めています。</p>	D
145	<p>区役所、市民館、図書館の移転とあるが、どこに配置するのか？交通広場ありきの配置計画が不明、一体的に検討することが必要では？他の可能性を検討されたのか知りたい。</p>	<p>区役所機能については、防災上の機能に配慮し、民間施設が集中する駅前街区ではなく、北街区（現在の横浜銀行を含む一角）の低層部に整備します。</p> <p>市民館・図書館機能は、民間施設との連携による相乗効果を活かすため、駅前街区（現在の交通広場、フレルさぎ沼の上部）の低層部に整備します。</p> <p>施設ゾーニングについては、意見交換会やまちづくりフォーラムなどで寄せられた様々な市民意見などを踏まえ、再開発準備組合に対し、複数パターンを想定した検討を依頼した結果として、現在のイメージ案が提示されたものです。</p>	D
146	<p>当初は区役所のみ移転という話で、それ自身が防災の点から疑問を持っていたが、急にホールと図書館もセットで移転という話に展開し、最初から区民の意見集約もせずに区役所、ホール、図書館を移転するつもりだったという印象を強く受けている。最初から3つの施設を移転となると反対意見が多く出ると考えて、当初は区役所移転のみをメインで出したのではないかな？</p>	<p>今回の取組では、民間事業者による再開発により鷺沼駅前のバスターミナルが広がるなど、交通結節点としての機能の向上が見込まれることなどから、この機会を捉えて、鷺沼駅前に望まれる公共機能は何か、ということを検討してまいりました。その中では、区役所・市民館・図書館という区民が利用する施設の移転可能性を含めて検討していくため、区民の生活実感としてのニーズや課題認識を重視し、多角的な意見把握に取り組んでいくという考え方を、平成30（2018）年2月に公表しました。</p> <p>「最初から3つの施設を移転となると反対意見が多く出ると考えて、当初は区役所移転のみ</p>	D

(4) 公共機能の方向性・考え方、導入機能・規模の方向性に関すること

No.	意見・質問要旨	本市の考え方	区分
		をメインで出した」ということはございません。 今後もいただいた御意見には真摯かつ誠実に 対応し、より多くの皆様に御理解いただけるよう 取り組んでまいります	
147	高津市民館の音楽室、ホールをよく利用する が、商業ビル最上階の為、買い物客、乳母車等が 多くエレベーターが来ない、来ても乗れない時 もあり、大変不便である。また、ホール終演後、速 やかな退場ができず、安全、保安上問題である。 そもそも駅前の商業ビルなので、無料の駐輪場が ない。行政施設には必ず無料駐輪場があるもの だ。利便性の良い独立した専用の図書館、市民館 ホールをなぜ放棄するのか。	鷺沼駅再開発では、交通広場の拡充や、路線 バスネットワークの充実により、宮前区全体の 発展に資する鷺沼駅へのアクセス性向上に向け た取組を推進するとともに、多様なライフスタ イルに対応した都市機能の集積により、利便性 の向上を図ります。 こうした鷺沼駅の交通結節機能の向上効果等 を最大限に活かすことで、宮前区全体の活性化 を促す「核」としての地域生活拠点の形成を図 っていきたくと考えております。 また、民間施設と行政施設の相乗効果による 機能・空間の実現を図り、文化・交流拠点の形成と新 たなコミュニティの創出を図ってまいります。	D
148	鷺沼駅前移転について、商業施設との関係、ま た保留床という住居スペースとの関係で、公的施 設にどれくらいのスペースが取れるのか？	区役所及び市民館・図書館機能として、それ ぞれ現在と同程度の施設規模を基本としており ます。	D
149	現状の区役所は、バリアフリーの観点では、い ろいろな課題がある。 鷺沼地域に区役所等を移転する場合、施設のバ リアフリーの観点を忘れることなく、ご検討いた だきたい。 また、その際には、宮前区には聴覚・視覚・肢 体不自由の各団体から意見を聴取し、その意見が 反映される仕組みを作っていただきたい。 いまの区役所は、バス停が坂を下る途中にあり、 特に視覚・肢体不自由の障害者は、「怖い思 いをするところがある」とのことである。段差の存 在等、課題が多い。 諸手続きの関係上、区役所を利用しないという 選択肢はない。新しい移転先での施設での改善を 期待したい。	現在の区役所・市民館・図書館の敷地、施設 では、バリアフリーに関して、南北方向の敷地 の高低差による構造上の課題や、通路や出入り 口の幅が狭いなど、施設面での課題が指摘され ています。新たな施設の整備にあたっては、バ リアフリーはもとより、利用者のニーズに対応 した環境整備を図るなど、サービスの向上に向 けた取組を推進します。 なお、こうしたバリアフリーに関する取組に ついて、基本方針（案）のうち、市民館・図書 館機能の「機能・サービス」には記載があるも のの、区役所機能には記載がありませんでした ので、「 <u>かわさきパラムーブメント</u> 」等の観点 から「 <u>第5章2(1)</u> 」に必要な内容を <u>追記</u> しま した。	A
150	新しい図書館は今のニーズを入れた図書館にし てほしい。	平成 31 (2019) 年度に予定している宮前市民 館・図書館の整備等に関する基本計画の策定に あたりましては、市民の皆様からより具体的な 御意見をいただきながら、移転後の市民館・図 書館が魅力的な施設となるよう、検討を進めて いきます。	C
151	市民館、区役所の移転について、交通アクセス の改善、鷺沼駅の混雑緩和、多様な市民の公的サ ービス利用のしやすさ、地域経済の活性化を、総 合的に事業者と行政、市民で連携して取り組む形 としてほしい。		C
152	音楽練習にも使える会議室の整備や、体育館、 図書館、音響がよい音楽ホールの設置を求める。		C
153	駅前に整備される公共施設については、必要な 機能を配するだけの建物にとどまらず、市民の抛 り所となり、気軽に立ち寄れるような場が創造さ れるとよい。活動や賑わいが、街に表出されてい き、開かれた場が創造されることを期待する。		C

No.	意見・質問要旨	本市の考え方	区分	
154	図書館を駅前に移転し、どんな図書館にするのか構想をきちんと示してほしい。 (同趣旨他 1 件)	平成 31 (2019) 年度に予定している宮前市民館・図書館の整備等に関する基本計画の策定にあたりましては、市民の皆様からより具体的な御意見をいただきながら、移転後の市民館・図書館が魅力的な施設となるよう、検討を進めていきます。	C	
155	読みたい本、調べたい資料にきちんと出会える図書館を作ってほしい。民間のビルに合わせて図書館を構築するのではなく、市民の読書要求にきちんと向き合える図書館を真剣に考えてほしい。		C	
156	本来の図書館の根本的な在り方について十分な知見と将来構想観を持って検討することが必要。楽しい、人寄せのためであってはならない。		C	
157	新しい図書館は、親子がゆっくりと読書できるスペースと指導できるスタッフを充実させる。		C	
158	ホールについては、小規模なコンサートやピアノ教室の発表会、映画、話芸、能、室内楽などをするような施設がほしい。宮前平の大ホールと違うホールにしてほしい。 (同趣旨他 1 件)		C	
159	図書館は多くの利用者呼び込む必要がある。閲覧席の拡充や、セミナー室の設置が重要。例えば雑誌の閲覧エリアや、予約した本の受取り、返却などのサービスは夜まで開館するようにする。		C	
160	鷺沼にはどのくらいの大きさのものがいいのか。高津市民館のホール位を想定されるのか。		C	
161	宮前図書館は自動車文庫の拠点だが、鷺沼に移転すると車の出入の問題、また日常の資料の搬出搬入にも支障が出て、いまの状態を維持できなくなるのではと心配。		C	
162	図書館、市民館についてのアンケートで、本を読まない(11.8%)、借りたくない(18%)、講座等を知らない(14%)、関心あるものがない(20%)とあったが、これは図書館、市民館の努力を必要とする問題ではないか。		C	
163	区役所とともに計画されている図書館などに、教育機能を持たせ、単なる図書館ではなく、公共施設として運営してほしい。ホールは、エンタテインメントの場ではなく、区のコミュニティの活動の場となるように考えてほしい。		C	
164	図書館の中に、30~40 人くらいが入れるサイズの独立した小部屋で「おはなしの部屋」のスペースを設けてほしい。また、図書館ボランティアが打合せ等に気軽に利用できる部屋がほしい。		C	
165	現在の宮前図書館は残して充実させてほしい。今の場所に図書館がなくなると困る。 (同趣旨他 6 件)		将来的な少子高齢化の一層の進行を見据え、再開発によって交通結節機能をはじめ、都市としての機能が向上する鷺沼駅周辺に、区役所とあわせて市民館・図書館を移転・整備すること	D

(4) 公共機能の方向性・考え方、導入機能・規模の方向性に関すること

No.	意見・質問要旨	本市の考え方	区分
166	みんなから愛されている現在の市民館と図書館を宮前平に残してほしい。 (同趣旨他 4 件)	<p>により、宮前区全体の活性化を促す「核」としての地域生活拠点の形成を図るものでございます。</p> <p>移転・整備により、市民館・図書館への公共交通によるアクセス性の改善が見込まれるとともに、民間施設と行政施設の相乗効果により、多世代が訪れ、多様なコミュニティを創出する新たな文化・交流拠点の形成を図ってまいります。</p> <p>また、移転後の現区役所等施設・用地につきましては、平成 34 (2022) 年度を目途に「(仮称) 宮前区役所等施設・用地の活用に関する基本方針」の策定に向けた検討を進めていくこととしておりますので、周辺地域の課題や行政需要、地域ニーズ等との調和を勘案しながら、市民参加で検討を進めてまいりたいと考えております。</p>	D
167	市民館をなくさないでほしい。 (同趣旨他 3 件)		D
168	立派なホールを潰すのはやめてほしい。宮前市民ホール近隣にはマンモス小学校中学校が多いので現ホール位の座席数は必須。		D
169	鷺沼駅に図書館が現存すると聞き、是非残してほしいと思った。		D
170	宮前区に市民サービス施設が少ない。鷺沼に小規模多機能ホール及び図書館分館を作ればよい。 (同趣旨他 209 件)		D
171	どちらが分館支所でもよいので、市民館・図書館だけは現在地におく。		D
172	小 3 と小 2 の子供は読書が好きなので、図書館でよく本を借りている。遠くになると、自分だけでは通えない。鷺沼は分室を作ればよいのでは。 (同趣旨他 29 件)		D
173	市民館でサークル活動をしているが、移転してしまうと不便になり仲間が散ってしまう。現在の宮前市民館はそのまま残して、鷺沼に市民館分館を作ればよい。 (同趣旨他 35 件)		D
174	現在の宮前図書館はそのまま残して、鷺沼に図書館分館を作ればよい。それ程、税金を宮前区はおさめているの。図書館は一極集中よりも地域分散の方が望ましい。 (同趣旨他 10 件)		D
175	移転反対。図書館の利用の仕方は年代によって異なる。シルバーエイジは、現在の場所でゆっくりくつろいでいる。鷺沼に第 2 図書館を作る。	D	
176	市民館の行事によく行く。市民館はそのまま残して、鷺沼に市民館分館を作ればよい。 (同趣旨他 1 件)	D	
177	鷺沼は行政サービスコーナーがあるので充分。必要であれば分室を作れば良い。	D	
178	移転は、区民を分断する。鷺沼に小ホール、会議室、小規模図書館を入れれば、有馬や鷺沼周辺の人も便利になる。	D	
179	鷺沼駅のところにできる再開発ビルの中に各施設の市民館・図書館分館を作ればすむ。 (同趣旨他 1 件)	D	

No.	意見・質問要旨	本市の考え方	区分
180	区役所移転に反対。鷺沼駅前には図書館分館、行政サービスコーナーを設ける。 (同趣旨他 15 件)	<p>これまで本市では、区役所サービスについては、「区役所と支所・出張所等の窓口サービス機能再編実施方針（平成 21（2009）年 3 月策定）」に基づき、転入・転出と福祉サービスなど、手続きの種類によって区役所と支所・出張所を使い分けることなく、1 か所で必要なすべての窓口サービスを提供できるようにするとともに、限られた財源・資源を最大限に活用していくため、出張所の届出窓口の区役所への集約など、様々な取組を推進してきました。</p> <p>少子高齢化や核家族化などにより市民生活が多様化する中で、行政サービスも専門化、複雑化し、それぞれの窓口や相談体制が連携して取組を推進しています。</p> <p>将来的に人口減少への転換が確実に予測される中で、これからの区役所には、誰もが住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができるよう、福祉や介護、生活支援に関する相談など、市民生活に必要な取組を一体的に推進する地域の総合行政機関としての役割が、一層重要になっていくことが想定されます。</p> <p>こうした中長期的な展望に立ち、区役所については、今後も機能を切り分けることなく（分庁舎を設置することなく）、将来にわたって市民ニーズに応じたきめ細やかな行政サービスを着実に提供していきます。</p> <p>また、本市におきましては、各区の市民館・図書館・分館等を拠点として、学校施設の有効活用などによる市民の皆様の生涯学習の場の確保とともに、自動車文庫による市内巡回や大学図書館との相互連携などによる図書館サービスの提供を推進しています。</p> <p>交通結節機能をはじめ、都市としての機能が向上する鷺沼駅周辺に市民館・図書館を移転・整備することにより、利便性の向上が図られ、宮前区民をはじめ多くの市民の皆様の御利用につながるものと考えています。</p> <p>移転後におきましても、新たな市民館・図書館を地域の生涯学習の拠点としながら、菅生分館や有馬・野川生涯学習支援施設アリーノをはじめとする公共機能や地域の資源との連携により、区内の各地域への生涯学習事業の展開や図書館サービスの提供を進めてまいります。</p>	D
181	鷺沼駅前の再開発を東急が主体で行うことに問題はないが、区役所、図書館、市民館を全部移す話はわりがある。現在の宮前区の施設をそのままに支所、図書館分館、市民館の小ホールなどを建設する。 (同趣旨他 464 件)		D
182	ほぼ区のある中心にある区役所・市民館・図書館は、現在の位置に残し、改修して使う。鷺沼には出張所（保健所）、図書館分館の分館を設ける。 (同趣旨他 1 件)		D
183	20 年後現場所で建替え、鷺沼駅前には図書館分館、行政サービスコーナー、パブリック集合スペース、小ホール等 1 又は 2 フLOOR で足りる。 (同趣旨他 1 件)		D
184	区役所移転反対だ。宮前平は坂がきついということだが、役所に来るのは住民票、印鑑証明くらい。鷺沼駅ビルに行政サービス、図書館分館、子育て集合スペース作ってほしい。		D
185	鷺沼は、相談窓口、図書館スペース、多目的オープンスペース、市民活動プラザがあればよい。		D
186	区役所・市民館・図書館は、現在の位置に置いておくべき。図書館分館、市民館分館、区役所分室、子育て支援、老人施設などを鷺沼に設ける。		D
187	移転しなければならない理由は何かわからない。税金の無駄遣いはしないしてほしい。宮前区は市民サービスが他の区に比べて悪いようだが、移転ではなく、別館として、施設を増やすように計画を調整することはできないのか。		D
188	説明会で、住民から「現区役所と図書館はそのまま残し、鷺沼駅前には分館を作ってはどうか」という提案があったが、「2 拠点はなし。1 拠点」と言い切った。なぜ今の段階で「2 拠点はありませぬ」と言い切れるのか。市の回答に不信感を覚える。		D
189	区役所・市民館の移転ではなく、区役所への移動方法の検討や出張所・市民館分館の整備が効果的。馬絹出張所を廃止したことが野川、東有馬地区からアクセスを不便にした原因と思う。		D
190	子供は図書が大好きなので、移転するのであれば、分室として残してほしい。		D
191	文教地区としての役割、価値を落とさないでほしい。図書館は分館のような形でも、跡地に置いてほしい。		D

(4) 公共機能の方向性・考え方、導入機能・規模の方向性に関すること

No.	意見・質問要旨	本市の考え方	区分
192	2025年市民館、図書館、移転と同時に現区役所周辺住民が利用の施設も稼働してもらいたい。	所できめ細やかなサービスの提供を行っていきます。	D
193	区役所と市民館は移転し、図書館を現在地に残し、空いたスペースは図書館の充実に使う。	なお、移転後の現区役所等施設・用地につきましては、平成34(2022)年度を目途に「(仮称)宮前区役所等施設・用地の活用に関する基本方針」の策定に向けた検討を進めていくこととしておりますので、周辺地域の課題や行政需要、地域ニーズ等との調和を勘案しながら、市民参加で検討を進めてまいりたいと考えております。	D
194	鷺沼に移転するとしても、図書館の場所をそのままにして、本は広く寄付を募り、何年か時間をかけて集めていけばよい。		D
195	図書館の蔵書が少ない。現在の図書館の土地に大きな書庫を作ってほしい。川崎市に蔵書がないときは他の市から借りるが、横浜市・神奈川県は数多くの図書・雑誌を所有しているから連携を強めてもらいたい。それには、その要求に応えるだけの蔵書を川崎市も持っていることが前提になるから「大書庫」を建設してほしい。		D
196	区役所・市民館・図書館の分館を宮前平に作れば区役所を鷺沼に移転してもよいのではないか。	今回の鷺沼駅前再開発では、路線バスネットワークの充実により、宮前区全体の発展に資する鷺沼駅へのアクセス性向上効果等を活かし、将来を見据えたコンパクトなまちづくりを推進するため、区役所・市民館・図書館を一体的に移転・整備し、宮前区の核となる地域生活拠点の形成を図ってまいります。	D
197	近所なので区役所、図書館、よく利用している。小規模でもよいので図書館の分館、行政の機械式での書類発行をできるように残してほしい。	区役所サービスについては、これまで、手続きの種類によって区役所と支所・出張所を使い分けることなく、1か所で必要なすべての窓口サービスを提供できるようにするとともに、限られた財源・資源を最大限に活用していくため、出張所の届出窓口の区役所への集約など、様々な取組を推進してきました。本市では、平成30(2018)年3月に「区役所と支所・出張所等の機能再編実施方針改定版」を策定し、引き続き、わかりやすい窓口サービスの提供に向けた取組を推進していくこととしておりますので、新たに出張所を設置することはありません。	D
198	現在の宮前区役所の建物を長寿命化し、そこに図書館を移転し区役所出張所と市民館分館も設け、区役所と市民館を鷺沼駅周辺に移転する。		D
199	鷺沼には現在の同規模の区役所、市民館、図書館をつくるようになっていくが、鷺沼に十分な施設が出来ないのなら、現施設を残してほしい。 (同趣旨他460件)		D
200	宮前区は、人口も当初より1.5倍にも増え、当然それに見合った施設の増設は考えるべきだと思う。その意味で、鷺沼駅前開発に伴う図書館・区役所等の公共施設の増設は、歓迎。		D
201	さぎぬまにくやくしよや図書かんをつくるのはよいが、みや前平の図書かんやくやくしよはくさくないでほしい。	また、現在、市内に新たな社会教育施設を整備する計画はありませんが、今後も各区に1館ずつ設置している市民館及び図書館並びに既設の分館等を軸としながら、学校施設の有効活用等の様々な手法を総合的に用いて、地域に身近な場所できめ細やかなサービスの提供を行っていきます。	D
202	宮前平に住んでいるのは、区役所、保健センター、警察署、図書館が徒歩圏にあることが大きな理由。移転するのであればこれまでと同じ生活ができるように、区役所機能、図書館機能は宮前平にも残していただきたい。	なお、移転後の現区役所等施設・用地につきましては、平成34(2022)年度を目途に「(仮称)宮前区役所等施設・用地の活用に関する基本方針」の策定に向けた検討を進めていくこととしておりますので、周辺地域の課題や行政需要、地域ニーズ等との調和を勘案しながら、市民参加で検討を進めてまいりたいと考えております。	D
203	宮前平の図書館、区役所、市民館・市民ホールの廃止反対。図書館は規模を縮小して現在の場所に残すか、予約本の受取りや返却ポストの機能は残す。区役所は現在の鷺沼行政サービスコーナーの機能を宮前平に持ってくる。市民館・市民ホールも、廃止しなければならない理由が不明。説明会でも、宮前平の施設の存続は考えていないと言うだけで理由が聞けなかったのが納得できない。		D

No.	意見・質問要旨	本市の考え方	区分
204	図書館は、鷺沼駅前と現図書館の2館体制を整えてほしい。 (同趣旨他 10 件)	本市におきましては、各区の市民館・図書館・分館等を拠点として、学校施設の有効活用などによる市民の皆様の生涯学習の場の確保とともに、自動車文庫による市内巡回や大学図書館との相互連携などによる図書館サービスの提供を推進していることから、現在、市内に新たな社会教育施設を整備する計画はございません。 市民館・図書館などの社会教育施設をはじめとする公共機能については、提供するサービスの充実・向上とともに、将来的な人口減少への転換等を見据えた対応が求められることから、今後も各区の市民館・図書館・分館等を軸としながら、学校施設の有効活用や地域づくりの担い手などとの連携など、様々な手法を総合的に用いて、地域に身近な場所できめ細やかなサービスの提供を行っていきます。	D
205	宮前図書館はそのまま残す。図書館は2館でも3館でもつくってほしい。 (同趣旨他 448 件)		D
206	市民館を2館でも3館でもつくってほしい。現市民館の他に鷺沼、野川に小ホールを作る。 (同趣旨他 472 件)		D
207	市民館を新設して、申込者がいっぱい利用できない状況を解消してほしい。		D
208	向丘地区にも図書館分館の設置を要請する。		D
209	鷺沼駅前の利便性の良いところに市役所が出来ることは歓迎。今の図書館も残しつつ、新たにもう一鷺沼駅の所に出来ても良い。		D
210	図書館が少ないので、既存の図書館を壊さない。鷺沼の図書館も大歓迎。 (同趣旨他 1 件)		D
211	現図書館を存続させ、野川、鷺沼、菅生、向ヶ丘に分館を新設してほしい。		D
212	図書館が1館では不足。さいたま市と川崎市の図書館データを比べれば、川崎市が宮前区に1館の図書館にこだわる理由がない。 (同趣旨他 584 件)		D
213	図書館、市民館は移転ではなく人口増に対応して、区内に2館以上の設置を要望する。 (同趣旨他 2 件)		D
214	現在、居場所作りのボランティアをしている。市民館など借りられる部屋が少なく、もっと自由に利用できる会議室や図書館分館がほしい。		D
215	現市民館・図書館を存続させ、新たに鷺沼にも市民館・図書館を建設してほしい。「今の場所に市民館・図書館・区役所があって便利だ」と考え、高い金を払って転居してきた人も沢山いる。 (同趣旨他 501 件)		D
216	3施設は現在のままで、鷺沼には市民館・図書館・それぞれの別館を設ければ、この「騒動」はひとまず収まる。 (同趣旨他 92 件)		D
217	中学校区に1館図書館配置を目指してほしい。 (同趣旨他 2 件)		D
218	宮前区の人口は1.5倍に増え、市民向け施設の不足は深刻。会議室の数は、他区に比べ少なく、図書館の数は、他の政令市に比べ少ない。今求め	D	

(4) 公共機能の方向性・考え方、導入機能・規模の方向性に関すること

No.	意見・質問要旨	本市の考え方	区分
	<p>られているのは、せめて他市、他区なみの水準まで市民向け施設の充実を図ることだ。 (同趣旨他 576 件)</p>	<p>の充実・向上とともに、将来的な人口減少への転換等を見据えた対応が求められることから、今後も各区の市民館・図書館・分館等を軸としながら、学校施設の有効活用や地域づくりの担い手などとの連携など、様々な手法を総合的に用いて、地域に身近な場所できめ細やかなサービスの提供を行っていきます。</p>	
219	<p>宮前区の人口は 1.5 倍も増え、市財政に大きく貢献しているが、どれだけ区民に還元されているのか。他の政令都市や市内 7 区と比較しても、文化施設が貧困。この機会に 2 つの図書館、市民館を作ることは最低限必要なことだ。 (同趣旨他 600 件)</p>		D
220	<p>鷺沼駅周辺再整備計画は、宮前区の目指す将来像と一致していない。文化豊かな街づくりに成功している他市町村の好事例を参考にして、区民館、図書館の分館を設けるべきである。 (同趣旨他 1 件)</p>		D
221	<p>市民サービスが不十分。鷺沼駅周辺に移設する市役所、市民館、図書館の規模は現施設と同規模となっているが、分区当時から 1.5 倍に増加した人口に見合った施設の増加が必要である。 (同趣旨他 470 件)</p>	<p>区役所サービスについては、これまで、手続きの種類によって区役所と支所・出張所を使い分けることなく、1 か所で必要なすべての窓口サービスを提供できるようにするとともに、限られた財源・資源を最大限に活用していくため、出張所の届出窓口の区役所への集約など、様々な取組を推進してきました。今後も引き続き、わかりやすい窓口サービスの提供に向けた取組を推進していくこととしておりますので、新たに出張所を設置することはありません。</p> <p>また、各区の市民館・図書館・分館等を拠点として、学校施設の有効活用などによる市民の皆様の生涯学習の場の確保とともに、自動車文庫による市内巡回や大学図書館との相互連携などによる図書館サービスの提供を推進していることから、現在、市内に新たな社会教育施設を整備する計画はございません。</p> <p>市民館・図書館などの社会教育施設をはじめとする公共機能については、提供するサービスの充実・向上とともに、将来的な人口減少への転換等を見据えた対応が求められることから、今後も各区の市民館・図書館・分館等を軸としながら、学校施設の有効活用や地域づくりの担い手などとの連携など、様々な手法を総合的に用いて、地域に身近な場所できめ細やかなサービスの提供を行っていきます。</p>	D
222	<p>宮前区は公共施設が不足している。 これを機会に、施設拡充という方向で区民の合意を得ることが大切</p>		D
223	<p>市の施設整備は住民サービス向上を第一に行ってほしい。宮前区が誕生して 36 年、人口も 1.5 倍に増えたが、住民サービスは全く停滞している。これを機会に高齢者が行き来できる範囲に市の施設整備を充実させてほしい。</p>	<p>本市では、学校教育に支障のない範囲での学校施設の開放を行っており、市民活動等の場の確保と提供に努めております。また、こども文化センターは、乳幼児の子育て支援、遊びを通じた小学生・中高生の健全育成を目的とした施設であり、児童の利用に支障のない範囲で、市民活動団体等の利用もできます。このほか、老人いこいの家等それぞれの施策に応じた施設を設置し、御利用いただいております。</p>	D
224	<p>市民が学習したり、サークル活動をしたりするのに場所を確保するのが大変。近い場所に集会所がほしい。</p>		D
225	<p>宮前区には、小規模施設が他区と比べ少ない。水道管の老朽化にみられる様にこれからは管理費に重点を置く時代に入っている。大きな建物は大都市、大商業地区に任せるべきだ。</p>		D

No.	意見・質問要旨	本市の考え方	区分
226	宮前区の図書館の数が他の自治体に比べて少ないことをどのように考えるのか。同様にコミュニティセンター等の施設も人口割合で比較してどうなのか。 (同趣旨他 2 件)	本市におきましては、各区の市民館・図書館・分館等を拠点として、学校施設の有効活用などによる市民の皆様の生涯学習の場の確保とともに、自動車文庫による市内巡回や大学図書館との相互連携などによる図書館サービスの提供を推進していることから、現在、市内に新たな社会教育施設を整備する計画はございません。 市民館・図書館などの社会教育施設をはじめとする公共機能については、提供するサービスの充実・向上とともに、将来的な人口減少への転換等を見据えた対応が求められることから、今後も各区の市民館・図書館・分館等を軸としながら、学校施設の有効活用や地域づくりの担い手などとの連携など、様々な手法を総合的に用いて、地域に身近な場所できめ細やかなサービスの提供を行ってまいります。 また、コミュニティセンター等の施設についての御意見ですが、本市においては、地域の居場所として、こども文化センターや老人いこいの家等それぞれの施策に応じた施設を設置し、御利用いただいております。	D
227	駅前については、独立した建物で図書館、研修室、文化講演会ホール・充実した収蔵書のある 5 階ビルにする。	鷺沼駅前には、川崎市所有の土地が存在しないため、独立した建物で 5 階建のビルとすることは困難ですが、駅前に整備予定の市民館・図書館につきましては、利用者のニーズに対応した環境整備を図ってまいります。	D
228	現在の区役所、市民館、図書館はそのまま残り、鷺沼には、区役所分室（支所）を作るべき。 (同趣旨他 1 件)	これまで本市では、区役所サービスについては、「区役所と支所・出張所等の窓口サービス機能再編実施方針（平成 21（2009）年 3 月策定）」に基づき、転入・転出と福祉サービスなど、手続きの種類によって区役所と支所・出張所を使い分けることなく、1 か所で必要なすべての窓口サービスを提供できるようにするとともに、限られた財源・資源を最大限に活用していくため、出張所の届出窓口の区役所への集約など、様々な取組を推進してきました。 少子高齢化や核家族化などにより市民生活が多様化する中で、行政サービスも専門化、複雑化し、それぞれの窓口や相談体制が連携して取組を推進しています。 将来的に人口減少への転換が確実に予測される中で、これからの区役所には、誰もが住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができるよう、福祉や介護、生活支援に関する相談など、市民生活に必要な取組を一体的に推進する地域の総合行政機関としての役割が、一層重要になっていくことが想定されます。	D
229	いまの区役所・図書館・市民館はそのままにして、鷺沼や野川に区役所の支所を設置すべきだ。		D
230	現在の区役所、市民館、図書館はそのまま残り、鷺沼再開発ビルには、区役所分室と子育て機能、老人施設などのサービス機能を充実させてほしい。 (同趣旨他 507 件)		D
231	現区役所を存続させ、鷺沼・向ヶ丘地域に区役所支所を設けてほしい。野川・菅生・馬絹・菅生など不便地域には、高齢者・障がい者などの「相談・活動・居場所」をつくってほしい。 (同趣旨他 564 件)		D
232	民間主体の再開発で、そこに区の出張所を置くだけで良い。技術の進歩で、区の窓口まで行くことはだんだん少なくなると思う。		D
233	移転の場合は、区長と幹部のみ鷺沼に移転すれば良い。	こうした中長期的な展望に立ち、区役所については、今後も機能を切り分けることなく（分庁舎を設置することなく）、将来にわたって市民ニーズに応じたきめ細やかな行政サービスを着実に提供してまいります。	D

(4) 公共機能の方向性・考え方、導入機能・規模の方向性に関すること

No.	意見・質問要旨	本市の考え方	区分
234	<p>バスロータリーの拡充について賛成。 坂道の多い地形のため、バスの利用者はとても多いと思う。 ただ、現在のバスロータリーは狭く、また、路線の本数も少ないと思う。 もっと市民がバスを有効活用できれば、より人の動きも活発になり、経済効果も生まれると思う。 急行停車駅でもあるので、駅前の利便性を高め、より活気のある街にしていきたい。</p>	<p>鷺沼駅前再開発では、バスパースの増加などの交通広場の拡充や、路線バスネットワークの充実により、宮前区全体の発展に資する鷺沼駅へのアクセス性向上に向けた取組を推進してまいります。 また、こうした鷺沼駅の交通結節機能の向上効果等を活かし、多様なライフスタイルに対応した都市機能の集積により、利便性の向上を図ってまいります。</p>	B
235	<p>区役所の移転については大いに賛成である。今の場所まで行くことが不便でしかたがない。</p>	<p>今回の再開発による鷺沼駅の交通結節機能の向上効果等を活用し、宮前区役所・市民館・図書館を一体的に移転・整備するなど、宮前区全体の発展に向けた取組を推進します。</p>	B
236	<p>鷺沼駅周辺の活性化により田園都市線の価値や川崎市の価値が向上することは良いことである。</p>		B
237	<p>川崎市民として鷺沼駅周辺再編整備に伴う公共機能に関する基本方針案に賛成。</p>		B

(5) 駅アクセス向上の方向性に関すること (第5章) (1,396件)

No.	意見・質問要旨	本市の考え方	区分
1	鷺沼移転後、駅周辺の混雑がさらにひどくなる。交通渋滞緩和、歩行者の安全などの対策がよく見えない。	歩行者の安全対策については、準備組合と連携し、再開発建築敷地内に、歩道と一体となった歩道状空地の整備など、適切な歩行空間の確保について検討してまいります。	A
2	駅前の人通りが多い所に区役所、市民館、図書館等の移転は危険がいっぱいだ。	なお、御指摘の趣旨を踏まえ、 <u>新たな施策として「歩行空間の確保」</u> について、「第5章3(2)」に必要な内容を追記しました。	A
3	周辺道路では、鷺沼小学校児童が交通事故にあっている。道路について、現在の状況が動かしがたいなら、大規模開発は慎重にすべき。安全は最大限尊重してほしい。		A
4	周辺の交通に対して、市、または東急はどう考えているのか。公共の建物があるという事は人の流れがかわり、今でも事故などで電車の遅れが多々あると思う。	本市では、高齢者や障がい者をはじめとする駅利用者のホームからの転落や、ホーム上の列車接触事故を防止するため、ホームドア等の整備の促進により、安全で安心な公共交通環境の整備を推進していますが、東急電鉄においても、線路転落等の輸送障害による運転支障時分の低下など、安定運行の確保に向けて、ホームドアの設置を推進しており、鷺沼駅についても、2019年度下期の整備に向けて取組を推進しているものと伺っております。 なお、御指摘の趣旨を踏まえ、 <u>東急電鉄の取組について、「第5章3(2)」</u> の参考として必要な内容を追記しました。	A
5	鷺沼駅での機能集積に全面的に賛成だが、駅前では交通渋滞が現在でも発生しているので、これを機に交通基盤もしっかり整えていただきたい。鷺沼に区役所機能が移ることで車の増加やバス便が増加することも想定していただきたい。	鷺沼駅周辺では、現在、交差点が近接していることによる交通混雑などの課題があることから、今回の再開発事業に併せて、現行の交通広場とフレール鷺沼の間にある道路の廃止による交差点の集約化や周辺道路への右左折レーンの設置など、交通流の改善を図ります。 また、拡充されるバスバース等を活用し、路線バスネットワークの充実を図ることで、公共交通機関の利用促進を図り、交通渋滞の緩和に努めます。 さらには、今後の取組として、区域周辺のアプローチ道路における信号表示の時間の見直しなどの交差点改良や歩行者の安全性向上、交通流の円滑化に向け、駅周辺の高低差を活かした歩車分離の可能性などについて、準備組合に検討を働きかけ、適切な交通対策が図られるよう取り組んでまいります。 なお、いただいた御意見や御懸念も踏まえ、 <u>交通環境の改善に関する項目について、「第5章1(3)」</u> に必要な内容を追記しました。	A
6	長年鷺沼に住んでいるものとして、今回の再開発に期待している。 現在の問題点がいくつかあるので、それは改善してほしいし、更に住み易くなってほしい。 問題点として、駅周辺の交通流の混乱がある。交通流とは、バス、自動車、人の流れである。雨が降ったり車が多い時間帯になると、駅	鷺沼駅周辺では、現在、交差点が近接していることによる交通混雑などの課題があることから、今回の再開発事業に併せて、現行の交通広場とフレール鷺沼の間にある道路の廃止による交差点の集約化や周辺道路への右左折レーンの設置、公共交通の利用促進など、交通流の改善に向けた方向性について、基本方針でお示したところです。	B

(5) 駅アクセス向上の方向性に関すること

No.	意見・質問要旨	本市の考え方	区分
	<p>前と周辺の信号がなかなか青にならないので、三田橋や東名方向に車の長い列が発生する。</p> <p>これはバスが大きくは 3 方向に伸びており、バスの流れを優先するように信号を制御していることや、バスの右折が多く、それぞれの右折を優先することによる混乱で発生している。</p> <p>要するに、バスの流れを、他とバッティングしないようにきちんと整備することが必須である。このためには今の平面で処理することはできないと思う。立体化が必要である。具体的には、三田橋方向からくるバスは、鷺沼のホームの面に着くように地下ターミナル化を図ることである。線路がすでに下方にあるため、その面に向かってバスターミナルを作るのはそれほど困難ではないと思う。</p> <p>東名方面からくるバスは、線路の上に設置する橋を通し、三菱銀行側にターミナルを設け、渋谷方向に駅への出入り口を設ければ解決する。できればこのターミナルも三田橋方面と同じように地下ターミナル化を図り行き来できるようにすれば便利である。これにより、バス、車、人が分離され、鷺沼の交通流が正常化すると思う。</p> <p>東名方向からのバスは、線路の上方の位置にターミナルを設置するという案でも良いと思う。再開発にはバス、自動車、人の流れを正常化することが必須だと思う。</p> <p>鷺沼駅前の交通流の正常化に関して踏み込んだ検討をお願いしたい。</p>	<p>また、今後の取組として、区域周辺のアプローチ道路における信号表示の時間の見直しなどの交差点改良や歩行者の安全性向上、交通流の円滑化に向け、駅周辺の高低差を活かした歩車分離の可能性などについて、準備組合に検討を働きかけ、適切な交通対策が図られるよう取り組んでまいります。</p>	
7	<p>個人的には、鷺沼駅の 2 階レベルを人工地盤としてさぎ沼南大通りや交通広場と歩車分離し、北街区へは交差点を渡らずに行けると良いと思う。</p>		B
8	<p>鷺沼駅周辺の道路混雑が予想されるため、久末鷺沼線のバスが定時走行できるように PTPS 等の導入の検討と都市計画道路 3・4・10 梶ヶ谷菅生線の東名高速を跨ぐ区間の整備をしてほしい。</p>	<p>路線バスを基本とした公共交通による駅へのアクセスは重要と認識しており、路線バスの速達性・定時性の向上に向け、交通広場の整備や信号表示の時間の見直しなどの交差点改良など、バスの走行環境の改善に向けた取組を進めてまいります。</p> <p>また、梶ヶ谷菅生線の整備については、基本方針の駅アクセス向上の方向性に加え、本方針を踏まえた再開発事業に伴う将来交通量の予測、準備組合による交通処理計画等が関係してまいりますので、それらが整い次第、宮前区の移動性などを踏まえ、判断してまいります。</p>	C
9	<p>説明会で利便性が協調されていたが、仮に鷺沼に公共機能が移転した場合、現在でも混雑している、周辺道路の状況が悪化するのではないか。</p> <p>(同趣旨他 4 件)</p>	<p>鷺沼駅周辺では、現在、交差点が近接していることによる交通混雑などの課題があることから、今回の再開発事業に併せて、現行の交通広場とフレル鷺沼の間にある道路の廃止による交差点の集約化や周辺道路への右左折レーンの設置など、交通流の改善を図ります。</p>	D

No.	意見・質問要旨	本市の考え方	区分
10	<p>鷺沼の周辺交通渋滞は大丈夫なのか。今でも鷺沼にバス、車で行くのは交通渋滞を覚悟して行っているが、人口増とバス便、車の増加で小杉周辺並みの混雑が予想される。再開発地域内だけ交通広場や道路を広げても、その周辺の主要道路は増やさず、枝道はそのままでは今の交通混雑の緩和にしかならず、周辺道路の交通量増大に対応できないのではないか。</p> <p>(同趣旨他 499 件)</p>	<p>また、拡充されるバスバース等を活用し、路線バスネットワークの充実を図ることで、公共交通機関の利用促進を図り、交通渋滞の緩和に努めます。</p> <p>さらには、今後の取組として、区域周辺のアプローチ道路における信号表示の時間の見直しなどの交差点改良や歩行者の安全性向上、交通流の円滑化に向け、駅周辺の高低差を活かした歩車分離の可能性などについて、準備組合に検討を働きかけ、適切な交通対策が図られるよう取り組んでまいります。</p>	D
11	<p>鷺沼駅へのアクセス道路が現状のまま、市役所を鷺沼駅に移転する利便性はないと考える。</p> <p>東急田園都市線は東西への導線だが、宮前区は南北に広がる街の構造である。</p> <p>例えば菅生、五所塚方面からの移動する場合に、東急田園都市線使うのであればバスで溝の口・梶が谷を経由する大回りコースとなり、非常に不便になるだけだ。</p> <p>また、尻手黒川線方面から国道 246 号線に抜ける場合、鷺沼駅周辺を通らざるを得ず、現在も休日、平日を問わず駅周辺での渋滞が発生している。とくに雨天時などは送迎などの車も増えるため、市役所が移転した場合は、この渋滞にさらに拍車がかかると思われ、街が機能しなくなるが考えられる。</p> <p>宮前区全体を俯瞰すると、東名高速道路、東急田園都市線、国道 246 号線で街が南北に分断されており、これらの路線を横断することが南北の移動を阻んでいると考える。</p>	<p>鷺沼駅周辺では、現在、交差点が近接していることによる交通混雑などの課題があることから、今回の再開発事業に併せて、現行の交通広場とフレル鷺沼の間にある道路の廃止による交差点の集約化や周辺道路への右左折レーンの設置など、交通流の改善を図ります。</p> <p>また、拡充されるバスバース等を活用し、路線バスネットワークの充実を図ることで、公共交通機関の利用促進を図り、交通渋滞の緩和に努めます。</p> <p>さらには、今後の取組として、区域周辺のアプローチ道路における信号表示の時間の見直しなどの交差点改良や歩行者の安全性向上、交通流の円滑化に向け、駅周辺の高低差を活かした歩車分離の可能性などについて、準備組合に検討を働きかけ、適切な交通対策が図られるよう取り組んでまいります。</p>	D
12	<p>鷺沼駅前に移転したら、休み明けの役所手続きの混み具合をみると、当然鷺沼駅前で交通渋滞がおきるので反対だ。</p>		D
13	<p>新百合駅は市の施設があり、土日は特に混んでどうしようもない、私は母のホームに行くのにいつもひどい目に合っていた。駅前移転は絶対にやめてほしい。公共のバスもつまってどうにも動かない。新百合より鷺沼の方が条件が悪い。</p>		D
14	<p>鷺沼駅に接続する道路特に北大通は常に渋滞して、鷺沼駅に車で行くのは困難である。そんなところに市の3施設がくれば、更に渋滞してどうにも車が動かなくなる。そうなったら誰が責任を取るのか？町会長か、川崎市か、移転したらもとに戻れないことを忘れるな。</p>		D
15	<p>鷺沼に移転した場合の最大の問題は交通渋滞だ。鷺沼駅は、地図を見ればわかる通り丘の上の有りに、どの方向からアクセスしても登りになる。登り坂は渋滞の最大要因となる。いろいろ工夫されたとしても、立地としては不適だ。</p>		D

(5) 駅アクセス向上の方向性に関すること

No.	意見・質問要旨	本市の考え方	区分
16	区役所の会議室を利用しているすが、利用者にとってとても集まりやすい場所だ。鷺沼には分室を作ればいい。予想される交通渋滞も考えてほしい。	<p>鷺沼駅周辺では、現在、交差点が近接していることによる交通混雑などの課題があることから、今回の再開発事業に併せて、現行の交通広場とフレル鷺沼の間にある道路の廃止による交差点の集約化や周辺道路への右左折レーンの設置など、交通流の改善を図ります。</p> <p>また、拡充されるバスバス等を活用し、路線バスネットワークの充実を図ることで、公共交通機関の利用促進を図り、交通渋滞の緩和に努めます。</p> <p>さらには、今後の取組として、区域周辺のアプローチ道路における信号表示の時間の見直しなどの交差点改良や歩行者の安全性向上、交通流の円滑化に向け、駅周辺の高低差を活かした歩車分離の可能性などについて、準備組合に検討を働きかけ、適切な交通対策が図られるよう取り組んでまいります。</p>	D
17	鷺沼駅周辺では偏りすぎかなと思う。駅の信号も車の交通量も考えると、また別の場所が良いのではないかな。		D
18	現在でも鷺沼駅前、道路の渋滞が朝夕ははげしい状況であるのに、区役所など駅前に移したら、さらに混雑しそうで、朝のラッシュがさらにひどくなりそうなので、区役所の移転は反対だ。		D
19	鷺沼に市の3施設が移転してもうれしくない。それは、今でも道路の渋滞が激しく、鷺沼郵便局の前でみんな降りて、朝、歩いていくぐらいだ。		D
20	鷺沼駅に接続する道路はすべてせまく、いつも交通渋滞している。これ以上、交通量が増えれば、もの鷺沼駅には車で買物に行けない。区役所も図書館も市民館もいらぬ。毎日の買物に困っている。移転は絶対にやめてほしい。 (同趣旨他1件)		D
21	鷺沼駅へ行く道路は狭いので、もし市役所や市民館が建てられると今以上に渋滞することが予想される。 また鷺沼は宮前区にとって中心地ではなく、横浜との境の位置にある所だ。あまりいい位置・場所とはいえないのではないかな。		D
22	鷺沼の駅前を再開発したとしても周りの道路は拡張するには限度がある。麻生区役所の周辺道路がものすごく渋滞する状況を考慮したのか？その状況を見ると、鷺沼周辺の渋滞が非常にひどいものになることを懸念している。		D
23	鷺沼駅前の渋滞対策としてバス便の充実を図っているようだが、現状でも混雑しているのに一極集中することによる交通渋滞の悪化を解消できるものではないと思う。		D
24	今でも鷺沼にバス、車で行くのは交通渋滞を覚悟して行っている。これがタワーマンションや区役所ができると、人口増とバス便、車の増で小杉周辺以上の混雑が想像される。いくら駅前や開発区域の道路や広場を広げてもそこにとりつく道路が広がり、あと数本南北の道路ができなければ、必ず渋滞は今よりひどくなる。 (同趣旨他3件)		D
25	現在でも鷺沼駅に出るためには、バス、車での渋滞を覚悟して、所要時間を多く取らねばならない。この上、大きな施設を含む複合ビルが		D

No.	意見・質問要旨	本市の考え方	区分
	<p>できれば、駅に向かう道路は更なる交通混雑が確実なものとなる。それを少しでも防ぐためにも、区役所は分室、市民館と図書館も小規模な分館にとどめていただきたいと思う。</p> <p>武蔵小杉駅周辺の交通渋滞は相当ひどいものだと思っている。</p> <p>(同趣旨他 3 件)</p>		
26	<p>区役所の鷺沼駅への移転ありきで議論が進んでいると思う。区役所の老朽化等が言われているが、正直鷺沼駅前に全てを移転するのは一箇所に区内の機能が集中してしまい道路混雑を生むことになると思う。現状のようにある程度、商業と役所機能は分散している方が区の発展にとってはよいと思う。</p> <p>鷺沼駅は再開発で更に発展する、混雑すると思うし、そこに行政機能をもたせさらなる混雑を引き起こす必要があるとは思えない。</p> <p>(同趣旨他 2 件)</p>	<p>鷺沼駅周辺では、現在、交差点が近接していることによる交通混雑などの課題があることから、今回の再開発事業に併せて、現行の交通広場とフレル鷺沼の間にある道路の廃止による交差点の集約化や周辺道路への右左折レーンの設置など、交通流の改善を図ります。</p> <p>また、拡充されるバスバース等を活用し、路線バスネットワークの充実を図ることで、公共交通機関の利用促進を図り、交通渋滞の緩和に努めます。</p> <p>さらには、今後の取組として、区域周辺のアプローチ道路における信号表示の時間の見直しなどの交差点改良や歩行者の安全性向上、交通流の円滑化に向け、駅周辺の高低差を活かした歩車分離の可能性などについて、準備組合に検討を働きかけ、適切な交通対策が図られるよう取り組んでまいります。</p>	D
27	<p>鷺沼周辺は、現在でも道路情勢が良くなく混雑している。「バスターミナル」の拡充を行っても、回りの道路状況が改善されなければ今以上の混雑は避けられないだろう。まして、バス便増になれば混雑に歯車がかかり、地元住民にも迷惑をかえるだろう。</p> <p>役所と商業地域は少し距離が離れているのが望ましく思う。一極集中は過疎化をもたらすのではないか。</p>		D
28	<p>鷺沼駅前のバスバースは増え、広くなり利便性が高まると言うが、そこに行く道路は、広くなるのか。住宅街を抜ける道路であり、広くなることは想定しにくい。それを分かっている市は、混雑することを予測せず、交通結節駅としての利便性を語っており、大変不安</p>		D
29	<p>移転反対だ。バスターミナルだけを整備しても無意味だ。アクセスする道路の整備が先の問題。その解決策のないまま、安易な移転の話は直ちに撤回されたい。</p>		D
30	<p>バス、自動車等の交通手段（道路、駐車場）の場合、道路が 2 車線、駐車場不足、信号待ちの多さで、現在の区役所が圧倒的に優位で所要時間は、2 分の 1 で済む。駐車場待ちでさらに倍加されてしまう。</p>		D
31	<p>区役所・図書館が移転することに基本的に賛成であるが、鷺沼駅前は各方面のバスに加えて、土橋⇄有馬方面と、たまプラーザ方面を結ぶ道路の結節点になっていて、現状でも自動車交通量は多いと感じる。</p> <p>また、駅利用者が道路を横断するための信号待ちがやや長く、信号が設置していない横断歩道や、横断歩道ではない箇所での道路横断が多</p>	<p>鷺沼駅周辺では、現在、交差点が近接していることによる交通混雑などの課題があることから、今回の再開発事業に併せて、現行の交通広場とフレル鷺沼の間にある道路の廃止による交差点の集約化や周辺道路への右左折レーンの設置など、交通流の改善を図ります。</p> <p>また、拡充されるバスバース等を活用し、路線バスネットワークの充実を図ることで、公共交通</p>	D

(5) 駅アクセス向上の方向性に関すること

No.	意見・質問要旨	本市の考え方	区分
	<p>く、運転者側としても危険を感じる瞬間が多いエリアである。</p> <p>バスバースの増設や交差点の再編など改善事項が盛り込まれているが、区役所・図書館が移転することで結局混雑は解消されないように思える。</p>	<p>機関の利用促進を図り、交通渋滞の緩和に努めます。</p> <p>さらには、今後の取組として、区域周辺のアプローチ道路における信号表示の時間の見直しなどの交差点改良や歩行者の安全性向上、交通流の円滑化に向け、駅周辺の高低差を活かした歩車分離の可能性などについて、準備組合に検討を働きかけ、適切な交通対策が図られるよう取り組んでまいります。</p>	
32	<p>東急田園都市線の中でも飽和状態と言えるほどの人口密集駅であり、これ以上人が密集する施設を作ること自体、リスクが増すことだということを今一度お考え頂きたい。</p> <p>土地が余ってない、道幅は狭い、駅までのバスを増加したところで1kmを30分以上かけて走行することとなり、ストレスフルな人々が増えていく…としたら、それを安心して暮らせる良い街だと思えない。</p> <p>(同趣旨他1件)</p>		D
33	<p>鷺沼移転は駅前が混雑するだけで、何もよいことはない。みんな移転反対だ。</p>		D
34	<p>ただ単に人が集まるのでなく、これ以上混雑しないことや分散を考えてほしい。</p>		D
35	<p>宮崎に生まれて43年、幼稚園がサレジオ幼稚園だったため、東急コーチバスを使ったり、母と鷺沼まで歩いて通ったりした。その頃はまだ人も多く無く、すれ違う人に挨拶したり空き地で虫を探したりと楽しみながら言った覚えがある。</p> <p>今は息子をこの地で育て、自分が育ってきた頃と重ねながら育てているが、昔とは変わってしまったと感じる。</p> <p>鷺沼の駅前は道が渋滞する、信号が短い、繋がりが悪い、土橋・宮前平・たまプラーザ・246側どこから来ても渋滞。クルマ、バイクを停める環境がそろっていないなど、フレル鷺沼に買い物に原付バイクで行っても駐車する場所がなく自然と鷺沼は避けるようになっていく。</p> <p>また、市税事務所に溝の口、区役所が鷺沼だと何かと不便しかない。</p> <p>ただでさえ坂の頂上、どの方面からきても渋滞、バスの発着往来がある限りたまプラーザみにては広大な敷地が鷺沼にとれるとは思えず、一般車両と混ざるのは現状と何も変わらず渋滞、事故がおこるのではないかと。</p> <p>駐車場の少なさなどから鷺沼への移転は反対である。</p>	<p>鷺沼駅周辺では、現在、交差点が近接していることによる交通混雑などの課題があることから、今回の再開発事業に併せて、現行の交通広場とフレル鷺沼の間にある道路の廃止による交差点の集約化や周辺道路への右左折レーンの設置、信号待ち時間の短縮により、交通環境改善に大きな効果があるものと考えております。</p> <p>また、拡充されるバスバース等を活用し、路線バスネットワークの充実を図ることで、公共交通機関の利用促進を図り、交通渋滞の緩和に努めます。</p> <p>さらには、今後の取組として、区域周辺のアプローチ道路における信号表示の時間の見直しなどの交差点改良や歩行者の安全性向上、交通流の円滑化に向け、駅周辺の高低差を活かした歩車分離の可能性などについて、準備組合に検討を働きかけ、適切な交通対策が図られるよう取り組んでまいります。</p> <p>なお、駐車、駐輪スペースの確保については、「川崎市建築物における駐車施設の附置等に関する条例」などに基つき、適切な台数となるよう、準備組合と調整を図ります。</p>	D
36	<p>現在でも鷺沼駅周辺の交通混雑が酷い。其処に区役所が移転すれば更なる悪化は必定。従って、移転するならば歩行者、自転車、車をスムーズに通す道路、建物配置が絶対的に必要。現在案では区役所待ちの車が道路に溢れること必至。現在の宮前区役所前でも車が道路に溢れている</p>	<p>駐車動線については、基本方針 P106 の導入機能の配置イメージに示すとおり、駐車場出入口を幹線道路である久末鷺沼線側に設けないよう準備組合と調整を行っておりますが、今後も、他の事例を参考に、「駐車待ち車両ができるだけ施設内で待機できる設え」や公共交通機関の利用促進等</p>	D

No.	意見・質問要旨	本市の考え方	区分
	<p>事が多いが、道路幅が比較的あるので大きな問題となっていない。移転計画地付近の現状道路幅では混雑悪化すると思う。</p> <p>(同趣旨他 1 件)</p>	<p>の周知などソフト面の取組も含めて、準備組合と協議調整を行い、駐車待ち渋滞が起こらないような取組を推進していきます。</p> <p>なお、駐車、駐輪スペースの確保については、「川崎市建築物における駐車施設の附置等に関する条例」などに基づき、適切な台数となるよう、準備組合と調整を図ります。</p>	
37	<p>高層複合ビルでは、駐車場に限りがある。今の宮前平では、それなりに駐車場に入れるが鷺沼では無理だ。本はかなり重く、車で来る人も多いので、駅周辺が大混雑、大渋滞になる。道もせまいので、そこに住んでいる人は迷惑で本当に困る。</p>		D
38	<p>区役所が、商業的中心地・交通結節点に立地しなければならない理由はない。むしろ機能を集中することによる混雑・騒音・渋滞等、集中がもたらす外部不経済が大きい。</p> <p>これからの市民サービスは、集中集積により住民を寄せ集めるのではなく、分散によるキメ細かなサービスの提供が求められる時代であり、1か所に全てまとめるのはお上の時代遅れの発想である。</p> <p>鷺沼は宮前区の西の外れ、宮前区民の拠点としては不適當。区民の中心とはみなし難い。横浜青葉区役所も、タマプラ、あざみ野、青葉台ではない。</p> <p>区内で駅を利用できる人は限られており、むしろバス・車用の施設を充実させること(駐車場)が喜ばれるのではないか。鷺沼で十分な安い駐車場スペースが確保できるのか。都市機能が一か所に集中することによる混雑、渋滞、時間的ロス、事故のリスクは甘くみるべきではない。</p>	<p>少子高齢化の一層の進行が確実な中で、これからの区役所(平常時)には、福祉や介護、生活支援に関する相談など、市民ニーズに応じたきめ細やかな行政サービスを着実に提供していくことが求められており、こうしたサービスの利用者は、自ら希望して区役所を訪れるものではなく、必要性からの利用が大半であり、高齢化が進む中では、公共交通によるアクセス性の確保がより重要になります。</p> <p>今回の鷺沼駅前再開発では、交通広場の拡充や、路線バスネットワークの充実など交通結節機能の向上効果等を活かし、将来を見据えたコンパクトなまちづくりを推進するため、区役所・市民館・図書館を一体的に移転・整備し、宮前区の核となる地域生活拠点の形成を図ってまいります。</p>	D
39	<p>区役所・図書館・区民センター等を鷺沼に移すのは反対。</p> <p>鷺沼駅周辺は現在も非常にゴチャゴチャしている。そこに区役所等が出来たら想像しただけでも大変なことになる。現区役所の場所が閑静で非常に良い。</p> <p>(同趣旨他 9 件)</p>		D
40	<p>鷺沼駅はで前区全体の中心から大きく外れ、移転により却って不便になる区民が少くない。</p> <p>(同趣旨他 1 件)</p>		D
41	<p>現在、区役所に行くのに宮前平駅からあの坂を登ることを考えたら鷺沼駅前のほうが便利だろうとは思いますが、鷺沼に行く宮前区民はどれほどだろうか？鷺沼に何がある？バスに乗って鷺沼にしか出られない人はともかく、どこかへ行こうとしたら、溝の口かたまプラだろう！</p> <p>かつて急行停車駅だったとしても、今は？十年先は？二十年先は？しかも、東急電鉄は鷺沼に発展の絵図を見ているのか？</p>	<p>少子高齢化の一層の進行が確実な中で、これからの区役所(平常時)には、福祉や介護、生活支援に関する相談など、市民ニーズに応じたきめ細やかな行政サービスを着実に提供していくことが求められており、こうしたサービスの利用者は、自ら希望して区役所を訪れるものではなく、必要性からの利用が大半であり、高齢化が進む中では、公共交通によるアクセス性の確保がより重要になります。</p>	D

(5) 駅アクセス向上の方向性に関すること

No.	意見・質問要旨	本市の考え方	区分
42	再編はアクセスの向上になるか？起伏に富んだ地形は魅力的なのではないか？公共機関へのアクセスの改良は正に行政の仕事ではないか？東急グループ魅力ある都市構想（田園都市）を掲げているのだから、路線の充実、変更には喜んで応じることだろう。	今回の鷺沼駅前再開発では、交通広場の拡充や、路線バスネットワークの充実など交通結節機能の向上効果等を活かし、将来を見据えたコンパクトなまちづくりを推進するため、区役所・市民館・図書館を一体的に移転・整備し、宮前区の核となる地域生活拠点の形成を図ってまいります。	D
43	現在の鷺沼駅のバス交通、車での不便さは目に余る。 あれを改善すると言うが、鉄道、道路など制約条件が多過ぎてアクセスが良くなるとはとても思えない。移転には反対です。 (同趣旨他 1 件)	鷺沼駅前再開発では、交通広場の拡充や、路線バスネットワークの充実により、宮前区全体の発展に資する鷺沼駅へのアクセス性向上に向けた取組を推進します。 また、公共交通によるアクセス性を高めるためには、路線バスネットワークの充実と併せて、路線バスの走行環境の改善による速達性・定時性の向上が重要となることから、通過交通等に配慮した混雑対策や公共交通の利用促進など、駅周辺の交通環境の改善に取り組めます。	D
44	鷺沼駅への接続道路は片道 1 車線。3 施設移転でバス便の増加と区施設の利用者等の車両で大渋滞になり、近隣住民の生活に支障が生じ、学童の交通事故の増加も予想される。 (同趣旨他 226 件)	鷺沼駅周辺では、現在、交差点が近接していることによる交通混雑などの課題があることから、今回の再開発事業に併せて、現行の交通広場とフレル鷺沼の間にある道路の廃止による交差点の集約化や周辺道路への右左折レーンの設置などにより、現在の信号表示の時間の見直しを図ることが可能であり、信号待ち時間の短縮が図られるなど、交通環境改善に大きな効果があるものと考えております。	D
45	鷺沼で乗り降りしない電車の一般乗客には何で急行なのにこんな駅で停まるんだと思っているに違いない。東急沿線で電車で鷺沼に来る宮前区民ならともかくバスで駅まで行き電車に乗り換える宮前区民は、それなら鷺沼でなくても、バスの便のいいところがいいと思うだろう。バスで直接鷺沼に行けるようにバス路線を増やそうにも鷺沼につながる道は狭いし拡張できないわけだし。(区役所の現在地の前の道は広いぞ)しかも、今度、横浜市営地下鉄が宮前区西部を通り、駅ができるらしい。そこを始発・終着・経由するバスが増えるはずだが、そのバスが鷺沼に来るとなると道は一つ。鷺沼周辺の住宅地の人は騒音・震動・渋滞で迷惑だと言うかもしれない。	また、拡充されるバスバース等を活用し、路線バスネットワークの充実を図ることで、公共交通機関の利用促進を図り、交通渋滞の緩和に努めます。 さらには、今後の取組として、区域周辺のアプローチ道路における信号表示の時間の見直しなどの交差点改良や歩行者の安全性向上、交通流の円滑化に向け、駅周辺の高低差を活かした歩車分離の可能性などについて、準備組合に検討を働きかけ、適切な交通対策が図られるよう取り組んでまいります。	D
46	鷺沼駅への接続道路は片道 1 車線。3 施設移転でバス便の増加と区施設の利用者等の車両で大渋滞になり、近隣住民の生活に支障が生じ、学童の交通事故の増加も予想される。	なお、周辺交通への影響や騒音・振動の具体的な項目については、環境アセスメント手続きの中で整理することになりますが、関係法令等を踏まえた計画となるよう、準備組合に働きかけてまいります。	D
47	鷺沼周辺の交通量の増加は、現在でも車両から出る排気ガスの二酸化窒素の量が環境基準を超えているので、さらに環境の悪化を招き、喘息患者などの増加が予想される。交通の一極集中を避けるべきだ。	交通環境については、川崎市の総合都市交通計画の重点施策である「環境に配慮した交通の低炭素化」の取組の方針の中で、路線バスによる駅アクセスの向上により、公共交通の利便性の向上を図ることで、公共交通の利用を促進し、自家用車からの転換の促進を図り、環境負荷の低減を推進することなどを「低炭素で環境に配慮した交通環境の整備」として位置付けており、今回の取組は、その方針に合致することから、駅アクセス向上に向けた取組を進めてまいります。	D
48	11 月 11 日の宮前区役所でのフォーラムで、大気汚染についての不安を発言した住民の方がいた。2 月の住民説明会では、大気汚染についての説明は一切なかった。 鷺沼駅周辺再整備に伴い「バスの運行本数の		D

No.	意見・質問要旨	本市の考え方	区分
	増加を見込めそう」とのことだが、ますます排気ガスが増えるのではないか。そこに公共機関を移転させて大丈夫なのか。川崎市地球温暖化対策推進条例は守れるのか。	なお、周辺交通への影響や環境対策の具体的な項目については、環境アセスメント手続きの中で整理することになりますが、大気等に関する関係法令等を踏まえた計画となるよう、準備組合に働きかけてまいります。	
49	余裕敷地が広くない鷺沼駅周辺に、公共機能の集約を図ることは、一層の混雑（特に交通、自家用車でのアクセス困難）を惹起する。現在、1時間まで無料の駐車料金が有料かつ入庫困難となる状況を解決できるのか。	<p>鷺沼駅周辺では、現在、交差点が近接していることによる交通混雑などの課題があることから、今回の再開発事業に併せて、現行の交通広場とフレル鷺沼の間にある道路の廃止による交差点の集約化や周辺道路への右左折レーンの設置などにより、現在の信号表示の時間の見直しを図ることが可能であり、信号待ち時間の短縮が図られるなど、交通環境改善に大きな効果があるものと考えております。また、拡充されるバスバース等を活用し、路線バスネットワークの充実を図ることで、公共交通機関の利用促進を図り、交通渋滞の緩和に努めます。</p> <p>さらには、今後の取組として、区域周辺のアプローチ道路における信号表示の時間の見直しなどの交差点改良や歩行者の安全性向上、交通流の円滑化に向け、駅周辺の高低差を活かした歩車分離の可能性などについて、準備組合に検討を働きかけ、適切な交通対策が図られるよう取り組んでまいります。</p> <p>なお、駐車、駐輪スペースの確保については、「川崎市建築物における駐車施設の附置等に関する条例」などにに基づき、適切な台数となるよう、準備組合と調整を図ります。また、駐車料金については、施設の運用に関する内容になりますが、公共交通の利用促進等の観点を踏まえつつ、今後検討してまいります。</p>	D
50	<p>区全体からのアクセスはどうシミュレーションされてるのか。今でさえ渋滞がひどく、アクセス道路が少ない鷺沼に施設を集中させて、スムーズにアクセスできるか？田園都市線沿線地区から来る場合は電車も利用可能だが、車で行きたい方はたくさんいると思う。バスターミナル、交差点の改修とあるが、商業施設もあり、交通が集中するなか、本当にスムーズにアクセスできるか試算されているか？それを区民に提示しているか？移転後にやっぱり渋滞が悪化したでは鷺沼駅周辺の住民にもいいことではないと思う。</p> <p>疑問点をたくさん抱えている住民もいるということを知っていただき、今後議論をしていただきたい。</p>	<p>鷺沼駅周辺では、現在、交差点が近接していることによる交通混雑などの課題があることから、今回の再開発事業に併せて、現行の交通広場とフレル鷺沼の間にある道路の廃止による交差点の集約化や周辺道路への右左折レーンの設置など、交通流の改善を図ります。</p> <p>また、併せて、路線バスネットワークの充実を図ることで、公共交通機関の利用促進を図り、交通渋滞の緩和に努めます。</p> <p>なお、路線バスネットワークの充実に向けては、小田急沿線方面などの路線の新設や、鷺沼駅周辺に移転する区役所等施設へ向丘地区方面などからのアクセス強化を図るための既存路線の再編など、バス事業者と連携した取組を進めます。</p> <p>今後もいただいた御意見には真摯かつ誠実に対応し、より多くの皆様に御理解いただけるよう取り組んでまいります</p>	D
51	<p>今の現状で一部の道路整備で車両がスムーズに流れるとは思わない。</p> <p>一般道路、東名高速道路をみても分かるはず。計算通りには行かないものである。</p>	<p>交通量の予測については、環境アセスメント手続きの中で、準備組合が実施することとなりますが、現況の交通量に将来変動を加味した交通量に対し、再開発事業に導入される都市機能の用途や</p>	D

(5) 駅アクセス向上の方向性に関すること

No.	意見・質問要旨	本市の考え方	区分
52	駅周辺の混雑化が十分に予想されるので、再検討を希望する。	規模に応じた発生集中交通量を加えることで、将来交通量を予測することとなります。準備組合からは、導入する機能等を勘案した適切な交通処理となるよう検討する旨の見解を受けておりますが、引き続き、適切な交通処理計画となるよう働きかけてまいります。	D
53	一度実験して見たら良いと思う。バスを今の3倍、一般車両を200台、300台を一気に走らせて見たらどうか。		D
54	現状の鷺沼駅周辺の道路4車線化、駐車場の容量700台以上を確保、信号・交差点の半減が必須である。	現状の土地利用から道路の4車線化は困難ですが、駅周辺の道路については、右左折レーンの設置や交差点の集約化により、交差点数を3箇所から1箇所にするなど、通過交通等に配慮した混雑対策や公共交通の利用促進を実施していきます。 また、駐車、駐輪スペースの確保については、「川崎市建築物における駐車施設の附置等に関する条例」などに基づき、適切な台数となるよう、準備組合と調整を図ります。	D
55	バスターミナルを広くして今迄以上バスを多くすると言うが、バスが多くなればなるほどバスの後に一般車両が繋がってしまう。 (同趣旨他2件)	本市では、身近な地域の交通を支える持続可能な公共交通ネットワークの形成を図るため、駅などへのアクセス向上は路線バスによる対応を基本とし、バス事業者等との連携による地域の特性やニーズに応じた取組を進めております。 鷺沼駅前の再開発に併せて交通結節機能の強化により、駅を中心に公共交通をより利用しやすくし、路線バスの利用促進を図ることで、交通渋滞の緩和に努めてまいります。	D
56	もともと、宮前区は坂が多い地形。駅前だから平らになるというのは角度(視点)のマジックにすぎない。結局は徒歩、バスで行く人は存在する。		D
57	住宅の多い場所にそんなにバスを多くしてよいのか。皆さん心配している。		D
58	現状でも大渋滞の鷺沼駅前が益々混雑する。それにこんなことをしたら災害が起きた時收拾がつかない。災害を経験したことがないからこの様な過去の再開発プランを提案できる。	災害時の交通混雑の応急対策として、地域防災計画に基づき、緊急活動道路等の機能復元や放置車両等の車両移動等の交通対策に加え、帰宅困難者一時滞在施設の開設など、混乱防止及び帰宅困難者対策等に取り組んでまいります。	D
59	「現行の交通広場とフレル鷺沼の間の道路を廃止し、同位置に交通広場の出入口を配置することで、交差点の集約化(3箇所⇒1箇所)を検討します。」と記載されているが、これが駅周辺の交通環境の改善に役立つとは思われない。 交通施策のデータがバス以外はほとんど示されず、新しくできる区役所等の施設を含む民間マンションの位置、自動車の出入り口、居住者及び外来者の駐車場の位置と台数などが全く示されていない。これではその施策の是非が判断できない。しかし、一つだけ言えることは、現行の交通広場とフレル鷺沼の間の道路が廃止されるので、小台1丁目方面からの鷺沼小学校・たまプラーザ方面に向かう車(逆方向も同じ。)は右左折することになるので、付近の交差点は確実に混雑することになる。わざわざ交通渋滞を誘発するような施策である。 駅周辺の交通環境の改善は、もっと立体的に処理する方向で検討すべきものと考えます。 (同趣旨他10件)	交差点の集約化により、現在の信号表示の時間の見直しを図ることが可能であり、信号待ち時間の短縮が図られます。また、右左折レーンの設置を併せて行うことで、交通環境改善に大きな効果があるものと考えております。 また、交通施策のデータについて、駐車動線については、基本方針P106の導入機能の配置イメージに示すとおり、駐車場出入口を幹線道路である久末鷺沼線側に設けないことなどをお示しており、ご指摘の内容については、右左折レーンの設置により対応可能なものと考えております。 なお、災害発生時には、市・区災害対策本部、消防署、警察をはじめ、道路公園センター、神奈川県、国、消防団などの区民、そして各避難所など、各機関が相互に連携しながらも、地域防災計画や各機関の本部の方針に基づき、組織ごとの指揮系統により、自律的に災害対策を実施できるよう日頃から訓練等を行っています。 各機関の立地の遠近にかかわらず、更なる機動性・即応性を確保していくため、防災行政無線な	D

No.	意見・質問要旨	本市の考え方	区分
60	<p>区役所移転反対する。</p> <p>基本方針概要では、信号を集約、道路の立体化で鷺沼駅前の混雑を解消するとあるが、道路の幅がある訳ではないので、混雑、車の渋滞は避けられない。</p> <p>災害時には区役所から車の出入りはできない。災害時の司令塔の役目は果たせない。</p> <p>(同趣旨他1件)</p>	<p>ど情報通信手段の確保や、防災訓練等を通じて、効率的・効果的な災害時の協力連携体制の一層の強化を図り、災害に対応していきます。</p>	D
61	<p>鷺沼駅周辺の開発により、田園都市線の価値や川崎市の価値が向上するのは良いが、田園都市線の朝夕のラッシュ及び電車遅延は改善してほしい。</p>	<p>鉄道や駅の混雑については、鉄道事業者により様々な取組が実施されているものと認識しておりますが、引き続き、様々な機会を捉えて、鉄道事業者に対して働きかけてまいります。</p>	D
62	<p>鷺沼駅に集中させるのではなく、宮前平、宮崎台各駅を利用し広く市民が使いやすい環境としないと、今後人口増大により鷺沼駅のキャパシティーはるかに超えることがおきてしまう。今のままでは田園都市線とその駅自体のキャパシティーに限界がある。</p>		D
63	<p>路線バスネットワークの充実に向け、小田急沿線方面などの路線の新設に賛成。</p> <p>現状民営バス事業者は運転手も不足していることから、バス本数を増便することは難しいため運行路線の延長というかたちで対応していくことを検討してほしい。</p> <p>具体的には、再編整備前の先行的な取組で新設された鷺沼駅と聖マリアンナ医科大学病院を結ぶバス路線を、宮前区役所前、宮前平駅1番のりばを経由して新百合ヶ丘駅、百合ヶ丘駅、生田駅、登戸駅へ延長運行して宮前区民の区役所等施設、鷺沼駅へのアクセス性向上すること。</p>	<p>路線バスネットワークの充実に向けた取組として、市民の一層の利便性等向上に向け、地域生活拠点である鷺沼駅と現在路線が設定されていない小田急線沿線などの拠点駅方面への路線新設などについて、路線バスの利用実態、需要動向、事業採算性等を踏まえながら、引き続き、バス事業者との協議・調整を行い、更なる取組を進めてまいります。</p>	B
64	<p>いまありがたいのは鷺沼駅からマリアンナのバスが出始めたこと。今までの希望がかなえられて嬉しい。もう少し本数を出してくれるよう希望する。</p>	<p>鷺沼駅と聖マリアンナ医科大学病院を結ぶバス路線については、バスターミナルが狭く、他のバス路線の発着も過密状態にあったことから、調整の余地がある日中時間帯のみに限定することで、3バス事業者共同で新設できたところです。</p> <p>運行時間帯の拡大については、現状でもバスの発着が過密状態にあり課題があるとバス事業者から伺っておりますが、病院利用者等の利便性が向上するものと考えておりますので、交通広場の拡充機会を捉え、利便性の向上に繋がるよう、バス事業者との協議・調整を進めてまいります。</p>	B
65	<p>現在鷺沼駅から市内（区内）最大の病院の聖マリアンナ医大病院までのバス便が極めて少なく、また新百合ヶ丘駅までのバス便がない。宮前区の住民がこれらの場所に行く手段（公共アクセス）が悪い。</p> <p>せっかく鷺沼駅前の再開発をされるのだから聖マリアンナと新百合ヶ丘へのバス便を新設（増発）して、関係住民が再開発のアクセス改善を享受できるように計画を考えてもらいたい。</p>		B
66	<p>自宅最寄りのバス停からだ、現在市バスの本数は宮前平駅へ行く本数のほうが鷺沼駅へ行くバスより多い、公共施設移転後は鷺沼駅行きのバスも増えるのか。</p>	<p>拡充されるバスバース等を活用し、駅アクセス強化等に資する路線バスネットワークの充実に向けた取組を進めてまいります。</p> <p>なお、個別のバス路線要望についての意見につ</p>	B

(5) 駅アクセス向上の方向性に関すること

No.	意見・質問要旨	本市の考え方	区分
67	宮前平だと坂の上にあるため、とても不便で、鷺沼に移転しても良いとは思いますが、宮前平から鷺沼駅行きのバスを作って欲しい。	いては、今後の参考意見として、「川崎市・バス事業者連絡会議」の場などを通じて、バス事業者にも要望してまいります。路線バスの利用実態、需要動向、事業採算性等を踏まえながら、引き続き、バス事業者との協議・調整を行ってまいります。	B
68	鷺沼に移転したらバス、電車を使わなくては行けない。高齢者、年金暮らしのことを考えたか。溝ノ口からバスで鷺沼行き作ってほしい。溝ノ口～平～鷺沼行、だったら賛成する。		B
69	鷺沼へ区内各地からの交通に不便な地域が多い。特に下記地区。 (1) 五所塚、神木本町、しばられの松。 (2) 初山、平。(3) 稗原、平。(4) 馬絹など。 バスなど交通手段を設けるべきと考える。(計画道路開通を含め) 古代ローマに「すべての道はローマに通ず」の諺がある。	鷺沼駅は宮前地区方面を主とした多くの路線バスの起終点となっており、再編整備にあたっては、鷺沼駅を中心とした様々な方面からの路線バスネットワークの充実を図ることが重要であると認識しております。このため、拡充されるバスパーズ等を活用し、小田急線沿線方面などの路線新設や、向丘地区方面からのアクセス強化を図るための既存路線の再編などについて、バス事業者と連携して検討するなど、引き続き、路線バスネットワークの充実に取り組んでまいります。	B
70	市の方針に賛成。今の社会に合ったプロジェクトをどんどん進めるべき。ただより良く実現するためには、バス便など交通網の再整備などは必要である。 (同趣旨他2件)		B
71	いずれにしてもバスの路線を充実させ、鷺沼へのアクセスが良い方達を増やし、利便性が向上するのは良いことと思う。		B
72	宮前区の地域生活拠点に位置づけられた鷺沼・宮前平駅周辺地区以外の拠点駅は、広域拠点の駅と鉄道でダイレクトにつながっているのに対して、鷺沼・宮前平駅周辺地区のみ広域拠点の駅とつながっていないので、鉄道の代替として、鷺沼駅と広域拠点である新百合ヶ丘駅および小杉駅との連携を強固にするバスルートと幹線道路の整備を願う。	鷺沼駅周辺の再編整備の機会を捉え、市民の一層の利便性向上に向け、鷺沼駅と路線が設定されていない小田急線沿線などの拠点駅方面への路線新設など、路線バスネットワークの充実に向けた取組を推進してまいります。 なお、鷺沼駅については、現在小杉駅行きのバスが発着しており、広域拠点と接続するバスルートを確認しております。	B
73	鷺沼駅の交通結節機能を強化して、宮前区の交通ハブとなる拠点をつくるためには、宮前区内の交通ネットワークの中心に据えることだけでは片手落ちであり、ハブ拠点と他地域間との中長距離交通インフラの強化をセットで行わないと意味がないので、宮前区の東急田園都市線の鷺沼までの複々線化を、本整備と並行して実現させてほしい。	田園都市線の複々線化については、これまで神奈川県輸送力増強促進会議において、溝の口から鷺沼間の複々線化の早期完成を要望しています。また、東急電鉄からは交通政策審議会において、本事業の整備意義が認識されたものと理解しており、混雑緩和に有効な大井町線の活用方策の一つとして検討を進めたいと伺っております。 本市としても、平成28年の交通政策審議会からの答申において同路線が「地域の成長に応じた鉄道ネットワークの充実に資するプロジェクト」に位置付けられたことを踏まえ、引き続き、要望してまいります。	C
74	駅前広場について、たまプラーザやセンター北に高速バスが来ているが乗換が不便。鷺沼駅は東名川崎ICにも近くて便利のため高速バス乗り場を設けて路線誘致をお願いしたい。宮前区の拠点として大いに賑わうと思う。	バス乗り場の運用については、バス事業者などとの協議調整を行いながら、交通広場の供用開始前に整理されることになるため、現時点では具体的な路線については未定です。 いただきました御意見については、協議調整の際の参考とさせていただきます。	C

No.	意見・質問要旨	本市の考え方	区分
75	鷺沼駅を宮前区全体の活性化を促す魅力ある「核」とするためには、川崎市の北の玄関口でもある東名川崎インターチェンジに至近という立地特性を十分に活かす観点での機能や仕掛けづくりを、まちづくりの計画に盛り込むことは必須であり、交通広場には空港へのリムジンバス等の中長距離バス発着専用のバース設置を計画願う。	バス乗り場の運用については、バス事業者などの協議調整を行いながら、交通広場の供用開始前に整理されることになるため、現時点では具体的な路線については未定です。 いただきました御意見については、協議調整の際の参考とさせていただきます。	C
76	駅周辺交通環境改善、工事のスケジュール、路線バスの所要時間（現区役所にくるより時間短縮できるか）何分間隔での運行が可能かなど明記してもらいたい。		C
77	鷺沼3丁目4丁目のたまプラーザ寄りの坂の上の地区は、高齢化が進み、コミュニティバスがあれば、もっとお年寄りや体の不自由な方も出かけやすくなると思う。小さな小型バスでよいのであれば良いと思う。	身近な地域交通の取組といたしましては、路線バスネットワークの充実を取組の基本としており、路線バスの運行等が困難な場合には、柔軟できめ細やかな移動が可能となる地域主体によるコミュニティ交通の他、買い物等の目的に応じた多様な交通手段がありますので、地域の活動ニーズ等に応じた取組を進めてまいります。	C
78	市の責任でミニバスのような運行をし、不便な交通問題を改善すべきだ。		C
79	移転に伴って、宮前区の全域からアクセスしやすい交通網の整備が必須だ。分館としての設置ではなく、移転の形を取るならば、コミュニティバスの導入を現実的に検討してほしい。 また、今後自動運転が実用化されることを想定した交通網のデザインを検討してほしい。		C
80	小田急沿線方面、向丘地区方面などからのアクセス強化を図るためバス事業者と連携した取り組みを進めると説明しているが、具体的なバス路線は開業前にならないと決まらなとまちづくり局の答弁である。 もし、上記地域からのバス路線が諸般の事情により通らなければ、これまで散々市長も述べていた鷺沼駅のアクセス性の優位は、市民を安心させるだけのまやかしになる。 これからの区役所の役割は福祉、介護、子育て、生活支援などの相談で来られる方のアクセスの良い所へ区役所を置く。この基本理念を守ること。	鷺沼駅は宮前地区方面を主とした多くの路線バスの起終点となっており、再編整備にあたっては、鷺沼駅を中心とした様々な方面からの路線バスネットワークの充実を図ることが重要であると認識しております。このため、拡充されるバスバース等を活用し、小田急線沿線方面などの路線新設や、向丘地区方面からのアクセス強化を図るための既存路線の再編などについて、バス事業者と連携して検討するなど、引き続き、路線バスネットワークの充実に取り組んでまいります。	D
81	私の自宅である平から鷺沼へ行くには山を2つもこえなければならず、バス等公共交通機関を使うにも乗りかえが必要でとても不便だ。本数も多くない。今まで使いなれた宮前平での区役所継続を希望する。		D
82	向丘地域からのアクセスの悪い鷺沼に移転することは、ますますこの地域が宮前区の行政から孤立する可能性がある。 鷺沼駅周辺を開発し、行政 図書館と装えたスタイルは、ただ武蔵小杉にまねただけのようで、坂の多い宮前区には無理のある計画に思える。是非再編計画の見直しをお願いしたい。		D

(5) 駅アクセス向上の方向性に関すること

No.	意見・質問要旨	本市の考え方	区分	
83	交通手段がバスなので、宮前平じゃないとすぐ困る。	<p>鷺沼駅は宮前地区方面を主とした多くの路線バスの起終点となっており、再編整備にあたっては、鷺沼駅を中心とした様々な方面からの路線バスネットワークの充実を図ることが重要であると認識しております。このため、拡充されるバスバース等を活用し、小田急線沿線方面などの路線新設や、向丘地区方面からのアクセス強化を図るための既存路線の再編などについて、バス事業者と連携して検討するなど、引き続き、路線バスネットワークの充実に取り組んでまいります。</p>	D	
84	今まではバス 1 本で区役所まで行けるのに、乗り換えで電車に乗って行くのは、不便。車を運転しない人にとっては困る。そのため、区役所移転には反対だ。		D	
85	バス 1 本で図書館に行けることができるが。		D	
86	バスで今まで一本でいけたところをバス+電車賃がかかる。移転費がかかる。建設費がかかる。今までの設備で十分たすかっている。これから少子高齢化になるのに、本当に必要なのか。本当に必要な人達（子育て世代、高齢世帯、低所得者）に税金は使ってほしい。場所が横浜が近く不便。		D	
87	鷺沼駅は宮前区全体の中心から大きく外れ移転により不便になる区民が少なくない。神木方面や土橋方面の知り合いとかは、更に不便になるとのことだ。		D	
88	交通の便が非常に悪くなる。 (同趣旨他 1 件)		D	
89	いくらバスを鷺沼に集中しようとしても、物理的な無理がある。 第一回ワークショップでもグループまとめとして、鷺沼駅だけに限らず、すべての駅および区役所を含めたアクセシビリティの改善を図るという意見があったはず(こういうまとめの発言を議事録などに記載されていないことが問題である)。 また、こういう公共設備へのアクセシビリティの改善は、国連の持続社会への開発目標でもある。宮崎台駅から、宮前平駅から、鷺沼駅からだけでなく、すべての地区から。		<p>少子高齢化の一層の進行が確実な中で、これからの区役所（平常時）には、福祉や介護、生活支援に関する相談など、市民ニーズに応じたきめ細やかな行政サービスを着実に提供していくことが求められており、こうしたサービスの利用者は、自ら希望して区役所を訪れるものではなく、必要性からの利用が大半であり、高齢化が進む中では、公共交通によるアクセス性の確保がより重要になります。</p> <p>その中で、鷺沼駅前の再開発区域は、急行の停車駅から至近であり、駅にアクセスするバス路線は現状の本数に加え、交通広場の拡充により、拡充に併せた路線バスネットワークの充実が図られるなど、現在の区役所等が立地する場所に比べてアクセス性に関して優位性が見られます。</p> <p>今回の鷺沼駅前再開発では、路線バスネットワークの充実により、宮前区全体の発展に資する鷺沼駅へのアクセス性向上効果等を活かし、将来を見据えたコンパクトなまちづくりを推進するため、区役所・市民館・図書館を一体的に移転・整備し、宮前区の核となる地域生活拠点の形成を図ってまいります。</p>	D
90	もし鷺沼へ移転したとしても、他の地区の住民から同じような不満が出てくるのは目に見えており、同じように新しいバス路線を創る必要が出てこないか。		D	
91	バス路線を検討する上で事業の採算性との返答だが、区役所へのアクセスは市民生活の上で重要である。市は区役所の移転を決めるキーワードとして鷺沼駅のアクセスの良さを謳っており、現区役所より、アクセスが悪化するようなことは許されない。公費を使っても鷺沼駅へのバス路線を新設してほしい。		<p>現在の区役所等施設へアクセスする既存路線の運行状況等を踏まえ、拡充されるバスバース等を活用し、向丘地区方面などからのアクセスを強化し、利便性等の向上に向け、平成 30 年度に実施しているパーソントリップ調査の結果や、路線バスの利用実態、需要動向、事業採算性等を踏まえながら、引き続き、バス事業者との協議・調整を</p>	D

No.	意見・質問要旨	本市の考え方	区分
	<p>事業者の採算など考慮した結果、路線が出来ないなどと言わないでほしい。</p> <p>要望路線、登戸駅～五所塚～神木本町～平～南平台～犬蔵～土橋～鷺沼を必ず通してほしい。（登戸駅から約30分）</p> <p>現在の市バスルート（登戸駅～五所塚～蔵敷交番～菅生車庫～土橋～宮前平駅）は、時間が掛かり不便で、利用者が極端に少ない。</p>	<p>行い、路線バスネットワークの充実に向けた取組を進めてまいります。</p>	
92	<p>現状における区内全域から鷺沼へのアクセスを把握するためパーソントリップ調査を行い、移転により不具合が発生するエリアは公共交通（バスまたは電車）再編や道路整備を行い、アクセスの強化を行う必要がある。</p>		D
93	<p>野川方面から直接公役所等に行くことのできるミニバス等の交通手段の確保を。</p> <p>当面、区役所の機能を移動するにしても10年の期間は現在の場所である。坂の上が大変を理由にするなら即刻、ミニバスなどの市の負担による交通手段の保障をしてほしい。</p>		D
94	<p>鷺沼－宮前平地区－宮前平駅を結ぶトライアングル・バスと区内同一料金のデマンドタクシーなどを充実させてほしい （同趣旨他 508 件）</p>	<p>個別の路線要望についての意見については、今後の参考意見として、「川崎市・バス事業者連絡会議」の場などを通じて、バス事業者に要望してまいります。路線バスの利用実態、需要動向、事業採算性等を踏まえながら、引き続き、バス事業者との協議・調整を行ってまいります。</p> <p>なお、区内同一料金のデマンドタクシーについては、タクシー事業者の事業採算性等の観点から実現は困難なものと考えますが、今後の参考意見として、タクシー事業者に伝えてまいります。</p>	D
95	<p>野川、菅生などの住民にとって、鷺沼、宮前平へは自家用車かバスを利用する必要があることを考えれば、公共の施設の駐車場の問題、バスの運行も十分考慮してほしい。区民全体を考えて決めてほしい。</p>	<p>鷺沼駅は、野川地区を含めた宮前地区方面を主とした多くの路線バスの起終点となっており、再編整備にあたっては、鷺沼駅を中心とした様々な方面からのバスネットワークの充実を図ることが重要であると認識しています。このため、拡充されるバスバース等を活用し、小田急線沿線方面などの路線新設や、向丘地区方面からのアクセス強化を図るための既存路線の再編などについて、バス事業者と連携して検討するなど、引き続き、バスネットワークの充実に取り組んでまいります。</p> <p>なお、駐車、駐輪スペースの確保、駐車施設のバリアフリー化については、「川崎市建築物における駐車施設の附置等に関する条例」などに基づき、適切な台数や仕様となるよう、準備組合と調整を図ります。</p>	D
96	<p>高齢化にともない坂道がネックとのことだが我が家にも高齢者がいるがお年寄りにはバスで乗りつけられたほうが負担がない。体の不自由な方も目の前のパーキングを利用できた方が便利なのは間違いない。</p>		D
97	<p>東急電鉄の努力不足でアクセスの不便さ、交通渋滞が際立つ。宮前区に協力も必要だが、もっと企業努力を期待したい。</p> <p>利益だけを考えるバス網ではなく、地域活性のためのバス網検討を期待する。</p>	<p>平成31年度に路線バス利用者の利用実態調査の分析・検討を進め、バス事業者等とも意見交換を行いながら、平成32年度末を目途に、市域全体の一体的かつ機能的な路線バスネットワークの再編に向けた取組の方向性を示してまいりたいと考えております。</p>	D

(5) 駅アクセス向上の方向性に関すること

No.	意見・質問要旨	本市の考え方	区分
		こうした取組により、バス事業者のノウハウや既存ストックの活用を図り、持続可能で充実したバスネットワークの誘導を図ってまいります。	
98	区民の多くの利用を便利にできるよう交通機関の在り方、バス網の充実、路線の拡充など、バス事業者をはじめ、区民を交えての検討会を設置してほしい。	平成 31 年度に路線バス利用者の利用実態調査の分析・検討を進め、平成 32 年度末を目途に、市域全体の一体的かつ機能的な路線バスネットワークの再編に向けた取組の方向性を示してまいりたいと考えております。その取組過程において、様々な手法により、市民からの御意見も伺ってまいりたいと考えております。	D
99	宮前平の区役所周辺に住んでいて環境もよく大変気に入っている。図書館、区役所が鷺沼に移転との政策だが、鷺沼もよく利用するがフレルに 10 時のオープンと同時に買い物に行っても駐輪場もすでにフレル利用者以外でいっぱい停められたことがほぼない。今後図書館、区役所と移転することでさらに鷺沼利用が増えると思うが、駐輪や駐車の問題は政策の中にきちんと組み込まれているか。	駐輪場等の確保については、基本方針 P76 の「駅周辺交通環境の改善」として、「条例などに基づき、利便性確保に向け、交通広場の下部等への駐輪場の適正配置に向けた検討を行う」ことをお示しております。	B
100	駐車場・バイク・駐輪場等は将来の需要増を見越して台数・スペースを確保しておく。バリアフリーについても同様。	<p>駐車、駐輪スペースの確保については、公共交通の利用促進を図りつつ、「川崎市建築物における駐車施設の附置等に関する条例」などに基づき、適切な台数となるよう、準備組合と調整を図ります。</p> <p>また、「ユニバーサルデザインへの配慮」として、交通広場内のバリアフリー化及びユニバーサルデザインタクシー対応の乗り場の整備を検討していきます。</p>	B
101	駐車場の広さに余裕を持って開設して欲しい。現在の区役所周辺には、東急ストア、カボス（書店）などの駐車場を含めれば、相当に広大な駐車場がある。	<p>道路交通の円滑化や路上駐車解消などに向けては、公共交通の利用促進と併せて適切な台数の駐車場確保が必要と考えております。なお、駐車、駐輪スペースの確保については、「川崎市建築物における駐車施設の附置等に関する条例」などに基づき、適切な台数となるよう、準備組合と調整を図ります。</p>	C
102	自家用車の方の多いと思うので今までの様に駐車場のサービスも必須だと思う。		C
103	区役所移転について、駐車場が今と同じくらいの台数確保は出来るのか。		C
104	移転させるなら十分に駐車場スペースを確保してもらいたい。		C
105	今回発表された鷺沼駅前再開発計画は、大変良い計画で大いに期待している。出来れば、早く着工して、早く完成させて頂きたい。 一点不安な点は、駐車場・台数、駐輪場・台数計画が記載されていないので解らないが、駅前の立地を考えると相当数の収容出来る駐輪場・駐車場設置が求められると思う。小さな駐輪場では、駅周辺に自転車不法駐輪され、又小さな駐車場では、車が渋滞することにより近隣住民に迷惑が掛かる。この点の詳細が公表されればと思う	<p>駐輪場等の確保については、基本方針 P76 の「駅周辺交通環境の改善」として、「条例などに基づき、利便性確保に向け、交通広場の下部等への駐輪場の適正配置に向けた検討を行う」ことをお示しております。</p> <p>また、駐車、駐輪スペースの確保については、公共交通の利用促進を図りつつ、「川崎市建築物における駐車施設の附置等に関する条例」などに基づき、適切な台数となるよう、準備組合と調整を図ります。</p>	D

No.	意見・質問要旨	本市の考え方	区分
106	超高層複合ビルの安全性はもちろん駐車場の詳細を明らかにして欲しい。約何台収容可能でどの様なルートで入庫なのか…建設が決まってからでは遅すぎる。	なお、駐車場・駐輪場の具体的な台数については、準備組合が環境アセスメント手続きの中で、明らかにしてまいります。	C
107	この地域の移動手段で最も多いのが車なので、方針案で駐車場がどこにどれくらい確保されているのかがわからない。現在商業施設への車での来店者で、駐車場がほとんど一杯になるくらいなので、さらなる駐車場が必要と思われるが、確保できるのか？		C
108	文化センターや図書館は利用状況が解りませんが、あれだけの規模のものを駅ビルに入れるのは、駐車場の確保も難しいのでは？場合によっては残してもいいと思う。	<p>少子高齢化の一層の進行が確実な中では、市民館・図書館も含め公共交通によるアクセス性の確保がより重要になります。</p> <p>今回の鷺沼駅前再開発では、交通広場の拡充や、路線バスネットワークの充実など交通結節機能の向上効果等を活かし、将来を見据えたコンパクトなまちづくりを推進するため、区役所・市民館・図書館を一体的に移転・整備し、宮前区の核となる地域生活拠点の形成を図ってまいります。</p> <p>なお、駐車、駐輪スペースの確保については、公共交通の利用促進を図りつつ、「川崎市建築物における駐車施設の附置等に関する条例」などに基つき、適切な台数となるよう、準備組合と調整を図ります。</p>	D
109	<p>駐輪場について検討するとあるが、駐車場の記載が全くない。駐車場充実対策をしっかり検討すべし</p> <ul style="list-style-type: none"> 起伏の多い地域で、自転車利用は限界あり 今日の車社会でバスでなく、マイカーを利用したい人は多いはず 即ち一極集中化に伴う、交通問題の悪化が予想される 区内で施設の分散設置、地域のバランスある発展が重要 	<p>少子高齢化の一層の進行が確実な中では、市民館・図書館も含め公共交通によるアクセス性の確保がより重要と考えており、今回の鷺沼駅前再開発では、交通広場の拡充や、路線バスネットワークの充実など、誰もが利用できる公共交通を駅を中心に利用しやすくし、強化することで、公共交通の利用促進を図ってまいります。</p> <p>なお、駐車、駐輪スペースの確保については、「川崎市建築物における駐車施設の附置等に関する条例」などに基つき、適切な台数となるよう、準備組合と調整を図ります。</p>	D
110	東急線跨線橋について、現状片側一車線であるが、拡幅の計画はあるのでしょうか。車又はバスで駅前に入るのに信号待ちの時間が長い。(特に通勤時)	<p>鷺沼橋につきましては、拡幅の計画はありませんが、区域周辺の交差点部については、右左折レーンの設置など、拡幅を含めた対応を実施します。</p> <p>また、信号待ちの時間についても、交差点の集約化により、信号の数を3箇所から1箇所に減らすことができることから、信号待ち時間の短縮などの効果が期待されます。</p>	B
111	<p>交通広場が2倍になることで、鷺沼駅から北側へのバスが運行できるようになるとのことなので、良いと思う。</p> <p>また、合わせて一般車と分離されるとのことで、雨の日に混む鷺沼駅へのバスが定時運行されるようになるのではと期待している。</p> <p>さぎ沼中央通り側やファミリーマート側で待機している車も多いので、十分な計画をしていただければと思う。</p>	交通広場の運用等については、今後交通管理者等との協議のうえ決定することとなりますが、鷺沼駅前再開発の機会を捉え、交通広場の拡充や、路線バスネットワークの充実を図ることなど、宮前区全体の発展に資する鷺沼駅へのアクセス向上に向けた取組を推進してまいります。	B

(5) 駅アクセス向上の方向性に関すること

No.	意見・質問要旨	本市の考え方	区分
112	<p>駅周辺再整備、近くに住む者として歓迎である。ただ一つ、車の往来が間違いなく増加すると見込まれる中で迂回路として近隣の道が従来以上に利用されると思う。狭い道が多いこともあり近隣の道路の多くを一方通行路に変更することを提案する。確かに利便性には問題が生じるが安全重視ということで検討してほしい。現在でも周辺地域から駅への送り迎え、駅前スーパーの繁盛等により朝から夕方まで駅周辺の裏道を利用する車が増加している。近くには鷺沼小学校もあるため警察と連携し前向きに検討されるよう強く提案する。</p>	<p>交通規制の見直しについては、交通管理者の所管事項となりますが、隣接住民の理解が必要であるものと認識しており、御意見については、交通管理者との協議の際に、参考とさせていただきます。</p> <p>なお、周辺交通への影響の具体的な項目については、環境アセスメント手続きの中で整理することになりますが、関係法令等を踏まえた計画となるよう、準備組合に働きかけてまいります。</p>	C
113	<p>小田急沿線方面や聖マリアンナ医科大学方面との交通ネットワーク強化の上で懸念されるのは、交差点改良後も道路交通のボトルネックとなっている清水台交差点。尻手黒川線の清水台交差点付近の尻手方面側の車線が上下合わせて4車線しか取れないことが根本原因であり、同付近の道路拡幅により尻手黒川線の清水台交差点前後は上下共に片側2車線を減らすことなく右折レーンを設置出来るように再整備願う。</p>	<p>御意見については、用地上の制約等があり、対応は困難であります。清水台交差点については、平成23年に車線構成の変更や交通管理者との連携により、対向する車線の信号を切り分ける「上下線分離制御」を導入することで、最大滞留長が370m縮小し、最大通過時間が4分40秒短縮するなど、渋滞の緩和を図ってきたところでございます。</p>	C
114	<p>鷺沼駅の交通結節機能強化のため、宮前区内から鷺沼駅とのアクセス円滑化や鷺沼駅を起点とした宮前区の交通ネットワーク構築に資する都市計画道路である梶ヶ谷菅生線（鷺沼4丁目から犬蔵2丁目の区間、犬蔵2丁目から犬蔵3丁目の区間）、登戸野川線（野川団地入口交差点から東平台交差点の区間）の優先事業化・早期完成を実行願う。</p>	<p>本市の都市計画道路の整備につきましては、「第2次川崎市道路整備プログラム」に基づき、整備箇所重点化を図りながら取組を進めているところでございますが、梶ヶ谷菅生線及び登戸野川線の当該区間につきましては、平成37年度までを計画期間とする本プログラムの「整備推進路線」には該当しておりません。</p> <p>こうした中、鷺沼駅周辺再編整備につきましては、宮前区の核となる地域生活拠点の形成に向けた取組を進めており、今後、バス路線の再編や、再開発事業に伴う将来交通量の予測、準備組合による交通処理計画等を踏まえ、都市計画道路の整備について、具体的な検証を進めてまいりたいと考えております。</p>	C
115	<p>区民が望んでいた川崎地下鉄は中止されたが、武蔵野貨物線の旅客鉄道化（新川崎駅まで）は田園都市線の混雑により、沿線に住居を移せない人々にとっても有効である。</p> <p>いまのことは幹線交通だが、ローカル交通としてバス以外、自転車の活用がある。宮前区は坂が多い。このため下り坂における自転車の無音疾走は、増え続ける老人と子どもにとって極めて危険。鷺沼からの特に帰路は交通も多く、マナーの徹底だけでは収まらないところまで来ている。自転車通路の整備も実施してほしい。</p>	<p>武蔵野南線の旅客化につきましては、貨物ダイヤへの影響や旅客化に伴う駅の設置など膨大な事業費が生じることなど様々な課題がございます。さらに、平成28年4月の国の交通政策審議会答申として示された「東京圏における今後の都市鉄道のあり方について」の中でも取り上げられなかったことから、本市の総合計画や総合都市交通計画にも位置付けていないところでございます。</p> <p>なお、田園都市線の混雑緩和につきましては、田園都市線の複々線化について、神奈川県鉄道輸送力増強促進会議を通じ、東急電鉄へ毎年要望をしており、東急電鉄からは「平成28年4月の交通政策審議会において本事業の整備意義が認識されたものと理解している。田園都市線の混雑緩和に有効な、大井町線の活用方策の一つとして検討を進めてまいりたい」との回答でございます。</p> <p>本市といたしましては、市民の方々の利便性向上に向けた取組を引続き同社に要望してまいります。</p>	C

No.	意見・質問要旨	本市の考え方	区分
		また、当該エリア周辺は、現在策定中の「川崎市自転車ネットワーク計画（案）」において、自転車通行環境を整備するエリアに位置づけており、今後、自転車通行量の把握や自転車関連事故件数などから市道久末鷺沼線等の路線を選定し、自転車の通行位置を明確化した整備を行ってまいります。あわせて、交通安全キャンペーン等と連携した自転車通行ルールに関するPR活動を実施するなど、マナー啓発を図ってまいります。	
116	それほど広くない駅前広場に高層ビル、人通りが多くなり、狭い道路、駐車禁止区域にはなると思いますが、もし駐車している車両があった場合の時は救急車両等が通れない。	駅周辺の駐車対策については、道路交通の円滑化や路上駐車の解消などのために、交通管理者と連携した取組を図ってまいります。	D
117	タクシー乗り場が以前の位置よりは近いが、依然改札から遠い。駅からも他の施設からも乗りやすい工夫をしていただきたい。 工事が終わる時期を考えると母より自分自身が老人に近い年齢になってしまうので、切実な問題である。	交通広場の位置については、現状の利用状況を鑑み、現在の交通広場を運用しながら整備が可能となる位置であること、及び、待合スペースなどの交流機能を駅至近に配置するため、今回示した計画位置への配置を検討しているところですが、併せて、歩行者の利便性・安全性の向上を図るための動線の検討を進めてまいります。	C
118	以前よりバスロータリーが遠くなる計画となっているが、利便性が落ちないようにする為の対策はどのように考えているのか？		C
119	駅アクセスの一般車（身障者乗降スペース）の位置が現在の駅前ロータリー（広場）に比べて遠くになっている。今後の人口の内訳がますます、高齢者、障がい者が多くなっていく傾向を思うとき、現状よりも駅へのアクセスが悪化するのでは納得できない。駅への向かう人が今より遠く、かつ昇りになる通路は現実的ではない。再考をお願いしたい。	交通広場の位置については、現状の利用状況を鑑み、現在の交通広場を運用しながら整備が可能となる位置であること、及び、待合スペースなどの交流機能を駅至近に配置するため、今回示した計画位置への配置を検討しているところですが、併せて、歩行者の利便性・安全性の向上を図るための動線の検討を進めてまいります。 なお、身障者乗降スペースや駅へのアクセス通路については、ユニバーサルデザインに配慮した整備を検討してまいります。	C
120	路線バスネットワークの充実と駅周辺の交通環境の改善が特に重要だと思う。方針（案）では交通広場の具体的な整備内容がよく分からないが、周辺道路の整備と併せて効率的な交通処理が出来るような設計が求められると思う。 また、駅と駅前街区の建築物（特に東側）との間の人の動線について、駅と交通広場との距離が現行より長くなることもあり交通広場への動線との取り合いやバリアフリーの観点から十分な検討が必要ではないかと考える。	交通広場を含めた駅周辺交通環境の改善イメージについては、基本方針 P76 にお示ししておりますが、具体的な整備にあたっては、ご指摘いただいた内容を踏まえ、乗り継ぎ利便性やユニバーサルデザインに配慮した交通環境の整備を図ってまいります。	C
121	鷺沼駅周辺の交通整備は結構なことなので、それは公共機能の全面移転とは切り離すのがいいと思う。	鷺沼駅前再開発では、交通広場の拡充や、路線バスネットワークの充実により、宮前区全体の発展に資する鷺沼駅へのアクセス性向上に向けた取組を推進してまいります。 また、こうした鷺沼駅の交通結節機能の向上効果等を活かし、将来を見据えたコンパクトなまちづくりを推進するため、区役所・市民館・図書館を一体的に移転・整備し、宮前区の核となる地域生活拠点の形成を図ってまいります。	B

(6) 現区役所等施設・用地、向丘出張所の機能のあり方の検討に関すること（第5章）
(1,894件)

No.	意見・質問要旨	本市の考え方	区分
1	現在の場所は区の財産として有効活用するということだが、移転費用補填のため、将来的に売却され、マンションが建てられたりすれば環境は変わりさらに人口は増え、区の施設が無くなれば住民にとって良いことはない。 鷺沼開発案と並行して同時に現在の場所の活用計画案も提示してほしい。それが多くの人々が安心・納得できるものであれば反対は無くなる。	基本方針では、現区役所等施設・用地は、市が保有し続けることを基本とすること、また、新たな用途で活用可能となるまでに約10年間の期間を要することから、段階を経ながら、一定の時間をかけて、活用方策を検討することをしています。 検討にあたっては、宮前区全体の将来のまちづくりや現区役所周辺エリアの活性化等の観点から、地域課題や行政需要、地域ニーズを整理し、宮前区全体の魅力や安全安心の暮らしの向上を目指し、効率的かつ効果的な活用ができるよう取り組んでいきます。 今後、民間活力の活用可能性も含め、検討の前提となる条件を整理し、検討段階に応じて、適切な方法で市民参加の機会を確保しながら、平成34(2022)年度を目途に、当施設・用地活用の基本的な考え方を定める「(仮称)宮前区役所等施設・用地の活用に関する基本方針」の策定に向けた取組を進めていきます。	D
2	区役所、市民館、図書館の3施設が近くにあるので住宅を購入した人たちにとっては、一方的に移転することは納得できない。 また跡地利用計画は、未だに何も提案されていないため、近隣住民は不安に思っている。 (同趣旨他222件)		D
3	移転後の跡地の利用計画も無く住民は大変不安である。ゴーストタウン化をあの場所だけするのではないかと？ また、移転をしてしまうとあの周辺の商売をしている方は死活問題であろう。		D
4	跡地をどのように利用するかが大事。20年、30年、40年先の世代にどういう機能を残せるのかが問われる。孫子に残せる機能となると知恵が必要。この知恵をどのようにして結集してどのようなプロセスで作上げていくかが課題。 移転完了までまだ時間があるが、宮前区役所には跡地利用の企画立案について頑張ってもらいたい。今回のプロジェクトのハイライトはこのように跡地の利用を区民の手で議論できることだ。		D
5	跡地利用については、区民の声を聞き近隣住民の納得のいくものにする必要がある。		D
6	区役所跡地についても、民間への売却などせず、有効活用していただきたい。		D
7	移転がなされた現在の地点について、市の資料によれば、区民アンケートや各種の調査、専門家による考察等、区民の望む色々な形が表現されているところなので、跡地にはぜひそれらの要望を取り込む形で希望を叶える場所としてほしい。		D
8	現在の区役所の建物はどうなるのか。壊すのか？出張所にするのか。		D
9	周辺に住む身として、移転によりマイナスになる点が大いにあるが、跡地利用の具体像がはっきりすることにより多少緩和されるのではないかと。市民参加により跡地利用は決めていくとあるが、早急に方向性の議論を開始し大枠を決定することをのぞむ。		D

No.	意見・質問要旨	本市の考え方	区分
	<p>公共機能がかった時に比べて資産価値が同等以上になるようなプランを誘導・策定してほしい。</p> <p>都市計画決定のタイミングで、跡地利用も決まっていると理想的と思う。1年弱で鷺沼の方針を策定できたので、同様に跡地のこともスピード感をもってやってほしい。</p>		
10	<p>区役所および図書館が歩いて行ける距離にある事にメリットを感じていたので、移転は残念。</p> <p>また、鷺沼の駅前周辺の活性を重視し宮前平界限の今後については全く区として力を入れていない様な対応が遺憾である。周辺の様にもまた新しくマンションが出来ても、今の住人にはメリットはない。</p> <p>31年度も保育園が前年より100人も増えたのに対し、新設の保育園が間に合っていない。</p> <p>今後、子供の人数に対して小学校中学校も足りるのか不安である。</p> <p>移転するのならば、鷺沼の事だけでなく宮前平の今後についても住民が安心と期待を持てるような施策を提示して頂きたい。今のままでは蔑ろにされている気がする。</p>	<p>基本方針では、現区役所等施設・用地は、市が保有し続けることを基本とすること、また、新たな用途で活用可能となるまでに約10年間の期間を要することから、段階を経ながら、一定の時間をかけて、活用方策を検討することをしています。</p> <p>検討にあたっては、宮前区全体の将来のまちづくりや現区役所周辺エリアの活性化等の観点から、地域課題や行政需要、地域ニーズを整理し、宮前区全体の魅力や安全安心の暮らしの向上を目指し、効率的かつ効果的な活用ができるよう取り組んでいきます。</p> <p>今後、民間活力の活用可能性も含め、検討の前提となる条件を整理し、検討段階に応じて、適切な方法で市民参加の機会を確保しながら、平成34(2022)年度を目途に、当施設・用地活用の基本的な考え方を定める「(仮称)宮前区役所等施設・用地の活用に関する基本方針」の策定に向けた取組を進めていきます。</p>	D
11	<p>鷺沼再開発の機会を逃すなということ、急に現在の区役所、市民館、図書館の移転を行政側が考えられたのだと思うが、何もなくなったこの地域の住民に対して、その生活に関してどういうビジョンを持たれたのか。</p> <p>説明会では、それが伝わってこなかった。「地域の皆さんと相談して」というのは答えではない。全てを持っていくなら、残された地域住民の生活をどうフォローするかの考えが無かったとなればこれは大きな問題である。</p>		D
12	<p>コストに関してはパフォーマンス以上に考慮すべきは災害対策に対する蓄えである。今ある資産は確保しておくべき。何が起きるのか分からない。現代においては、その昔飢饉に備えて、飢えて苦しくても種米だけには手を付けないという覚悟が必要である。</p>		D
13	<p>移転することは自前の土地、市民の財産をなくすことになる。早急の区分所有になり、東急の利益に貢献するわけで、市民の利益にはならない。</p>		D
14	<p>区役所等の移転計画に強く反対。市や区が移転施設の代替を積極的に考えようとしていないからである。宮前平地区に住む者として、この移転計画は地域サービスの大きな低下であり、市はそれをどう埋め合わせるかについて、地域住民に積極的に提案する義務がある。その責任を、地域住民のみに押し付けることは極めて不誠実である。</p> <p>宮前平地域一帯を現在のような住宅地として昭和40年代から開発したのは(そして現在も大きな力を持っているのは)東急である。東急の開</p>		D

(6) 現区役所等施設・用地、向丘出張所の機能のあり方の検討に関すること

No.	意見・質問要旨	本市の考え方	区分
	<p>発計画に川崎市が乗った結果、現在の宮前平地区が存在している。開発当時、東急は宮前平駅前ではなく、現在の東急ストアがあるあたりをコミュニティの中心と構想していた。おそらく用地取得が駅前地域より易しかったためであろう。この東急の開発構想と川崎市とのすり合わせの結果、宮前区役所やホール、図書館が現在の位置にあると理解している。</p> <p>それから 40 年近くが過ぎ、この地域における東急の現在の関心は鷺沼駅前の開発計画にあるようである。区役所の移転もこの一環であろう。この地域に東急が強い政治的・経済的な発言権を持っている以上、こうした移転計画はよくあることだと思う。</p>		
15	<p>跡地利用計画は未だに何も提案されていないが東急が開発をして工事を請け負って儲かるようになっていく。</p>	<p>跡地利用についてまだ検討が行われていませんが、必要な工事等があれば、公正な手続きに則り適正に取組を進めてまいります。</p>	D
16	<p>跡地について、現在の区役所と同等の行政サービスが受けられるようなものか、大きな病院を作してほしい。</p>	<p>基本方針では、現区役所等施設・用地は、市が保有し続けることを基本とすること、また、新たな用途で活用可能となるまでに約 10 年間の期間を要することから、段階を経ながら、一定の時間をかけて、活用方策を検討することとしています。</p> <p>検討にあたっては、宮前区全体の将来のまちづくりや現区役所周辺エリアの活性化等の観点から、地域課題や行政需要、地域ニーズを整理し、宮前区全体の魅力や安全安心の暮らしの向上を目指し、効率的かつ効果的な活用ができるよう取り組んでいきます。</p> <p>今後、民間活力の活用可能性も含め、検討の前提となる条件を整理し、検討段階に応じて、適切な方法で市民参加の機会を確保しながら、平成 34 (2022) 年度を目途に、当施設・用地活用の基本的な考え方を定める「(仮称) 宮前区役所等施設・用地の活用に関する基本方針」の策定に向けた取組を進めていきます。</p> <p>御意見は、今後の参考とさせていただきます。</p>	C
17	<p>現庁舎の跡地利用は、移転するなら住民が十分に活用できるような施設(集会場・スポーツ・展示会)など、小回りの利く、ゆとりの空間を作るべきである。貴重な市の財産なので保有するとはいうものの、将来の財政状況によっては、売却する可能性も消えない。</p> <p>それでもマンション・住宅は避けるべきである。現状でも富士見台小学校・宮前平中学校等は飽和状態ではないか。このうえ住民が増えると、スシ詰め学級や学区線引きの変更など、児童・生徒・父兄に大きな負担を負わせることになる。</p>		C
18	<p>跡地がどうなるか大変気になる。</p> <p>区民に役立つ、スポーツ施設や、フリースペース、子育てに役立つ施設やスペース、皆が集えるような形にしてほしい。</p> <p>一気に、区役所、区民館、図書館がなくなるのは持ち家なので、価値が下がったりしないか、本当に複雑な心境である。跡地は現区役所近隣の住民の意見を取り入れて頂きたい。</p>		C
19	<p>現区役所移転後の跡地活用もあわせて考えていくのが重要ではないか？例えば、宮前区は区民スポーツセンターのアクセスが非常に悪いので、跡地に持ってきたらどうか？温水プールや武道場、体育館などが出来ると地区の活性が保たれる。きつい坂道を登るのも、運動したい人にとっては一石二鳥である。</p>		C
20	<p>現区役所は災害拠点として整備し、日常的には市民活動や、防災情報発信基地として利用できるようにしてほしい。</p> <p>(同趣旨他 931 件)</p>		C

No.	意見・質問要旨	本市の考え方	区分
21	現区役所等施設・用地は、公園にすることを基本とし、警察署と消防署が隣接して残ることを活かし、防災機能を付加した防災公園として整備することを提唱する。	<p>基本方針では、現区役所等施設・用地は、市が保有し続けることを基本とすること、また、新たな用途で活用可能となるまでに約 10 年間の期間を要することから、段階を経ながら、一定の時間をかけて、活用方策を検討することとしています。</p> <p>検討にあたっては、宮前区全体の将来のまちづくりや現区役所周辺エリアの活性化等の観点から、地域課題や行政需要、地域ニーズを整理し、宮前区全体の魅力や安全安心の暮らしの向上を目指し、効率的かつ効果的な活用ができるよう取り組んでいきます。</p> <p>今後、民間活力の活用可能性も含め、検討の前提となる条件を整理し、検討段階に応じて、適切な方法で市民参加の機会を確保しながら、平成 34 (2022) 年度を目途に、当施設・用地活用の基本的な考え方を定める「(仮称) 宮前区役所等施設・用地の活用に関する基本方針」の策定に向けた取組を進めていきます。</p> <p>御意見は、今後の参考とさせていただきます。</p>	C
22	現区役所等施設用地について、現在市バスは路線バスネットワークの充実に向け車庫スペースやバス整備が限界な状況なので、車庫スペースを含めた事業用地の確保として、北部地域における市バス営業所拠点にすることを要望する。現区役所等施設から鷺沼駅への利便性向上により、資産価値を保ち、課題の解決を図る。		C
23	区役所の跡地利用として、特養老人ホーム・有料老人ホームを建設するのが良いのではないかと。今後も独居高齢者・寝たきり高齢者は、益々加速度的に増加し続けるが、現在の社会情勢では、家族内で介護し続けられる家庭は少ない。民間の有料老人ホームは、高額の為金銭的に余裕のない人は入居出来ない。川崎市の税の使い方を住民比率で計算して見ると宮前区は、もっと増額してもらわないと不公平。		C
24	<p>市民館一体が従来担ってきた文化創造活動、地域のサークル活動の場、世代間を超えた交流の場としての機能を今以上に進化させるような施設を新設し、有効活用してほしい。</p> <p>今後の少子高齢化の進展、共働き世帯の増加など社会の変化を受容し、住民が知的文化的交流を深められるような施設があればいいと思う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・共働き世帯の育児や働きながら親の介護をする人の負担を軽減するために、シェアオフィス、コワーキングプレイスのようなテレワークができる場所 ・働く世代のみならず、学生、中高年のリカレント教育の場としての自習、グループ活動ができる場所 ・図書館、区役所のガラスの反射を利用して、中高生がダンスの練習をしている姿をよく見かけるので、ダンスやバンド活動ができるようなスタジオ設備 <p>東京都武蔵野市の「武蔵野プレイス」のような従来の公共施設の概念を超えた活動支援型の公共施設があればこれまで区役所、図書館、市民館を中心に培ってきた人・活動のつながりに配慮しつつ、宮前平のまちとしての魅力を高められると思う。</p>		C
25	現区役所を鷺沼駅周辺に移転するのであれば、跡地には魅力のある公共施設を作してほしい。区役所周辺の地域は宮前区内でも地価の高い地域である。それでもこの地に住もうと考えたのは近隣に区役所・市民館・図書館があるという利便性を重視したためである。 このたび、駅から遠く、坂があり、利用しづら		C

(6) 現区役所等施設・用地、向丘出張所の機能のあり方の検討に関すること

No.	意見・質問要旨	本市の考え方	区分
	<p>い、という理由で移転することに決まってしまったことで不利益を被ることになる。移転がやむを得ないのであれば、現区役所一帯の土地を民間等に売却することなく、それなりの魅力ある公共施設としてほしい。</p> <p>具体的な要望として、①ホール②貸部屋③図書館④自習室⑤スポーツ施設（障害者や高齢者が利用しやすいもの）⑥子供がのびのびと遊べる場所等である。現在、人口の多い地域の割に少ないと感じている施設ばかりである。</p> <p>(同趣旨他 4 件)</p>		
26	<p>売却はしないそうだが、行政の方針そして人事も変わる、区民に対し絶対売らないというコミットメント（文章等）が必要。</p> <p>市民参加での跡地検討も良いが、市、区として他にはない将来を見据えた市民、区民のための活用を本当のプロに(複数社より)提案させるのもよい。結論は区民で。</p>	<p>基本方針では、現区役所等施設・用地は、市が保有し続けることを基本とすること、また、新たな用途で活用可能となるまでに約 10 年間の期間を要することから、段階を経ながら、一定の時間をかけて、活用方策を検討することとしています。</p> <p>検討にあたっては、宮前区全体の将来のまちづくりや現区役所周辺エリアの活性化等の観点から、地域課題や行政需要、地域ニーズを整理し、宮前区全体の魅力や安全安心の暮らしの向上を目指し、効率的かつ効果的な活用ができるよう取り組んでいきます。</p>	C
27	<p>図書館が鷺沼に移転することになっても、ネット予約のカウンターは今のまま残してほしい。</p>	<p>検討にあたっては、宮前区全体の将来のまちづくりや現区役所周辺エリアの活性化等の観点から、地域課題や行政需要、地域ニーズを整理し、宮前区全体の魅力や安全安心の暮らしの向上を目指し、効率的かつ効果的な活用ができるよう取り組んでいきます。</p>	C
28	<p>現在の区役所についても、アクセスの良さを求められない、デイサービスなどへの転用も可能かと思うので、トータルでのコストの想定をしていただきたい。</p>	<p>今後、民間活力の活用可能性も含め、検討の前提となる条件を整理し、検討段階に応じて、適切な方法で市民参加の機会を確保しながら、平成 34 (2022) 年度を目途に、当施設・用地活用の基本的な考え方を定める「(仮称) 宮前区役所等施設・用地の活用に関する基本方針」の策定に向けた取組を進めていきます。</p>	C
29	<p>せつかくの市民の財産である現宮前区役所建物の物理的寿命は 60 年～100 年程度と考えられる(法定上の原価償却年数はもっと短い但实际上にはメンテナンスをきちんと行えばもっと長い)。従って、地球環境保全や市民税節減などの観点から、リノベーションを行い、新たな用途として使い続けることを検討して欲しい。</p> <p>例えば、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・住民票などを発行する出張所 ・現在宮崎台駅近くにある事務部門（高齢者サービスなどを行っている部署）の移転 ・図書館の分館 ・インテリアデザインコンペで、選定された案をベースとしたおしゃれなカフェとして再生 ・医療モール（市立病院の分院として位置づけ、一次診療・治療を行うレベル） ・貸しホール ・自由な使い方ができるローパーテーションで区切ったスペース（勉強や貸しオフィスのような使い方をイメージ） <p>※全体の運営は入札により民間業者を選定、そこへの委託で経費を最小限とする</p>	<p>御意見は、今後の参考とさせていただきます。</p>	C
30	<p>現在の区役所・市民館の土地の検討も地域住民参画のもとで進めていただきたい。宮前区役所の移転費用などの補てんのため一部を民間のデベロ</p>	<p>基本方針では、現区役所等施設・用地は、市が保有し続けることを基本とすること、また、新たな用途で活用可能となるまでに約 10 年間</p>	C

No.	意見・質問要旨	本市の考え方	区分
	<p>ツパーに譲渡することも重要かと思うが、多くの範囲は公共用地として維持をして、柔軟な活用ができる拠点としてほしい。</p> <p>現在は消防署や警察署が近隣にあるがこれらも老朽化で移転を検討する際などの移転先として、また遠い将来に再び鷺沼の区役所を改修する際の仮移転先としての土地の確保は重要かと思う。鷺沼移転が実行された段階で議論が開始されるものとは思うが、具体的には図書館の分館であったり、スポーツ用の体育館やグラウンドの整備、近隣の富士見台小学校、宮前平小学校、宮前平中学校などの老朽化による、統合や移転などでの利用の検討をお願いしたい。</p> <p>鷺沼への区役所への移転を実現させ、宮前区のみならず川崎市全域の市民にとって“最幸”になるよう、検討をお願いしたい。</p>	<p>の期間を要することから、段階を経ながら、一定の時間をかけて、活用方策を検討することとしています。</p> <p>検討にあたっては、宮前区全体の将来のまちづくりや現区役所周辺エリアの活性化等の観点から、地域課題や行政需要、地域ニーズを整理し、宮前区全体の魅力や安全安心の暮らしの向上を目指し、効率的かつ効果的な活用ができるよう取り組んでいきます。</p> <p>今後、民間活力の活用可能性も含め、検討の前提となる条件を整理し、検討段階に応じて、適切な方法で市民参加の機会を確保しながら、平成 34 (2022) 年度を目途に、当施設・用地活用の基本的な考え方を定める「(仮称) 宮前区役所等施設・用地の活用に関する基本方針」の策定に向けた取組を進めていきます。</p> <p>御意見は、今後の参考とさせていただきます。</p>	
31	<p>宮前区は都内に比べて圧倒的に子育てサービスが少ない。そのような中で、市民館で行われている子ども向けの催しに参加したり、図書館を利用したりしてきた。ただでさえ公共の子育てサービスが少ない中で、鷺沼に移転してしまうことで気軽に利用できなくなってしまうと本当に困る。たった一駅だが小さい子どもを連れて移動するのは思った以上に負担がかかる。子育てサービスの充実と合わせて現在の場所に施設を残すよう是非お願いしたい。</p>	<p>御意見は、今後の参考とさせていただきます。</p>	C
32	<p>治安の悪化が心配。巨大な建物が、ほとんど無人に近い状態になってしまうと、不審者等が入り込んだり、隠れたり連れ込んだりするのに好都合な死角になってしまうことが大変心配。</p> <p>現在の設備・機能が無駄にするのはもったいない。現在の施設はまだまだ使用できる。鷺沼に新設しても、この建物自体には維持管理費がかかる。</p> <p>まずは、現状の設備・機能をそのまま活用し、その後要望があれば検討の上変革してゆく、という手順を踏むのが、最も無駄にならない方法ではないか。</p>	<p>現区役所等施設・用地については、御懸念のようなことにならないよう、今後、民間活力の活用可能性も含め、検討の前提となる条件を整理し、検討段階に応じて、適切な方法で市民参加の機会を確保しながら、平成 34 (2022) 年度を目途に、当施設・用地活用の基本的な考え方を定める「(仮称) 宮前区役所等施設・用地の活用に関する基本方針」の策定に向けた取組を進めていきます。</p>	D
33	<p>宮前平地区の住民だけが行政サービス低下の不利益を強いられるのは、行政の公平性に反する。宮前平の住民に対する行政サービスが低下しないように、出張所等を設けるべきである。</p> <p>現在、鷺沼駅前には、すでに宮前区の行政サービスセンターが存在しており、簡易に行政サービスを受けられる配慮がされている。</p> <p>しかし、今回の鷺沼駅周辺再整備により宮前区役所、市民館等が鷺沼駅前に集中し宮前平には出張所も市民館も新設しないため、宮前平の住民は行政サービスを受けるのに鷺沼駅前まで行かなければならない。</p> <p>鷺沼の住民がすでに不便なく行政サービスを受けられることを踏まえると、宮前平の住民だけが</p>	<p>これまで本市では、区役所サービスについては、「区役所と支所・出張所等の窓口サービス機能再編実施方針」に基づき、1 か所で必要なすべての窓口サービスを提供できるようにするとともに、限られた財源・資源を最大限に活用していくため、出張所の届出窓口の区役所への集約など、様々な取組を推進してきました。</p> <p>区役所については、少子高齢化や核家族化などによる市民生活の多様化の進展等を見据え、今後も分庁舎を設置することなく、将来にわたって市民ニーズに応じたきめ細やかな行政サービスを着実に提供していきます。</p> <p>また、ICT の活用などにより利便性の高まる区役所サービスもあると認識しておりますの</p>	C

(6) 現区役所等施設・用地、向丘出張所の機能のあり方の検討に関すること

No.	意見・質問要旨	本市の考え方	区分
	<p>一方的に行政サービスの不利益を強いられるのは、行政の公平性に反する。</p> <p>出張所等の新設で、宮前平の住民に対する行政サービスの利便に配慮すべきである。</p>	<p>で、地域バランスを考慮した区全体の機能向上という観点や、関係施策の位置付け・検討状況等を踏まえ、現区役所等施設・用地の活用検討の中で検討していきます。</p>	
34	<p>現区役所には出張所をつくってほしい。</p>	<p>現区役所等施設・用地は、新たな用途で活用可能となるまでに約 10 年間の期間を要することから、段階を経ながら、一定の時間をかけて、活用方を検討します。</p> <p>検討にあたっては、宮前区全体の将来のまちづくりや現区役所周辺エリアの活性化等の観点から、地域課題や行政需要、地域ニーズを整理し、宮前区全体の魅力や安全安心の暮らしの向上を目指し、効率的かつ効果的な活用ができるよう取り組んでいきます。</p> <p>今後、検討の前提となる条件を整理し、検討段階に応じて、適切な方法で市民参加の機会を確保しながら、平成 34 (2022) 年度を目途に、当施設・用地活用の基本的な考え方を定める「(仮称) 宮前区役所等施設・用地の活用に関する基本方針」の策定に向けた取組を進めていきます。</p>	C
35	<p>宮前区はもともと市民サービス施設が他区と比べて、7 区平均約半分と少ない。しかし納税額は 7 区中、2 番目に多い。(188 億)「小学校に通う子供は、本が好きなので、図書館で本をよく借ります。遠くなると、自分だけでは通えなくなる。」「サークル活動をしている。市民館が移転してしまうと不便になり、仲間が散ってしまう。」というような声を頻繁に聞く。せっかく築き上げた文化と人の輪を「移転する正当な理由もなく」破壊することは、到底許されない。また健康的な理由により保健所がそばにないと困る人々が周辺には多く住んでいる。</p> <p>(同趣旨他 165 件)</p>	<p>市民利用施設は、各区に 1 か所ずつ配置されているものや中学校区を単位として配置されているもの、全市で 1 か所となっているものなど、それぞれの目的や役割、経過に応じて整備しております。また、個人市民税については、区別の行政サービスへの対価ではなく、日常生活に必要な行政サービスを支える仕組みとして、納税義務のある方に対して所得額等に応じて納めていただいているものです。</p> <p>現区役所等施設・用地の活用検討にあたっては、宮前区全体の将来のまちづくりや現区役所周辺エリアの活性化等の観点から、地域課題や行政需要、地域ニーズを整理し、宮前区全体の魅力や安全安心の暮らしの向上を目指し、効率的かつ効果的な活用ができるよう取り組んでいきます。</p> <p>今後、民間活力の活用可能性も含め、検討の前提となる条件を整理し、検討段階に応じて、適切な方法で市民参加の機会を確保しながら、平成 34 (2022) 年度を目途に、当施設・用地活用の基本的な考え方を定める「(仮称) 宮前区役所等施設・用地の活用に関する基本方針」の策定に向けた取組を進めていきます。</p>	D
36	<p>現在の場所に区役所、図書館、市民ホールといった公的な施設があることを理由に、この地域に自宅を購入した人々に対して、市や区や東急は責任を感じていないのか。区役所が至近であることの利便性は言うまでもないが、市民ホールは地域の学校や文化サークルの発表の場として有効に使われており、決して老朽化した施設ではない。図書館も地域の人々に非常に親しまれており、いつも多くの人々で賑わっている。これらの施設をな</p>	<p>今回の取組は、より良い宮前区のミライに繋がる取組を中心テーマに据えて市民の方々の意見を伺い、検討した上で、鷺沼駅周辺再編整備に伴う公共機能に関する基本的な考え方を示したものです。この機会をチャンスと捉え、宮前区全体の発展に寄与する取組としたいと考えています。</p> <p>現区役所等施設・用地の活用検討にあたっては、宮前区全体の将来のまちづくりや現区役所</p>	D

No.	意見・質問要旨	本市の考え方	区分
	<p>くすということは、行政としてこの地域の公的サービスを低下させると宣言していることに他ならない。そのサービス低下をどう埋め合わせるかは、この移転計画に際して、市や区がまず地域住民に対して具体的な案として示すべきことである。</p> <p>市と区は大企業の方だけを向いて物事を進めるのではなく、地域に住んでいるすべての住民に誠実に向き合い、この地域から撤去される公共サービスの代替案を提示することを強く求める。</p>	<p>周辺エリアの活性化等の観点から、地域課題や行政需要、地域ニーズを整理し、宮前区全体の魅力や安全安心の暮らしの向上を目指し、効率的かつ効果的な活用ができるよう取り組んでいきます。</p> <p>今後、民間活力の活用可能性も含め、検討の前提となる条件を整理し、検討段階に応じて、適切な方法で市民参加の機会を確保しながら、平成 34 (2022) 年度を目途に、当施設・用地活用の基本的な考え方を定める「(仮称) 宮前区役所等施設・用地の活用に関する基本方針」の策定に向けた取組を進めていきます。鷺沼駅周辺再編整備及び路線バスネットワークの充実とともに、現区役所等施設・用地の活用検討、更には向丘出張所の機能検討を含め、より良い宮前区のミライに繋がる取組を推進してまいります。</p>	
37	<p>区役所移転後のスペースについて、もう少し見通しを公表すれば、市民の不安も解消されると考える。移転後マンションになってしまうことを危惧する人は多い。その点についての不安を解消する情報発信が必要ではないか。</p>	<p>基本方針(案)では、現区役所等施設・用地は、市が保有し続けることを基本とすること、また、新たな用途で活用可能となるまでに約 10 年間の期間を要することから、段階を経ながら、一定の時間をかけて、活用方策を検討することをとしています。</p> <p>検討にあたっては、宮前区全体の将来のまちづくりや現区役所周辺エリアの活性化等の観点から、地域課題や行政需要、地域ニーズを整理し、宮前区全体の魅力や安全安心の暮らしの向上を目指し、効率的かつ効果的な活用ができるよう取り組んでいきます。</p> <p>今後、民間活力の活用可能性も含め、検討の前提となる条件を整理し、検討段階に応じて、適切な方法で市民参加の機会を確保しながら、平成 34 (2022) 年度を目途に、当施設・用地活用の基本的な考え方を定める「(仮称) 宮前区役所等施設・用地の活用に関する基本方針」の策定に向けた取組を進めていきます。</p> <p>また、上記のような市の考え方を、適切な時宜を捉えて、引き続き、丁寧に情報発信していきます。</p>	D
38	<p>現区役所の場所にもっと一般市民が利用しやすい施設を作るべき(会議室等少なく不便、土日祝祭日にも利用できるようもっとスケールを大きくしてほしい)</p>	<p>現区役所等施設・用地は、新たな用途で活用可能となるまでに約 10 年間の期間を要することから、段階を経ながら、一定の時間をかけて、活用方策を検討します。</p> <p>検討にあたっては、宮前区全体の将来のまちづくりや現区役所周辺エリアの活性化等の観点から、地域課題や行政需要、地域ニーズを整理し、宮前区全体の魅力や安全安心の暮らしの向上を目指し、効率的かつ効果的な活用ができるよう取り組んでいきます。</p> <p>今後、検討の前提となる条件を整理し、検討段階に応じて、適切な方法で市民参加の機会を確保しながら、平成 34 (2022) 年度を目途に、</p>	C
39	<p>町会・自治会の集会所の不足。</p> <p>現在の市民館を利用している市民の趣味の愛好グループ、団体は多い。多くが町会や自治体の関連である。宮崎 6 丁目のように町会会館を持っていないところもある。これらの自主的活動がなくなるおそれがある。</p> <p>(同趣旨他 509 件)</p>	<p>現区役所等施設・用地は、新たな用途で活用可能となるまでに約 10 年間の期間を要することから、段階を経ながら、一定の時間をかけて、活用方策を検討します。</p> <p>検討にあたっては、宮前区全体の将来のまちづくりや現区役所周辺エリアの活性化等の観点から、地域課題や行政需要、地域ニーズを整理し、宮前区全体の魅力や安全安心の暮らしの向上を目指し、効率的かつ効果的な活用ができるよう取り組んでいきます。</p> <p>今後、検討の前提となる条件を整理し、検討段階に応じて、適切な方法で市民参加の機会を確保しながら、平成 34 (2022) 年度を目途に、</p>	C

(6) 現区役所等施設・用地、向丘出張所の機能のあり方の検討に関すること

No.	意見・質問要旨	本市の考え方	区分
40	<p>行政に対する不信感でいっぱいになった今となつては、現区役所の利用方法に関しては区民の意見を聞いてという説明を信じる気にならない。既に東急との間で、密約があるらしいとの噂を耳にすると、不信感が増幅される。</p> <p>宮前区を区民の自助努力でより良いものになりたいと努力してきたのも、区役所が現在地にあったことが大きく影響している。せめて、区役所機能の窓口を現区役所所在地に残してほしいと、切に希望する。</p>	<p>当施設・用地活用の基本的な考え方を定める「(仮称)宮前区役所等施設・用地の活用に関する基本方針」の策定に向けた取組を進めていきます。</p> <p>御意見は、今後の参考とさせていただきます。</p>	C
41	<p>市政によれば、区内コミュニティの形成支援には町内会自治会への支援が有効とされている。町内会自治会の活動は自営業者が存在する地区とそうでない地区では差があることが分かっている。コミュニティは、活動の拠点と運営者が必要である。跡地に自治会館風の事務所を設けてはどうか。</p>		C
42	<p>宮前平住民にとって現在の区役所、市民館は宮前住民にとって、赤ちゃんから老人まで、生活と文化を共有する場であり、建物や空間としての存在だけでなく精神的なよりどころとして役割をはたしている。他に商店街などがなく住民が自然に集まる場所がない。宮前平に図書館市民館を残し文教地区宮前平の良さを維持すべきである。</p>		C
43	<p>宮前区役所、図書館、市民館は、鷺沼駅前に移転は、決定のように報じられているが、そうすると現在の地にある上記施設を頻繁に利用して区民にとっては、著しく利便性が損なわれる。移転後も上記施設の機能が残るための施設、設備などを残すようお願いしたい。</p>		C
44	<p>市民館でサークル活動をしている。市民館が移転してしまうと不便になり仲間が散ってしまう。現在地は残して鷺沼は市民館を作してほしい。</p>		C
45	<p>宮前区役所、図書館、市民館は鷺沼に作るとしても、現状の場所にもある程度の規模で残す前提で検討すべきである。少なくとも文化的な拠点としての役割は大きいと考える。</p>		C
46	<p>跡地の利用も決まっていないのは周辺住民からしてみれば、不安な要素。今の場所に地理的に行政の機能が必要な住民もいる。</p> <p>やむを得ず、移転してしまう場合にも、補完する施設(行政サービスセンター機能や図書館機能(規模は小さくてもいいが貸し借りの窓口は必要)は必ず残して欲しいと思います。特定の地域の住民の利便性が著しく悪化することは地方行政としてはあってはならないと思う。</p>		C
47	<p>区の機能は分散されるべき。アクセスのしやすさを第一に、駅から離れた現在地にも機能を残してほしい。</p>	<p>これまで本市では、区役所サービスについては、「区役所と支所・出張所等の窓口サービス機能再編実施方針」に基づき、1か所で必要な</p>	D

No.	意見・質問要旨	本市の考え方	区分
48	<p>区役所の機能については IT の活用により、窓口があれば大体のことはできるのではないかと思われ、本体が動いてもサービスが低下しなければよいと思うが、徒歩圏に住む人口が激増している状況なので、市政サービスから見てもこの地域のサービス低下が起こらないように現状を維持する方向で考えていただきたい。</p> <p>子育て世代が増えているので、保健所機能を是非とも残して頂きたい。無理であるなら検診とか、予防接種は日を決めて宮前平でも受けられるように便宜を図って頂きたい。</p> <p>あいている部屋は、市民館と同じように利用できるようにして頂けたら活用されると思う。30 年後に現在の市民館他を住民のニーズに合ったものに建て替えればよい。</p>	<p>すべての窓口サービスを提供できるようにするとともに、限られた財源・資源を最大限に活用していくため、出張所の届出窓口の区役所への集約など、様々な取組を推進してきました。</p> <p>区役所については、少子高齢化や核家族化などによる市民生活の多様化の進展等を見据え、今後も分庁舎を設置することなく、将来にわたって市民ニーズに応じたきめ細やかな行政サービスを着実に提供していきます。</p> <p>また、ICT の活用などにより利便性の高まる区役所サービスもあると認識しておりますので、地域バランスを考慮した区全体の機能向上という観点や、関係施策の位置付け・検討状況等を踏まえ、現区役所等施設・用地の活用検討の中で検討していきます。</p>	C
49	<p>区役所を鷺沼に移転することに強く反対。鷺沼に区役所が移転なら、現在の区役所庁舎に鷺沼の新区役所に行く必要がないくらい、さまざまな手続きができる支所を置いてほしい。</p> <p>宮前平は区役所がなくなることによって不便になり、地価も下落することが予想される。利便性を低下させない、地価の下落を防ぐという目的で、区役所に匹敵するような支所を置くのが当然</p>	<p>現区役所等施設・用地は、新たな用途で活用可能となるまでに約 10 年間の期間を要することから、段階を経ながら、一定の時間をかけて、活用方策を検討します。</p> <p>検討にあたっては、宮前区全体の将来のまちづくりや現区役所周辺エリアの活性化等の観点から、地域課題や行政需要、地域ニーズを整理し、宮前区全体の魅力や安全安心の暮らしの向上を目指し、効率的かつ効果的な活用ができるよう取り組んでいきます。</p>	D
50	<p>坂が多いなどの地理的特性も踏まえ、現在の場所でも、少なくとも代表的な区役所機能は住民が行えるようにしてほしい。</p>	<p>今後、検討の前提となる条件を整理し、検討段階に応じて、適切な方法で市民参加の機会を確保しながら、平成 34 (2022) 年度を目途に、当施設・用地活用の基本的な考え方を定める</p>	D
51	<p>向丘出張所の機能のあり方と同様、現区役所用地にも「身近な活動の場」や「地域の居場所」としての活用（図書館サービスの設置）の一文を加えてもらいたい。</p>	<p>「(仮称) 宮前区役所等施設・用地の活用に関する基本方針」の策定に向けた取組を進めていきます。</p>	D
52	<p>宮前区役所後に人数 (5,000 人以上) のたくさん入る市民館を作ってほしい。</p>	<p>現在、市内に新たな社会教育施設を整備する計画はありませんが、今後も各区に 1 館ずつ設置している市民館及び図書館並びに既設の分館等を軸としながら、学校施設の有効活用等の様々な手法を総合的に用いて、地域に身近な場所できめ細やかなサービスの提供を行っていきます。</p> <p>移転後の現区役所等施設・用地につきましては、平成 34 (2022) 年度を目途に「(仮称) 宮前区役所等施設・用地の活用に関する基本方針」の策定に向けた検討を進めていくこととしておりますので、周辺地域の課題や行政需要、地域ニーズ等との調和を勘案しながら、市民参加で検討を進めていきます。</p>	D
53	<p>現施設の使用継続について 説明会で市役所の話を聞いて、「建物を建てる」ということを主にし、中身については移転すればよしと簡単に考えているようで残念である。 現区役所他は概ね区の中央に位置する。40 年ほど前の宅地造成により大量の人口の転入があり、</p>	<p>少子高齢化の一層の進行が確実な中で、これからの区役所 (平常時) には、福祉や介護、生活支援に関する相談など、市民ニーズに応じたきめ細やかな行政サービスを着実に提供していくことが求められており、こうしたサービスの利用者は、自ら希望して区役所を訪れるもので</p>	D

(6) 現区役所等施設・用地、向丘出張所の機能のあり方の検討に関すること

No.	意見・質問要旨	本市の考え方	区分
	<p>住みよい街づくりのため有志が集まり検討し、活動した成果が現在に至っていると思う。多くの主体的活動が区民によってなされており、その拠点が市民館や区役所にあると思われる。この地域には大きな商業施設や繁華街がなく、日々の買い物はいくつものスーパーがあり困らない。静かで落ち着いた住みよい住宅街となっている。</p> <p>人的交流を図り、お互い顔のみえる街づくりをするため、コミュニティの中心、人々の交流の場としても市民館他は大切な施設であり、今後もこの地域において中心拠点となっていくと思う。</p> <p>また、公立の小中学校の評価が高く、区役所はじめ公的機関が徒歩圏内にあることから、宮崎、宮前平地区にマンションが次々と建てられ、ここ2～3年で人口が急増しているようである。</p> <p>今後も建設中のマンションがいくつもあり人口が増えると予想される。P. 61にある「人口減少への転換が確実に予想される中」という前提が、P. 8で「年少人口の増加、転入者が多い状況が認められる」と矛盾していて、現状に当てはまらない前提である。今後この地域では、長年住んでいて子供は独立し、自身はリタイアした高齢者群と、新たに大量に入居してきた生産年齢群と、その子供たちの年少群の大きく分けて3つの年齢層を対象とした対応が望まれると思う。</p>	<p>はなく、必要性からの利用が大半であり、高齢化が進む中では、公共交通によるアクセス性の確保がより重要になります。</p> <p>今回の取組では、民間事業者による再開発により鷺沼駅前のバスターミナルが広がるなど、交通結節点としての機能の向上が見込まれることなどから、この機会を捉えて、鷺沼駅前に望まれる公共機能は何か、ということを検討してまいりました。その中では、区役所・市民館・図書館という区民が利用する施設の移転可能性を含めて検討していくため、区民の生活実感としてのニーズや課題認識を重視し、年齢や地域バランスを考慮しながら、多角的な意見把握に取り組み、様々な市民意見や基礎調査結果等の諸条件を総合的に整理・検討し、鷺沼駅周辺再編整備に伴う公共機能の方向性及び基本的な考え方をまとめました。</p> <p>現区役所等施設・用地の活用検討にあたっては、宮前区全体の将来のまちづくりや現区役所周辺エリアの活性化等の観点から、地域課題や行政需要、地域ニーズを整理し、宮前区全体の魅力や安全安心の暮らしの向上を目指し、効率的かつ効果的な活用ができるよう取り組んでいきます。</p> <p>今後、民間活力の活用可能性も含め、検討の前提となる条件を整理し、検討段階に応じて、適切な方法で市民参加の機会を確保しながら、平成34(2022)年度を目途に、当施設・用地活用の基本的な考え方を定める「(仮称)宮前区役所等施設・用地の活用に関する基本方針」の策定に向けた取組を進めていきます。</p>	
54	<p>向丘出張所機能の充実が必要と思う。鷺沼移転に伴い、大きな不便、不利益を受ける事になるので、特に高齢者や妊産婦等が鷺沼まで行かなくて済むようにしていただきたい。地域包括ケアシステムの充実には地域密着型の取組が不可欠であり、向丘出張所を地域包括ケアシステムの拠点として整備する事が必要と考える。</p> <p>要望として、説明会資料(P.78)では、「身近な活動の場」や「地域の居場所」としての活用とあり、地域が活用できる場に・・・との考えもあると思うが、地域包括ケアシステムの拠点として、専門スタッフを配置して、そこで用が果たせる機能がなければ意味がない。是非「地域の皆様とともに、・・・検討していきます」とあるのを具体化し、向丘地域自治会の意見を聞いていただき、向丘出張所の「機能充実」の方向に前進していただきたい。最後に「地域バランスを考慮して・・・」とあるが、向丘地区住民が「置いてけぼり」感を受けることのない様な施策の実現を望む。</p>	<p>平成30(2018)年3月に策定した「区役所と支所・出張所等の機能再編実施方針改定版」では、これからの出張所の機能の一つとして「地域包括ケアシステムにおける地域づくりと地域振興業務の連携・推進」を掲げています。</p> <p>現在、地域包括ケアシステムにおける地域づくりの取組では、保健師をはじめ、社会福祉職や心理職等の専門職が協働して地域に出向き、関係団体や関係機関と連携を図りながら、面接や相談を通して、市民の生活課題の解決に向けた取組を進めています。今後は、出張所での面接や相談など、場としての活用についても連携が進むよう取組を進めていくこととしています。</p> <p>また、市民生活が多様化する中で、行政サービスも専門化、複雑化し、それぞれの窓口や相談体制が連携して取組を進めていることから、出張所において、福祉サービスや戸籍・住民記録等の手続き業務を実施するという事は困難であると考えおりますが、ICTの活用などにより利便性の高まる区役所サービスもあると認識しておりますので、地域バランスを考慮した区</p>	C
55	<p>向丘出張所の機能充実への意見、提案。 最優先課題は、高齢化が進む中、地域包括ケアシステムの推進である。まずは、出張所で介護や</p>		C

No.	意見・質問要旨	本市の考え方	区分
	<p>障害者福祉などの業務が完結出来る様な窓口（ブース）を設置する。</p> <p>証明書発行業務と届出業務の窓口を設置する。証明書発行に偏った人員配置では生産性も上がらない。届出と証明書発行を兼ねた業務を ICT を活用して行えば、高齢者や障害者などが遠くの区役所へ行かなくとも行政サービスを受けられる。</p>	<p>全体の機能向上という観点や、関係施策の位置付け・検討状況等を踏まえ、出張所の機能のあり方について、地域の皆様とともに検討していきます。</p> <p>なお、「第5章6」に、概ね10年にわたる事業全体の想定スケジュールと並行して検討していくことを追記しました。</p>	
56	<p>向丘出張所の機能について。</p> <p>行政サービスも時代と共に変化する。2009年3月に「区役所と支所・出張所の窓口サービス機能の再編実施方針」を策定、それから10年が経ち、宮前区役所等の移転方針案が発表されるなど、大きな変化が表れている。この様な大きな状況変化に柔軟に対応することが市長の考え方、方針であると理解している。その様な方針のもと、行政サービスのなかで、業務内容によっては区役所一極集中からサテライト（分散型）へ舵を取らなければならないものもある。</p>		C
57	<p>向丘地区の方からすると鷺沼は遠い。生活圏としては、バスで溝の口に出る方が多いと思う。</p> <p>市政サービスの均等を考えると、鷺沼に行かなくとも大体のことが向丘出張所で済ませられるよう機能を向上させ、充実させることが望まれる。</p>		C
58	<p>大規模な開発より身近な宮前区役所出張所の機能を拡大してほしい。向丘出張所が住民に開かれたものになっていない。</p>		C
59	<p>宮前区は坂が多く、子供、高齢者には移動がしづらい為、出張所の機能を充実してほしい。</p> <p>また、図書館の本の受け取り、返却等が可能ならば図書館に出向かずに生活できるようになる。</p>	<p>平成30(2018)年3月に策定した「区役所と支所・出張所等の機能再編実施方針改定版」では、これからの出張所の機能の一つとして「地域包括ケアシステムにおける地域づくりと地域振興業務の連携・推進」を掲げています。</p> <p>現在、地域包括ケアシステムにおける地域づくりの取組では、保健師をはじめ、社会福祉職や心理職等の専門職が協働して地域に出向き、関係団体や関係機関と連携を図りながら、面接や相談を通して、市民の生活課題の解決に向けた取組を進めています。今後は、出張所での面接や相談など、場としての活用についても連携が進むよう取組を進めていくこととしています。</p> <p>また、市民生活が多様化する中で、行政サービスも専門化、複雑化し、それぞれの窓口や相談体制が連携して取組を進めていることから、出張所において、福祉サービスや戸籍・住民記録等の手続き業務を実施するという事は困難であると考えおりますが、ICTの活用などにより利便性の高まる区役所サービスもあると認識しておりますので、地域バランスを考慮した区全体の機能向上という観点や、関係施策の位置付け・検討状況等を踏まえ、出張所の機能のあり方について、地域の皆様とともに検討していきます。</p>	D

(6) 現区役所等施設・用地、向丘出張所の機能のあり方の検討に関すること

No.	意見・質問要旨	本市の考え方	区分
60	<p>向丘出張所内に「本の返却ボックス」を設置と又その付近にて自動車文庫等での「予約本の貸し出し」をしてもらえたら大変便利となる。</p>	<p>向丘出張所への返却ボックスの設置につきましては、周辺地域の状況や設置場所のバランスなどを考慮した上で、設置の可能性について検討していきます。</p> <p>また、宮前区内には、神木本町 2 丁目、犬蔵 2 丁目、有馬及び有馬 9 丁目に自動車文庫での貸出しポイントを設置し、予約等の受付・貸出返却などを行っています。自動車文庫のポイントにつきましては、運行車両の停車の可否等の条件もございますが、今後も各ポイントの利用状況等に応じて適時見直しを行っていきます。</p>	C
61	<p>出張所こそなんの役にもたっていない。60 才の時、提出物があり、出張所では扱ってないから区役所に行くように言われた。 (同趣旨他 1 件)</p>	<p>出張所については、平成 30 (2018) 年 3 月に策定した「区役所と支所・出張所等の機能再編実施方針改定版」において、「共に支え合う地域づくりを推進する身近な地域の拠点」として位置づけており、廃止する方針はありません。</p>	D
62	<p>向丘出張所は必要か？この経費は他に有効活用した方がその地域の方々にも良い。</p>	<p>向丘出張所の機能のあり方については、今回の鷺沼駅周辺再編整備に伴う公共機能に関する検討を契機として、地域バランスを考慮した区全体の機能向上という観点や、関係施策の位置付け・検討状況を踏まえ、「身近な活動の場」や「地域の居場所」としての活用など、地域の皆様とともに、共に支え合う地域づくりとコミュニティ形成を推進する身近な地域の拠点として、地域ニーズや課題を把握・整理し、機能のあり方について検討していきます。</p>	D

(7) 今後の取組に関すること (第6章) (1,988件)

No.	意見・質問要旨	本市の考え方	区分
1	武蔵小杉で高層ビルが建った後、近所の人によると、風が強い日はビルに風が当たる音が大きくなったと聞いた。音や風の強さなどの環境への影響についても川崎など他エリアの開発事例を確認するなど、確認・対策して建設計画を作ってほしい。	音や風の強さなどの環境への影響などの具体的な項目については、準備組合が実施する環境アセスメント手続きの中で整理することとなりますが、騒音や風害に関する関係法令等を踏まえた計画となるよう、準備組合に働きかけてまいります。	D
2	青山1丁目に住む友人がとうとう引越することになった。長年住み慣れた地を離れざるをえなくなった、高層ビルが建つことが住民を住みにくくした。 武蔵小杉に代々住む友人、こんな街になってしまつてとひとつもうれしくないというのが本音である。静かな街に住みたい。宮前区は次々マンションが出来ているがもういらぬ。	本市の拠点地区においては、業務・商業・文化、都市型住宅等の機能を充実し、活力あふれる地域の特性を活かした魅力ある拠点として育成するため、土地の合理的な高度利用を図り、地域特性を踏まえた計画的な整備を進めることを位置付けております。 鷺沼駅前地区については、本市の地域生活拠点として、多様なライフスタイルに対応した都市機能が集積した利便性の高い拠点形成を推進してまいりたいと考えております。	D
3	高層マンションはもう不要。川崎市には「小杉」という悪しき前例がある。当初は憧れのまちだったが、今は住みづらいまちの堂々たる全国一位である。高層化に伴うビル風や日照が少なくなることなどは鷺沼でも起こり得る。鷺沼を小杉にしないでほしい。 また今後起こりうる南海トラフ大地震の時などの高層マンションの脆弱性も懸念されるところである。そう言ったことから現在の区役所で十分だと思う。 (同趣旨他3件)		D
4	超高層複合ビルは、宮前区のように市民が日々平和に過ごす生活の場には必要としない。自然破壊のなにものでもない。		D
5	大型開発、特に高層マンション建設に反対。宮前区のマンション建設は恒常化し、環境悪化を懸念している。 私の経験でも、マンション建設業者は法律に違反しない限り、住民が被る不利益の訴え、要望に耳を傾けることなく、建設を進め、行政も業者に歩み寄りを求める姿勢が弱く、住民は泣き寝入りの状況に置かれていると実感している。 今回の駅前開発においても、民間業者の立場で市の基本方針が出されたのではないかと不安に感じている。 鷺沼駅前のバスレーンの充実、敷地の有効活用等の必要性は分かるが、低層の建物で工事期間も短期間で終わるような駅前整備にしてほしいと願うばかりである。		D
6	駅前に高層ビル建設を許可する市の姿勢に反対。武蔵小杉駅周辺の住民は超高層マンションの建設により、ビル風、日陰、人口過密、混雑などの被害を受けている。鷺沼駅周辺でこの悪夢を再現するような計画には断固反対。		D

(7) 今後の取組に関すること

No.	意見・質問要旨	本市の考え方	区分
7	民間事業者の再開発計画を活用して公共機能の中枢を鷺沼に集約させることに対する不安、疑問、要望 限られた土地の高層化した建物の中に公共機能を集約することが「身近な地域が連携した住みやすく暮らしやすいまちづくり」になるのか		D
8	鷺沼にふさわしくない。高層複合ビルはやめてほしい。東急のみの商業施設にしてほしい。		D
9	現在の街のデザインは昭和 40 年代のもので更新は必須。小手先の手直しではなく、抜本的に直すことを望む。	鷺沼駅前地区については、本市の地域生活拠点として、多様なライフスタイルに対応した都市機能が集積した利便性の高い拠点形成を推進してまいりたいと考えており、再開発事業においても、地域生活拠点にふさわしい景観形成が図られるよう、準備組合に働きかけてまいります。	B
10	鷺沼駅周辺が宮前区のシンボル地区に相応しい景観となるべく、鷺沼駅周辺再編整備により生まれる施設については風格のある建築デザインとなるように推進をお願いしたい。		B
11	鷺沼駅前の再開発について、基本的には賛成。 予算の都合などもあるとは思いますが、せっかく再開発するのであれば機能性と合わせてデザイン性も優れたものになるといい。コンペなどにすれば関心も高まると思う。地味でもいいので長く親しまれるような、落ち着いていて清潔感のある駅前になってほしい。 また、広い面積ではないので、容積率ギリギリまで建物を高層階にするのは圧迫感が出てくると思う。鷺沼周辺住民だけでなく、宮前区民が広く便利に利用できるようなになればいい。		B
12	東側に位置する、小台、宮前、宮崎の眺望が遮られる。地下 5 階、地上 6 階以下にすべきだ。	眺望（景観）などの具体的な項目については、環境アセスメント手続きの中で整理することとなりますが、景観に関する関係法令や川崎市景観計画等を踏まえた計画となるよう、準備組合に働きかけてまいります。	D
13	鷺沼新庁舎となるなら、高層ビルでその上部が住宅ユニットという計画はやめるべき。田園都市線は、通勤混雑度ワーストと言われているが、東急電鉄は混雑解消の具体案は持ち合わせていないと思われる。二子玉川からは地下鉄で拡張の余地はなく、大井町線接続を増やすか急行準急等の頻発で、鷺沼駅以外の駅の利便性を阻害するばかり。その意味でも鷺沼移転・住宅ユニット同居とすれば、区及び東急の無責任さは看過できない。	本市の拠点地区の駅周辺等における再開発等においては、地域特性を活かし、少子高齢化社会に対応するコンセプト等を有する良質な都市型住宅等を誘導していくこととしており、鷺沼駅前地区においても、本市の地域生活拠点として、良質な都市型住宅の供給を誘導してまいります。 なお、鉄道や駅の混雑については、鉄道事業者により様々な取組が実施されているものと認識しておりますが、引き続き、様々な機会を捉えて、鉄道事業者に対して働きかけてまいります。	D
14	鷺沼は東急電鉄が高層施設のみで建設すればよい。そのタワービルに住居を作ることは反対だ。駅がさらに混雑してしまう。		D
15	鷺沼で唯一買い物ができる東急が工事中閉店となると、買い物が大変不便になるので本当に困る。	再開発事業の工事期間中においても、限られた空間の中で、駅前に必要な機能を確保していくことが必要と考えております。 なお、準備組合からは、「工事期間中の駅前動線、生活利便機能などの市民生活機能の維持を考慮し、段階的な施工を検討していく」と伺っております。	D

No.	意見・質問要旨	本市の考え方	区分
16	鷺沼駅周辺のマンションの老朽化が進んでいるように思う。鷺沼は決まった地主さんが多くのマンションの管理をしていると思うが、比較的駅から近い場所に住みたくても老朽化したマンションが多いためコストパフォーマンスが悪い。街の再開発に合わせて地主管理のマンションの建て替えを進めて欲しい。	マンションの建替えについては、各地権者の意向等によるものと考えますが、今回の再開発事業の整備の波及効果を活かし、周辺エリアの機能更新を適切に促進してまいりたいと考えております。	D
17	工事期間中も久末鷺沼線のバスが遅れないよう工事車両の運用計画等に万全を期してほしい。	工事期間中の交通環境については、限られた空間の中で、交通機能を確保していく必要があるものと認識しております。	D
18	工事の時、近くに小学校が2校もあり、子どもたちへの影響はどう考えているか。	なお、具体的な計画については、準備組合が実施する環境アセスメント手続きの中で整理することとなりますが、市としても交通機能の確保に向け、準備組合に働きかけてまいります。	D
19	沢山の路線を回しているバス交通、大規模な開発の間はどうなるのか？		D
20	鷺沼駅が将来どのような開発がなされていくのかと言う点も、出されている資料から判断するに、全然曖昧なままである。準備組合の連携の図のようなものも、伝わりにくい上に極めて平凡な一般論に過ぎず、魅力のかけらもない。	現時点での施設ゾーニング等を伝えるために、準備組合から、「開発コンセプト」や「導入機能の配置イメージ」、「機能導入イメージ」の提示を受け、基本方針の一部としてお示ししたところですが、引き続き、様々な機会を通じて情報発信を図りながら、魅力あるまちづくりを進めてまいりたいと考えております。	D
21	今回の再開発区域外について、区役所等の移転に伴い周辺土地利用の変化が見込まれ、再開発区域外についても移転効果を活かした整備を進めていくことが大切。「機能更新促進地区」として地区計画の活用等が検討されているようだが、周辺地区について適切な誘導が望まれる。まず南西側の街区である。飲食店などが立ち並び雑多だが何となくいい感じの雰囲気がある。道路の舗装や看板等のデザインへの配慮等の工夫をするなどして、街区の魅力をより高めていければと考える。	南西側の街区については、機能更新促進地区として、地区計画等による規制誘導手法等を活用し、再開発事業や沿線拠点地区の整備の波及効果を活かした機能更新を促進してまいります。 また、当該区は、商店会を形成していることから、商店会などとも連携し、賑わいの創出や新たな魅力・活力を生み出す取組が図られるよう、取組を促進してまいります。	C
22	鷺沼駅及び線路上空の開発可能性について。 駅両側の一体化等の観点から建築物を含む上空利用が考えられるのではないかと。これは鉄道事業者にとってもメリットとなることから、鉄道事業者の協力も得て以下の整備が出来るとうい。 ・駅部での自由通路の整備（及び長期的には駅に近接した位置での交通広場の整備も出来れば） ・羽田、成田空港へのリムジンバスの発着（今回の再開発に併せて実現すればより良い） ・鷺沼駅の改良（現在のホーム幅は狭いため安全性の観点から上空整備と併せた拡幅。これは将来の複々線化への対応ともなる） ・業務機能の導入の促進等 なお、上空利用では東京メトロの車両基地も候補に挙げられると思うし、必要に応じてその周辺地区整備についても検討の余地があると思う。	駅舎施設については、現在のところ、具体的な検討の方向性は示されておりませんが、再開発事業区域に隣接する区域でございますので、今後、再開発事業の事業計画検討にあわせて、鉄道施設のあり方も含めて検討していただくよう、東急電鉄に要望してまいります。 また、リムジンバスの発着等のバス乗り場の運用については、バス事業者などとの協議調整を行いながら、交通広場の供用開始前に整理されることになるため、現時点では具体的な路線については未定です。頂きましたご意見については、協議調整の際の参考とさせていただきます。 また、業務機能の導入の促進については、意見交換会で、「ワーキングスペース」といった提案もいただいた中で、基本方針 P104 の準備組合の開発コンセプトとして「駅前で働く」といったキーワードを掲げており、こういった開発コンセプトが実現されるよう、準備組合に働きかけてまいります。	C

(7) 今後の取組に関すること

No.	意見・質問要旨	本市の考え方	区分
23	<p>鷺沼駅前再開発の全体像と環境アセスメントの結果を具体的に示してほしい。</p> <p>基本方針は、市民の批判を恐れ、イメージ図のみで具体像を示していない。建物の床面積、高さ、階数、容積率、内容、予算規模など示してほしい。日照、風害、駅前交通渋滞、ラッシュ時の鉄道混雑、などの環境アセスの調査結果の公表と対策、近隣住民への被害予想などについて至急明らかにしてほしい。</p> <p>(同趣旨他 501 件)</p>	<p>再開発事業の概要については、今回の基本方針においては、現時点の再開発コンセプトや施設ゾーニング等をお示ししたところです。</p> <p>具体的な施設計画については、準備組合により、現在検討が進められており、建物の床面積や高さ、階数など、様々な条件等による検討を行っているものと伺っております。</p> <p>その内容については、環境アセスメント手続きなどを通して示されるものと考えており、環境アセスメントの内容が早期に示されるよう、準備組合に対して働きかけてまいります。</p>	D
24	<p>再開発事業の全体像の開示を</p> <p>鷺沼駅は一日 6 万人余りが利用する駅であり、市街地再開発事業は事業主体が民間だとしてもきわめて公共性の高い事業である。また補助金は我々の税金から支払われる。近隣に住む住民も多く、再開発事業によって様々な影響を受けるが、これまで再開発事業の内容については簡単な配置イメージが示されただけである。</p> <p>住民として日影、風害、交通渋滞、駅の混雑などに対する不安を持つのは当然である。全体の面積、階数、住宅の戸数、駐車台数、2 階デッキ設置の有無など必要なデータを示すべき。</p> <p>もし準備組合が開示を拒むようであれば、再開発事業の許認可権を持つ川崎市が開示を命令してほしい。</p> <p>(同趣旨他 492 件)</p>	<p>なお、平成 31 (2019) 年度には、都市計画決定手続の中で、素案説明会や縦覧など、都市計画について市民意見を伺っていきます。環境アセスメント手続については、準備組合による説明会や意見書提出の機会があります。</p>	D
25	<p>建物の詳細図が未だに示されず、何階建てかも不明。趣高層複合ビル自体の危険性もある。</p> <p>(同趣旨他 40 件)</p>		D
26	<p>移転反対。フォーラムや説明会では、現段階では、東急の都合により、これ以上の詳しい資料は出せないと言っていたが、国にも、そのような説明をしているのか。区民に明かせない特別の理由があるのか。</p>		D
27	<p>建物の計画が未だに示されず、何階建てかも不明であり、不安</p> <p>(同趣旨他 2 件)</p>		D
28	<p>本来、設計図、パースなどを見せて、市民に移転か否かと問うべきところを、ただの平面図とも言えないイメージのみを示し、それで姿というのはあまりにもお粗末で市民をバカにしている。</p>		D
29	<p>鷺沼再開発は民間が行うプロジェクトであるが、市がかかわる以上、情報公開をちゃんとすべきだ。準備組合に下手にすることはない。もっときちんと対処すべきだ。計画、設計図を区民に公開してからパブコメを求めるべき。</p>		D
30	<p>移転が区民全体にとって今以上にどのようなメリットがあるのか、一向に分からない。それ以上に移転先となる建物の階、高さが今もって不明と</p>	<p>再開発事業の概要については、今回の基本方針においては、現時点の再開発コンセプトや施設ゾーニング等をお示ししたところです。</p>	D

No.	意見・質問要旨	本市の考え方	区分
	<p>平気な顔で説明されるのには全く呆れてしまう。</p> <p>説明会で移転先予定の建物の詳細（高さ、階数、面積等）を聞かれるのは至極当然のことである筈なのに、その同意がなされず！本当に市当局に入っていないかとはともかくとしても、その程度のことを区民に伝えられないところに本問題の本質がある。</p> <p>（同趣旨他 2 件）</p>	<p>具体的な施設計画については、準備組合により、現在検討が進められており、建物の床面積や高さ、階数など、様々な条件等による検討を行っているものと伺っております。</p> <p>その内容については、環境アセスメント手続きなどを通して示されるものと考えており、環境アセスメントの内容が早期に示されるよう、準備組合に対して働きかけてまいります。</p>	
31	<p>実際に鷺沼駅前に建つ建物の全体が不明なままである。地下、地上何mの建造物になるのか、マンションは何戸数、商業施設は何店舗数か等、明確な資料を開示すべき。</p> <p>タワーマンション等高層住宅になると地元の賛成を得られないから明示しないのか。</p>	<p>なお、平成 31（2019）年度には、都市計画決定手続の中で、素案説明会や縦覧など、都市計画について市民意見を伺っていきます。環境アセスメント手続については、準備組合による説明会や意見書提出の機会があります。</p>	D
32	<p>鷺沼駅前に図書館、市民館、区役所を移転した場合、その建物はタワーマンションのような高層ビルになるのではないかと説明会で質問したが答えはなかった。高層ビルか否か明確に示さない計画には賛成できない。</p> <p>（同趣旨他 2 件）</p>		D
33	<p>移転先が何階建てかも分からず先に移転有りきでは納得がいかない。</p>		D
34	<p>区役所移転反対。</p> <p>建物の総面積、容積も分からず、知らせず階数も分からず、川崎市が何%ぐらい所有するのか、他の東急、農協、横浜銀行がどのくらいの持ち分になるのか、総費用の割合がどのくらいになるのか明示してほしい。</p>		D
35	<p>鷺沼に新しく建設される区役所、市民館、図書館の入る建造物の平面図しか載っていないで、マンション、商業施設を含む建物の高さなどは判らない。計画（案）では、タワーマンション、高層ビルが建てられるのが不明。市は必要な情報を全て明らかにして住民に自ら足を運び説明すべき。</p>		D
36	<p>高層ビルを間借りする予定なら、ビルの構想の段階から市民に公表し、東急にも意見する必要がある。区民ファーストを貫いてほしい。</p>		D
37	<p>市街地再開発事業の説明と全体像の提示がない方針案の総論で、「市街地再開発事業とは」と説明しながら、市街地再開発のイメージ図にあるようなことであるなら、当然、開発事業の全体像、建物の高さ、広さ、入る商業施設、公共施設の広さを示さないと市街地再開発事業なのかかわからない。これらに一切触れられていない不思議な説明書である。</p> <p>（同趣旨他 419 件）</p>	<p>鷺沼駅前地区においては、平成 29 年 8 月に地権者 5 名により、鷺沼駅前地区の合理的かつ健全な高度利用と都市機能の更新を図るため、都市再開発法に基づく市街地再開発事業の検討及び準備を推進するため「鷺沼駅前地区再開発準備組合」が設立され、交通広場の拡充など公共施設等の整備を図る計画であることから、「市街地再開発事業」を予定しておりますが、具体的な施設計画については、準備組合により、現在検討が進められており、建物の床面積や高さ、階数など、様々な条件等による検討を行っているものと伺っております。本市とい</p>	D

(7) 今後の取組に関すること

No.	意見・質問要旨	本市の考え方	区分
		たしましても、多様なライフスタイルに対応した都市機能集積及び交通結節機能の強化による、地域生活拠点にふさわしいまちづくりの推進に向け、「市街地再開発事業」を活用したまちづくりを推進してまいりたいと考えております。	
38	高層ビルによる日照権や景観問題。新宿の高層ビルは中野まで日陰を作るそうである。それと、今、環境の方では、景観（Landscape）ということが、キーワードになっている。「多額の費用で、広大な日陰を作り、美しい住宅地の景観と生活影響に重大な損失を与える」事にならないか。（同趣旨他 47 件）	日照や景観などの具体的な項目については、環境アセスメント手続きの中で整理することとなりますが、日照や景観に関する関係法令等を踏まえた計画となるよう、準備組合に働きかけてまいります。 また、景観形成については、地域生活拠点にふさわしい景観形成が図られるよう、地区計画等の手法を活用し、色彩等について適切な誘導を図ってまいります。	D
39	鷺沼に超高層ビルは危険性、景観がよくない		D
40	経緯の不明朗さ、費用の莫大さ、景観が損なわれる事で、基本計画に反対。 景観の大切さ（高層建築らしいこと、日照とビル風）きちんとした計画が知らされないと意見も書けないが、建物は 31 階という噂がある。新宿の高層ビルの影は冬は、中野区まで届くという。冬の日差しはどうなるのか。鷺沼は低層の美しい住宅地。都心から疲れて帰宅した住宅地の駅前が、また高層ビルでは癒されない。毎日、目にする住まい周囲の景観は非常に大切である。そして、ビル風は大丈夫か。（同趣旨他 21 件）		D
41	タワーマンションが時代の流れのようだが、住民は景観をだいなしにしてほしくない。風害、日照、交通混雑、マイナス面も多く、一度建ったら変更できない駅前のマンションは高額でも売れるデベロッパーにとっては絶好のチャンス、しかし住民全体に後々負の遺産となるもの。 タワーマンションだけは建てないで！10 階位に止めてほしい。		D
42	説明会では、設計図は示されず、イメージ図のみが提示された。これでは建物の規模や区の 3 施設が何階かに入るのが全く分からない。のちに変更があるとしても、きちんとした設計図を参加者に示して意見を求めるべき。川崎市が準備組合からその設計図を提示させることは当然であり、それを要求していないとしたら怠慢であり、また設計図を故意に隠していたとしたら、川崎市民全体を裏切る行為である。市は、故意に設計図をかくしている。もし、本当にこれを見せれば超高層がばれて、反対者が多くなるからだ。市はひきょうなやり方で市民をだましている。（同趣旨他 169 件）	基本方針においては、整備位置について、「区役所機能」は、防災上の機能に配慮し、民間施設が集中する駅前街区ではなく、北街区の低層部に整備すること、「市民館・図書館機能」については、民間施設との連携による相乗効果を活かすため、駅前街区の低層部に整備することとし、併せて「導入機能の配置イメージ」をお示したところでございます。 引き続き、事業の熟度に応じて、適切な情報提供が図られるよう、準備組合と調整を図ってまいります。	D
43	鷺沼駅前再開発ならば、東急等独自で案を先ず出せば良い。東急等として、再開発に際して市の施設に対して何を提供するのかを先ず提示させる	基本方針においては、整備位置について、「区役所機能」は、防災上の機能に配慮し、民間施設が集中する駅前街区ではなく、北街区の	D

No.	意見・質問要旨	本市の考え方	区分
	べきである。鷺沼再開発準備組合の案が全く区民に対して開示されていない。	低層部に整備すること、「市民館・図書館機能」については、民間施設との連携による相乗効果を活かすため、駅前街区の低層部に整備することとし、併せて「導入機能の配置イメージ」をお示ししたところでございます。 引き続き、事業の熟度に応じて、適切な情報提供が図られるよう、準備組合と調整を図ってまいります。	
44	準備組合提供の配置イメージによると区役所、市民館・ホール、図書館何れも、住宅または商業施設との複合建物(区分所有建物)となっている。 長期的なこと(例えば改装、増改築・建替)を考えると共有部分等の維持管理に制約が発生するため、公共建物と民間の建物は敷地を明確に区分し、動線や権利関係を整理する必要がある。尚、建物の設計や工事にあたってはイニシャルコストのみならず、ランニングコストを削減できるような視点が必要。 鷺沼の再開発計画は工期が長く、段階的に進められるため、時系列的に手順や動線、利用形態等を図面・工程表を視覚的に示してもらいたい。また工事中の安全確保や駅周辺の渋滞が起らないような計画づくりが必要。	他の施設との合築になるため、管理組合の一員として建物を適切に維持していく必要があり、施設の維持管理に関する自由度が低いなどの課題があるものの、民間事業者による再開発事業との連携により、商業施設や広場機能等の民間施設と行政施設の相乗効果による機能・空間の実現を図り、文化・交流拠点の形成と新たなコミュニティの創出を図ってまいりたいと考えております。動線等については、導入する機能に応じた検討を行ってまいります。 建物の設計や工事コスト、工事期間中の対応に関する御意見については、今後の検討事項になりますが、工事期間中の適切な周知等が図られるよう、準備組合に働きかけてまいります。 工事期間中の交通環境については、限られた空間の中で、交通機能を確保していく必要があるものと認識しております。 なお、具体的な計画については、準備組合が実施する環境アセスメント手続きの中で整理することとなりますが、市としても交通機能の確保に向け、準備組合に働きかけてまいります。	D
45	横浜市営地下鉄の延伸問題もあり、これにより宮前区が受ける恩恵もあり、横浜市とも連携して再編整備の議論をしてもよいのではないかと？	広場再編整備の機会を捉えた路線バスネットワークの充実に向けた取組にあたっては、横浜市高速鉄道3号線の延伸の動向等も勘案した検討を行ってまいります。	B
46	鷺沼駅にないものはパソコンショップ。電気店。今ある銀行・ショッピングセンターは鷺沼にいてもらう事が必須。	個別のテナントに関する御意見ですので、準備組合に伝えてまいります。再開発事業により、商業機能を導入することで、賑わいや魅力のあるまちづくりを推進してまいりたいと考えております。	C
47	鷺沼周辺にお店を構えるミシュランガイド掲載店（「とうふ屋うかい」「サンク・アロマ」「Soba-ya 癒庵」「麵処 懐や」「うなぎ菊水」「とんかつしお田」「一番碾き蕎麦 よしみや」等）や地元の名店（「Pizza House Mocco」「焼肉べこ亭」「純手打ち讃岐うどん綾」「天ぶら美かさ」「和泉鮎」「もあ小麦館」「ショコラベア」「ティーハウスマユール」「心音（宮前平源泉湯けむりの庄）」等）を再開発施設にテナントとして誘致することで、再開発施設の付加価値向上と店舗本体へのPRと送客の相乗効果により、宮前区エリア全体のブランディング向上の波及効果が生み出されるようにすべく、関係者との調整を図ってほしい。		C

(7) 今後の取組に関すること

No.	意見・質問要旨	本市の考え方	区分
48	ショッピング、飲食店など、たまプラーザ、二子玉川、センター北などのように、駅前に整った商業施設があれば、宮前区に外部から人が集まり、活性化されると思う。 ボルダリング施設綱島に子供専用のボルダリングがオープン、武蔵新城にも子供が利用できる既存の施設があるが、鷺沼にもできたら大変嬉しい。		D
49	移転反対。鷺沼商店街の発展を考えるなら、公共機能の移転でなく、マルチな映画館を作るなどのイノベーション（刷新）を図った方が客を呼べる。		D
50	区民意識アンケートでは鷺沼駅前の再開発への期待として「買い物が便利なまちになってほしい」という意見が交通利便性向上に次いで多いことも踏まえ、再開発施設には、ワンストップで買い物が充足出来る吸引力のある質と規模の店舗M・D・テナントミックスを可能とし、宮前区を代表する鷺沼らしいライフスタイルを実現する店舗が集積され、歩いているだけで楽しく居心地が良く満たされた気持ちになる空間の、時間価値創造型の大きな商業ゾーンが形成可能な、広い商業店舗床を有する計画となるように調整をお願いしたい。	基本方針 P104 に準備組合の開発コンセプトをお示ししておりますが、その中でも、「街と計画地をつなぐ歩行者動線ネットワーク周辺には、生活支援機能として商業区画を配し、魅力の向上を図る」、「駅直結の利便性を活かして多世代の多様なライフスタイルに対応し、一日過ごせるような機能集積を図る」ことを掲げており、こういった開発コンセプトが実現されるよう、準備組合と調整を図ってまいります。	D
51	再開発事業が今回の施行予定区域だけで完結してしまわずに、鷺沼駅周辺地区の2号再開発促進地区全体の機能更新が継続的に行われていく起点となるように、施行予定区域の周辺街区と連動した連鎖型再開発といった事業手法を関係者とともに誘導、調整、支援願う。	再開発事業区域周辺については、再開発事業の効果を最大限に活かすため、地区計画等による規制誘導手法等を活用し、再開発事業や沿線拠点地区の整備の波及効果を活かした機能更新を促進してまいります。	B
52	区の公共施設を移転することで、地価や固定資産税が上がるとしたら困る世帯、住み続けられない世帯が増える。小杉化は良いこととは思われない。 周辺が地上げやタワマンの進出を招くと、「コミュニティの分断に繋がりがやすい。世代交代していく町で新規のタワマンが乱立するような状態への呼び水にならないようにしてほしい。	周辺の商店会などの地域コミュニティと再開発事業により整備される施設の連携が図られるよう調整を図ってまいります。	D
53	今回の再開発事業と連動して、鷺沼駅も宮前区の交通結節点のシンボルに相応しい駅舎に、再開発施設と一体的に増改築・再整備すべく、東急電鉄への働きかけをお願いしたい。	駅舎施設については、現在のところ、具体的な検討の方向性は示されておりませんが、再開発事業区域に隣接する区域でございますので、今後、再開発事業の事業計画検討にあわせて、鉄道施設のあり方も含めて検討していただくよう、東急電鉄に要望してまいります。	C
54	鷺沼プール跡地にある土橋小学校・フットサルコートはどこかに移設し、鷺沼駅の上空に人工地盤を設置し駅と一体的な利用として広大な開発用地が生まれ、更に活性化に貢献するのではないか。		C

No.	意見・質問要旨	本市の考え方	区分
55	鷺沼駅周辺再編整備の中では、旧鷺沼プールの記憶を残す仕掛け、たとえば旧鷺沼プールのレイアウトでグリーンや水を配置してデザインした広場等の設置を検討願いたい。	個別の整備に関する御意見ですので、準備組合に伝えてまいります。駅を中心に多様なライフスタイルに対応した都市機能集積及び交通結節機能の強化を図ることで、魅力あるまちづくりを推進してまいります。	C
56	今後は予防医療が重要になるので、小さくてもよいので、運動施設が設けられるとより良い。		C
57	再開発は、鷺沼だけとは言わず、もっともっと宮前区民のための住民サービスを志してほしい。鷺沼駅にバスを利用する横浜市民は、駅前に図書館があればと喜んでいる人が多いらしい。宮前区民ファーストで考えてほしい。	鷺沼駅前再開発では、交通広場の拡充や、路線バスネットワークの充実により、宮前区全体の発展に資する鷺沼駅へのアクセス性向上や多様なライフスタイルに対応した都市機能の集積により、利便性の向上を目指します。 また、こうした鷺沼駅の交通結節機能の向上効果等を活かし、将来を見据えたコンパクトなまちづくりを推進するため、区役所・市民館・図書館を一体的に移転・整備し、宮前区の核となる地域生活拠点の形成を図ります。	D
58	首都圏に近いこの環境でやるべきことは広大なフリースペース（公園）である。そうすれば現高齢化の住民にも新規に参入してくる方々も増大し区は豊かになる。		D
59	鷺沼駅周辺の再編整備については必要と思うが区の公共機関の移転はしないほうが良いと思う。たまプラーザ駅や溝の口駅みたいな再開発は無理と思う。		D
60	鷺沼の人たちは駅ビルに商業施設を入れて活性化と思っているのか。鷺沼が栄えるのは私も嬉しいが、側にたまプラーザの商業施設があるので、あまり期待できないのではないと思う。		D
61	鷺沼に区役所を持っていても、宮前平や宮崎台、向丘などの住民は、鷺沼で買い物をしない。鷺沼は以前、東急ストアが大幅縮小したように、商業地区としては魅力がないからだ。隣にたまプラーザがあり、東急がそちらに力を入れている以上、鷺沼は商業地としての発展性はないと思う。鷺沼駅利用者以外の宮前区民は、今後も溝の口や二子玉川、渋谷、たまプラーザで買い物をするとする。		D
62	東急との交渉においては、東急の企業（利益追求）のペースに乗らないで、市民の利益を第一に考えて取り組んでほしい。弁護士も同席させるべきである。	準備組合が進めている再開発の検討スケジュールに合わせて、市としての考えを計画に確実に反映させていくため、平成 30 年度内に「基本方針」を策定し、引き続き、市民の皆様の御意見を伺いながら、基本方針でお示した方向性等の実現に向け、準備組合との調整を図ってまいります。	D
63	鷺沼の再開発は大変良い事と思っている。	再開発事業により、駅を中心に多様なライフスタイルに対応した都市機能集積及び交通結節機能の強化を図ることで、地域生活拠点にふさわしいまちづくりを推進してまいります。	B
64	東急の再開発計画がどういうものが説明が不明。説明会の文書に東急という言葉がない。これも不思議。東急の話もききたい。現時点で反対である。	再開発事業の概要については、今回の基本方針においては、現時点の再開発コンセプトや施設ゾーニング等をお示したところです。 今回の再開発事業は、権利者 5 名で構成される組合施行を予定しており、本方針において	D

(7) 今後の取組に関すること

No.	意見・質問要旨	本市の考え方	区分
		も、「準備組合」による取組という統一した記載をしております。 再開発事業の計画等については、環境アセスメントの手続き等の中で、準備組合による説明会や意見書提出の機会がございます。	
65	東急グループともっと話し合うべき。宮前区は田園都市線のモデル地域に出来る可能性が最もある地域なのだから。最後にヒロイン緑の公園は地域を豊かにし移住者拡大につながる	本市では、東急電鉄が持つノウハウや両者が持つ資源や強みなどを活かし、鉄道を主軸とする駅を中心としたまちづくりと沿線地域の特性に応じた利便性の向上、暮らしを支える持続可能なまちづくりに向けた取組を連携・協力して推進するため、平成 27 年 6 月に包括連携協定を締結し、本協定に基づき、連携・協力を図っており、今後も引き続き、東急電鉄と連携・協力を図ってまいります。	B
66	移転に伴い、鷺沼駅周辺の生活が生活環境、交通面で悪化することが懸念される。 アセスメントについては建設上都合のよいアセスメントだけでなく、騒音、交通渋滞や災害なども想定してアセスメントをしてほしい。	評価項目については、環境アセスメント手続きの中で、検討が進められることとなるため、御意見については、今後の参考とさせていただきます。 なお、環境アセスメント手続きについては、準備組合による説明会や意見書提出の機会があります。	D
67	今でさえ過密な駅状況や、道路の整備について対策や見通し、交通量の予想など、建設に伴う変化を共通認識として持てるよう、示してほしい。		D
68	意見：区役所・図書館・区民センター等を鷺沼に移すのは反対。 仮に鷺沼に建設する場合、大規模開発事業になり、環境アセスメントを実施すべきである。 工事中、竣工後の評価を事前に調査したら、鷺沼では区役所の建設は不可能ではないか。 (同趣旨他 9 件)		D
69	2028 年～2030 年に完成という案ですが、同じ年に開通するあざみ野～新百合ヶ丘との関連（ルート、駅の場所等）があいまいな計画である。 もし川崎の地下鉄駅が宮前区内に近いか区内にできるとしたら、その駅前の開発計画も一緒に提示すべきではないか？その点が不明確な「さぎぬまプロジェクト（案）」には賛成できない。	横浜市高速鉄道 3 号線については、本年 1 月に事業化判断を行いました。ルートや駅位置については検討中であるため、駅前の開発計画等の検討は、現時点では行っておりません。 なお、広場再編整備の機会を捉えた路線バスネットワークの充実に向けた取組にあたっては、横浜市高速鉄道 3 号線の延伸の動向等も勘案した検討を行ってまいります。	E
70	計画範囲が不明確、敷地境界や設定条件など。	計画範囲については、基本方針の駅周辺交通環境改善の「鷺沼駅周辺計画イメージ図」にお示ししております。 また、設定条件については、基本方針資料編の「鷺沼駅前地区再開発事業における施設計画概要（公共機能の導入案）」の地区概要にお示ししております。	C
71	現在提示されている計画では、交通広場と市民館・ホール等が重なっており、立体構成が分かりづらい。それが反対される方の不理解の一因になっているのではないかと。	本再開発事業では、限られた空間を立体的に活用した検討を進めており、交通広場、商業、市民館・ホール等が重層的に配置されることを「導入機能の配置イメージ」としてお示ししております。また、市民館・図書館機能の整備位	C

No.	意見・質問要旨	本市の考え方	区分
		<p>置については、民間施設との連携による相乗効果を活かすため、駅前街区の低層部に整備することをお示ししております。</p> <p>今後も引き続き、事業の熟度に応じて、適切な情報提供が図られるよう、準備組合と調整を図ってまいります。</p>	
72	<p>民間業者から計画の案が出てきたところで、多くの市民・区民が議論して移転をするかどうかを含めて検討するべきではないか。進め方がおかしい。宮前平の現庁舎にはいいところがたくさんある。そういうことも含めて1から議論すべき。宮前区民の今後を考えても、多くの区民が納得する形で議論を進めて、移転の可否を決めるべき。</p>	<p>鷺沼・宮前平駅周辺地区は、本市総合計画において「地域生活拠点」の一つとして位置づけられており、「鷺沼駅周辺を中心に商業、都市型住宅、文化・交流など多様な都市機能の集積及び交通結節機能の強化に向けた取組を推進」することとしています。</p> <p>今回の取組では、民間事業者による再開発により鷺沼駅前のバスターミナルが広がるなど、交通結節点としての機能の向上が見込まれることなどから、この機会を捉えて、鷺沼駅前に望まれる公共機能は何か、ということを検討してまいりました。その中では、区役所・市民館・図書館という区民が利用する施設の移転可能性を含めて検討していくため、区民の生活実感としてのニーズや課題認識を重視し、多角的な意見把握に取り組んでまいりました。</p>	D
73	<p>本当に必要な移転なのか、きちんと区民の民意は反映されているのか、1企業（東急）の意向のみが優先されたものなのではないのか、疑問点がたくさんある。</p> <p>新しい施設がどうなるかも全く分からない状態で、賛否を問うのはやり方として間違っていると思う。</p>	<p>本市といたしましては、意見交換会等で寄せられた様々な市民意見や基礎調査結果等の諸条件を総合的に整理・検討し、鷺沼駅周辺再編整備に伴う公共機能の方向性及び基本的な考え方を取りまとめたものです。</p>	D
74	<p>鷺沼再編整備地区には車いすでもベビーカーでも杖を突いてもみんなが普通に利用できるコーヒーショップ(いわばユニバーサルカフェ)を検討してほしい。今のコーヒーショップでは誰でも利用できない。福祉施設でないことが大事。採算面で厳しいかもしれないが何とかチャレンジできないか。趣旨に賛同する資金のある業者が良い。</p> <p>駅近くにこのようなカフェがあるのは共生社会という理念からも望ましい。他の地域にないようなので新しいコーヒーショップのスタイルを鷺沼から発信できる。ぜひ前向きに検討してほしい。</p>	<p>個別の整備に関する御意見ですので、準備組合に伝えてまいります。再開発事業の施設建築にあたっては、ユニバーサルデザインへ配慮した計画となるよう誘導してまいります。</p>	D
75	<p>小学生の頃、よく鷺沼プールやボーリング場へ遊びに行きました。小さい頃の私にとってそこへ行くだけで喜びで一杯に成り楽しい一時だった。是非お金のかからない娯楽施設を造ってほしい。期待している。</p> <p>ありきたりの施設でなく、プラスアルファを期待する。</p>	<p>基本方針 P104 に準備組合の開発コンセプトをお示ししておりますが、その中でも、「駅前に住む」、「駅前で働く」、「1日過ごす」など、住む人も訪れる人も楽しく、快適な魅力あるライフスタイルを目指すことを掲げており、こういった開発コンセプトが実現されるよう、準備組合に働きかけてまいります。</p>	D
76	<p>川崎区で生まれ 30 年間住んでいたが、宮前区に引っ越してみても感じたのは街全体がとても穏やかということ。川崎駅前にはゲームセンターや飲み屋でゴった返し、風俗街と市役所が隣り合わせという雰囲気は当たり前のように見てきたが今自分の子供を育てたいと思うのは宮前区である。</p>	<p>本基本方針において、「ベットタウンから生活するまち」、「一日過ごせるまち」へ向け、商業施設や広場機能等の民間施設と市民館・図書館等の行政施設の相乗効果により、多世代が訪れ、多様なコミュニティを創出する新たな文化・交流拠点の形成と新たなコミュニティの創</p>	B

(7) 今後の取組に関すること

No.	意見・質問要旨	本市の考え方	区分
	<p>最近久々に実家に帰って近所のファミレスに夕方訪れると中高生がファミレスで埋め尽くす様子にも驚いた。共働き世帯が増える昨今、夕方学校が終わった後の子どもたちの居場所、色々と考える余地はあると思う。</p> <p>子育てを街全体が支援できるようなつくりにしてほしい。</p>	<p>出を掲げており、その実現に向けては、子育て世帯の交流が重要な要素と考えております。</p>	
77	<p>小杉に行ったとき、区役所や図書館がビルのなかに入り、1階には、無料でちょっとしたグループごとの集まりができるスペースがあり、とてもよいと思った。</p> <p>宮前区も中原区をモデルにして、同じようになつたらうれしい。</p> <p>スポーツができるような施設、講座を開けるような教室もほしい。</p>	<p>他地域の事例を踏まえるとともに、市民の皆様の意見を聞きながら、民間事業者による再開発事業との連携により、民間施設と行政施設の相乗効果による機能・空間の実現を図り、文化・交流拠点の形成と新たなコミュニティの創出を図ってまいりたいと考えております。</p>	B
78	<p>宮前区の玄関に相応しい景観形成（ガーデン区構想や植木の里をテーマとすることが考えられる）に配慮し、区役所のオフィスとしてのデザインも斬新なものを検討してほしい。</p> <p>なお、公共機能ではないが、宮前区の昼夜間人口比率の低さを考えるとこの再開発においてサテライトオフィス（保育機能の併設を含む）や業務機能の導入の検討が重要だと思う。</p>	<p>景観形成については、地域生活拠点にふさわしい景観形成が図られるよう、準備組合と調整を図ってまいります。</p> <p>また、サテライトオフィスにつきましては、基本方針 P104 の準備組合の開発コンセプトとして「駅前で働く」といったキーワードを掲げており、こういった開発コンセプトが実現されるよう、準備組合に働きかけてまいります。</p>	B
79	<p>再開発事業により生み出される施設を多機能な複合施設にする上での懸念は、官民の様々な機能を規制の容積率の枠内に収めなければならないがために、各々の機能、特に商業や交流機能が中途半端な規模や内容に留まり、新たな賑わいや交流を生み出す魅力には足りないレベルの施設となってしまうことである。再開発施設の容積率については、東京都の育成用途のように、公共施設・文化交流施設や商業施設については容積率を緩和することをお願いしたい。</p>	<p>本市では、拠点地域等における開発計画において、地球環境への配慮や都市の成長に資する取組みを適切に評価することで、事業者の積極的な取組みを促し、持続可能で豊かなまちづくりを推進するため、容積率特例制度等の運用の考え方等を示した「低炭素都市づくり・都市の成長への誘導ガイドライン」を策定しており、本事業もガイドラインの対象エリアとなりますが、本事業においては、準備組合と協議調整を行い、周辺道路交通等の状況を勘案し、容積率の緩和は行わないこととしました。</p> <p>なお、容積率の範囲内であっても、商業や交流機能の適切な導入が図られるよう、準備組合と調整を図ってまいります。</p>	D
80	<p>北街区の計画策定にあたっては、将来的には東京メトロ鷺沼車両基地の上部空間を有効利用した開発が行われ、カッパーク鷺沼や宮前平駅方面にもつながるまちづくりが行われる可能性まで視野に入れた検討を行ってほしい。</p>	<p>周辺地区については、機能更新促進地区として、地区計画等による規制誘導手法等を活用し、再開発事業や沿線拠点地区の整備の波及効果を活かした機能更新を促進してまいります。御意見については、今後の参考にさせていただきます。</p>	C
81	<p>宮前区は、年少人口の割合が川崎市の中でも最も高く、将来の川崎市を支える人材の基盤となるポテンシャルを有するエリアであるにもかかわらず、川崎市が都市規模を活かすことで推進可能となる市の魅力やイメージ向上を牽引する広域拠点整備といった全体重点施策の波及効果を、他の区と比べて交通体系の問題から著しく享受しにくい</p>	<p>本市では、厳しい財政状況を踏まえ、選択と集中により、広域拠点を中心に都市拠点整備を推進しており、駅前広場や都市計画道路などの都市基盤整備を進めるとともに、民間活力を活かした市街地再開発事業等の推進により、さまざまな都市機能集積が図られています。</p> <p>一方で、今後の少子高齢化に伴う社会的要請</p>	C

No.	意見・質問要旨	本市の考え方	区分
	<p>位置のため、川崎の担い手となるべき多くの子どもたちと、その子どもたちの価値観に大きく影響を与える多くの親たちが、川崎市へ愛着や誇りどころか、川崎市に帰属しているという意識や、川崎市民としての自覚さえ持ちにくい状況下にある。</p> <p>例えば、平成 29 年 1 月 25 日～2 月 24 日に実施された市総合計画に関する市民アンケート調査結果でも、「市内拠点駅（川崎駅・武蔵小杉駅・新百合ヶ丘駅）周辺に魅力や活気があると思うか」の問いに対してそう思うと答えた人の割合が、7 区の中で宮前区は断トツで少なく、「区の地域生活拠点駅（新川崎・鹿島田駅、武蔵溝ノ口駅、鷺沼・宮前平駅、登戸・向ヶ丘遊園駅）周辺がにぎわいや魅力があると思うか」にも対象となる 4 区の中で最も少なく、そして「川崎市に魅力やよいイメージがあると感じるか」との問いに対してもやはり、そう思うと答えた人の割合が最も少ないという結果となっている。ついては、鷺沼駅周辺再編整備にあたっては、川崎市民としての意識の醸成を図る機能や仕掛けづくりを行って頂きたく、具体的には次の施策を検討願いたい。</p> <p>「音楽のまち・かわさき」「映像のまち・かわさき」「スポーツのまち・かわさき」といった川崎の魅力を感じることが出来る次の施設を導入。①東京交響楽団、洗足学園音楽大学、昭和音楽大学、かわさきジャズフェスティバル等と連携した小編成の公演を開催し、各団体の PR の場にもなる音楽小ホール②アルテリオ映像館のようにミニシアター系の名画を上映する単館映画館③川崎フロンターレや川崎ブレイブサンダースをはじめとした「かわさきスポーツパートナー」の合同グッズショップ、ブレイブサンダース監修の 3on3 コート、フロントウンさぎぬまサテライト施設</p> <p>「新・かわさき観光振興プラン」において世界に通用する観光づくり戦略の軸に位置付けられている、川崎市内の見所や観光資源への興味をいざなう次の施設や仕掛けを設置。①生田緑地の魅力を PR する藤子・F・不二雄ミュージアムキャラクターブロンズ像、岡本太郎作品を設置。②川崎産業観光の魅力を PR する川崎工場夜景パネル、キングスカイフロントと東急 REI ホテル紹介コーナー。③川崎マリエン展望室の川崎港ジオラマのような、航空写真を使用した川崎駅周辺のジオラマを設置し「ミュージア川崎シンフォニーホール」「東芝未来科学館」「東海道かわさき宿交流館」「川崎市スポーツ・文化総合センター」「富士通スタジアム川崎」「川崎大師」「東扇島」等の川崎駅周辺の魅力施設を紹介。④かわさきの「食」の魅力の豊かさを実感できる、川崎市中心卸売市場北部市場と連携した飲食施設、セレスモ宮前店と提携した「かわさきそだち」直売コーナー、小泉農園の紹介ブース、「かわさき名産品」の販売ブースを設ける。</p>	<p>を見据え、地域課題にきめ細かに対応するため、地域生活拠点等の整備を推進することとしており、今回の鷺沼駅周辺の再編整備や登戸土地地区画整理事業の推進など、様々な取組を推進しております。頂いた御意見につきまして、本市の分野別計画等に資する内容であると認識しており、個別具体の御意見であることから、今後の参考とさせていただきますが、魅力や賑わいの創出に向けた取組を進めてまいります。</p>	

(7) 今後の取組に関すること

No.	意見・質問要旨	本市の考え方	区分
82	<p>サラリーマンの多い地区では昼間人口が減るので、商売は難しいとされている。無料のカフェとかテラスとか、休憩所を設置すれば人が寄って集まる。宮前区らしいコミュニティが発生する。</p> <p>コミュニティと町内会自治会の存在は防災にとって大拠点となる。再編整備にこういったソフトの部分も付け加えていただけるとありがたい。</p>	<p>今回お示した基本方針の方向性として、「民間事業者による再開発事業との連携により、民間施設と行政施設の相乗効果による機能・空間の実現を図り、文化・交流拠点の形成と新たなコミュニティの創出を図る」ことを位置付けており、官民連携によるソフト面も含めたまちづくりを推進してまいります。</p>	B
83	<p>皆が集う場所にはイベント広場も大切と考える。屋内広場に加え、屋外広場も考慮してほしい。屋台が建屋内では困る。</p>	<p>基本方針 P104 に準備組合の開発コンセプトをお示しておりますが、その中でも、「鷺沼の新しい顔として駅・生活機能・地域をつなぐ広場・交流機能を目指します」とし、多機能が融合する空間を設えることで、多世代が訪れ、交流し、多様なコミュニティ形成に寄与する空間を目指すことを掲げており、こういった開発コンセプトが実現されるよう、誘導を図ってまいります。</p>	B
84	<p>駅前で宮前区の歴史、文化、伝統的行事などの紹介をするために、通路など、多くの人の憩いの空間を考えていただきたい。</p>		B
85	<p>市内における他区の役所関連をみると駅前というのはほぼない。たいていは少し離れており建物も独立している。仮に複合ビルの一角として入るとなれば他の区でも行っているはず。それをしていない理由は？</p>	<p>市内の事例として、高津区の高津市民館、中原区の中原図書館、川崎区の中川図書館は駅前の複合ビルに整備されております。</p> <p>また、川崎区役所は駅からの距離はありますが、複合ビル内に整備されております。</p> <p>なお、移転・整備される施設は、駅構内に整備されるものではありません。</p>	D
86	<p>皆さんの知らないような場所に沼が多くあったと聞いている。鷺沼周辺の方達は自分の町が便利になれば良いと考えている。</p> <p>区役所、市民館は駅から少し離れた方が便利だと思う。県下全体を調べても駅構内にあるのはおかしいと思う。</p>		D
87	<p>商業施設・オフィスの設置・東急電鉄との連携強化</p> <p>人が集まるような公共施設の拡充は重要だが、同時に民間の投資も促すように働きかけをお願いしたい。東急電鉄はもちろんのこと、各デベロッパーとの協業により鷺沼に人が集まる仕組みづくりをしていただきたい。交通結節点であり、住民のためのスーパーやレストラン、銀行、託児所、診療所などの民間商業施設の拡充や、マンション建設による駅前の人口増はもちろん重要な課題だが、同時にオフィスなどの設置も検討していただきたい。現在東急電鉄はサテライトオフィスの整備や、二子玉川へのオフィスの設置などを行っているが、宮前区内にもサテライトオフィスや個人事業主向けのコワーキングスペースなどを誘致することで平日昼間人口の増加の働きかけを行うことも、自治体の重要な使命と感じる。昼間人口の増加は、駅前の飲食店の経営効率化にもつながり、それが鷺沼駅周辺の活性化にもつながるからである。朝ラッシュのピーク輸送力に限界がある田園都市線を抱え、混雑緩和が喫緊の課題となっている東急電鉄にとっても、鷺沼などの東京からやや離れた郊外急行停車駅の駅前の一等地に事業所を設置することはまたとないチャンスである。法</p>	<p>民間事業者による再開発事業との連携により、民間施設と行政施設の相乗効果による機能・空間の実現を図り、文化・交流拠点の形成と新たなコミュニティの創出を図ってまいります。</p> <p>また、サテライトオフィスやコワーキングスペースなどの働く場といった御意見につきましては、意見交換会で、「ワーキングスペース」といった提案もいただいた中で、基本方針 P104 の準備組合の開発コンセプトとして「駅前で働く」といったキーワードを掲げており、こういった開発コンセプトが実現されるよう、準備組合に働きかけてまいります。</p>	B

No.	意見・質問要旨	本市の考え方	区分
	人税の軽減なども含めて、ハード面、ソフト面で企業の誘致を検討して見ていただきたい。区内の雇用も増えることを期待する。		
88	<p>民間施設との連携による文化・交流拠点の形成と新たなコミュニティの創出のイメージ図、私の夢と全く同じである。</p> <p>その中で業務機能だが、現役世代の方々の都心回帰の流れを止めるため、働く場所構想を早く纏めていただきたい。このラストチャンスを生かし、宮前区らしい鷺沼らしい再開発を行っていただき、日々の生活に充実と満足感のある良いまちになればと願っている。</p>		B
89	その強く柔軟なインフラを活用して、フリーWi-Fi など周辺経済が活性化できるようなオープン性を確保してほしい。	本市では、市民及び来訪者の皆様の利便性向上や安全・安心な暮らし、地域の活性化等につなげることを目的として、市内に無料でインターネットに接続できる Wi-Fi スポット「かわさき Wi-Fi」の整備を進めておりますので、準備組合に対して働きかけてまいります。	B
90	現在の宮前区役所の広いスペースで、子供達がダンスなどの練習をしているが、あのような、学齢期の子供達が安全にのびのびと過ごせる場を鷺沼の再開発の中でも確保してほしい。これは区役所が移転してもしなくても、鷺沼に子供の居場所が少ないため、必要と考える。	今回の取組により、商業施設や広場機能等の民間施設と市民館・図書館等の行政施設の相乗効果により、多世代が訪れ、多様なコミュニティを創出する新たな文化・交流拠点を形成していきたいと考えており、御意見の趣旨を踏まえて、今後検討していきたいと考えております。	C
91	<p>基本方針案では、鷺沼駅周辺に建設される区役所、市民館、図書館については「現庁舎(現施設)と同程度の施設規模を基本」にすると述べるにとどまり、建物の具体的位置、形状、面積、階数等が全く表示されず、ブラックボックスとなっている。加えて、権利の形態も区分所有権になると思われるが、そのことの記載が全くない。</p> <p>豊島区の区役所等が民間マンションと結合して建設されたと聞いて見学した人から聞いたところ、住宅部分の居住者から区役所 1 階にある多目的ホール(道路に面した部分が開放して使用できるよう設計されている。その使用につき、これを制限する意見が出されたとのことである。</p> <p>区分所有建物である以上、鷺沼においても住宅部分の居住者から庁舎等の使用についてさまざまな意見が出されることは十分考えられ、区民祭や福祉フェスティバルなどの行事のように早朝から大きな音や臭い(飲食物を扱うバザーや小動物を子供のために展示する行事もある。)、大勢の人の往来がある場合、これらの行事が今までと「同程度」に行える保証はなく、かなり制約を受ける危険性が大であると考えられる。</p> <p>そうであれば、区役所等を民間マンションと同じ建物の建物に置くことは今までの区民相互の交流を深める行事の維持、推進にとっても好ましくないで、区役所等は現往地に残すべきである。</p> <p>(同趣旨他 12 件)</p>	<p>権利形態等については、今後検討することとなりますが、民間ビルと合築する他の公共機能事例等を参考にし、権利関係が複雑化しない仕組みを検討し、準備組合と協議・調整を行ってまいります。</p> <p>また、ご指摘の内容につきましては、今後、市民の皆様の御意見を伺いながら検討を行う施設の基本計画を策定する際の参考とさせていただきます。</p>	D

(7) 今後の取組に関すること

No.	意見・質問要旨	本市の考え方	区分
92	<p>建物の詳細図が未だ示されず、区の 3 施設の上に商業施設や住宅を含む、超高層複合ビルで、複合ビルが持つ混乱などの危険性がある。</p> <p>また老朽化した場合、独自の判断では、修繕、建て替えもできず、時代のニーズにあった改築が不可能である。</p> <p>現宮前区役所 3 施設では、区民のニーズにあった、また時代に合った自由な建て替えもでき、来るべき I T 時代の変化にも対応できる。</p> <p>(同趣旨他 159 件)</p>	<p>権利形態等については、今後検討することとなりますが、民間ビルと合築する他の公共機能事例等を参考にし、権利関係が複雑化しない仕組みを検討し、準備組合と協議・調整を行ってまいります。</p> <p>また、ご指摘の内容につきましては、今後、市民の皆様の御意見を伺いながら検討を行う施設の基本計画を策定する際の参考とさせていただきます。</p>	D
93	<p>駅前に区の 3 施設の移転には反対。ビルはやがて老朽化する。その時、商業施設、住居の人々との意見があわなければ建てなおすことができない。わざわざそんなめんどろで価値が下がるところに移転する必要はない。</p>		D
94	<p>宮前平の土地は自前。いかようにも好きなように市及び区民は建てなおすことができる。鷺沼のビルに入ってしまったら、自前の土地を失い、好きなように好きな時に建てなおすことができない。それを認識しているのか。</p>		D
95	<p>鷺沼駅周辺に仮に区役所等建設されたとしても、土地は業者(東急建設?)のもので、川崎市は区分所有者の立場になり、未来永劫管理費を払い続け何十年か先契約満了となった時、大きな問題が起きるのは確実である。</p> <p>現区役所の土地は川崎市の所有であり自由が効く。</p> <p>(同趣旨他 9 件)</p>		D
96	<p>50 年後休止期になっても他の所有者と合意できなければ、変更、立替えもできない。東急がつぶれて外国資本に渡る考えられる役所は完全自立自立運営であるべき。自前の土地、建物、区役所の基本である。</p>		D
97	<p>なぜ、現区役所は川崎市の土地に建っているのに、わざわざ鷺沼の川崎市の土地でないところに区役所を持っていくのか。このような発想が出てくることについて全く解せない。川崎市の土地でないところに区役所を置いていて、もし地主とうまく行かなくなったら宮前平に戻ってくるのか。やはり、区役所などの基幹の公共機関は川崎市の土地に置くべきだと思う。</p>		D
98	<p>民間企業に乗った行政の建造物は区別するべき。移転反対</p>		D
99	<p>鷺沼駅周辺再編整備に伴う宮前区役所、市民館及び図書館の鷺沼駅前移転には経済性の観点から反対である。将来、建て替えの必要がでてきた時、自前の土地さえあればその時代に合った機能や規模を備えた区役所、市民館及び図書館を建てることができる。</p>		D

No.	意見・質問要旨	本市の考え方	区分
	<p>一旦、民間のディベロッパーの建てたビルに入ってしまったらそうはいかない。古くなったり行政の果たすべき機能に変化が起きたりして建て替えるの必要性が出てきた場合、その時代のニーズに合ったものに自由に建て替えることができない。(マンション等の建て替えについて全国でいろいろ問題が起きていることは周知のこと) 民間ディベロッパーに利用されて大切な区民の税金を将来に禍根を残すような高い買い物をしてほしくない。区役所、市民館及び図書館の移転となれば買い取り価格も高額になるだろうし、その後の維持管理費も膨大になり将来に亘り重い負担になることは必定である。そうすると肝心な区民サービスに税金が回らなくなる。これでは本末転倒だ。ここは将来を見据えた賢明な判断が必要と考える。</p>		
100	<p>移転事業は準備から完結まで 10 年に渡る事業と考える。事業推進者の見える体制にしてほしい。少なくとも説明会で質問毎に担当が変わって説明するのは避けるべき。</p> <p>資料を読むと宮前区の将来をと考えられていると解するが、言葉が散らばっていて読み込むのが大変だ。一人の方が記述されてはどうかと考える。</p>	<p>これまで、基本方針の策定に向けては、庁内に副市長を座長とする「鷺沼駅周辺再編整備公共機能検討会議」を設置し、市民文化局・まちづくり局・宮前区役所・教育委員会事務局を中心に、各局が連携しながら組織横断的な検討を進めてきました。</p> <p>今後は、基本方針に基づき、概ね 10 年以上にわたり、より具体的な取組を推進していきます。推進に必要な組織体制等については、進捗状況等に応じて、順次検討していくこととなりますが、平成 31 (2019) 年度については、上記検討会議を改組し、改めて副市長を座長とする「宮前区のまちづくりにおける公共機能検討会議」を設置し、<u>宮前区全体の機能向上、持続可能なまちづくりに向けた取組について、引き続き関係局が連携しながら検討・推進していくこととして、「第 6 章 4」に追記しました。</u></p>	A
101	<p>宮前区役所、市民文化局、まちづくり局、教育委員会等担当が多岐にわたり、事業を推進していくためには、これらを横断的に企画調整できる専任部署と職員の配置が必須である。10 年以上の長期の事業となるため、これまでのように縦割組織で、人事異動が 2 年おきぐらいに頻繁に行われるようでは、市民・準備組合との信頼関係を築くことは難しく、スピード感に乏しい。組織や人事面の強化が事業推進には不可欠である。</p>		A

(8) その他基本方針全般に関すること (2,767件)

No.	意見・質問要旨	本市の考え方	区分
1	<p>区民会議からも提案されている”住むまちから暮らすまち”に全く同意見である。今のまままちが維持して行けば高齢化人口減の減少が目に見える時になって対応しても間に合わない。</p> <p>宮前区全体が衰退するまちになる危惧があるのでまちの改革は必須である。今回の再開発をチャンスに暮らすまちにしたい。従って市の方針には大賛成である。</p>	<p>将来的な少子高齢化の一層の進行を見据えたコンパクトなまちづくりを推進するため、今後も引き続き、市民の皆様の御意見を伺いながら、基本方針でお示しした方向性等の実現に向けた取組を推進してまいります。</p>	B
2	<p>基本方針の白紙撤回、区民の合意に基づく宮前区の街づくりの再構築を。</p> <p>平成 27 (2015) 年 6 月の東急電鉄との包括連携協定が先にありきで出発している。民間は営利事業である。福田市長が先の市長選で、鷺沼駅等で、再開発を公約に打ち上げたのが原点だ。市政の民間企業向きの姿勢によるもの。</p>	<p>鷺沼駅前再開発による鷺沼駅前バスターミナルの拡充などの効果を活用し、宮前区全体の将来を見据えた取組を推進するため、関係団体等への説明・ヒアリングやまちづくりフォーラム、意見交換会、区民意見アンケートなど、多角的な区民意見の把握に取り組み、「鷺沼駅前に望まれる公共機能は何か」ということを検討してまいりました。</p>	D
3	<p>2月9日の市民説明会に参加したが、市の担当者も基本方針(案)が現時点では区民のみなさんの多数に理解され合意が形成されているとは考えていないとの説明だった。</p> <p>それなら基本方針は一度撤回して再検討を行い、区民の多数に理解・合意形成されるものにして再度提案するべきと考える。</p> <p>(同趣旨他 407件)</p>	<p>本市といたしましては、今回の再開発を、より良い宮前区のミライにつながる契機と捉え、鷺沼駅周辺再編整備に伴う公共機能の方向性及び基本的な考え方を取りまとめました。</p> <p>今後も引き続き、市民の皆様の御意見を伺いながら、基本方針でお示しした方向性等の実現に向けた取組を推進してまいります。</p>	D
4	<p>後々の問題発生を回避するための最良の方法として、3 施設移転もだが、基本案そのものを撤回すること。</p>		D
5	<p>基本方針を白紙撤回してほしい。区民合意の宮前区の街づくりにカジ取りしてほしい。</p>		D
6	<p>反対。宮前区がさびれる(建物の利用はどうするのか)新聞で移転の発表を聞いた。絶対反対</p>		D
7	<p>現区役所等を一緒に移動するという考えは、以前からの議論や信頼関係を無視すること。雨漏りなどが「発生」したとなれば、直ちに修理することだ。</p> <p>公共機関の主な任務は、わたくしたちが「生まれてから墓場まで」の内容であり、お互いの努力や協力が必要だ。</p>		D
8	<p>移転反対だ。今回は 50 年に 1 度のチャンスだと言っているが、まったく意味不明。地域エゴではなく、区全体の大局観から判断してほしい。</p>		D
9	<p>市は移転しなければならない理由はないと言うのであれば、移転する必要はない。</p> <p>(同趣旨他 1 件)</p>		D
10	<p>基本方針(案)は宮前区の実状を知っている方達が考えた(案)なのか。</p>		D

No.	意見・質問要旨	本市の考え方	区分
11	ポーズのアンケート、区民との対話、全く光ありきの方針推進、バカにしている。		D
12	区民の心を分断させ、宮前区の光を闇にすることは反対。		D
13	移転問題反対 (同趣旨他 3 件)		D
14	昨年 11 月の第 2 回まちづくりフォーラムの発表は鷺沼再開発に便乗して区役所を移転するという内容だった。市民多数からの要望があって決定したことではないのにどうして移転しなければならないのか。	鷺沼・宮前平駅周辺地区は、本市総合計画において「地域生活拠点」の一つとして位置づけられており、「鷺沼駅周辺を中心に商業、都市型住宅、文化・交流など多様な都市機能の集積及び交通結節機能の強化に向けた取組を推進」することとしています。	D
15	アクセスの点、鷺沼に区役所が移れば宮前平、宮崎地区の人たちは不便になる。お互い様ではないか。	今回の取組では、民間事業者による再開発により鷺沼駅前のバスターミナルが広がるなど、交通結節点としての機能の向上が見込まれることなどから、この機会を捉えて、鷺沼駅前に望まれる公共機能は何か、ということを検討してまいりました。その中では、区役所・市民館・図書館という区民が利用する施設の移転可能性を含めて検討していくため、区民の生活実感としてのニーズや課題認識を重視し、多角的な意見把握に取り組んできました。	D
16	サギヌマ駅前には狭いのになぜ 3 施設を持って行くのか サギヌマに何故公共施設を集中させるのか？他の地域はどうなっても良いと言うのか非常に疑問に思う。区民の知らないところで大金が動いているのか噂が出はじめている	今後の少子高齢社会を見据え、駅周辺に公共機能を集約していく、コンパクトなまちづくりが重要と考えています。	D
17	区役所、市民館、図書館等を今ある場所から簡単に移転することはおかしい。パン屋さんを移すのとは違う。変だとは思わないか。	宮前区については、坂道の多い地域性から、以前から現在の区役所は不便との声をいただいています。今後、区役所は福祉や介護などの相談機能が一層重要になってくる中で、障がい者、高齢者、子育て家族、外国人など多様な方がアクセスしやすい立地にあることは重要です。	D
18	移転をしなければならない理由が分からない。区役所、市民館、図書館を鷺沼へ移転したらどこにメリットがあるのか。 (同趣旨他 5 件)	また、再開発により建物・設備が更新されることにより、現区役所等施設では、構造的に対応が難しいバリアフリー対応や、耐震性・機能性の更なる向上が図られることとなります。市民館・図書館については、民間事業者との連携による相乗効果が期待でき、区民の利便性や効用を一層高めるチャンスとなります。	D
19	再開発自体には賛成である。説明の上でメリットが感じられずデメリットしか見受けられなかった。誰がどう聞いても理解できるように移転の必要性を明確にすべき。	さらに、駅周辺に公共機能を集約し、需要が高まることで、バスネットワークもより充実しやすくなると考えています。	D
20	移転しなければならない理由を区民にもっと説明するべき。坂道を歩くのが大変では理由にならない。 (同趣旨他 1 件)	本市といたしましては、意見交換会等で寄せられた様々な市民意見や基礎調査結果等の諸条件を総合的に整理・検討し、この機会に、区役所・市民館・図書館を移転した方が効果的であるという判断を含め、鷺沼駅周辺再編整備に伴う公共機能の方向性及び基本的な考え方をまとめました。	D
21	「坂道がキツイ」「バリアフリーが十分でない」…この程度のことで移転の理由になると考えるほうがおかしい。移転する必要は全くありません。これは「自分にとって」の事。	民間事業者による再開発によって交通結節機能などが向上する鷺沼駅周辺に、宮前区役所等	D
22	移転に反対。現在の場所で何等問題なし。移転の理由が軟弱であり、正当な理由に欠ける。移転開示が情報を区民に知らせるのが大変遅く、移転を前提とする説明文であった。		D
23	基本方針案は、「とにかく移転」の結論の下に捏ね上げられたもので、なぜ 3 施設を鷺沼駅前再開発に伴って移転する必要があるのか/それが区		D

(8) その他基本方針全般に関すること

No.	意見・質問要旨	本市の考え方	区分
	<p>民全体に今以上のメリットをもたらすものであるか—この基本的な疑問について、答えることが出来ていない。区民に説明できない方針で、移転を考えること自体がそもそも誤りであり、本計画に無理がある。</p>	<p>を移転・整備し、宮前区全体の活性化を促す「核」としての地域生活拠点の形成を図ります。</p> <p>なお、施設整備費用等につきましては、区役所等は将来にわたって市民生活に必要な施設であり、維持・更新が必要であることから、時期の前後があっても所要のコストがかかるものと考えています。</p>	
24	<p>区役所をはじめ 3 施設を民間の超高層雑居ビルに移すことが現在地に在るよりも、なぜ良いのかを明示願いたい。私は市当局の職務遂行能力をハッキリと疑っている。</p>		D
25	<p>2/9～10 の説明会では 3 会場とも主題は「移転は是非か」で、しかも反対の方が圧倒的に多数だと思う。なぜ区役所・市民館・図書館を移転「しなければならない」のか理由が定かではないのに、移転することだけは決めているのは不思議なことだ。防災上、誰がどう考えてもこのままのほうがよい訳で、「坂道がきつい」だの「バリアフリーでない」などと「小言」を並べ立て強引・一方的に移そうというのは愚挙だと思う。</p>		D
26	<p>3 施設移転などとんでもないことだ。強く反対する。市当局は、移転を強行するよりも前に区民になぜ移転先が現地より良いのかを論理的に説明すべきだった。</p> <p>私たちはフォーラム（11/11）において次の資料を配布、市当局にも手渡した。</p> <p>○移るな、キケン！！—これでも市当局は「区役所移転」を強行するというのか！？これは一体誰のための移転か？</p> <p>○比較表 A 群、平常時：何でもないとき（現在地 v s 移転予定地） B 群、非常時：大震災などの起きたとき（同上）</p> <p>市当局は幸い、頭数は揃っているから、この位分かりやすい資料を準備の上、移転するとなると、どのようなメリットがあるのかを説明するだけの技量と誠実さを発揮していただくことを願う。</p>	<p>御提供いただいた資料では、平常時と非常時に分けて現在地と鷺沼駅前移転予定地を比較されていますが、鷺沼駅前移転予定地については基本情報が不明だとして、比較評価を放棄されています。</p> <p>一方、「比較できない」と整理しながら、結論として「非常時に司令塔として機能しない」と示されています。何を根拠にした結論なのか不明です。</p> <p>本市では、必要に応じて専門家の知見を活用し、現時点で整理している情報に基づき、現在の区役所等施設の継続利用と移転の比較を行ったところであり、その内容は基本方針でお示ししたとおりです。</p>	E
27	<p>鷺沼移転は、現在の区役所と比べて必ずしも利便性が良いとは言えない。</p> <p>鷺沼移転の理由として、利便性を挙げているが、尻手黒川線沿い及びそこから以北の住民は、駅に近い住民を除き、却って利便性は悪くなる。</p> <p>1. 尻手黒川線の平均高さ 30m として、そこから鷺沼駅は 68m(徒歩不可能)、現区役所は 57m(徒歩可能)である。</p> <p>2. 宮崎台、宮前平まで一山や二山を超え何回も坂を下ったり登ったりして鷺沼まで電車で行けても、帰りはその逆の工程も含めると、却って相当な負担になる。必ずしもバスを利用できるとは限らない。すなわち、重大な不公平が生じる。地理的に考察しても 60-70%の住民は利便性が悪くなる。</p> <p>3. 宮崎台から現区役所に至る広範な地域が存在している。</p>	<p>鷺沼駅前の再開発区域では、駅にアクセスするバス路線は現状の本数に加え、交通広場の拡充により、拡充に併せた路線バスネットワークの充実が図られるなど、現在の区役所等が立地する場所に比べてアクセス性に関して優位性が見られます。</p> <p>本市といたしましては、これらの状況や意見交換会等で寄せられた様々な市民意見や基礎調査結果等の諸条件及び宮前区の将来展望を総合的に整理・検討し、鷺沼駅周辺再編整備に伴う公共機能の方向性及び基本的な考え方をまとめました。</p> <p>今回の鷺沼駅前再開発では、路線バスネットワークの充実により、宮前区全体の発展に資する鷺沼駅へのアクセス性向上効果等を活かし、将来を見据えたコンパクトなまちづくりを推進するため、区役所・市民館・図書館を一体的に</p>	D

No.	意見・質問要旨	本市の考え方	区分
	<p>4. 現区役所は、横浜市の境界まで 600m と辺りな鷺沼と比べて地理的、時間的、金銭的にも中心である。</p> <p>5. 尻手黒川線以北の住民は、車で鷺沼に移動するには、尻手黒川線の土橋交差点か、宮前平駅から土橋方面へ約 200m先の交差点を利用する 2 ルートしかないのである。混雑すれば機能しなくなるのは容易に粗断できる。</p> <p>6. 産経新聞に、市長まで「ヘソ」という言葉を使っているが、ワークショップのメンバーと同じキヤッチを使うとは、繋がっていると判断した。鷺沼は「ヘソ」にはなり得ない。</p>	<p>移転・整備し、宮前区の核となる地域生活拠点の形成を図ってまいります。</p>	
28	<p>五所塚は、多摩区役所、高津区役所へのアクセスが便利である。宮前区役所のみでなく、高津区、多摩区でも用途が済ませる機能が必要との声が多い。</p>	<p>これまで本市では、転入・転出と福祉サービスなど、手続の種類によって区役所と支所・出張所を使い分けることなく、1か所で必要な全ての窓口サービスを提供できるようにするとともに、限られた財源・資源を最大限に活用していくため、出張所の届出窓口を区役所へ集約するなど、様々な取組を推進してきました。</p>	C
29	<p>7 区毎の区役所機能を刷新し、市民は何処の区役所においても同じ行政サービスを受けられる体制を構築する。</p> <p>これは、現在の ICT とマイナンバーカードを活用すれば難しいことではない。</p> <p>市民の利便性を考えれば、自分の生活圏の区役所、外出先の区役所でサービスが受けられる体制、人気の区役所へは、人員を集約するなど人事異動を行い、効率的な人員配置を柔軟に進めること。</p>	<p>少子高齢化や核家族化などにより市民生活が多様化する中で、行政サービスも専門化、複雑化し、それぞれの窓口や相談体制が連携して取組を推進しているところですが、申請や届出の中には ICT の活用などにより、利便性が高まる可能性もあると認識していますので、更なる区役所サービスの向上に向けて検討してまいりたいと考えています。</p>	C
30	<p>区役所に行かなくても済むネット社会の確立、区役所や図書館に行かなくても必要なことが済ませられるシステムの導入を目指すことで、移転というコスト増大を避けられるのではないかと？</p>		C
31	<p>なぜ、区役所の移転を前提とした説明会をするのか。もうすでに移転は決まっているというのはおかしい。このままの移転には絶対反対。許せない。川崎市や川崎市長は鷺沼の住民や民間業者と何か怪しい関係にあるのではないかと疑う。もう一度、白紙に戻して、宮前区民から広く意見を聞き区役所の移転の可否を考えるべきではないか。</p>	<p>鷺沼・宮前平駅周辺地区は、本市総合計画において「地域生活拠点」の一つとして位置づけられており、「鷺沼駅周辺を中心に商業、都市型住宅、文化・交流など多様な都市機能の集積及び交通結節機能の強化に向けた取組を推進」することとしています。</p> <p>今回の取組では、民間事業者による再開発により鷺沼駅前前のバスターミナルが広がるなど、交通結節点としての機能の向上が見込まれることなどから、この機会を捉えて、鷺沼駅前に望まれる公共機能は何か、ということを検討してまいりました。その中では、区役所・市民館・図書館という区民が利用する施設の移転可能性を含めて検討していくため、区民の生活実感としてのニーズや課題認識を重視し、多角的な意見把握に取り組んできました。</p>	D
32	<p>最近初めて移転計画を知った。計画内容を見ると具体的に何も決まっていない空疎な印象を感じた。鷺沼の地権者ありきで決めているのか。私自身は移転したら大変不便になる。</p>	<p>本市といたしましては、意見交換会等で寄せられた様々な市民意見や基礎調査結果等の諸条件を総合的に整理・検討し、鷺沼駅周辺再編整備に伴う公共機能の方向性及び基本的な考え方をまとめました。</p>	D
33	<p>今回の基本方針は「移転ありき」「鷺沼再開発への協力ありき」への「こじつけ方針」と言われても反論できまい。</p> <p>なお、横浜市に隣接し、たまプラーザと続く急行停車駅である鷺沼駅前への公共施設移転は、横浜市民の利便性向上に大いに資するものだとはいわれかねない。</p> <p>計画凍結、再検討が必要だ。地方自治、地方行政への不信感を招く。</p>		D

(8) その他基本方針全般に関すること

No.	意見・質問要旨	本市の考え方	区分
34	<p>今回の資料から感じるのは、「何を以って現時点で決断したのか」という疑問のみ。「結論ありきだった」という背景・一文を資料に加えてはどうか。もう少し緻密な議論と明確な素材で議論を進めて欲しかったと思う。一市民の感覚で、宮前平駅からきつい坂を上って暗い役所に行くよりも、鷺沼駅の駅前にあった方が利便性も高いし、行ったついでに買物や飲食も可能になるので全然いい。むしろ、何で鷺沼駅前に最初から置いてくれなかったのかと思うくらいだ。</p> <p>最後の一文だけパブリックコメントに反映するような加工はやめてほしい。</p>	<p>準備組合が進めている再開発の検討スケジュールに合わせて、市としての考えを計画に着実に反映させていくため、平成 30 年度内に「基本方針」を策定し、引き続き、市民の皆様の御意見を伺いながら、基本方針でお示しした方向性等の実現に向けた取組を推進していきたいと考えています。</p>	D
35	<p>一見、鷺沼が妥当かにみえて、移転か・現在地で建て替えかだけをみても、そう簡単に決められそうにない。誰か鷺沼へとリードする仕掛けをしているのではないか？東急と宮前区を抱き込んだ開発ディベロッパーか？このずさんな計画、何の設計図も見せずに建てることだけは決めようとする！跡地をどうするのかのプランもない！決めること自体を最優先し、あとは、「もう、建てることは決まっているのだから」と言いたいのか？</p>		D
36	<p>鷺沼駅再開発するにあたって、会議室を作るとの話だったのが話が大きく変わって来た。どうしてこうなったのか調べる必要がある。</p>		D
37	<p>区民の事を考えてくれる市役所が本当に区民の事を考えてくれているのか、聞く話ではほんの一部の人達だけで決めているような話を良く聞く。</p>		D
38	<p>全てを明らかにして区民や市民に問うべき。</p>		D
39	<p>福田市長も犬蔵に住んでいて宮前区民の事は十分にわかっていると思うが再考をお願いしたい。</p>		D
40	<p>宮前区役所、宮前市民館及び宮前図書館の鷺沼駅前の移転計画が一年ちょっと前に突如発表され、その検討期間が一年ほどに区切れ、当初の説明から結論ありきのニュアンスで話が進められたことは、区民及び地元民の意向を無視していると思う。</p>		D
41	<p>2月10日に区役所で行われた説明会で、市の職員が「業者にも都合があるので…」と発言した。市の職員は区民・市民より業者を優先することが分かった。</p> <p>鷺沼駅の周辺整備をするのは結構だが、区役所を移転することは論外。一度リセットし、第三者委員会等を設け、時間を掛けて検討するべき。</p>		D
42	<p>「民間業者」という言い方に違和感がある。本プロジェクトの元々の主導者である東急電鉄が浮き彫りになり、不愉快だ。同社は沿線各地域の再開発による企業成長を企図しており、本プロジェクトのように安定したテナント収入を得られる公</p>		D

No.	意見・質問要旨	本市の考え方	区分
	共機関の誘致は至上命題であった。但し、顧客の利便性よりも収入増加を志向しすぎる一企業が求める全面移転までを、宮前区が容認することは流石に踏みとどまるべきだ。		
43	3 施設を移転し、鷺沼駅前の超高層複合ビルに入れることについて、果たしてどれだけの検討がなされたのか、その内容を知りたい。		D
44	2 月 4 日の決定資料等すべて眼を通した。全体として、鷺沼駅前に宮前区役所、市民館、図書館の移転ありきで資料が作られていると思う。		D
45	市民の声を大切にすべきだ。一部の人で決めて欲しくない。		D
46	区役所、市民館、図書館の鷺沼移転に反対する。 宮前平の文教地区としての環境と景観が、鷺沼地区の民間業者、一部地権者の思惑によって、移転後の跡地利用の青写真も無いままにただ奪い去られる、という点に激しい憤りを感じている。 2 月 10 日（日）、宮前区役所大会議室に於ける説明会にも参加した。「ワークショップのメンバー構成に偏りがあるのでは？」という会場からの指摘に、区担当官が色をなして反論した場面があったが、会場の様子を見れば不公平は一目瞭然。賛成派が前方の座席に陣取り、区側の司会者は挙手を続ける質問者の指名に際して反対派の論客を避けている様子が私の素人目にも明らかで、区側の姿勢が非常に不誠実に感じられた。	今回の取組では、民間事業者による再開発により鷺沼駅前のバスターミナルが広がるなど、交通結節点としての機能の向上が見込まれることなどから、この機会を捉えて、鷺沼駅前に望まれる公共機能は何か、ということを検討してまいりました。 本市といたしましては、意見交換会等で寄せられた様々な市民意見や基礎調査結果等の諸条件を総合的に整理・検討し、鷺沼駅周辺再編整備に伴う公共機能の方向性及び基本的な考え方をとりまとめたものです。 また、意見交換会のメンバーは、定員 50 名程度のところ 109 名の方にお申込みいただき、年齢や地域バランス、男女比等を考慮し、くじ引きにて抽選し、参加者を決定いたしました。 なお、説明会の質問者の指名については、多くの方の御意見を伺うため、他の会場も含め、一度発言された方の指名は控えさせていただきました。	D
47	今回の鷺沼再開発プロジェクトに関する市の方策には、当初より、結論ありきと感じていたが、結果を見て、区民の意見を考慮する意志など 100% なかったとわかった。ワークショップやフォーラムなどは、いかにも区民の意見を考慮する姿勢を持っていると思わせる演出であり、仲間とかなりの時間を費やして、まじめに意見集約に努力してきたのが、馬鹿にされた気がしている。	今回の検討では、区役所・市民館・図書館という区民が利用する施設の移転可能性も含めて検討するため、区民の生活実感に基づくニーズや課題の把握を重視し、より多くの区民の参加機会を確保し、意見交換会やフォーラムをはじめ、多角的な取組により区民意見の把握を進めてきました。当初から、区役所・市民館・図書館の移転可能性も含めて検討してまいりましたが、結論ありきであったことはありません。	E
48	2/5 に TV、新聞にて「役所移転」前提のニュース、記事があった。このような「ありき」の手法はいかがなものか？区民を考えての行動とは思えない。	本市といたしましては、意見交換会等で寄せられた様々な市民意見や基礎調査結果等の諸条件、宮前区の将来展望等を総合的に整理・検討し、鷺沼駅周辺再編整備に伴う公共機能の方向性及び基本的な考え方をとりまとめたものです。今後も引き続き市民の皆様様に御意見をいただきながら、真摯に取り組んでまいります。	E
49	移転ありきで考えず真面目に考えてほしい。ほんとうにおかしいと思う。		E
50	3 施設鷺沼移転の案件は元々当初から「政治案件」であって、結局は市当局をも押し切って、市長の独断で 3 施設移転を基本案に据えた。		E

(8) その他基本方針全般に関すること

No.	意見・質問要旨	本市の考え方	区分
51	トップダウンで基本方針はすすめられたのではないか。市長選で市長が駅頭で話した公約をやっているのではないか。		E
52	多様な市民意見という表現からは移転ありきとしての立場からの曖昧な感じしか受け取れない。		E
53	川崎市長の2月4日のさぎぬまプロジェクト(案)発表の記者会見の動画を見て驚いた。記者の「反対の声が多ければ白紙に戻して検討し直すか?」という質問に「民間の計画が既に進行しているので、早めの対応が必要」「総合的な判断を進める」と答えています。結論ありきの態度で、区民・市民の声に寄り添わない発言である。認められない!	<p>今回お示しした基本方針(案)は、本市として、多くの区民との対話や基礎調査結果等の諸条件を踏まえた総合的な整理・検討の結果としての(案)であることから、基本的には方向性に沿って進めていきたいという考えをお伝えしたものです。</p> <p>しかしながら、市民説明会やパブリックコメント手続など、(案)をお示ししてから御意見をいただく機会があり、いただいた御意見の内容についてしっかりと受け止め、本市としての考え方について検討、整理いたしました。</p>	E
54	民主的プロセスを経していない。どうやって決まったのか?いつ、どこで、だれが?総合的に判断の言葉は意味ない。客観的な住民投票や区議会での決議などがあつた?跡地の利用も何も考えていない。	<p>今回お示しした基本方針(案)は、本市として、意見交換会等で寄せられた様々な市民意見や基礎調査結果等の諸条件及び宮前区の将来展望を総合的に整理・検討し、鷺沼駅周辺再編整備に伴う公共機能の方向性及び基本的な考え方をとりまとめたものです。パブリックコメント手続での意見募集等を踏まえ、基本方針を策定してまいります。</p> <p>また、川崎市議会におきましても、各定例会での議論に加え、常任委員会である文教委員会及びまちづくり委員会において、所管事務報告や陳情審査の場を通じて、様々な議論がされてきたものと認識しております。</p> <p>なお、基本方針(案)では、現区役所等施設・用地は、市が保有し続けることを基本とすること、また、新たな用途で活用可能となるまでに約10年間の期間を要することから、段階を経ながら、一定の時間をかけて、活用方策を検討することをとしています。</p> <p>検討にあたっては、宮前区全体の将来のまちづくりや現区役所周辺エリアの活性化等の観点から、地域課題や行政需要、地域ニーズを整理し、宮前区全体の魅力や安全安心の暮らしの向上を目指し、効率的かつ効果的な活用ができるよう、平成34(2022)年度を目途に、当施設・用地活用の基本的な考え方を定める「(仮称)宮前区役所等施設・用地の活用に関する基本方針」の策定に向けた取組を進めていきます。</p>	D
55	本日具体的計画が説明されたが、来月には最終決定という。パブリックコメントというが、もう事実上決まっています、コメントはガス抜きではないのか?自治会でも、賛成派が上層部だと、アンケートや反対署名などの意思表示が妨げられている。 向丘地区連合自治会が市議会に出した陳情の審	<p>パブリックコメント手続は、自治基本条例の基本理念に基づき、市民の市政への参加を推進するとともに、行政運営の透明性の向上を図るものであり、政策等を定めるにあたって、その政策等の案や関連する資料を公表して御意見をいただくこととしております。いただいた御意見は真摯に受け止め、本市の考え方について検</p>	E

No.	意見・質問要旨	本市の考え方	区分
	査が不採択とされるなど、利害関係者による建設ありきで進められているのではないか？	<p>話し、その結果について公表します。</p> <p>また、市議会に提出された陳情の審査については、市議会文教委員会において適切に審査されたものと認識しています。</p>	
56	区役所の鷺沼移転について、パブリック・コメント締め切りのぎりぎりだが、これで決まってしまうのか？	<p>本市では、パブリックコメント手続や市民説明会で寄せられた御意見を踏まえ、公共機能の方向性に関する基本的な考え方や今後の取組に一部の御意見を反映し、「鷺沼駅周辺再編整備に伴う公共機能に関する基本方針」を策定します。引き続き、市民の皆様の御意見を伺いながら、基本方針にお示しした方向性等の実現に向けた取組を推進してまいります。</p>	E
57	区役所を仮に移転するにしても、その後区はなにをするのかのグランドデザインを示さなければ、移転は本末転倒になるのでは。ハード面も重要だが、ソフト面で区は何を推進するのか示すべき。	<p>今後の少子高齢社会を見据え、駅周辺に公共機能を集約していく、コンパクトなまちづくりが重要と考えています。本市では、これまでも総合計画に基づき、駅周辺のまちづくりとそれらをつなぐ交通ネットワークの充実に取り組んできました。</p> <p>今後、区役所は福祉や介護などの相談機能が一層重要になってくる中で、障がい者、高齢者、子育て家族、外国人など多様な方がアクセスしやすい立地にあることは重要です。</p> <p>今回の取組では、意見交換会等で寄せられた様々な市民意見や基礎調査結果等の諸条件を総合的に整理・検討し、再開発を、より良い宮前区のミライにつながる契機と捉え、鷺沼駅周辺再編整備に伴う公共機能の方向性及び基本的な考え方を取りまとめました。</p> <p>「基本的な考え方」では、「鷺沼駅の交通結節機能の強化を踏まえた宮前区の核となる地域生活拠点の形成」や、「民間施設等との連携による文化・交流拠点の形成と新たなコミュニティの創出」等を掲げております。</p> <p>今後も引き続き、市民の皆様の御意見を伺いながら、基本方針でお示しした方向性等の実現に向けた取組を推進してまいります。</p>	D
58	<p>区のありかたを左右する重要な案件を、このように短時間で十分な説明もなく上位下達で決定してしまうやり方は到底認められない。区民の意見とその利益よりも民間（再開発準備組合）の利益を重視するやり方は地方自治体としてやってはならないことである。</p> <p>基本方針（案）5ページに平成29年9月に、市全町内会連合会から「区役所・市民館・図書館の一部機能の移転を求める要望書」が提出されたところだが、これはこの事案が市民・区民に公表される前のことであり、一部のボスの考えにすぎない。しかも全町内会連合会として一致して提出したのでないことは、その後の追跡調査でも明らか。</p> <p>（同趣旨他 568 件）</p>	<p>鷺沼・宮前平駅周辺地区は、本市総合計画において「地域生活拠点」の一つとして位置づけられており、「鷺沼駅周辺を中心に商業、都市型住宅、文化・交流など多様な都市機能の集積及び交通結節機能の強化に向けた取組を推進」することとしています。</p> <p>今回の取組では、民間事業者による再開発により鷺沼駅前のバスターミナルが広がるなど、交通結節点としての機能の向上が見込まれることなどから、この機会を捉えて、鷺沼駅前に望まれる公共機能は何か、ということを検討してまいりました。その中では、区役所・市民館・図書館という区民が利用する施設の移転可能性を含めて検討していくため、区民の生活実感としてのニーズや課題認識を重視し、多角的な意見把握に取り組んできました。</p>	D

(8) その他基本方針全般に関すること

No.	意見・質問要旨	本市の考え方	区分
		<p>本市といたしましては、意見交換会等で寄せられた様々な市民意見や基礎調査結果等の諸条件を総合的に整理・検討し、鷺沼駅周辺再編整備に伴う公共機能の方向性及び基本的な考え方をまとめました。</p> <p>準備組合が進めている再開発の検討スケジュールを踏まえ、市としての考えを計画に着実に反映させていくため、平成 30 年度内に「基本方針」を策定し、引き続き、市民の皆様の御意見を伺いながら、基本方針（案）でお示した方向性等の実現に向けた取組を推進していきます。</p> <p>なお、平成 29（2017）年 9 月、川崎市全町内会連合会から、宮前区役所・市民館・図書館の一部機能の移転を求める要望書が提出されました。これは、宮前区全町内会連合会での決議を踏まえて提出されたものです。</p> <p>正式な手続きを踏まえて提出されたものであり、本市としては真摯に受け止め、取組を進めてきたところです。</p>	
59	<p>鷺沼駅周辺再編整備については、民間事業者と同意者がお互いの協力や努力により、どんなに立派に整備されようとも、その内容には関係はしない。それは、あくまでも個人の「資金や財産や努力」によって行うものであるからである。しかし、これには公共施設（区役所、市民館、図書館など）を入れ、そのために公金（税金）を支出することになると、これには関係をもちたい。それは、現在の区役所等を設置する段階では、相当の期間、多くの市民や団体等の「民主的な議論」を経てきた経緯を尊重し信頼するからである。</p>	<p>今回の検討では、区役所・市民館・図書館という区民が利用する施設の移転可能性を含めて検討するため、区民の生活実感に基づくニーズや課題の把握を重視し、限られた期間ではありましたが、より多くの区民の参加機会を確保し、意見交換会やフォーラムをはじめ、多角的な取組により区民意見の把握を進めてきました。</p> <p>それぞれの取組内容は随時ホームページ等で公表するとともに、参加者の御意見を踏まえ、中間報告フォーラムの追加開催、説明資料の作成などに取り組んできたところです。</p>	E
60	<p>総合計画で「地域生活拠点」と位置づけるならば、短期に結論を出すのではなく、熟議すべき。この鷺沼駅周辺再編整備に関する取り組みは公正、公平、透明性に欠け、根本から市民自治の反するものである。</p> <p>行政での具体的な取組は 2018 年 2 月頃からである。関係団体、ヒアリング、まちつくリフォーラム、意見交換会、区民意見アンケート等実施したことは評価したい。しかし、各々の取組を区民・市民に出された内容、方法性、結論を知らせてであろうか。公表されただろうか。</p> <p>時系列的にはその積み上げによる論議が必要であったと考えられるが周知されていないことによる弊害も考えられないだろうか。その時々に出された疑問、疑念あるいは反対する意見に誠実に応えてきたのだろうか。理解、納得、合議できるように不信任感をぬぐい、もっと熟議してほしい。</p>	<p>本市といたしましては、意見交換会等で寄せられた様々な市民意見や基礎調査結果等の諸条件、宮前区の将来展望等を総合的に整理・検討し、鷺沼駅周辺再編整備に伴う公共機能の方向性及び基本的な考え方をとりまとめました。</p> <p>今後も引き続き、継続的な説明、区民の皆様との意見交換に取り組み、真摯に取り組んでまいります。</p>	E
61	<p>選挙で選ばれた市長であっても、住民の大半が認知しない案件をトップ交渉で決めることはおかしいと思う。区民から直接アンケートをとるなどの考えはないものか、それらを要求する。</p>		E

No.	意見・質問要旨	本市の考え方	区分
62	<p>①区民に対してプロジェクト/計画の内容が適切に知らされていない。 町内会で、4 回ほどワークショップ/フォーラムの報告会を行ったが、全く理解されていない。さぎぬまプロジェクトニュースは、都合のいいことばかりを取り上げたプロパガンダ誌だ。</p> <p>②区民の意見聴取は十分なされたか? フォーラムという区民にとって重要な機会に、区民としては内容を知らずに意見を出さざるを得ない状況に追いやった。 しかも、フォーラムの運営の仕方は、第一回からデタラメだった。内容を詳しく知らせず、意見を聴取する環境を作らず、行政としてやってはならないことばかりである。</p>		E
63	<p>単に鷺沼駅前整備であれば大半の区民にとっては少事でしかない。区企画課で行ったアンケートと違い、大多数の区民は鷺沼とは関わりなく日常生活をしている。 市当局が 3 施設移転計画を挿入したことで、今や收拾がつかなくなった。3 移転と基本方針案を撤回されることをおすすめる。</p>		E
64	<p>堂々と説得、納得させるリーダーシップが発揮されていない、賛成する方も心配になる。公共施設の利便性はどこにあっても、近い人は便利、遠い人は不便が当たり前。 反対派の人は今まで利便性を謳歌できたのだから説得できるはず。民間主導ではない、行政主導であることを自信持ってほしい</p>	<p>今回実施したパブリックコメント手続では、基本方針（案）に対する反対、疑問、懸念等の御意見を多数いただきました。御意見に対する本市の考え方は本資料でお示ししたとおりですが、御意見の中には、情報の浸透不足による質問等も複数見受けられることから、引き続き、今後の取組の中で、継続的な説明、意見交換に取り組んでまいります。</p>	C
65	<p>ワークショップを見ていたら、どんな町にしたいですかという問いかけだけで、移転した町のメリット、デメリットにはほとんどふれていない。又は、ワークショップの人はあまり地域にかたよっている。第1回のフォーラムで移転反対した人を全員おとしている。市はあきれ程、幼ちなやり方で、区民をなめている。</p>	<p>意見交換会のメンバーは、定員 50 名程度のところ 109 名の方にお申込みいただき、年齢や地域バランス、男女比等を考慮し、くじ引きにて抽選し、参加者を決定いたしました。 また、ワークショップでは、参加者の率直な御意見を引き出していくため、論点や進め方の工夫をしてきたところでございます。</p>	E
66	<p>川崎市は今日の計画について、ポンチ絵しか示さず、わざとかくしているのか。区民に計画を公開しないので、おかしいというより、すじが通らない。あんなポンチ絵では、何もわからない。何階建ても言わないなんておわらいだ。こんなバカな話は他の都市の人に川崎市と市長はバカにされ、区民もバカにされ、はずかしい。</p>	<p>基本方針（案）でお示しした鷺沼駅前地区再開発事業の開発コンセプトや施設計画概要は、意見交換会はまちづくりフォーラムなどで寄せられた様々な市民意見を踏まえ、準備組合から、現時点での再開発のコンセプトや施設ゾーニング等として提示されたものです。 再開発事業に関する計画内容は、再開発準備組合が検討しているところです。今後、環境アセスメントなどの手続きの中で示されるものと考えております。</p>	D
67	<p>鷺沼にするにしろ現在地のまま建て替えるにしろ、どういう建物かの設計図をまず具体的に提示しなくてはならないはずだ。区の将来像が「個性を活かす」「多様なニーズ」などの抽象的な言葉で何がわかる！「〇〇のためにこういう部屋」などのプランを議論のベースに！それが無い本当の理由は何だ？</p>		D

(8) その他基本方針全般に関すること

No.	意見・質問要旨	本市の考え方	区分
68	<p>29年に宮前区全町内会連合会として、全面移転の要望書を市に出している。30年5月29日付け「陳情121号」に向丘地区連合自治会が陳情書を出している。これの陳情を全面載せること。向丘地区連合自治会が全面移転に合意したのならこの陳情書と矛盾するのは明らかだ。 (同趣旨他2件)</p>	<p>平成29(2017)年9月、川崎市全町内会連合会から、宮前区役所・市民館・図書館の一部機能の移転を求める要望書が提出されました。これは、宮前区全町内会連合会での決議を踏まえて提出されたものです。</p> <p>向丘地区連合自治会からは、御指摘のとおり、その後、市議会に対して陳情書が提出され、審査の結果「不採択」とされています。</p> <p>一連の事実はこれらのおりであり、いずれも正式な手続きを踏まえて提出されたものであることから、本市としては真摯に受け止め、取組を進めてきたところです。</p>	D
69	<p>産経新聞より、「アクセスやバリアフリー面など、ずいぶん前から改善を願う声が市民から聞かれていた」。市長は2月に行われた記者会見で、宮前区役所の移転計画についてこう所感を述べ、区の発展に対する綿密な分析を行った上での判断であることを強調。突然、降って湧いた話ではないことを印象付けた。</p> <p>そんな話は聞いていない。降って湧いた話である。</p> <p>庁内も階段の上り下りが必要な構造で、「新設当時からすでに不便さや不満を訴える声が多かった」(市長)としている。そんな声を聞き続けてきた行政側にとって、区役所の利用環境改善は長年の悲願だった。</p> <p>新設当時からそんな話は、深刻な問題でもなんでもない。</p>	<p>区役所等施設へのアクセス性については、古くは昭和57(1982)年の分区当初から課題として指摘されており、近年では、鷺沼駅・宮前平駅・区役所を結ぶシャトルバスの検討や、区役所・市民館・図書館の来庁者数調査、区役所を拠点としたバスターミナルの検討などを行った経過があります。</p> <p>平成30年6月に実施した区民意識アンケートでは、宮前区の生活環境への満足度を尋ねた12項目のうち、「区役所・市民館・図書館への距離」について、「不満である」もしくは「少し不満である」と答えた人は59.3%でした。</p> <p>今回の取組を契機として、準備組合が進めている再開発の検討スケジュールを踏まえて平成30年度内に「基本方針」を策定し、引き続き、市民の皆様の御意見を伺いながら、基本方針でお示した方向性等の実現に向けた取組を推進してまいります。</p>	D
70	<p>基本方針案では、鷺沼駅周辺に建設される区役所、市民館、図書館については「現庁舎(現施設)と同程度の施設規模を基本」にすると述べるのみで、建設される建物の具体的位置、形状、面積、階数等が全く表示されていない。権利の形態も区分所有権になると思われるが、そのことの記載が全くない。</p> <p>川崎市パブリックコメント手続条例によれば、その第5条第2項で「前項の規定により公表する政策等の案は具体的かつ明確な内容のもの」でなければならないと規定している。今回の手続きはこの条例の規定に違反し、不適法であり、基本方針案を取り消し、その手続をやり直すべきものと考えます。 (同趣旨他9件)</p>	<p>基本方針(案)でお示した鷺沼駅前地区再開発事業の開発コンセプトや施設計画概要は、意見交換会はまちづくりフォーラムなどで寄せられた様々な市民意見を踏まえ、準備組合から、現時点での再開発のコンセプトや施設ゾーニング等として提示されたものです。</p> <p>再開発事業に関する計画内容は、再開発準備組合が検討しているところです。今後、環境アセスメントなどの手続きの中で示されるものと考えております。</p> <p>今回の基本方針は、鷺沼駅周辺再編整備に伴う公共機能に関する基本的な考え方等がその内容となっており、区役所、市民館、図書館等に関する具体的な検討は、今後、段階を経ながら検討を深めていくこととなります。引き続き、市民の皆様の御意見を伺いながら、基本方針でお示した方向性等の実現に向けた取組を推進していきたいと考えています。</p>	D
71	<p>区民の知らないところで進めてるのは何か問題があるか。</p>	<p>今回の取組では、学識経験者や少数の市民代表による外部委員会を組織するのではなく、より多くの区民の参加機会を確保し、意見交換会(ワークショップ)による創造的議論、フォー</p>	D

No.	意見・質問要旨	本市の考え方	区分
		<p>ラムによる幅広い参加者との意見交換、アンケート調査による統計的な意識把握、区役所の日常業務等で関わりのある団体等を対象とした説明・ヒアリング、区役所等の施設やインターネットに設置した意見箱など、限られた時間の中で多角的な意見聴取を実施しながら検討を進めてきました。</p> <p>また、専門的な検証を要するものは、外部専門家の知見を活用した基礎調査を実施し、これらの情報を総合的に整理・検討した結果として「基本方針（案）」を取りまとめたものです。</p> <p>今後につきましても、多くの区民の皆様にご参加いただきながら取組を進めていきたいと考えています。</p>	
72	<p>近隣地域の誰に聞いても反対の方が多いのになぜ一方的になってしまっているのか。</p>	<p>今回の取組では、限られた期間ではありましたが、意見交換会による創造的な議論、フォーラムによる幅広い参加者との意見交換、区民意識アンケートによる統計的な意識把握など、多角的な手法により、区民意見把握の取組を進めてきました。</p> <p>これまでにいただいた御意見につきましては、お住まいの地域や年代、ライフスタイル等により、様々な考え方・捉え方があるものと考えております。本市では、意見交換会等で寄せられた様々な市民意見や基礎調査結果等の諸条件、宮前区の将来展望等を総合的に整理・検討し、鷺沼駅周辺再編整備に伴う公共機能の方向性及び基本的な考え方をとりまとめました。今後も引き続き、継続的な説明、区民の皆様との意見交換に取り組んでまいります。</p>	D
73	<p>移転の理由に利便性を掲げているが、利便性だけで築 35 年公共施設をぶっ壊して移転など聞いたことがない。</p> <p>現区役所の場所が不便だから利用しないと、アンケートの結果を誇張しているが、そもそも利用しない人は、利用しない。</p> <p>アンケートの正確な数字は知らないが、年齢、興味と相関して調査報告するものだ。やっではないと素人のアンケートである。</p>	<p>本市では、意見交換会等で寄せられた様々な市民意見や基礎調査結果等の諸条件を総合的に整理・検討し、鷺沼駅周辺再編整備に伴う公共機能の方向性及び基本的な考え方をまとめました。</p> <p>準備組合が進めている再開発の検討スケジュールを踏まえ、平成 30 年度内に「基本方針」を策定し、引き続き、市民の皆様のご意見を伺いながら、基本方針でお示しした方向性等の実現に向けた取組を推進してまいります。</p>	D
74	<p>移転するか否かの合意形成はもっと時間をかけるべき</p> <p>宮前区役所が現在地にある事をベースに、住居購入を含む生活設計をされた住民が多数の筈。従って、区役所移転計画は拙速に決定せず、時間をかけて検討し、合意形成すべきである。</p> <p>区役所移転計画が有るのを区民に周知する努力が市(区)側に充分でなかったため、知らない住民も多い。</p>	<p>鷺沼・宮前平駅周辺地区は、本市総合計画において「地域生活拠点」の一つとして位置づけられており、「鷺沼駅周辺を中心に商業、都市型住宅、文化・交流など多様な都市機能の集積及び交通結節機能の強化に向けた取組を推進」することとしています。</p> <p>今回の取組では、民間事業者による再開発により鷺沼駅前のバスターミナルが広がるなど、交通結節点としての機能の向上が見込まれることなどから、この機会を捉えて、鷺沼駅前</p>	D

(8) その他基本方針全般に関すること

No.	意見・質問要旨	本市の考え方	区分
75	<p>3 施設丸ごと移転に大反対。現在の建物+土地を自ら放棄して、東急の建設するタワービル（住宅と混在）に入居することが、なぜ宮前区民にとってメリットになるのか。</p> <p>一旦、タワービルに入居したら、50 年以上そこに止まらざるを得なくなる訳で、よくよく検討した上でのことなのか疑問に思う。</p>	<p>に望まれる公共機能は何か、ということを検討してまいりました。その中では、区役所・市民館・図書館という区民が利用する施設の移転可能性を含めて検討していくため、区民の生活実感としてのニーズや課題認識を重視し、多角的な意見把握に取り組んできました。</p> <p>本市といたしましては、意見交換会等で寄せられた様々な市民意見や基礎調査結果等の諸条件を総合的に整理・検討し、鷺沼駅周辺再編整備に伴う公共機能の方向性及び基本的な考え方をまとめました。</p> <p>準備組合が進めている再開発の検討スケジュールを踏まえ、市としての考えを計画に着実に反映させていくため、平成 30 年度内に「基本方針」を策定し、引き続き、市民の皆様の御意見を伺いながら、基本方針でお示した方向性等の実現に向けた取組を推進していきます。</p>	D
76	<p>今回の基本方針案の 3 施設全面移転に反対する。検討期間が余りにも短い。本来なら数年かけて検討して決めるべきことがら。周知が十分ではない。区民が知らないうちに決めてしまうような事柄ではない。移転することによって、区民にどのようなメリット/デメリットがあるのか分からない。現在の土地+建物を、なぜ「坂道がキツイ」位のことで放棄する必要があるのか、全く理解できない。</p>		D
77	<p>鷺沼だけでなく、宮前区全体の利益発展ことを考えて急がず慎重に検討して欲しいと思う。</p>		D
78	<p>区民の生活に直結する大きな問題だけにもっと時間をかけて検討するべきと思う。急ぐ必要は全くない。</p>		D
79	<p>宮前区のこれからの形を拙速に決めないでほしい。 (同趣旨他 8 件)</p>		D
80	<p>あまりにも、先走りすぎた計画だと危惧せずにはいられない。再考願います。</p>		D
81	<p>市民や区民の合意を得られない移転計画は白紙に戻してほしい。</p>		D
82	<p>何故移転なのか？何故分室にしないのか？もっと議論すべき。</p>		D
83	<p>宮前区役所、市民館、図書館の移動はただ驚きの一言である。もっと市民の意向を時間をかけ、じっくり進め、本意をつきもとめた後ではいけないのか。絶対反対だ。</p>		D
84	<p>鷺沼駅前への区役所・図書館・市民館の移転は、2019 年 2 月基本方針案、3 月基本方針策定に対して、現区役所等施設・用地に関する検討は 2019 年から 2022 年の 3 年間で活用基本方針策定は、時間のかけ方がおかしい？</p> <p>なぜそんなに移転を急ぐのか？民間業者のスケジュールに載せるためか？そこに住民の顔はあるか？とりあえず移すことだけ先に決めてしまえ、という態度を感じる。住民のことを考えているというのであれば、移転についてもっと時間をかけて話し合うべきだと思う。</p>		D
85	<p>何故短期間で一方的に移転になってしまうのか。何が良くなるのかわからない。</p>	D	

No.	意見・質問要旨	本市の考え方	区分
86	移転計画自体も周知されているとは言えないと聞いており、結論を出すのは早過ぎるのではないかと。市長をはじめ、民間の企業や地権者の思惑等、一部の人間の意向で拙速に決めることだけは避けてほしい。	鷺沼・宮前平駅周辺地区は、本市総合計画において「地域生活拠点」の一つとして位置づけられており、「鷺沼駅周辺を中心に商業、都市型住宅、文化・交流など多様な都市機能の集積及び交通結節機能の強化に向けた取組を推進」することとしています。	D
87	3 施設移転については反対の人はもちろんだが、賛成の人の中にも、もっと時間をかけて慎重に、区民主体で議論・検討を重ねて決定すべきとの意見が少なくない。市当局が3月末を下限として基本方針を策定する理由は、開発準備組合側の都合上、これ以上後ろにその予定をずらせないといいオカシなものである。 「区民の合意がとれているとは言えない」と市当局も説明会の席上で明言している。「待てないなら取り止める」。開発準備組合を押し切ってほしい。	今回の取組では、民間事業者による再開発により鷺沼駅前のバスターミナルが広がるなど、交通結節点としての機能の向上が見込まれることなどから、この機会を捉えて、鷺沼駅前に望まれる公共機能は何か、ということを検討してまいりました。その中では、区役所・市民館・図書館という区民が利用する施設の移転可能性を含めて検討していくため、区民の生活実感としてのニーズや課題認識を重視し、多角的な意見把握に取り組んできました。 本市といたしましては、意見交換会等で寄せられた様々な市民意見や基礎調査結果等の諸条件を総合的に整理・検討し、鷺沼駅周辺再編整備に伴う公共機能の方向性及び基本的な考え方をまとめました。	D
88	宮前区役所、市民館、図書館の鷺沼駅前移転は、その検討が1年足らずの短期間で一方的に移転する方針はどうか？ (同趣旨他 47 件)	準備組合が進めている再開発の検討スケジュールを踏まえ、市としての考えを計画に確実に反映させていくため、平成30年度内に「基本方針」を策定し、引き続き、市民の皆様の御意見を伺いながら、基本方針でお示した方向性等の実現に向けた取組を推進していきます。	D
89	昨年5月の市政だよりで区民に公表してから、たった3回のフォーラムでも、もっと時間をかけて討議をするべきだという意見が多く、区民の生活に直結しているあまりに大きな問題で、多数の区民は未だに移転計画がさえ知らず、わずか1年足らずで基本方針策定をすることは、区民の意向を無視した行政の独断である。 (同趣旨他 171 件)		D
90	昨年2月に初めて住民に説明があつてから1年目。190億～200億近い予算(市民の税金)を使う事業計画を早期に決定すべきではない。住民のニーズは区役所・市民館・図書館の鷺沼移転と一致してはいない。		D
91	一度立ち止まって時間を取って、充分話し合うべきだと思う。市民の税金190～200億円を使うプロジェクトであり、宮前区民・市民の所へ来て十分な説明がないまま計画を進めることには反対である。		D
92	区役所移転に反対。 宮前区のこれからの形を拙速に決めないでほしい。移転の緊急性が説明不足。		D
93	短期間の検討で鷺沼に移転する方針が打ち出され戸惑いを感じている。時間をかけて丁寧に論議すべきである。		D
94	鷺沼の立地は区外からのアクセスを考えれば適していると思うが、議論すべきは、宮前区内のアクセスの問題である。鷺沼賛成派、主として、野川、有馬、鷺沼、土橋と他地域は反対になる。移	宮前区においては、地形上の特性から路線バスによる駅へのアクセスが多く、また、今後の高齢社会の進展により、バス交通の需要増が見込まれます。	D

(8) その他基本方針全般に関すること

No.	意見・質問要旨	本市の考え方	区分
	転問題で宮前区の賛否が二分されている。両者が納得のいく解決が求められている。	<p>こうした状況の中、今回の計画では、鷺沼駅周辺再編整備に合わせて、路線バスネットワークの充実にも取り組むこととしています。拡充されるバスパース等を活用し、小田急線沿線方面などの路線新設や、向丘地区方面からのアクセス強化を図るための既存路線の再編などについて、バス事業者と連携して検討するなど、引き続き、バスネットワークの充実に取り組んでまいります。</p> <p>今回の取組については、お住まいの地域や年代、ライフスタイル等により、多様な考え方、捉え方があるものと認識しています。今後も継続的な説明、市民の皆様の御意見を伺いながら、基本方針でお示した方向性等の実現に向けた取組を推進してまいります。</p> <p>「移転で使う 125 億円」という御指摘の費用は、今回お示した基本方針（案）ではなく、中間報告まちづくりフォーラムの際にお示した鷺沼駅周辺に移転する場合の「新施設の想定整備費」だと考えられますが、移転せずに長寿命化して現地で建替える場合は、約 117 億円の費用を想定しています。</p> <p>区役所・市民館・図書館は、将来にわたって市民生活に必要な施設であることから、時期の前後はあっても、いずれ所要のコストがかかるものと考えています。</p> <p>また、保育等の施策を進める上では、それぞれに必要な取組内容や経費を精査し、適切な予算編成を行うことで着実に取組を進めてまいります。</p> <p>今回の検討は、宮前区全体の将来を見据えた取組を推進するため、再開発によって交通利便性が高まり、都市としての機能が向上する鷺沼駅前に、公共機能を一体的に移転する可能性も含めて検討する機会であると捉え、区民の皆様からこれまでに様々な場面でいただいた御意見や基礎調査の結果などを総合的に整理・検討した結果、区役所・市民館・図書館を鷺沼駅周辺に移転・整備するという方針に至ったものです。</p>	
95	今回の問題は拙速に過ぎる。区役所はどこになっても遠くの方からは不公平感は免れないかもしれないが、だからこそじっくりと数年（市民的結論を出すまで）だけで、少なくとも 2～3 年）の時間をかけて討議すべき事項である。 (同趣旨他 2 件)		D
96	鷺沼駅に移転することは、3 施設が遠くなる人の方が圧倒的に多い。 もっと時間をかけて討議すべき重要な問題だ。		D
97	8 割の方が賛成ならば条件によっては賛成する。しかし現状では賛成派 2 割弱だ。今後、賛成派と反対派の溝は深くなる一方だと思う。 移転問題がこのまま進められると本当に宮前区が 2 つに割れてしまうと思う。		D
98	市は「移転しなければならない理由はない」と言うのであれば、移転で使う 125 億円は必要ない。保育、学校、特養、防災などに使うべき。 (同趣旨他 228 件)		D
99	125 億もの莫大な予算があるのなら区内の無電柱化等新しい事での川崎市の発展を目指してもらいたい。		D
100	宮前区にとって今一番急がれる施策は毎年多数の待機者が出る保育園の整備問題と年々進む高齢者人口の増加に伴う特養ホームなど受け皿対策であろう。 125 億円から 135 億円もかけて鷺沼駅周辺への移転を強行しようとしているが、これは政策判断の誤りである。 (同趣旨他 7 件)		D
101	まだ十分に区役所、市民館、図書館は使用できる。市民税のムダ使いである。今からでも遅くない、方針を撤回してほしい。 (同趣旨他 5 件)		D
102	「坂道がキツイ」という人は、市の財政のことを考えているのか。福祉などもっと重要でさしさまっていることに税金を使うことを考えるべき。		D
103	市民の税金は市民への還元を第一に使う視点から、市のお金の使い方の抜本的再検討してほしい。「財政が厳しい」と言いながらなぜ移転なのか。 (同趣旨他 509 件)		D
104	市は移転の理由はないと明らかにしている。移転費 125 億は市の借金返済に充てるべきである。	D	

No.	意見・質問要旨	本市の考え方	区分	
105	利便性の向上は交通網の改良により実現すべき課題であり、公共施設の移転で多額の税金を投入するよりは、福祉へのコスト移管など、別の問題に振り分けるべきである。	なお、財政運営につきましては、当面は厳しい状況が続くものと見込んでいますが、これからの本市の人口推移をしっかりと見据え、多様化、増大化する市民ニーズや地域課題に的確に対応していくことが重要と考えており、さまざまな社会経済状況によるリスクや本市の財政状況等を常に意識し、中長期的な財政状況を見通しながら、緊張感を持って行財政運営に取り組んでまいります。	D	
106	市の財政を考えて判断してほしい。		D	
107	移転により遠くなってしまう。移転で使う費用を福祉などに使うべき。		D	
108	川崎市は子育て支援なども、収入制限が多く十分でない。移転に掛かる費用を福祉や高齢者、子育て支援などに当てるべき。		D	
109	子育てでは、保育園、学童保育、20年以上前に「子育てするなら川崎へ」というスローガンに惹かれていたが、今の予算の使い方は間違っていると思う。		D	
110	役所のサービスにお金を使ってほしい。		D	
111	3施設を移転して125億から200億という莫大な税金を使うのは反対だ。移転する必要性が全く感じられないし、税金の無駄使いだ。		D	
112	区役所移転に反対。 市は準備組合（地権者）から市の施設分の区分所有分の土地を買う事か。地権者は税金で土地を買ってもらおうということか。自分の土地があるのに、税金の無駄使いである。		D	
113	全体周知が全くない中の決定はおかしい。もう決定ありきで、犬蔵から鷺沼への市バスができたり順序がおかしい。現在、免許更新の時は区役所のホールで講義を聞いていたが、今後は警察署と鷺沼駅を行ったり来たりになるのか。いままで不要だった交通費がかかるのか。区役所徒歩圏内ということで物件を購入した人へのバス代の負担に関して、言うべきことはないのか。素直に、開発しつつして業務向上を見込めない東急建設、東急電鉄、そして横浜銀行、一部区民の人の陰謀としか思えない。		D	
114	区役所、図書館、市民館は同規模を想定しているようだが、それなら今ある市民館、図書館、区役所を使えばよい。市長が日頃言っている川崎市には借金はあってもお金がないという事と矛盾している。まして、鷺沼再開発に200億以上かかるので、税金の無駄遣いである。 (同趣旨他504件)		コスト面においては、建築物の目標耐用年数である60年を算出期間として、現在の場所で長寿命化し、現地で建て替える場合と鷺沼駅周辺再編整備に伴う移転する場合の想定累計費用を比較しましたが、算出する期間の設定により累計費用が大きく変わることから、端的に想定累計費用でコスト面の優位性を判断することは困難です。	D
115	移転計画の予算が信用できない。現地建替え202～212億円だけではなく現地補強・整備の予算も出すべき。		区役所、市民館・図書館は、将来にわたって市民生活に必要な施設であり、いずれにしても維持・更新が必要であることを考えると、時期の前後があっても、所要のコストがかかるもの	D

(8) その他基本方針全般に関すること

No.	意見・質問要旨	本市の考え方	区分
116	税金から 200 億円使うなら、今の場所をもっと改善する方法を取ってほしい。借金財政はやめてほしい。 こんな状態では、益々他府県へのふるさと納税が増えるのでは？	と考えています。 今回の検討は、建物の老朽化対応としてではなく、宮前区全体の将来を見据えた取組を推進するため、再開発によって交通利便性が高まり、都市としての機能が向上する鷺沼駅前に、公共機能を一体的に移転する可能性も含めて検討する機会であると捉え、区民の皆様からこれまでに様々な場面でいただいた御意見やコスト面を含めた基礎調査の結果などを総合的に整理・検討した結果、区役所・市民館・図書館を鷺沼駅周辺に移転・整備するという方針に至ったものです。	D
117	移転をする費用、125 億から 200 億という税金が余っているのか。それなら「ふるさと納税」をして税金を川崎市におさめない。今後、この運動をくりひろげ、なすべく、川崎市に税金をおさめないようにする。	なお、財政運営につきましては、当面は厳しい状況が続くものと見込んでいますが、これからの本市の人口推移をしっかりと見据え、多様化、増大化する市民ニーズや地域課題に的確に対応していくことが重要と考えており、さまざまな社会経済状況によるリスクや本市の財政状況等を常に意識し、中長期的な財政状況を見通しながら、緊張感を持って行財政運営に取り組んでまいります。	D
118	鷺沼プロジェクト予定地の地権者（準備組合）の土地所有の明細知りたい。	準備組合の地権者は、セレサ川崎農業協同組合、東京急行電鉄株式会社、株式会社横浜銀行、東急ライフシア株式会社、東急ファシリテイサービズ株式会社の 5 名となります。	D
119	東急電鉄は区の 3 施設をビルの中に入れて、市は、東急のいい値で買う。その他のところを安く、売ることができるので、ビルの中に公共施設を入れたがる。私たちは、物を買うとき、よく見くらべて買うが、市は考えもなく、事業者のいいなりの価格で買いとる。区の 3 施設移転は税金の浪費い他ならない。絶対にしてはいけない。	土地や建物を取得することとなった場合には、他事例等を参考に、準備組合と調整の上、適正な価格で取得することとなります。	D
120	宮前区都市計画マスタープラン等の見直しについて、これまで、宮前区では、区づくりプラン、都市マスを市民・行政協働で作成した経緯がある。今回の計画は区民生活に影響があるため、再開発や跡地利用だけでなく、区全体として取り組む必要があり、計画段階から市民の参加や行政と協働で計画を推進するしくみが必要。	今回の基本方針（案）の策定にあたっては、再開発による鷺沼駅前バスターミナルの拡充などの効果を活用し、宮前区全体の将来を見据えた取組を推進するため、多角的な区民意見の把握に取り組んでまいりました。引き続き、基本方針でお示した方向性等の実現に向け、市民の皆様のお意見を伺いながら取組を推進していきたいと考えております。 また、都市計画マスタープラン宮前区構想（平成 19（2007）年策定）では、地域生活拠点である鷺沼駅周辺において、商業業務機能や都市型住宅等が調和した市街地形成の促進や駅を中心とした生活拠点機能の一層の向上をめざすこと、また、交通体系に関して、駅を中心とした拠点を形づくるために、土地利用転換等と連携した交通広場の改善や交通アクセス環境の改善を図ること等を方針として示しており、こうした方針に、今回の基本方針は、即しているものと考えております。 なお、都市計画マスタープラン宮前区構想に	D

No.	意見・質問要旨	本市の考え方	区分
		つきましては、策定後 10 年以上経過していることから、社会情勢の変化等を反映するため、改定を行うこととしており、改定にあたっては、基本的な考え方を適切に継承するとともに、近年の地域課題等について区民の皆様の御意見を伺ってまいります。	
121	<p>移転計画とは別に、宮前消防署・警察署の建替えも計画してほしい。両署ともに暗い。</p> <p>相談に行くと建物の暗さにつられて本人が暗くなる。署員の方々の仕事場だから暗くて良いということはない。警察署は神奈川県警に依頼を、消防署はなんとか建て替えてほしい。</p>	<p>今回の鷺沼駅周辺再編整備に導入する公共機能の検討は、市民利用の利便性の向上が図られる施設を対象とし、区民の皆様からこれまでに様々な場面でいただいた御意見やコスト面を含めた基礎調査の結果などを総合的に整理・検討した結果、区役所・市民館・図書館を鷺沼駅周辺に移転・整備するという方針に至ったものです。</p> <p>宮前消防署は、特定目的のための業務用施設として、今回の検討の対象外としており、原則としてかわさき資産マネジメントカルテに基づく目標耐用年数である 60 年以上活用できるよう、長寿命化による取組を行うこととなります。</p> <p>宮前警察署についての御意見は、所有者である神奈川県にお伝えします。</p>	D
122	<p>去る 2 月 4 日の市長記者会見の場で「鷺沼駅周辺再整備の基本方針案」発表について、記者からの質問に対して、福田市長が「フォーラムに来るような人は、みんな反対に来るのです。賛成の人は、そういう場には来ない。」と答えた。</p> <p>パブコメについても大同小異の考えをしているのではないか。</p> <p>(同趣旨他 94 件)</p>	<p>記者会見では「『反対』という意見も含めて強い意見をお持ちの方が多く参加する傾向にある」という趣旨のものであったと考えております。</p> <p>パブリックコメント手続においても、こうした「思いの強さ」が多数の意見書となって表れているものと考えており、いただいたご意見については真摯に受け止めてまいります。</p>	E
123	<p>フォーラムでは多くの反対意見が出たのに、それに全く答えようとしません。市長は、反対の人がフォーラムに来ると言っていたが、市の横暴なやり方に怒りを覚えているから来るわけで、それを批判することは市長の資質を問われる。</p> <p>(同趣旨他 2 件)</p>		E
124	<p>鷺沼駅移転は、一部区民の独断である。鷺沼町会の住民は、この行為に納得していない。このような暴挙は許されない。</p>	<p>今回の鷺沼駅周辺再編整備に導入する公共機能の検討は、市民利用の利便性の向上が図られる施設を対象とし、区民の皆様からこれまでに様々な場面でいただいた御意見やコスト面を含めた基礎調査の結果などを総合的に整理・検討した結果、区役所・市民館・図書館を鷺沼駅周辺に移転・整備するという方針に至ったものです。</p>	E
125	<p>鷺沼移転は一部区民の地域エゴだ。すでに宮前地区 3 施設のまわりには、文化的にも健康的にもその必要な人々が多く住んでいる。鷺沼をただ発展させたいというかってな願望で宮前区全体のことは何も考えていない。</p>		E
126	<p>今回の説明会の川崎市側の酷さにあきれかえった。区役所周辺の住民を蔑ろしているということがわかった。他の地域に移転することも考えたい。</p>	<p>今回の取組では、民間事業者による再開発により鷺沼駅前のバスターミナルが広がるなど、交通結節点としての機能の向上が見込まれることなどから、この機会を捉えて、鷺沼駅前に望まれる公共機能は何か、ということを検討してまいりました。</p>	E
127	<p>鷺沼に市の 3 施設を移転することは今まで宮前平で親しんできた人達の喜びをうばうことになる。</p>	<p>本市といたしましては、意見交換会等で寄せ</p>	E

(8) その他基本方針全般に関すること

No.	意見・質問要旨	本市の考え方	区分
128	市長はじめ市の職員は、区民の意向、フォーラムでの反対を全く無視して基本方針を出している。	<p>られた様々な市民意見や基礎調査結果等の諸条件を総合的に整理・検討し、現区役所等施設・用地の活用や向丘出張所の機能検討なども含め、鷺沼駅周辺再編整備に伴う公共機能の方向性及び基本的な考え方をまとめました。</p> <p>今後とも鷺沼駅周辺再編整備及び路線バスネットワークの充実、現区役所等施設・用地の活用方策、向丘出張所の機能検討を合わせて取り組むことにより、より良い宮前区のミライに繋がる取組を推進してまいります。</p>	E
129	上に立つ人が宮前区のほぼ全員が区役所等の移転を賛成しているようなことを言っていましたがつまなく違うと思う。		E
130	皆さんの意見を聞くとやはり信じられない。		E
131	市の皆さんは宮前区の実状をわかっていない。		E
132	市民・住民のためのまちづくりを要望する。		E
133	30 数年前に高津区から分区した先人たちの思い、見据えた見方は時代が変わろうとも今も健在であり、大きく変貌していない。	<p>高津区から宮前区を分区する際、区役所等の庁舎については、土地の有効利用や機能の向上といった観点から総合庁舎とすることとし、区役所と市民館・図書館等は同一地に設置することが計画されました。</p> <p>また、総合庁舎を建設するには 1 万平方メートル程度の土地が必要とされ、当時の幹線道路や地下鉄等の計画ともあわせて考慮した結果、現在地に整備された経過があります。</p> <p>当時と現在とでは、当時の交通計画が見直されるなど、状況の変化があるものと考えております。</p>	E
134	図書館への司書有資格者の配置をもっとしっかり取り組んでほしい。 学校図書館に司書を各校 1 名以上、配置してほしい。	<p>市立図書館では、市民の多様な読書ニーズ等に応えるため、図書館司書研修などの各種研修等への職員の派遣などにより、必要な専門性の確保等に努めており、引き続き、職員の資質の向上に努めていきます。</p> <p>また、学校司書については、「かわさき教育プラン 第 2 期実施計画」に基づき、平成 31 (2019) 年度 35 校、平成 32 (2020) 年度 42 校、平成 33 (2021) 年度 56 校への配置を進め、その後も全小学校への配置拡充に向け取り組むとともに、研修などにより学校司書等の資質を高め、学校図書館の環境整備等を図りながら、各学校の状況に応じた読書活動の推進に努めていきます。</p>	E
135	区民が提出した意見書をムダにしないようにしてほしい。	<p>いただいたご意見につきましては、お住まいの地域などによって様々な考え方、捉え方がありと認識しておりますので、内容についてしっかりと精査し、対応について検討してまいります。</p>	E
136	宮前区民のほとんどは鷺沼移転を望んではない。ごく一部の区民が望んでいるだけで、まるで鷺沼のエゴまる出しの計画だ。そんな事もわからない市長はやめるべきだ。		E
137	鷺沼駅周辺再編基本。聞いてあきれれる。絶対反対。市長は、地元の声を聴かなければ永つづきしない。八方美人ではさらわれる。		E
138	説明会に行ったが、何回手を上げても意見を言えない人がいて、差される人は決まっているようだった。		E

No.	意見・質問要旨	本市の考え方	区分
139	以前に参加した説明会で市政側として出席している方が口をそろえて宮前区の発展に力をつくしたいと発言があった。確認したところ誰一人として宮前区在住の人がいなかった。何を根拠に移転、力をつくすのか？全く意味が分からない。	鷺沼駅周辺再編整備に伴う公共機能に関する検討については、市民文化局、まちづくり局、宮前区役所、教育委員会事務局が連携して取組を進めています。 より良い宮前区のミライに繋がる取組を推進するため、居住地に関わらず、本市職員として、職務に真摯かつ誠実に対応しております。	E
140	説明会で「建物の高さはどの位に？」との至極簡単な問いが繰り返し出され、併せて「立体図がないが？」との問いも出された。これに対し、市当局は「開発準備組合が未だ示していないので分からない」旨回答され、会場はザワついた。市当局は所詮開発準備組合の下請けでなければオーバーではないのか？	再開発事業の概要については、今回の基本方針においては、現時点の再開発コンセプトや施設ゾーニング等をお示ししたところです。 具体的な施設計画については、準備組合により、現在検討が進められており、建物の床面積や高さ、階数など、様々な条件等による検討を行っているものと伺っております。 その内容については、環境アセスメント手続きなどを通して示されるものと考えており、環境アセスメントの内容が早期に示されるよう、準備組合に対して働きかけてまいります。 なお、平成 31 (2019) 年度には、都市計画決定手続の中で、素案説明会や縦覧など、都市計画について市民意見を伺っていきます。環境アセスメント手続については、準備組合による説明会や意見書提出の機会があります。	D
141	JR の武蔵野線が区役所の真下を通っていて、現在は貨物線だが、いつか人を乗せて東京を一周する路線にするかもしれない。そうしたら、宮前平駅が乗り換え駅になるだろう。地下からいきなりのエレベーターで区役所とつながるかもしれない！	武蔵野南線の旅客化につきましては、貨物ダイヤへの影響や旅客化に伴う駅の設置など膨大な事業費が生じることなど様々な課題がございます。さらに、平成 28 年 4 月の国の交通政策審議会答申として示された「東京圏における今後の都市鉄道のあり方について」の中でも取り上げられなかったことから、本市の総合計画や総合都市交通計画にも位置付けていないところがございます。	E
142	このところ宮前区の宮崎台、宮前平に対する扱いがぞんざいすぎる。特に宮崎台はさくら坂の桜の伐採にあっさり許可を出してしまったり、自転車駐車を閉鎖して溢れた自転車を歩道に駐輪させてしまう結果を招くなど、無策が目に見え。区役所など移転に反対するとともに、この点について改善を求める。	本市では、鷺沼・宮前平駅周辺地区を地域生活拠点として位置づけ、まちづくりを推進しておりますが、宮前平駅周辺についても、駅周辺の動向等も踏まえつつ、適切な機能分担等を勘案したまちづくりを推進していきたいと考えております。 また、身近な地域においては、鉄道を主軸に、駅を中心とした多様なライフスタイルに対応できる都市機能の集積や交通結節機能の強化、それらに伴う路線バスサービスの充実などによる駅までのアクセス向上などを図るとともに、計画的に整備された良好な市街地、町内会や自治会などの地域コミュニティを活かした協働の取組によるまちづくりを推進してまいります。 なお、宮崎台駅周辺の駐輪場については、土地所有者から返還の申し出があり、平成 30 年 6 月に閉鎖しております。鉄道事業者への駐輪場整備の要望を行うとともに、代替駐輪場用地の確保に努めてまいりましたが、適地がなく、歩	E

(8) その他基本方針全般に関すること

No.	意見・質問要旨	本市の考え方	区分
		<p>道路上に暫定的な駐輪場を整備したもので、引き続き、代替駐輪場の確保に努めてまいります。</p> <p>また、宮崎台駅前の桜の街路樹につきましては、平成 30 年 3 月に策定した「川崎市街路樹管理計画」において「シンボルとなる並木」として設定し、街路樹の連続性と統一性を図るため、個々の樹木の美しさとともに統一美を効果的に発揮させる維持管理を行っているところでございます。街路樹は、都市空間に潤いをもたらし、良好な景観を創出するなど多様な役割を果たす重要なグリーンインフラでございますので、今後も、適切な管理に努めてまいります。</p>	
143	東急と提携しているからといって、1 部の利権者の言いなりは禍根を残す。現フットサル場を東急に譲渡する案があるらしいが言語道断！	<p>本市では、東急電鉄が持つノウハウや両者が持つ資源や強みなどを活かし、鉄道を主軸とする駅を中心としたまちづくりと沿線地域の特性に応じた利便性の向上、暮らしを支える持続可能なまちづくりに向けた取組を連携・協力して推進するため、平成 27 年 6 月に包括連携協定を締結しており、本協定に基づき、連携・協力を図っており、今後も引き続き、東急電鉄と連携・協力を図ってまいります。</p> <p>なお、いただいた御意見について、そのようなことはありません。</p>	E
144	一番高い道路の山を削って、区役所の西側入口の前の道路面までさげる工事をする。移転よりずっと安く皆によろこばれること間違いなし。	当該道路については、既に沿道の土地利用が進んでおり、沿道施設の駐車場の出入口や接続道路の高さなどの制約条件が極めて多く、実現は困難なものと考えます。	E
145	大規模災害のための避難所の整備を優先してほしい。(例) 小・中学校体育館冷暖房の設置(避難所となるが、夏冬はこのままでは使えない。)	本市の学校施設につきましては、平成 26 年 3 月に策定した学校施設長期保全計画に基づき改修を進めており、避難所の中心的役割を担う体育館につきましても、総合的な防災機能を備えた施設改修を順々に実施し、地域防災力の向上を図っています。空調設備の設置につきましては、既存の体育館への設置に係る課題等を整理し、国や他都市の動向を注視してまいります。	E
146	基本方針案を基本方針に改めてしまえば、この問題・騒動は決着すると考えておられるのであれば大間違いである。区民にとっては「基本方針」が出されようという問題ではない。反対の声はますます大きく、強くなる。	今回の検討では、鷺沼駅周辺再編整備に導入する公共機能や、公共交通による駅アクセスの向上に向けた取組、現在の区役所等施設・用地に関する考え方など、今後 10 年以上にわたる取組に関する基本的な方向性を基本方針(案)としてまとめたものです。	E
147	仮に、鷺沼駅前の超高層雑居ビルに区役所をはじめ、3 施設を移し入れたとして、それで市当局はお役目終了になる訳では全くない。市当局は移転に伴い、<新たな大きなリスク>を区内に呼び込んだ責任を問われることになる。	今後も引き続き、市民の皆様の御意見を伺いながら、より良い宮前区のミライに繋がる取組を推進してまいります。	E
148	説明会を 3 連休に行うこと自体、住民のことを考えていない。	市民説明会の日程につきましては、2 月 4 日の公表及び 2 月 5 日から 3 月 6 日までのパブリックコメント期間を考慮し、なるべく早く皆様に御説明させていただく必要があると判断し、	E

No.	意見・質問要旨	本市の考え方	区分
		開催させていただきました。 いただいた御意見については、今後の取組の参考とさせていただきます。	
149	民間ビルに公共機能が入ったことによって、何らかの支障が生じ、市民の身体、財産に損害が発生した場合、市長個人がその損害を賠償してほしい。	賠償責任は具体的な事象に対して発生するものですので、仮説の御意見にはお答えできません。 なお、本市の公共施設の中には、川崎区役所、川崎図書館、中原市民館、図書館、高津市民館など既に民間ビルと合築している施設が多くあり、公共機能に支障を来たすような状況はありません。それらの施設と同様、市民利用に支障のないよう、ビル管理組合の一員として、適切に施設の管理・運営を行ってまいります。	D
150	区民祭はどうするのか？ 大勢の人が楽しみにしている現在地はそのまま残して鷺沼には別館をつくれれば良いと思う	現在の区民祭は宮前区周辺で実施しておりますが、今後適切な実施場所等について検討してまいります。	D
151	宮前祭りなどの行事の際も、今の場所だとゆとりも感じられる。(緑の多い公園などが周辺にあるので)		D
152	宮前区民祭など、駅前で開催する予定なのか。毎年消防署等の連携も出来ていた。駅前祭りならさくら祭りと同じである。		D
153	宮前区の「ミライ」というのは「未来」とは違う意味を持たせているのか。	漢字よりもやわらかく新しいイメージで、若い世代にも関心を持ってもらいたいという想いを込めて、「ミライ」とカタカナで表記したものです。 また、宮前区長が区内の中学校の生徒と意見交換した「区長と語ろう会」では、「様々な年齢の人や外国の人ともわかりやすく、世界的な広がりを感じるし、近代的で便利なまちづくりが進むと思う」という中学生の意見がありました。	E
154	市民説明会に先立ち、次の申し入れをする。 1) 移転により<宮前区のミライを考える「宮前区民全体」>にもたらされるメリットと蒙るデメリットの詳細を各々列挙の上、説明してほしい。 2) 現在の建物+土地を自ら放棄して、民間のタワービルに分譲入居することで「宮前区民全体」にとって、メリットであるとする考え方の詳細を記述の上、説明してほしい。 3) 上記 1) 及び2) の論拠に就いては<宮前区のミライを考える「宮前区民全体」>で本来の適否について自ら検討するために必要となる基本資料や数値、比較表等を明示、提供できるよう遺漏なく準備の上、説明会に臨まれるよう。	引き続き、市民の皆様の御意見を伺いながら、基本方針でお示した方向性等の実現に向けた取組を推進していきます。	D
155	2月10日の向上出張所の説明会に参加した。説明後の質問で、ほとんどの方が、鷺沼への市民館、図書館、区役所移転ありきの案に疑問を発言した。(質問に納得できる説明は不足不十分なもの)	引き続き、市民の皆様の御意見を伺いながら、基本方針でお示した方向性等の実現に向けた取組を推進していきます。	E

(8) その他基本方針全般に関すること

No.	意見・質問要旨	本市の考え方	区分
156	保健所の長寿命化はどうするのか。	保健所は区役所組織の一部となっているため、基本方針においては区役所として鷺沼駅前に移転することとしています。	D
157	基本方針（案）等の関係書類の年表示が元号表示（西暦表示はカッコ書き）となっている。世の中では西暦表示が主流になっており、是非西暦表示に統一表記してほしい。	本市における公文書の年号表記は元号を原則としておりますが、市民向けの刊行物やパンフレット類については、国際化の進展や市民生活上の利便性を確保するため、従来から西暦の併記を行っているところです。	E
158	基本的に、宮前平駅前から鷺沼駅前に区役所等が移転することに反対ではないが、仕事の関係で区役所や警察署に寄ることがあり、それが鷺沼駅に移転するとすると、電車の料金が変わり、回数券が使えなくなってしまうことが個人的には困る。	東急線の金額式回数券は、発売日から3か月間が有効期間（世田谷線を除く）とされておりますので、期間内にご利用いただくか、未使用のものについては払い戻しも可能（要手数料）となっています。 現在の想定スケジュールでは、区役所の移転・整備はおよそ10年後となっていますので、御理解くださいますようお願いいたします。	E
159	区役所の鷺沼移転を機に、東名高速道路の北側となる向丘地区は地域の特性に合わせて多摩区、麻生区、高津区に編入し、宮前区をコンパクトにする計画をしているのか。	宮前区の区域を変更する計画はありません。	E
160	6. 例えば、横浜市と川崎市の一部を合併し、新しい区割りを考えるとすれば、「内容は別の話」である。これには、積極的に参加し議論をしたい。	横浜市と川崎市の一部合併や、区割りの変更の予定はありません。	E
161	一体、何を目的にした基本案か。民間の再開発にもたれかかり、それに合わせて好立地にある区役所・市民館・図書館を「坂道がキツイ」「旧い」と言い募って移そうとする、区民に検討する期間も碌に与えず、周知も十分ではないと認めながら強行とする…周知の努力をすればする程、移転に反対する人が増えていく、なぜ、こういう現象が起こるのか？そもそも、民間の再開発に市当局が愚かしくも3施設移転をよく考えもせず挿入したからだ。	引き続き、市民の皆様の御意見を伺いながら、基本方針でお示した方向性等の実現に向けた取組を推進していきます。	E
162	鷺沼への3施設移転是非かの問題の行方と並行して、市当局は果たしてこの移転問題に対応できる能力を持ち合わせているのか、という疑問がある。		E
163	図書館は電子化によりコンパクトでよい。	市立図書館では、電子書籍等の導入の検討など、ICTの更なる活用を図りながらサービスの向上に努めていきます。	E
164	施設の利用には、川崎市民を優先させる仕組みがあってもよいと思う。	市民館及び図書館は、広く市民の皆様に御利用いただく社会教育施設として設置しています。市民館の会議室等につきましては、利用申請ができる時期等を、主に市民で構成された団体（以下「市内団体」といいます。）と市外団体との間で違いを設け、市内団体が優先的に予約できるようにしています。	E
165	市民館も図書館も、今後、立派で駅近となれば他区、他市からのなり済まし使用者も多くなる。区民優先使用の運用の確立が重要		E

No.	意見・質問要旨	本市の考え方	区分
166	利用者が増えても市民の知的要求に応えられるよう、図書館に司書資格のある正規職員を増員してほしい。 (同趣旨他 2 件)	市立図書館では、市民の多様な読書ニーズ等に応えるため、図書館司書研修などの各種研修等への職員の派遣などにより、必要な専門性の確保等に努めており、引き続き、職員の資質の向上を図っていきます。	E
167	要求を満たすことのできる司書がいなくては、図書館の機能を果たしているとは言えない。川崎市の図書館を、そんなふうにしないでほしい。 (同趣旨他 1 件)		E
168	駅前再開発に伴う図書館について、市民の読書要求に応える資料をそろえた図書館にしてほしい。川崎市立図書館全体で、資料費は年々低下の一途をたどっている。資料費を平成 29 年度約 1 億円から 2 億円に戻してほしい。 再開発一辺倒ではなく、お金の使い方を、図書館や他の公共機能の充実も考慮に入れてほしい。 (同趣旨他 1 件)	市立図書館の資料費につきましては、必要な資料を購入していくために、今後も予算の確保に努めていきます。	E
169	図書館の民営化に反対	図書館については、資料の収集・保存・提供という図書館の基本機能を踏まえながら、図書館に求められる役割やサービスなどに対するニーズ等を把握し、効果的な管理運営手法について検討していきます。	E
170	図書館機能・市民サービスのために指定管理にまかせず川崎市直営とし、図書司書を 5～6 配置する。他は非常勤も必要。		E
171	鷺沼駅前開発によって図書館を建設するなら、図書館の運営は直営で進めてほしい。		E
172	図書館建設について民間委託導入はやめること。		E
173	鷺沼駅前に図書館をつくるなら、指定管理ではなく直営で運営してほしい。		E
174	鷺沼駅前の図書館については、会社帰りに利用したいので、開館時間を長くしてほしい。例えば夜 8 時 30 分まで。	平成 31 (2019) 年度に予定している宮前市民館・図書館の整備等に関する基本計画の策定にあたりましては、市民の皆様からより具体的な御意見をいただきながら、移転後の市民館・図書館が利便性の高い施設となるよう、検討を進めていきます。	E
175	近年話題の、来館者を増やした図書館には、さまざまな問題点が指摘されている。それらもきちんと検証してほしい。		E
176	宮前区における図書館政策、及び、川崎市全体で将来にわたる図書館の運営方針をきちんと示してほしい。 (同趣旨他 1 件)	図書館の運営につきましては、川崎市総合計画やかわさき教育プランにおいて、市民の読書要求に応え、市民の課題解決に役立つために多様な図書館資料を収集・提供するとともに、レファレンスの向上、ICT の活用、関係機関や学校図書館との連携促進などを図りながら効率的・効果的な運営をめざすことを位置付けるとともに、平成 20 (2008) 年の川崎市立図書館協議会答申「川崎市立図書館の運営理念と活動目標について」等を踏まえた図書館サービスの提供を行っています。今後も社会状況等の変化に応じて計画を見直しながら、より充実した図書館サービスの提供に努めていきます。	E
177	鷺沼の再開発計画とともに川崎市の図書館全体のサービス計画を提案してほしい。 (同趣旨他 2 件)		E

(8) その他基本方針全般に関すること

No.	意見・質問要旨	本市の考え方	区分
178	鷺沼駅前再開発と図書館・市民館移転について、教育委員会が主導し、市民参加で進めてほしい。図書館・市民館について、今後の方向をこの社会教育委員会議や図書館部会で論議し、方向性を市民に示してほしい。市民館・図書館の方向について、教育委員会が責任を持って提案してほしい。	鷺沼駅周辺再編整備に伴う公共機能に関しましては、教育委員会を含めた関係局区による体制のもと、検討を進めておりまして、市議会への報告並びに社会教育委員会議及び関係の専門部会に対しまして、適時、情報提供を行ってまいりました。 平成 31 (2019) 年度に予定している宮前市民館・図書館の整備等に関する基本計画の策定にあたりましては、市民の皆様からより具体的な御意見をいただきながら、移転後の市民館・図書館が魅力的な施設となるよう、検討を進めていきます。	E
179	図書館・市民館の将来の方向性について教育委員会内で図書館の専門職を入れて、教育委員会としての見解を市民に示し、それから市長との調整をすべき。		E
180	障害を持った子どもたちの支援学校や支援センターから遠方となり、行政との密なやりとりが難しくなる。	一人ひとりの教育的ニーズに応じた相談・支援について、引き続き実施できるよう検討してまいります。	E
181	東急の電車が市バス同様に半額（シニア）利用できると良い。	いただいた御意見は、鉄道事業者にお伝えします。	E
182	鷺沼駅のトイレを2階に設置してほしい。 ホームドアを設置してほしい。 駅舎2階店舗へのエレベータを設置してほしい。 (同趣旨他2件)		E
183	再開発を計画する東急は、田園都市線の混雑緩和や車両の更新など、優先して取り組むべき課題は多々ある。行政は、武蔵小杉周辺のような事態にならないよう、開発業者に対して適切な指導ができる条例の検討が必要と考える。 無計画に人口が増え、古い電車で通勤したり、学校が足りず遠くに通わざるを得ない状況に、転入者が幻滅し、川崎市のイメージが悪くなる。		E
184	千葉県野田市の事件を受けて、児童虐待防止アセスメントシートをつくってほしい。	今後の参考とさせていただきます。	E
185	子育て環境の充実を求める。		E

【参考】 市民説明会における意見・質問（99 件）

※ 意見交換会会場での発言を踏まえ、パブリックコメント手続と合わせて、改めて「意見・質問要旨」、「本市の考え方」を整理しました。

(1) 現在地のアクセス、計画に関すること（2 件）

No.	意見・質問要旨	本市の考え方
1	市の総合計画では、鷺沼・宮前平地区が地域生活拠点とされているにも関わらず、鷺沼だけ発展しようとしている。	鷺沼・宮前平駅周辺地区は、本市総合計画において、おおむね行政区の単位である地域生活ゾーンの核である「地域生活拠点」として位置づけられています。第2期実施計画においても、「民間活力を活かした駅前広場の再整備等による、鷺沼駅周辺を中心に商業、都市型住宅、文化・交流など多様な都市機能の集積及び交通結節機能の強化に向けた取組を推進します」として、鷺沼駅を中心とした取組の方向を明記しており、方向性を転換したものではありません。 また、宮前平駅周辺においても、駅周辺の動向等も踏まえ、適切な機能分担等を勘案しつつ、地域特性を活かした拠点の形成に向けた検討を行っていきます。
2	野川地域の知り合いに話を聞くと、便利になってよいという意見も確かにあった。しかし、なぜ区民を分断するようなやり方をしたのか。利便性という点では、今の区役所を便利にすることをなぜ考えなかったのか。	現在の区役所等施設へのアクセス性については、古くは昭和 57（1982）年の分区当初から課題として指摘されており、近年では、鷺沼駅・宮前平駅・区役所を結ぶシャトルバスの検討や、区役所・市民館・図書館の来庁者数調査、区役所を拠点としたバスターミナルの検討などを行った経過があります。 この中で、駐車場スペースを活用した折返し運行は実現したものの、区役所駐車場部分の改修によるバスターミナルの検討は、現行駐車台数の確保、及び車両の展開スペースや待合スペース整備などの物理的な課題があり、実現に至りませんでした。また、シャトルバスの運行についても採算性やランニングコストなどの課題があり、実現していません。 アクセス性の改善は、将来的にも大変重要な課題ですが、現在の区役所等の立地を前提として解決しようとした場合には、今後想定される施設の建替え、維持・管理費用に加えて、継続的にシャトルバス等の費用を要することとなり、実現は困難です。 なお、今回の検討にあたっては、論点の設定などによって、可能な限り「より良い宮前区のミライ」に繋がる取組となるよう、工夫を重ねてきたところです。

(2) 検討の進め方に関すること（16 件）

No.	意見・質問要旨	本市の考え方
1	ワークショップやフォーラム、その他、関係諸団体として議会各会派の市民からの要望を踏まえて基本方針（案）を出したと書いてあるが、検討開始当初から、市民意見を踏まえて、どう変わったのか。はじめから移転ありきといわれていた内容と変わっていない気がするのので、区民の意見がどこに反映されているのか伺いたい。	今回の取組では、区役所、市民館、図書館という区民が利用する施設の移転可能性を含めて検討していくため、区民の生活実感としてのニーズや課題の把握を重視し、様々な取組を通して、多角的な意見把握を進めてきました。 御指摘のとおり、いただいた御意見について、反映の有無やその理由として整理していないことから、その状況がわかりにくくなっていますが、基本方針（案）では、それぞれの取組でいただいた御意見を踏まえ、公共機能に関す

No.	意見・質問要旨	本市の考え方
2	住民の意見を吸い取ろうという意識がないように思える。	<p>る基本的な考え方を取りまとめています。</p> <p>例えば関係団体等説明・ヒアリングやフォーラム、意見箱等でいただいた御意見のうち、「今回の検討に期待する意見」については、概ね今回お示した方向性と一致しています。また、「今回の検討を懸念する意見」については、それぞれの質問、疑問に対して、「立地特性の比較」等の箇所で本市の考え方をお示ししました。</p>
3	なぜこの計画を進める際、区民と検討しなかったのか。	<p>今回のパブリックコメント手続でも、様々な質問・意見をいただいていますので、この資料で反映の有無等について説明するなど、今後もいただいた御意見には真摯かつ誠実に対応し、より多くの皆様に御理解いただけるように取り組んでいきます。</p> <p>なお、今回の取組では、区役所・市民館・図書館の移転可能性も含めて検討してきましたが、「移転ありき」で検討を進めてきたということはありません。</p>
4	意見交換会の参加者の分布を見ると鷺沼駅周辺に偏っており、当然賛成の意見ばかりが出る。	<p>意見交換会は、定員 50 名程度のところ 109 名の方にお申込みいただき、年齢や地域バランス、男女比等を考慮し、くじ引きにて抽選し、参加者を選定いたしました。</p> <p>意見交換会では多種多様な御意見が出されており、賛成派の意見だけで構成されているようことはありません。</p>
5	意見交換会の参加者からは、5 か月では十分な検討・提案ができなかったとの音声記録がある。	<p>意見交換会では、全 4 回の創造的な議論を通して、様々な意見をまとめていただきました。その中には鷺沼駅周辺再編整備におけるコンセプトや機能・サービスというこれからの宮前区のミライに繋がる意見もあり、密度の濃い取組ができたものと考えております。</p>
6	パブリックコメントと説明会の意見の重さは同じなのか。	<p>パブリックコメントと説明会での意見は、どちらも市民意見であるため、同じ意見として取り扱っております。</p>
7	今回の資料を見て多角的に検討されていたので、少し納得できた。ワークショップの中ではもう少し具体的なアイデアが出されていたが、今後、区役所・市民館・図書館が移転するに当たって、それらはどう反映されるのか。方針案では抽象的な意見にまとめられているが、これから具体的な部分にどのように市民が入っていけるのか。	<p>来年度、市民の皆様にとって魅力的な施設となるよう、今回実施した意見交換会での意見等も参考に、市民館・図書館の導入機能に関し、市民の皆様から、より具体的な御意見をいただきながら、宮前市民館・図書館の設置に関する基本計画の策定に向けた検討を進めてまいります。</p>
8	「案」とあるが移転ありきで、説明会は形式的なものでないか。区民の意見は今後、反映されるのか。	<p>今回の取組では、区役所、市民館、図書館という区民が利用する施設の移転可能性を含めて検討していくため、区民の生活実感としてのニーズや課題の把握を重視し、様々な取組を通して、多角的な意見把握を進めてきました。</p> <p>本市では、こうした諸条件及び将来展望、並びに準備組合から提示された情報を総合的に整理・検討し、今回の再開発を、より良い宮前区のミライに繋がる契機と捉え、鷺沼駅周辺再編整備に伴う公共機能の方向性及び基本的な考え方について、基本方針（案）として取りまとめたところです。</p> <p>今後の市民意見聴取については、平成 31 年度には、都市計画決定手続の中で、素案説明会や縦覧など、都市計画について市民意見を伺ってまいります。</p> <p>また、市民館・図書館の導入機能に関して、より具体的な御意見をいただきながら、基本計画の策定に向けた検討</p>

No.	意見・質問要旨	本市の考え方
		を進めてまいります。なお、環境アセスメント手続に際しては、再開発準備組合による説明会や意見書提出の機会がございます。
9	今回の取組が住民のほとんどに周知されていない。その上、検討期間が短すぎる。市政だより等でも記事が小さく、広報が目立っていないので、周知されていない。 (同趣旨他1件)	平成30(2018)年6月に実施した区民意識アンケートの実施結果では、「区域や内容まで知っていた」という方が10.0%、「よく知らないが聞いたことがあった」という方が43.8%でした。このことから、この時点でも、何らかの情報に接していた方は53.8%いらっしゃったものと認識していますが、これまで、市政だより宮前区版への掲載やチラシの配布、ポスターの駅舎等への掲示、市ホームページへの掲載など、本市からの周知・広報のみならず、タウンニュースや新聞報道等の情報に接してこられた方もいらっしゃると考えております。今後も幅広い世代を対象として周知・広報し、御意見をいただきながら、取組を進めていきます。
10		
11	今回の取組について、宮前区民のどれ位に周知をされていて、どれ位の方が納得を得ていると考えているのか。	
12	大きな問題であるのになぜもっと早い時期に周知しなかったのか。区民祭でも周知されなかったようだ。	
13	市はどのような公共機能が望まれるかについての検討として、移転の是非については市民意見を聞いていない。	
14	鷺沼への区役所移転に賛成・反対というアンケートは取っているのか。これからでも実施してほしい。	
15	広報をした後の意識調査をなぜしないのか。	区役所などを移転するかどうかという観点から「賛成」、「反対」ということに着目され、再度アンケート等を実施すべきという御意見をいただいているところですが、本市としてはこれまで、宮前区の未来をどのように描くか、その中での核というものをどう作っていくか、ということを重視し、検討を進めてきました。 今回の基本方針(案)では、本市として、市民の皆様からの御意見や基礎調査の結果等を総合的に整理・検討し、公共機能の方向性及び基本的な考え方をお示しました。市民の皆様の中には、お住まいの地域や年代、ライフスタイル等により、多様な考え方・捉え方があるものと認識しておりますので、今後も移転の賛否を問うようなアンケートの実施は考えておりません。
16	仕切り直してアンケートを取るなど区民の意向をもっと汲み取ってほしい。	

(3) 防災対策に関すること (7件)

No.	意見・質問要旨	本市の考え方
1	鷺沼駅周辺は土砂災害警戒区域に指定されている。防災拠点は横浜市に近い場所に作るのではなく現在の立地に置くべきではないか。	土砂災害警戒区域は、土砂災害の注意が必要な区域を周知し、大雨や台風などによる土砂災害への警戒が必要な時には、安全を確保していただくことなどを目的に定められており、土砂災害警戒区域に指定されることが直接、がけ崩れの危険性を示しているということではありません。 なお、施設建設時には、地質調査の結果に応じた杭基礎構造による頑強な地盤(支持層)への支持を行うことなど、鷺沼へ移転後も、必要な災害対策本部機能が果たせるよう、的確な対応を図ってまいります。
2	ハザードマップで指定されているからと言って危険だと思わないとの市からの回答がある。	
3	地質について、鷺沼駅周辺は、盛土を含めた軟弱地盤が17メートルほどある。地震時には、崩壊や、円弧滑りを起こす可能性があり、鷺沼駅周辺の道路については、地盤改良を行わ	

No.	意見・質問要旨	本市の考え方
	<p>ないと線路に向かって土砂崩れが起きる可能性が高い。一方、現区役所の交差点付近の盛土部は法面となっていない。地盤の変形はあっても、倒壊することはない。両地区の比較について、同一の評価はとても専門家が評価したとは考えられない。また、現区役所から尻手黒川線にアクセス道路の一部と鷺沼駅周辺の法面について、土砂災害区域としているが、尻手黒川線へアクセスする道路は、切土・法面で、鷺沼駅周辺の道路は、盛土・法面である。地震時は、切土・法面が安定している。地形地質の評価として、現区役所が△であれば、鷺沼駅周辺は×である。それなので、なぜ公共施設を動かす必要があるのか。</p>	<p>また、災害時のアクセスについては、宮前区内の第一次緊急輸送道路（尻手黒川線・国道 246 号線）からのアクセスについては、両区域で大きな差異はみられません。また、地域防災計画では、緊急活動道路等の機能復元を位置付けており、災害時の被害状況に応じて的確に対応していきます。</p> <p>今後、計画の具体化に合わせて、防災面での検討も深め、更なる機動性・即応性の確保に向けて区地域防災計画を改定するなど、引き続き、災害に強いまちづくりに取り組んでいきます。</p>
4	<p>防災について、立地上の比較を行っているが、宮前平と鷺沼のどちらが良いかはっきり記載してほしい。</p>	<p>防災性については、大規模災害の被害想定との差異は見られませんが、個別の項目については、基本方針において、以下の内容をお示ししたところです。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「地形・地質」については、両立地とも留意すべき点があり、基礎構造への配慮が必要となりますが、杭基礎構造にすることで建物への影響は生じないと考えられます。 ・「災害時のアクセス」については、緊急輸送道路からの距離等の大きな差異は見られませんが、特に駅前においては、災害時の交通混雑が懸念されるため、こうした点では、宮前平に優位性が見られます。 ・「建物整備環境等」については、今後 30 年間の大規模地震の発生確率を踏まえると、区役所を築 60 年まで長寿命化した後に現地で建て替える場合より早期に新設整備され、十分な機能確保が図られる再開発区域内の方が、業務継続等の観点から優れています。食料や飲料、生活必需品等を備蓄し、災害時に避難者の拠り所となる避難所については、両立地とも差異はありませんが、警察署や消防署と隣接して立地していることは宮前平（現区役所等施設）周辺に優位性があります。一方で、区の災害対策本部機能を有する区役所が鷺沼駅周辺に移転する場合、鷺沼（区役所）、宮前平（消防署・警察署）の 2 拠点体制として被災リスクを分散させることが可能となります。
5	<p>SDGs について、市の担当者は何も理解していない。レジリエンス、地方自治体が真剣に取り組むべきテーマであり、ハザードマップに指定されているような場所に区役所・市民館・図書館を設置するべきではないというのが、国連及び国土交通省の方針である。</p>	<p>本市では、将来にわたる持続的な発展を図るため、国際的な取組である持続可能な開発目標（SDGs）達成に寄与する取組を進めていく必要があることから、平成 31（2019）年 2 月に「川崎市持続可能な開発目標（SDGs）推進方針」を策定しました。</p> <p>同推進方針では、SDGs の理念や国の動向を踏まえながら、総合計画に位置付けた各施策・事務事業を実施することを基本としておりますので、本方針においても、総合計画と同様に、市民や地域の団体、企業などの多様な主体との連携を図りながら関連事業を実施し、SDGs 達成に寄与する取組を推進することとして、本編「第 1 章 3」に必要な内容を追記しました。</p>
6	<p>市の財政が厳しいとしている中で、なぜ今移転する必要があるのか。</p>	<p>今後の少子高齢社会を見据え、駅周辺に公共機能を集約していく、コンパクトなまちづくりが重要と考えています。本市では、これまでも総合計画に基づき、駅周辺のまちづくりとそれらをつなぐ交通ネットワークの充実に取り</p>

No.	意見・質問要旨	本市の考え方
		<p>組んできました。</p> <p>宮前区については、坂道の多い地域性から、以前から現在の区役所は不便との声をいただいています。今後、区役所は福祉や介護などの相談機能が一層重要になってくる中で、障がい者、高齢者、子育て家族、外国人など多様な方がアクセスしやすい立地にあることは重要です。</p> <p>また、再開発により建物・設備が更新されることにより、現区役所等施設では、構造的に対応が難しいバリアフリー対応や、耐震性・機能性の更なる向上が図られることとなります。さらに、市民館・図書館については、民間事業者との連携による相乗効果が期待でき、区民の利便性や効用を一層高めるチャンスとなります。</p> <p>駅周辺に公共機能を集約し、需要が高まることで、バスネットワークも充実しやすくなると考えています。</p> <p>準備組合が進めている再開発の検討スケジュールに合わせて、市としての考えを計画に確実に反映させていくため、平成 30 年度内に「基本方針」を策定し、引き続き、市民の皆様御意見を伺いながら、基本方針（案）でお示した方向性等の実現に向けた取組を推進していきたくと考えています。</p>
7	<p>3. 1 1 の時、区役所に多くの避難者が来たが、区役所の中には畳の部屋もなく、机をベッド代わりにしたと聞いている。警察署や消防署との連携が充分機能していなかったと思う。移転することで、駅の傍に公共施設ができるので、そこに避難することができるようになる。備蓄庫と共にしっかり整備してほしい。</p>	<p>災害発生時の避難の考え方について、基本方針 P59 にお示ししておりますが、大地震が発生した場合でも、必ずしも避難所に行く必要はなく、自宅で生活できない場合に、近くの市立小・中学校などの避難所へ避難することを基本としているため、その周知を図ってまいりたいと考えております。</p> <p>なお、駅至近に公共施設が整備されることから、それらを活かした帰宅困難者対策等に取り組んでまいります。</p>

(4) 公共機能の方向性・考え方、導入機能・規模の方向性に関すること（8 件）

No.	意見・質問要旨	本市の考え方
1	<p>区民意識アンケートの結果、一番魅力が低いのが、教育・文化環境が良いが 26.3%と低く、つまり 4 人に 3 人の方が宮前区の教育・文化環境が良くないと考えているのではないかと、疑問に思う。</p>	<p>これまでの市民館・図書館の利用状況を踏まえ、新たな施設におきましても、これまでの市民活動等を継続して推進していただけるよう、現在と同規模とするものですが、諸室や機能の配置などの工夫により、今まで以上に使いやすい施設となるよう検討を進めていきます。</p>
2	<p>ワークショップの参加者で視察した大和市のシリウスや中央林間図書館のどちらのイメージで整備するのか。</p>	<p>来年度、市民の皆様にとって魅力的な施設となるよう、今回実施した意見交換会での意見等も参考に、市民館・図書館の導入機能に関し、市民の皆様から、より具体的な御意見をいただきながら、宮前市民館・図書館の設置に関する基本計画の策定に向けた検討を進めてまいります。</p>
3	<p>学生としての視点として、宮前平の図書館は遠く、たまプラーザや高津図書館ではなく、中原図書館を利用する人が多い。鷺沼は塾も多いので、新しくできる図書館には多くの座席や自習室を用意してほしい。</p>	

No.	意見・質問要旨	本市の考え方
4	<p>図書館は区内に 1 カ所しかない。もっと子どもたちのために図書館を整備してほしい。</p>	<p>本市において、現在、新たな図書館分館等を整備する計画はございませんが、各区地区館や分館等を中心とした図書館サービスのほか、自動車文庫による市内巡回、図書館施設以外への返却ポストの設置、また、県立川崎図書館や大学図書館との相互連携などの取組を進めています。</p> <p>さらには、ICTの活用による図書館ホームページの充実や図書資料のデジタルアーカイブ化など、様々な手法によるサービスの向上に努めており、引き続き充実した図書館サービスを提供してまいりたいと考えております。</p>
5	<p>町田市は人口 40 万人に対し図書館は 4 カ所あるが宮前区は 23 万人に対し 1 カ所のみ。人口規模に対し少ない。</p>	<p>図書館の施設数等につきましては各自自治体の状況によるものと存じますが、本市においては新たな施設の建設ではなく、各区図書館や分館等を中心とした図書館サービスのほか、自動車文庫による市内巡回、図書館施設以外への返却ポストの設置、また、県立川崎図書館や大学図書館との相互連携などの取組を進めています。</p> <p>さらには、ICTの活用による図書館ホームページの充実や図書資料のデジタルアーカイブ化など、様々な手法によるサービスの向上に努めており、引き続き充実した図書館サービスを提供に努めています。</p>
6	<p>他区では図書館分館が設置されているのに、なぜ宮前区は図書館分館等が設置されないのか。高津区は「てくのかわさき」、「大山街道ふるさと館」、「すくらむ21」、「かわさき市民プラザ」などたくさん市民が利用できる施設があるが、同じように税金を払っている宮前区になぜ制限をかけるのか。</p>	
7	<p>他都市や他区と比べても市民館・図書館は少ない。現在のものを残して鷺沼にも作ればよい。</p>	<p>本市において、現在、市民館や図書館など新たな社会教育施設を整備する計画はありませんが、既存の市民館・図書館・分館等を拠点とするとともに、図書館サービスにおいては、自動車文庫による市内巡回、図書館施設以外への返却ポストの設置、また、県立川崎図書館や大学図書館との相互連携などの取組を進めており、さらには、ICTの活用による図書館ホームページの充実など、様々な手法によるサービスの向上に努めています。</p> <p>また、学校教育に支障のない範囲で学校施設を開放するなど、生涯学習の場の確保に努めています。今後も市民の主体的な学びや活動を支援するとともに、生涯学習の場の確保に努めていきます。</p> <p>なお、現区役所等施設・用地につきましては、平成34年度を目途に「(仮称)宮前区役所等施設・用地の活用に関する基本方針」の策定に向けた検討を進めていくこととしており、周辺地域の課題や行政需要、地域ニーズ等との調和を勘案しながら、本市において検討の前提となる事項を整理し、市民参加で検討を進めてまいります。</p>
8	<p>図書館職員はこの話を知らなかった。現場の職員の話をお聞きせずにどのように図書館の整備を進めていくのか。</p>	<p>今回の取組は、副市長を座長とする「鷺沼駅周辺再編整備公共機能検討会議」を設置し、市民文化局・まちづくり局・宮前区役所・教育委員会事務局を中心に、各局が連携しながら組織横断的な検討を進めてきました。</p> <p>今後も引き続き、基本方針に基づき、図書館職員も含めて、関係局が連携しながら、検討・推進していきたいと考えており、「庁内検討・推進体制」について、基本方針に追記を行いました。</p>

(5) 駅アクセス向上の方向性に関すること (13件)

No.	意見・質問要旨	本市の考え方
1	現図書館・市民館は不便なところがあるので、鷺沼駅前に来るのであれば、アクセスが向上する。コンパクト化していくことが必要で、区民にもっと投げかけをして欲しい。	<p>今回の再開発事業により、交通広場の拡充や路線バスネットワークの充実による宮前区全体の発展に資する鷺沼駅へのアクセス性向上や、多様なライフスタイルに対応した都市機能集積による利便性向上が図られることなどを踏まえ、将来を見据えたコンパクトで持続可能なまちづくりを推進するため、同駅周辺に区役所・市民館・図書館を移転整備し、宮前区全体の活性化を促す「核」としての地域生活拠点の形成を図るなど、より良い宮前区の未来につながる取組を推進していくことが大変重要であると考えております。</p> <p>こうした考え方を含め、公共機能に関する方向性について、基本方針（案）としてお示しし、これまで、市民説明会や市政だより特別号などにより、周知を図ってまいりました。</p> <p>引き続き、今後予定している都市計画の説明会や、市民館・図書館の導入機能に関する意見聴取などの様々な機会を捉えて、この事業の宮前区のまちづくりにおける意義等について、更なる周知を図ってまいります。</p>
2	宮前区がさらに発展していくためには、バス路線のネットワーク拡充が重要になってくる。小田急線側へは地形的な問題や横浜市境という問題もあり、アクセスが悪い。将来を見据えて、道路計画を促進をすべき。	<p>鷺沼駅は宮前地区方面を主とした多くの路線バスの起終点となっており、再編整備にあたっては、鷺沼駅を中心とした様々な方面からの路線バスネットワークの充実を図ることが重要であると認識しております。このため、拡充されるバスバス等を活用し、小田急線沿線方面などの路線新設や、向丘地区方面からのアクセス強化を図るための既存路線の再編などについて、バス事業者と連携して検討するなど、引き続き、路線バスネットワークの充実に取り組んでまいります。</p>
3	移転後、向丘地区の住民が鷺沼へ行けるようにしてほしい。	
4	宮前区は交通面で、特に駅路線については田園都市線の一本しかない。先般麻生区の方は、市営地下鉄が延伸されることが発表された。そういう状況を踏まえれば、7区の中で一番見劣りする。	
5	ロータリーが狭く、一般車とバスが混在しており、駅に着くまでに時間がかかるので、対策を早めにしていただきたい。一般車は手前で降りて、雨に濡れずに駅まで行けるようにしてほしい。	
6	北側から南側のバスロータリーへ行ける自由通路も整備してほしい。	<p>また、限られた空間を立体的に活用することで、交通広場から雨に濡れずに乗り換えが可能となるような交通環境の整備を検討していきます。</p>
7	駅北側にも一般車の乗降スペースを設置してもらいたい。早朝利用しているが、かなり混雑しているので、改善をしてほしい。	<p>駅北側については、再開発事業施行区域に含まれておらず、現時点では、十分な道路幅員等も確保されていないため、乗降スペースの確保は困難なものと考えておりますが、御意見については、今後の参考とさせていただきます。</p>
8	鷺沼から聖マリアンナ医科大学病院へのバスが出るようになったが、午前中のバスがほとんどないので、午後の予約の診察には間に合うが、午前中には間に合わない問題があり、拙速だった。	<p>鷺沼駅は、バスターミナルが狭隘で、バスの発着も過密状態にあったことから、鷺沼駅と聖マリアンナ医科大学病院を結ぶバス路線については、調整の余地がある日中時間帯のみに運行を限定することで新設できたところです。</p> <p>また、運行時間帯の拡大については、現状でもバスの発</p>

No.	意見・質問要旨	本市の考え方
		<p>着が過密状態にあるため、バス停留所の確保や各バス事業者の既存路線に影響を及ぼすことなどの課題があるものと認識しており、今後の交通広場の拡充の機会を捉えた路線バスネットワークの充実に向けた取組の中で、増便等による一層の利便性向上に向けた取組を進めてまいります。</p>
9	<p>「アクセス性」の記載は公平性に欠いたものではないか。向丘地区の住民にとって、鷺沼駅が急行停車駅ということは関係ない。また、現区役所へアクセスするバス運行本数は区役所開庁時間のもの。鷺沼駅周辺のバス運行本数が560本とあるが、早朝から深夜までの本数ではないか。鷺沼駅周辺も区役所開庁時間の運行本数のみを記載するべきではないのか。</p>	<p>御指摘のありました「鉄道駅との関係」については、「停車本数が多く、各方面からの速達性に優れた急行停車駅であること」及び「駅至近であること」から、鷺沼駅周辺に優位性があるものと評価しております。また、区内からの交通アクセスについても、現行のバス運行本数のほか、鷺沼駅前の交通広場の拡充により拡充に併せた路線バスネットワークの充実が図られることから、鷺沼駅周辺に優位性があるものと評価しております。</p> <p>なお、意見交換会等において、区役所の開庁時間外の現市民館・図書館へのバスでのアクセスについて、「本数が少ないため不便」との意見も寄せられており、市民館・図書館のアクセスにあたっては、区役所開庁時間外のアクセスに配慮する必要があるものと認識しています。</p>
10	<p>宮前平から鷺沼に区役所等に移転することはプラスでしかないと思うが、現区役所等周辺の方にとってはマイナスであることも間違いないと思うので、それをゼロにするために、鷺沼から宮前平、宮崎台への八の字バス便を増やす等の対策をお願いしたい。</p>	<p>路線バスネットワークの充実に向けた取組として、現在の区役所等施設へアクセスする既存路線の運行状況等を踏まえ、鷺沼駅周辺に移転する区役所等施設へ、向丘地区方面などからのアクセスを強化し、利便性等の向上に向け、平成30年度に実施しているパーソントリップ調査の結果や、路線バスの利用実態、需要動向、事業採算性等を踏まえながら、引き続き、バス事業者との協議・調整を行い、更なる取組を進めてまいります。</p>
11	<p>アクセスについて、小田急バスも通るようになった。市バス、東急バス、小田急バスが集まりやすい環境になった。バスの増便だけでなく、都市計画道路をしっかりと整備し、交通アクセスについて、バスを有効に使えるよう検討してもらいたい。</p>	<p>本市の都市計画道路の整備につきましては、「第2次川崎市道路整備プログラム」に基づき、整備箇所の重点化を図りながら取組を進めているところでございますが、周辺の都市計画道路につきましては、平成37年度までを計画期間とする本プログラムの「整備推進路線」には該当しておりません。</p> <p>こうした中、鷺沼駅周辺再編整備につきましては、宮前区の核となる地域生活拠点の形成に向けた取組を進めており、今後、バス路線の再編や、再開発事業に伴う将来交通量の予測、準備組合による交通処理計画等を踏まえ、都市計画道路の整備について、具体的な検証を進めてまいりたいと考えております。</p>
12	<p>これからは地域密着の市政運営を行うべきで、鷺沼に区役所を移転しても高齢者は出ていけない。</p>	<p>少子高齢化の一層の進行が確実な中で、これからの区役所（平常時）には、福祉や介護、生活支援に関する相談など、市民ニーズに応じたきめ細やかな行政サービスを着実に提供していくことが求められており、こうしたサービスの利用者は、自ら希望して区役所を訪れるものではなく、必要性からの利用が大半であり、高齢化が進む中では、公共交通によるアクセス性の確保がより重要になります。</p> <p>今回の鷺沼駅前再開発では、交通広場の拡充や、路線バスネットワークの充実など交通結節機能の向上効果等を活かし、将来を見据えたコンパクトなまちづくりを推進するため、区役所・市民館・図書館を一体的に移転・整備し、宮前区の核となる地域生活拠点の形成を図ってまいります。</p>

No.	意見・質問要旨	本市の考え方
13	方針案に示された平面図を見ると、フレルさぎぬまとバスロータリー間の道路をなくす計画のようだが、必要だから現在の道路があるはずである。	<p>現行の交通広場とフレル鷺沼間の道路を廃止し、同位置に交通広場の出入口を配置することで、交差点の集約化（3箇所→1箇所）を図ります。</p> <p>交差点の集約化により、現在の信号表示の時間の見直しを図ることが可能であり、信号待ち時間の短縮が図られるなど、右左折レーンの設置と併せて行うことで、交通環境改善に大きな効果があるものと考えております。</p>

(6) 現区役所等施設・用地、向丘出張所の機能のあり方の検討に関すること（8件）

No.	意見・質問要旨	本市の考え方
1	区役所が鷺沼に移転した場合は、現区役所の跡地に災害対策本部を建てていただきたい。	<p>基本方針（案）では、現区役所等施設・用地は、市が保有し続けることを基本とすること、また、新たな用途で活用可能となるまでに約10年間の期間を要することから、段階を経ながら、一定の時間をかけて、活用方策を検討することをとしています。</p> <p>検討にあたっては、宮前区全体の将来のまちづくりや現区役所周辺エリアの活性化等の観点から、地域課題や行政需要、地域ニーズを整理し、宮前区全体の魅力や安全安心の暮らしの向上を目指し、効率的かつ効果的な活用ができるよう取り組んでいきます。</p> <p>今後、民間活力の活用可能性も含め、検討の前提となる条件を整理し、検討段階に応じて、適切な方法で市民参加の機会を確保しながら、平成34（2022）年度を目途に、当施設・用地活用の基本的な考え方を定める「（仮称）宮前区役所等施設・用地の活用に関する基本方針」の策定に向けた取組を進めていきます。</p> <p>また、活用基本方針に基づき、市民館・図書館移転後の市民館・図書館施設・用地の先行活用の可能性も含めて、新たな用途に関する更なる検討を深めてまいります。</p>
2	宮前区民は市民税を一番多く納めているにも関わらず、市民サービスが最低である。今の区役所等をそのまま残してはどうか。	
3	現在の区役所周辺住民は、区役所等が移転することにより、行政サービスが低下することになる。そうした方への救済に関することが方針案では何も示されていない。	
4	鷺沼駅周辺の再開発だけでなく、宮前区全体としてどうするかを一体的に考える必要があると思う。ところが、今回の計画では鷺沼駅周辺の公共機能について検討し、その後、現区役所等跡地の検討をするところがあるが、それはおかしいのではないか。	
5	現市民館・図書館が移転してから、区役所が移転するまでの間の跡地はどうなるのか。	
6	現在の場所で築き上げた文化を壊すことになる。	
7	移転決定後は向丘出張所の機能を充実（以前と同じくらい）させてほしい。	
8	出張所の機能をしっかり検討していただきたい。向丘地区の住民は出張所に関する関心が非常に高い。区役所よりも向丘出張所の方が築年数は経っているのではないか。	

(7) 再開発事業に関すること (26 件)

No.	意見・質問要旨	本市の考え方
1	建物の階数は大事な問題だと思うが、何階建てになるのか。	具体的な施設計画については、準備組合により、現在検討が進められており、建物の床面積や高さ、階数、駐車場の台数など、様々な条件等による検討を行っているものと伺っており、その内容については、環境アセスメント手続きなどを通して示されるものと考えており、環境アセスメントの内容が早期に示されるよう、準備組合に対して働きかけてまいります。
2	何階建ての建物が建つのか、具体的なものが示されないまま決めないでほしい。	
3	それぞれ移転後の区役所・市民館・図書館は何階建てになるのか。	
4	公共施設の上にある住宅はどのようなものか。	
5	高さのイメージができない。武蔵小杉のタワーマンション位の高さになるのか。地下何階の駐車場はができて何台くらい収容可能なのか。	
6	そもそも再開発事業とはどういうものか。	再開発事業については、基本方針 P4 に「市街地再開発事業とは」という説明をお示しております。
7	コストについて、再開発事業全体の事業費は。	再開発事業費は、基本方針 P4 「市街地再開発事業とは」にお示したように、「土地整備費」や「工事費」などを積み上げるものであり、具体的な施設計画や施行方法などの事業計画が決まることで、補助の対象となる補助対象事業費が整理されることとなることから、現時点では未定でございます。
8	再開発事業の予算全体像を示していただきたい。	
9	(同趣旨他 1 件)	
10	準備組合との折衝は今後どうなるのか。	地域生活拠点にふさわしい市街地再開発事業となるよう準備組合と調整を図ってまいります。
11	再開発は、自治体が主体ではないのか。ディベロッパーが考えている未来像はどのようなものなのか。民間主導というのであれば、この場にディベロッパーがいないと決められないのではないのか。小杉型なのか、それともたまプラーザ型になるのか、教えてほしい。	今回の再開発事業については、民間による組合施行の再開発事業を予定しております。なお、準備組合が考える未来像については、基本方針 P104 に「鷺沼駅前地区再開発事業の開発コンセプト」としてお示しております。
12	再開発の失敗は許されない	市街地再開発事業により、駅を中心に多様なライフスタイルに対応した都市機能集積及び交通結節機能の強化を図ることで、地域生活拠点にふさわしいまちづくりを推進してまいります。
13	再開発準備組合の構成員について、東急電鉄、JAセレス川崎、横浜銀行等とあるが、他の構成は誰なのか。	東急ライフィア株式会社、東急ファシリティサービス株式会社を含め地権者 5 名の準備組合になります。
14	信用金庫のところに、エレベータを設置していただき、バリアフリー化していただきたい。	御意見については、今後の参考とさせていただきます。
15	基本方針案が 2 月 4 日に発表されている中で準備組合の資料は 1 月となっている。先にやりとりをして決まっていたのではないのか。	基本方針 P75 に準備組合との調整についてお示しておりますが、意見交換会やまちづくりフォーラムなどで寄せられた様々な市民意見などを踏まえ、準備組合に対し、平成 30 (2018) 年 11 月下旬に、現時点での再開発コンセプトや施設ゾーニング等の提示を依頼し、平成 31 年 1 月上旬に「導入機能の配置イメージ」等の提示を受けたところです。

No.	意見・質問要旨	本市の考え方
16	再開発コンセプトが載っているが、公共機能の移転は記載されていないが、なぜ公共施設の入った図が示され、移転することになったのか。	意見交換会やまちづくりフォーラムなどで寄せられた様々な市民意見などを踏まえ、準備組合に対し、現時点での再開発コンセプトや施設ゾーニング等について、複数パターンを想定した検討を依頼し、準備組合から提示のあった公共機能を導入した場合の施設計画概要を基本方針P106にお示ししております。
17	なぜ民間企業の再開発計画に乗ったのか。	<p>鷺沼・宮前平駅周辺地区は、本市総合計画において、おおむね行政区の単位である地域生活ゾーンの核である「地域生活拠点」として位置づけられており、鷺沼駅周辺を中心に、多様なライフスタイルに対応できるよう、「民間活力を活かした駅前広場の再整備等による、商業、都市型住宅、文化・交流などの都市機能の集積及び交通結節機能の強化に向けた取組を推進」することとしています。</p> <p>今回の民間事業者による再開発は、この総合計画上に位置付けられた取組として、交通結節機能としての駅周辺交通環境の改善などによる路線バスネットワークの充実など、宮前区全体の利便性向上に寄与する効果が期待されます。</p> <p>本市としては、再開発によって交通利便性が高まり、都市としての機能が向上する鷺沼駅前に、公共機能を一体的に移転する可能性も含めて検討する機会であると捉え、取組を進めてきたところです。</p>
18	この1年間で準備組合とは何回会合しているのか。	一昨年8月の準備組合設立後、総会や理事会、個別説明等の機会を通じて意見交換を実施しているところです。
19	再開発の全体像が示されない中で、こうした方針案を出し、パブリックコメントを経て、再開発を進めていくのか。	<p>再開発事業の概要については、今回の基本方針においては、現時点の再開発コンセプトや施設ゾーニング等をお示ししたところです。</p> <p>具体的な施設計画については、準備組合により、様々な条件で検討を行っているものと認識しており、今後、環境アセスメント手続き等を通じて示されていくものと考えておりますが、本市としても、早期に全体像が明らかにされるよう、準備組合に働きかけてまいります。</p>
20	民間との連携のイメージ(機能連携イメージ図)がよく分からない。	<p>民間事業者と連携した取組の方向性として、利用者の多様なニーズに対応するため、目的や機能の補完、交流の創造等に着目し、公共施設と民間施設の連携、機能・空間の融合や多機能化を図ることによる相乗効果を創出します。</p> <p>また、乳幼児から高齢者まで多世代が豊かな時間を過ごせる場や官民の垣根を超えたフレキシブルに使える場、駅・交通広場・広場と連携した空間づくりなど、複合施設であることのメリットを最大限に活かし、若い世代に選ばれ、高齢者が安心して暮らし続けられるまちづくりに向けて、新たな賑わいや交流を促進する取組を推進していきたいと考えており、そのイメージをお示ししたところです。</p>
21	平面図は示されているが立体図は示されていない。なぜ示されないのに約200億円の費用はどう算出したのか。	今回提示した必要経費は、現施設の長寿命化と移転建替え等の比較をすることを目的として、公的基準に基づいて一定の条件を仮定し、必要な経費を算出しており、平面図や立面図が無くても算出することは可能です。
22	導入機能の配置イメージや市民館が2つに分かれているが、どういったイメージになるのか。	市民館・図書館機能は、民間施設との連携による相乗効果を活かすため、駅前街区の低層部に整備することを基本とし、導入機能の配置イメージにあるように、交通広場の

No.	意見・質問要旨	本市の考え方
		上部に「市民館・ホール等」、商業施設の上に「図書館・市民館」を配置するイメージをお示ししておりますが、詳細な検討については、準備組合により、今後検討が進められていくこととなります。
23	民間施設との連携による文化・交流拠点の形成と新たなコミュニティの創出について、全く同感である。これから発展していく街にはこのようなコンセプトが必要だと考える。宮前区で働ける場所を作り、現役世代の方が住み続けられる街にしていければと思う。	民間事業者による再開発事業との連携により、民間施設と行政施設の相乗効果による機能・空間の実現を図り、文化・交流拠点の形成と新たなコミュニティの創出を図ってまいります。 また、サテライトオフィスやコワーキングスペースなどの働く場といった御意見につきましては、意見交換会で、「ワーキングスペース」といった提案もいただいた中で、基本方針 P104 の準備組合の開発コンセプトとして「駅前で働く」といったキーワードを掲げており、こういった開発コンセプトが実現されるよう、準備組合に働きかけてまいります。
24	今回の再開発施行区域に隣接しているエリアの住民への立ち退きや、住居を壊すことはないのか。	再開発施行区域外のエリアの住民の方々へ立ち退き等を求めることはございません。
25	鷺沼駅自体も古くなってきているので、改築する予定はあるのか。	駅舎施設等については、現在のところ、具体的な検討の方向性は示されておりませんが、再開発事業区域に隣接する区域でございますので、今後、再開発事業の事業計画検討にあわせて、鉄道施設のあり方も含めて検討させていただくよう、東急電鉄に要望してまいります。
26	鷺沼駅の駅舎が再開発地域に入っていないが、東急が別に行うという考え方なのか聞きたい。	

(8) 上記以外の内容に関すること (26 件)

No.	意見・質問要旨	本市の考え方
1	現在地は公共施設が密集しており、なぜ移転しなくてはならないのか。	今後の少子高齢社会を見据え、駅周辺に公共機能を集約していく、コンパクトなまちづくりが重要と考えています。本市では、これまでも総合計画に基づき、駅周辺のまちづくりとそれらをつなぐ交通ネットワークの充実に取り組んできました。 宮前区については、坂道の多い地域性から、以前から現在の区役所は不便との声をいただいておりますが、今後、区役所は福祉や介護などの相談機能が一層重要になってくる中で、障がい者、高齢者、子育て家族、外国人など多様な方がアクセスしやすい立地にあることは重要です。 また、再開発により建物・設備が更新されることにより、現区役所等施設では、構造的に対応が難しいバリアフリー対応や、耐震性・機能性の更なる向上が図られることとなります。さらに、市民館・図書館については、民間事業者との連携による相乗効果が期待でき、区民の利便性や効用を一層高めるチャンスとなります。 駅周辺に公共機能を集約し、需要が高まることで、バスネットワークも充実しやすくなると考えています。 準備組合が進めている再開発の検討スケジュールに合わせて、市としての考えを計画に着実に反映させていくた
2	移転しなくてはならない決定的な理由は何か。	
3	そもそもなぜ、移転をするのか。利便性向上とあるが、向丘地区住民の利便性は考慮されているのか。	
4	移転したら神木本町 1~3 丁目は高津区との境（宮前区の北端）にあるため区を横断しなければならない。なぜ区の真ん中にある現地から鷺沼移転するのか。	
5	移転しても利便性は向上しない。宮前平、宮崎から鷺沼に行く人はいない。こうした人の動線も考えずに、鷺沼という辺鄙な場所に移転する理由がわからない。	
6	利便性向上は移転だけでなく様々な方法があるのでは。	

No.	意見・質問要旨	本市の考え方
7	民間のスケジュールに合わせるとなると宮前区全体を一体的に考えることにはならないのではないかと。民間事業者のスケジュールが先にあるというのは、市民に顔を向けなくて、事業者の方に顔を向けてやっているとみられても仕方ないのではないかと。	め、平成 30 年度内に「基本方針」を策定し、引き続き、市民の皆様のご意見を伺いながら、基本方針（案）でお示しした方向性等の実現に向けた取組を推進していきたいと考えています。
8	市バスもこれから値上げがされる中、市は財政状況が厳しいとおきながら、なぜ移転するのか。	本市の公共施設の基本的な取組方針としては長寿命化ですが、今回の検討は、建物の老朽化対応としてではなく、宮前区全体の将来を見据えた取組を推進するため、再開発によって交通利便性が高まり、都市としての機能が向上する鷺沼駅前に、公共機能を一体的に移転する可能性も含めて検討する機会であると捉え、区民の皆様からこれまでに様々な場面でいただいた御意見やコスト面を含めた基礎調査の結果などを総合的に整理・検討した結果、区役所・市民館・図書館を鷺沼駅周辺に移転・整備するという方針に至ったものです。
9	小学校について、建ててから 20 年以上経過している学校が 100 校あるが、80 年持たせるとホームページで見た。そうであれば、小学校や医療費などにお金を使うべきではないかと。安心して子育てをしていくためにも学校にもっとお金をつかうべきである。	なお、その経費を市バス、学校等に使うべきとの御意見ですが、予算編成にあたっては、それぞれの施策に必要な取組内容や経費を精査し、予算化してまいります。
10	昨年、2 回説明をしてもらい、その場で様々な意見が出ていた。その時感じていたが、市の本音が出て来なかった。この検討は上意下達で決まっているのでは。	これまで、基本方針の策定に向けては、庁内に副市長を座長とする「鷺沼駅周辺再編整備公共機能検討会議」を設置し、市民文化局・まちづくり局・宮前区役所・教育委員会事務局を中心に、各局が連携しながら組織横断的な検討を進めてきました。
11	市としての推進体制はどうなるのか。今は複数部署に跨ってやっているようであるが、専門部署を設置してはどうか。	今後は、基本方針に基づき、概ね 10 年以上にわたり、より具体的な取組を推進してまいります。推進に必要な組織体制等については、進捗状況等に応じて、順次検討していくこととなりますが、平成 31（2019）年度については、上記検討会議を改組し、改めて副市長を座長とする「宮前区のみちづくりにおける公共機能検討会議」を設置し、宮前区全体の機能向上、持続可能なまちづくりに向けた取組について、引き続き関係局が連携しながら検討・推進していくこととして、「第 6 章 4」に追記しました。
12	宮前区に住んでいる職員がいない中で、今回のような大事なことを進めるのはおかしい。	
13	色々な意見がある中で、短期間でまとめたいただき、感謝している。この再開発のタイミングを逃すと次はないと思う。	今後の少子高齢社会を見据え、駅周辺に公共機能を集約していく、コンパクトなまちづくりが重要と考えています。本市では、これまでも総合計画に基づき、駅周辺のまちづくりとそれらをつなぐ交通ネットワークの充実に取り組んできました。
14	今宮前区は住環境も良いということであるが、そういう地域環境はすぐには変わるので、このタイミングを捉えていかなければ地域間競争に負けてしまう。	宮前区については、坂道の多い地域性から、以前から現在の区役所は不便との声をいただいておりますが、今後、区役所は福祉や介護などの相談機能が一層重要になってくる中で、障がい者、高齢者、子育て家族、外国人など多様な方がアクセスしやすい立地にあることは重要です。
15	本日の資料を見て、今後鷺沼駅周辺が充分地域生活拠点として、素晴らしい良い街になるのではないかと喜んでる。	また、再開発により建物・設備が更新されることにより、現区役所等施設では、構造的に対応が難しいバリアフリー対応や、耐震性・機能性の更なる向上が図られることとなります。さらに、市民館・図書館については、民間事業者との連携による相乗効果が期待でき、区民の利便性や効用を一層高めるチャンスとなります。
16	市の方針については、全面的に支持する。計画を前倒しして進めてもらいたい。	駅周辺に公共機能を集約し、需要が高まることで、バスネットワークも充実しやすくなると考えています。これらを踏まえ、将来的な少子高齢化の一層の進行を見

No.	意見・質問要旨	本市の考え方
		<p>据え、災害に強く、しなやかで多様なコミュニティを創出する宮前区のミライを展望し、民間事業者による再開発によって交通結節機能をはじめ、都市としての機能が向上する鷺沼駅周辺に、宮前区役所・市民館・図書館を移転・整備し、宮前区全体の活性化を促す「核」としての地域生活拠点の形成に向けた取組を推進してまいります。</p>
17	<p>具体的な中身が出ていないという意見が多いが、現段階で具体的なものが出ると批判も多くなると思う。今回方針案を出してくれたことに感謝する。</p>	<p>今回の基本方針において、再開発事業の概要として、現時点の再開発コンセプトや施設ゾーニング等をお示したところです。 今後、引き続き、事業の熟度に応じて、適切な情報提供を図ってまいります。</p>
18	<p>パブリックコメントを終えたら、決定なのか。</p>	<p>パブリックコメントや市民説明会などの意見を踏まえ、今年度内に基本方針を策定してまいります。 なお、引き続き、今後予定している都市計画の説明会や、市民館・図書館の導入機能に関する意見聴取などの様々な機会を捉えて、御意見を伺いながら、取組を推進してまいります。</p>
19	<p>移転については、市長が記者会見で言っているので、すでに決まっている。今いる市職員に何を言っても無駄である。ふるさと納税をして川崎市に税金を納めないようにしましょう。</p>	<p>今後の少子高齢社会を見据え、駅周辺に公共機能を集約していく、コンパクトなまちづくりが重要と考えています。本市では、これまでも総合計画に基づき、駅周辺のまちづくりとそれらをつなぐ交通ネットワークの充実に取り組んできました。 宮前区については、坂道の多い地域性から、以前から現在の区役所は不便との声をいただいています。今後、区役所は福祉や介護などの相談機能が一層重要になってくる中で、障がい者、高齢者、子育て家族、外国人など多様な方がアクセスしやすい立地にあることは重要です。 また、再開発により建物・設備が更新されることにより、現区役所等施設では、構造的に対応が難しいバリアフリー対応や、耐震性・機能性の更なる向上が図られることとなります。さらに、市民館・図書館については、民間事業者との連携による相乗効果が期待でき、区民の利便性や効用を一層高めるチャンスとなります。 駅周辺に公共機能を集約し、需要が高まることで、バスネットワークも充実しやすくなると考えています。 これらを踏まえ、将来的な少子高齢化の一層の進行を見据え、災害に強く、しなやかで多様なコミュニティを創出する宮前区のミライを展望し、民間事業者による再開発によって交通結節機能をはじめ、都市としての機能が向上する鷺沼駅周辺に、宮前区役所・市民館・図書館を移転・整備し、宮前区全体の活性化を促す「核」としての地域生活拠点の形成を図ることなどを基本方針案にお示したところですが、引き続き、市民の皆様御意見を伺いながら、本市の魅力向上に向け、基本方針でお示した方向性等の実現に向けた取組を推進してまいります。</p>
20	<p>フォーラム全てに出席し、意見交換会は全て傍聴させていただいた。フォーラム・意見交換会によると賛成派は、「再開発された鷺沼で、子どもを預けてお茶を飲みたい。」「ターミナルビルがほしい」「今までロータリーの拡充を東急に求めてきたが、実現しなかったので、区</p>	<p>記者会見での発言は「反対」という意見も含めて、強い意見をお持ちの方が多く参加する傾向にあるという趣旨のものでございます。</p>

No.	意見・質問要旨	本市の考え方
	役所が鷺沼に移転してきてほしい」という内容であった。市長記者会見では、フォーラムに来る人は反対派ばかりで賛成の人は来ないと発言していた。	
21	市長記者会見で、市長がフォーラムに参加する人は反対の人が多いと発言していたが、失言だと思う。	
22	多角的な取組は、抽象的な表現である。具体的にすべきである。	<p>今回のプロジェクトは、民間事業者による再開発が予定されている鷺沼駅前に望まれる公共機能について、区役所、市民館、図書館という区民が利用する施設の移転可能性を含めて検討していくため、生活実感としてのニーズや課題の把握を重視し、意見交換会や区民意識アンケート、まちづくりフォーラム、関係団体等説明・ヒアリング、区長と語ろう会など様々な取組を通して意見把握を行っており、それらの取組を「多角的な取組」として表現したところです。</p> <p>なお、意見把握の取組については、基本方針の「第3章 市民意見の把握」としてお示ししております。</p>
23	移転の有無とあるが「無」もあるのか。	<p>今回の取組は、平成 30 (2018) 年 2 月に、検討に関する考え方をお示ししており、その中で、区役所・市民館・図書館等の移転可能性の有無を含め、鷺沼駅周辺再編整備に導入する公共機能について検討することとしておりましたので、「移転しない」という方向性も選択肢の一つでした。</p> <p>その後、多角的な意見聴取などの取組を行った上で、それらの御意見や基礎調査の結果、将来展望、並びに準備組合から提示された情報を総合的に整理・検討し、今回の再開発を、より良い宮前区のミライに繋がる契機と捉え、鷺沼駅周辺再編整備に伴う公共機能の方向性として、再開発によって交通結節機能をはじめ、都市としての機能が向上する鷺沼駅周辺、宮前区役所・市民館・図書館を移転・整備し、宮前区全体の活性化を促す「核」としての地域生活拠点の形成を図ることをお示したところでございます。</p>
24	鷺沼駅だけでなく、宮前平、宮崎台、向丘にも光を。	本市では、鷺沼・宮前平駅周辺地区を地域生活拠点として位置づけ、まちづくりを推進しておりますが、宮前平駅周辺についても、駅周辺の動向等も踏まえつつ、適切な機能分担等を勘案したまちづくりを推進していきたいと考えております。
25	宮前区役所の職員には大変感謝しているが、現在の宮前区役所周辺が取り残されてしまうのではないかと危惧している。	<p>また、身近な地域においては、鉄道を主軸に、駅を中心とした多様なライフスタイルに対応できる都市機能の集積や交通結節機能の強化、それらに伴う路線バスサービスの充実などによる駅までのアクセス向上などを図るとともに、計画的に整備された良好な市街地、町内会や自治会などの地域コミュニティを活かした協働の取組によるまちづくりを推進してまいります。</p> <p>これらの取組を基本としつつ、今回のプロジェクトにより、路線バスネットワークの充実などにより、宮前区全体の活性化を促す「核」としての地域生活拠点の形成を図るとともに、現区役所等施設・用地における宮前区全体と周辺エリアの将来を見据えた市民参加での検討や向丘出張所の機能検討を含め、より良い宮前区のミライに繋がる取組を推進してまいります。</p>

【参考】 市民説明会における意見・質問

No.	意見・質問要旨	本市の考え方
26	再開発に伴い、新たな税の徴収などは発生するのか。	再開発事業を実施することで、新たな税の徴収を行うことはありません。

「鷺沼駅周辺再編整備に伴う公共機能に関する基本方針」 新旧対照表

※ パブリックコメント手続でのA区分に加え、議会での討議等を踏まえて修正した箇所を整理しました。

本編 頁番号	修正後	修正前
P.2	<p>(2) 持続可能な開発目標（SDGs）への対応 [4段落目]</p> <p><u>本市では、将来にわたる持続的な発展を図るため、国際的な取組である持続可能な開発目標（SDGs）達成に寄与する取組を進めていく必要があることから、平成31（2019）年2月に「川崎市持続可能な開発目標（SDGs）推進方針」を策定しました。</u></p> <p><u>同推進方針では、SDGsの理念や国の動向を踏まえながら、総合計画に位置付けた各施策・事務事業を実施することを基本としておりますので、本方針においても、総合計画と同様に、市民や地域の団体、企業などの多様な主体との連携を図りながら関連事業を実施し、SDGs達成に寄与する取組を推進します。</u></p>	<p>(2) 持続可能な開発目標（SDGs）への対応 [4段落目]</p> <p>（記載なし。以降項番繰り下げ）</p>
P.3	<p>(3) 都市計画マスタープランの位置付け [2段落 10行目]</p> <p><u>～また、国の施策等を踏まえ、少子高齢化の進行による社会的要請や今後の人口減少を見据えた地域課題に効果的に対応するとともに、地球環境に配慮した都市の形成を推進するため、「コンパクトで効率的なまちを目指すこと」として、「駅周辺における取組」として（中略）路線バスなどの公共交通による駅へのアクセス向上に向けた取組」を推進することとして</u></p>	<p>(2) 都市計画マスタープランの位置付け [2段落 10行目]</p> <p>～また、国の施策等を踏まえ、「駅周辺における取組」として（中略）路線バスなどの公共交通による駅へのアクセス向上に向けた取組」を推進することで、「コンパクトで効率的なまち」を目指すこととしており、<u>こういった理念を踏まえたまちづくりに取り組んでいます。</u></p>
P.20	<p>ウ 現施設の課題 ＜バリアフリー面の課題＞ [3段落目]</p> <p><u>なお、本市が「庁舎及び公の施設におけるバリアフリー対応」をテーマに調査を行い、平成31（2019）年2月に公表した「平成30年度行政監査結果報告書」においては、宮前区役所又は市民館・図書館のバリアフリーに関する課題として、階段の手すりの設置位置、階段の踏面の端部（段鼻）の色、点字ブロックの色や規格、多機能トイレへのオストメイト用洗浄器具の設置など複数の課題が指摘されており、高齢者や障害者等が安全に施設を利用できるよう、施設補修等により対応を行う必要があります。</u></p>	<p>ウ 現施設の課題 ＜バリアフリー面の課題＞ [3段落目]</p> <p>（記載なし）</p>

本編 頁番号	修正後	修正前
P.69	<p>①鷺沼駅の交通結節機能の強化を踏まえた宮前区の核となる地域生活拠点の形成 [5 段落目]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・鷺沼駅前再開発では、交通広場の拡充や、路線バスネットワークの充実により、宮前区全体の発展に資する鷺沼駅へのアクセス性向上に向けた取組を推進するとともに、多様なライフスタイルに対応した都市機能の集積により、利便性の向上を図ります。 ・また、公共交通によるアクセス性を高めるためには、<u>路線バスネットワークの充実と併せて、路線バスの走行環境の改善による速達性・定時性の向上が重要となることから、通過交通等に配慮した混雑対策など、駅周辺の交通環境の改善に取り組みます。</u> 	<p>①鷺沼駅の交通結節機能の強化を踏まえた宮前区の核となる地域生活拠点の形成 [5 段落目]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・鷺沼駅前再開発では、交通広場の拡充や、路線バスネットワークの充実により、宮前区全体の発展に資する鷺沼駅へのアクセス性向上に向けた取組を推進します。 ・また、多様なライフスタイルに対応した都市機能の集積により、利便性の向上を図ります。
P.70	<p>②建物・設備の更新と的確な機能分担による災害に強いまちづくり [4 段落目]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・再開発に合わせて建物・設備を更新することにより耐震性や耐火性、運営面を考慮した機能性の向上を図るなど、<u>既存建物以上の安全性と機能性を確保するとともに、周辺エリアを防火地域に指定していることから、機能更新等にあわせて、面的な市街地の防災性向上を誘導することで、宮前区災害対策本部（以下「区本部」といいます。）をはじめとした区役所（災害時）の「機能」を確実に確保します。</u> 	<p>②建物・設備の更新と的確な機能分担による災害に強いまちづくり [4 段落目]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・再開発に合わせて建物・設備を更新することにより耐震性や運営面を考慮した機能性の向上を図るなど、<u>既存建物以上の安全性と機能性で、宮前区災害対策本部（以下「区本部」といいます。）をはじめとした区役所（災害時）の「機能」を確実に確保します。</u>
P.70	<p>③民間施設等との連携による文化・交流拠点の形成と新たなコミュニティの創出 [5 段落目]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「ベッドタウンから生活するまち」、「一日過ごせるまち」へ。商業施設や広場機能等の民間施設と市民館・図書館等の行政施設の相乗効果により、<u>若い世代に選ばれ、多世代が集まり、多様なコミュニティを創出する新たな文化・交流拠点を形成していきます。</u> 	<p>③民間施設等との連携による文化・交流拠点の形成と新たなコミュニティの創出 [5 段落目]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「ベッドタウンから生活するまち」、「一日過ごせるまち」へ。商業施設や広場機能等の民間施設と市民館・図書館等の行政施設の相乗効果により、<u>多世代が訪れ、多様なコミュニティを創出する新たな文化・交流拠点を形成していきます。</u>
P.73	<p>(1) 区役所機能 イ 機能・サービス [5 段落目]</p> <p><u>庁舎整備にあたっては、「かわさきパラムープメント」の理念や区役所サービス向上の観点から、バリアフリーやユニバーサルデザインを取り入れたすべての人にとってやさしい庁舎とします。</u></p>	<p>(1) 区役所機能 イ 機能・サービス [5 段落目]</p> <p>(記載なし)</p>

本編 頁番号	修正後	修正前
P.73	<p>イ 整備位置、時期 [4 段落目]</p> <p><u>なお、「平成 30 年度行政監査結果報告書」において指摘のあった現在の宮前区役所、市民館・図書館のバリアフリーに関する課題については、利用状況や施設の状況等を踏まえて優先度を検討し、補修等により対応を行います。</u></p>	<p>イ 整備位置、時期 [4 段落目]</p> <p>(記載なし)</p>
P.74	<p>(2) 市民館・図書館機能 ア 目指す方向性 [5 段落目]</p> <p><u>多くの人々が集う新たな施設を宮前区における生涯学習の拠点とし、地域で活動する様々な主体や区内の諸施設との連携を図りながら、幅広い地域で生涯学習事業を推進していきます。</u></p>	<p>(2) 市民館・図書館機能 ア 目指す方向性 [5 段落目]</p> <p>(記載なし)</p>
P.74	<p>ウ 規模</p> <p><u>新施設の規模は、「イ 機能・サービス」で示したとおり、これまで行われてきた様々な市民の活動が継続して推進されるよう、現施設と同程度の施設規模を基本としながら、市民館・図書館の更なる連携及び生涯学習施設としての機能の充実に向けた効果的なスペースの活用を検討します。</u></p>	<p>ウ 規模</p> <p><u>新施設の規模は、「イ 機能・サービス」で示したとおり、今後も生涯学習施設としての取組を推進していくため、現施設と同程度の施設規模を基本とします。</u></p>
P.76	<p>ア 駅周辺交通環境の改善 [7 段落目]</p> <p><u>○施策⑦ 歩行空間の確保</u> <u>・再開発事業の敷地に接する道路について、歩道と一体となった歩道状空地の整備など、適切な歩行空間の確保に向けた検討を行います。</u></p>	<p>ア 駅周辺交通環境の改善 [7 段落目]</p> <p>(記載なし)</p>
P.77	<p>ア 駅周辺交通環境の改善 [枠外]</p> <p><u>(参考) ホームドアの設置について</u> <u>東急電鉄では、すべての利用客が安全・安心に利用できる鉄道を目指し、平成 31 (2019) 年度までに田園都市線の全駅にホームドアの設置を目指しています。</u> <u>宮前区内では、宮前平駅で設置・運用開始済みのほか、宮崎台駅で同年度上期、鷺沼駅で同年度下期のホームドアの設置に向けた取組が進められています。</u></p>	<p>ア 駅周辺交通環境の改善 [枠外]</p> <p>(記載なし)</p>

本編 頁番号	修正後	修正前
P.79	<p>4 民間事業者と連携した取組の方向性 [1 段落目]</p> <p>本プロジェクトにおける（中略）公共施設と民間施設の連携、機能・空間の融合や多機能化を図ることによる相乗効果を創出します。</p> <p>また、乳幼児から高齢者まで多世代が豊かな時間を過ごせる場や官民の垣根を超えたフレキシブルに使える場、駅・交通広場・広場と連携した空間づくりなど、複合施設であることのメリットを最大限に活かし、若い世代に選ばれ、<u>高齢者が安心して暮らし続けられるまちづくりに向けて、新たな賑わいや交流を促進する取組を推進していきます。</u></p>	<p>4 民間事業者と連携した取組の方向性 [1 段落目]</p> <p>本プロジェクトにおける（中略）公共施設と民間施設の連携、機能・空間の融合や多機能化を図ることによる相乗効果により、乳幼児から高齢者まで多世代が豊かな時間を過ごせる場や官民の垣根を超えたフレキシブルに使える場、駅・交通広場・広場と連携した空間づくりなど、複合施設であることのメリットを最大限に活かし、<u>新たな賑わいや交流の促進に向けた取組を推進していきます。</u></p>
P.80	<p>6 向丘出張所の機能のあり方の検討 [5 段落目]</p> <p>向丘出張所の機能のあり方については、今回の鷺沼駅周辺再編整備に伴う公共機能に関する検討を契機として、地域バランスを考慮した区全体の機能向上という観点や、関係施策の位置付け・検討状況を踏まえ、「身近な活動の場」や「地域の居場所」としての活用など、地域の皆様とともに、共に支え合う地域づくりとコミュニティ形成を推進する身近な地域の拠点として、<u>地域ニーズや課題を把握・整理し、概ね10年にわたる事業全体の想定スケジュールと並行して、機能のあり方について検討していきます。</u></p>	<p>6 向丘出張所の機能のあり方の検討 [5 段落目]</p> <p>向丘出張所の機能のあり方については、今回の鷺沼駅周辺再編整備に伴う公共機能に関する検討を契機として、地域バランスを考慮した区全体の機能向上という観点や、関係施策の位置付け・検討状況を踏まえ、「身近な活動の場」や「地域の居場所」としての活用など、地域の皆様とともに、共に支え合う地域づくりとコミュニティ形成を推進する身近な地域の拠点として、<u>地域ニーズや課題を把握・整理し、機能のあり方について検討していきます。</u></p>
P.81	<p>1 再開発に関する取組 [2 段落目]</p> <p>今後のスケジュールについては、平成 31（2019）年度の<u>環境影響評価（環境アセスメント）</u> 手続や都市計画決定手続を経て、平成 32（2020）年度には、都市再開発法に基づく事業認可（市街地再開発組合の設立認可）を行い、平成 33（2021）年度の工事着手を目指し、取組が進められます。</p> <p><u>この間の市民意見聴取については、平成 31（2019）年度には、環境アセスメント手続きとして、準備組合による説明会や意見書提出の機会があり、また、都市計画決定手続きとして、素案説明会や縦覧など、都市計画について市民意見を伺っていきます。</u></p>	<p>1 再開発に関する取組 [2 段落目]</p> <p>今後のスケジュールについては、平成 31（2019）年度の都市計画手続を経て、平成 32（2020）年度には、都市再開発法に基づく事業認可（市街地再開発組合の設立認可）を行い、平成 33（2021）年度の工事着手を目指し、取組が進められます。</p>

本編 頁番号	修正後	修正前
P.84	<p><u>4 庁内検討・推進体制 [1 段落目]</u></p> <p><u>基本方針の策定に向けては、庁内に副市長を座長とする「鷺沼駅周辺再編整備公共機能検討会議」を設置し、市民文化局・まちづくり局・宮前区役所・教育委員会事務局を中心に、各局が連携しながら組織横断的な検討を進めてきました。</u></p> <p><u>今後は、基本方針に基づき、概ね10年以上にわたり、より具体的な取組を推進していきます。推進に必要な組織体制等については、進捗状況等に応じて、順次検討していくこととなりますが、平成31(2019)年度については、上記検討会議を改組し、改めて副市長を座長とする「(仮称)宮前区のまちづくりにおける公共機能検討会議」を設置し、宮前区全体の機能向上、持続可能なまちづくりに向けた取組について、引き続き関係局が連携しながら検討・推進していきます。</u></p>	<p>4 庁内検討・推進体制 [1 段落目]</p> <p>(記載なし)</p>

※上記以外にも、(案)策定後の時間経過に伴う時点修正など、軽微な修正をした箇所があります。

「鷺沼駅周辺再編整備に伴う公共機能に関する基本方針（案）」に対する 主な未反映意見に関する本市の考え方

- ・ 今回実施したパブリックコメント手続では、基本方針（案）に対する反対、疑問、懸念等の御意見を多数いただきました。
- ・ 御意見に対する本市の考え方は「意見募集の結果」とおりましたが、基本方針に反映していない御意見のうち、特に多数寄せられた意見に対する本市の考え方について、以下のとおり改めて整理しました。
- ・ 疑問や懸念等の御意見の中には、情報の浸透不足による質問等も複数見受けられることから、引き続き、今後の取組の中で、継続的な説明、意見交換に取り組んでまいります。

意見1 市民合意のない基本計画には反対である。もっと時間をかけて検討すべきではないか。なぜ民間事業者の再開発スケジュールを優先するのか。

- ・ パブリックコメント手続を含め、これまで把握してきた区民の皆様の御意見については、お住まいの地域や年代、ライフスタイル等により、多様な考え方、捉え方があるものと認識しており、本市として、基礎調査の結果等と合わせて総合的に整理・検討し、公共機能の方向性及び基本的な考え方をお示ししました。
- ・ 鷺沼・宮前平駅周辺地区は、本市総合計画において「地域生活拠点」として位置づけ、鷺沼駅周辺を中心に、「民間活力を活かした駅前広場の再整備等による」取組を推進することとしています。
- ・ 今回の民間事業者による再開発は、この総合計画上に位置付けた取組であり、課題解決の機会という観点からの検討が期待される取組です。
- ・ 本市としては、再開発によって交通利便性が高まり、都市としての機能が向上する鷺沼駅前に、公共機能を一体的に移転する可能性も含めて検討する機会であると捉え、取組を進めてきました。
- ・ 区民意見を踏まえた本市の方針を準備組合が進める再開発計画に着実に反映させるため、民間事業者のスケジュールを考慮し、平成30（2019）年度内に基本方針を策定します。

意見2 市民利用施設が足りない。移転ではなく、市民館・図書館分館を設置すべきではないか。

- ・ 今後も各区に1館ずつ設置している市民館及び図書館並びに既設の分館等を軸としながら、地域で活動する様々な主体や区内の諸施設との連携及び学校施設の有効活用等の手法を総合的に用いて、幅広い地域で生涯学習事業を推進していきます。
- ・ 今回の取組を契機に、移転後の市民館・図書館が宮前区における生涯学習の拠点として魅力的な施設となり、これまであまり利用されていなかった方を含め、より多くの市民の皆様に御利用いただけるよう検討を進めていきます。
- ・ 現在の区役所・市民館・図書館の周辺にお住まいの方からは、いまある施設を残してほしいという御意見をいただいております。現区役所等施設・用地のあり方については、今後、御意見を伺う機会を設けながら、検討を進めていきます。

意見3 2 拠点体制やリスク分散、被害想定で差異がないというのはごまかしだ。土砂災害警戒区域や盛土など、防災面で鷺沼は危険。区役所等は現位置のままとすべきである。

- 被害想定については、東日本大震災の教訓を踏まえて見直しを行い、本市に大きな被害をもたらす可能性がある地震の想定を最新の科学的知見に基づいて見直し、地域社会に関するデータを更新し、被害想定を実施したものです。その結果、想定地震での震度分布、想定地震による液状化危険度、浸水被害予測、津波浸水被害予測について、両区域で差異は見られません。
- また、災害時、本市では、市の災害対策本部、区役所は区の災害対策本部を設置するとともに、市の消防局には「消防指揮本部」、各消防署に「方面指揮本部」を設置、神奈川県警察本部にも「県警察災害警備本部、各警察署に「警察署災害警備本部」を設置し、それぞれの組織が適切な指揮命令系統のもと、災害時にも利用可能な防災無線や災害用電話などの情報基盤を活用しながら、宮前区内外問わず多くの関係機関と協力・連携し、災害対応を行う必要があります。
- 区役所と消防署・警察署が2か所に分かれることによる連絡調整上のデメリットはありますが、立地によって状況が異なることから、その特性を活かした取組を行います。日頃から、防災訓練の実施などによる連携強化を図るとともに、新たな拠点配置による区役所（区本部）と消防署・警察署等との的確な役割分担を踏まえ、更なる機動性・即応性の確保に向けて区地域防災計画を改定するなど、的確な災害対応が果たせるよう、災害対応力の強化を図ってまいります。

意見4 跡地の計画を併せて示すべきだ。現区役所等周辺地域の行政サービスが著しく低下する。区役所窓口機能や図書館は残してほしい。

- 現区役所等施設・用地については、「市が保有し続けるべき」、「防災機能の確保」、「地域活動の場所の確保」、「スポーツができる広場の整備」、「区役所窓口や図書館は残してほしい」など、様々な御意見をいただいています。
- 今後の想定スケジュールでは、最終的に区役所が鷺沼駅周辺地区に移転を完了し、現区役所等施設・用地が新たな用途で活用可能となるまでには、約10年間の期間を要します。当施設・用地は、一定規模のまとまった貴重な公有地であり、施設・用地活用まで期間があることから、段階を経ながら、一定の時間をかけて、活用方策を検討してまいります。
- 今後、「市による施設・用地保有」、「宮前区全体と周辺エリアの将来を見据えた課題やニーズの整理」、「市民参加による検討」を基本的な考え方として、平成34（2022）年度を目途に、当施設・用地活用の基本的な考え方を定める「(仮称)宮前区役所等施設・用地の活用に関する基本方針（以下「活用基本方針」といいます。）」の策定に向けた取組を進めていきます。

意見5 再開発の全体像が示されない中で、どうして必要経費等を算出できるのか。重要な判断材料だ。至急明らかにすべきである。

- 今回は、現施設の長寿命化と移転建替等との比較をすることを目的として、国土交通省の監修による「建築物のライフサイクルコスト」等の公的基準に基づいて一定の条件を仮定し、必要な経費比較を行いました。
- 再開発事業の概要については、今回の基本方針において、現時点の再開発コンセプトや施設ゾーニング等をお示ししたところです。
- 具体的な施設計画については、準備組合により、様々な条件で検討を行っているものと認識しており、今後、環境アセスメント手続等を通じて示されていくものと考えておりますが、本市としても、早期に全体像が明らかにされるよう、準備組合に働きかけてまいります。

第1章 総論

1 基本方針策定の目的

- 多角的な取組により把握してきた区民意見や、専門業者への委託により進めてきた基礎調査の結果等を総合的に整理・検討した結果として、宮前区役所・市民館・図書館の移転の有無も含めた公共機能の方向性を明らかにし、引き続き、より良い宮前区のミライに繋がる取組を推進していく。

2 基本方針の位置付け

- 鷺沼駅周辺再編整備に導入する公共機能や、公共交通による駅アクセスの向上に向けた取組、現在の区役所等施設・用地に関する考え方など、今後の取組に関する基本的な方向性を定めるもの
- 今後、基本方針（案）で示した基本的な方向性に基づき、平成31(2019)年度以降の取組を推進

3 鷺沼駅周辺再編整備の経過、位置付け

- 鷺沼駅周辺は、大きな施設・機能の更新等がないまま40～50年が経過。土地の高度利用が図られておらず、バス交通の需要増への対応も必要。こうした状況を踏まえて市街地再開発事業に向けた取組を推進

(1) 総合計画における地域生活拠点としての位置付け

- 鷺沼駅周辺を中心に、多様なライフスタイルに対応できるよう、「民間活力を活かした駅前広場の再整備等による、商業、都市型住宅、文化・交流などの都市機能の集積及び交通結節機能の強化に向けた取組を推進」

(2) 持続可能な開発目標（SDGs）への対応

- 平成31(2019)年2月に策定した「川崎市持続可能な開発目標（SDGs）推進方針」を踏まえ、総合計画と同様に、多様な主体との連携を図りながら関連事業を実施。SDGs達成に寄与する取組を推進

(3) 都市計画マスタープランの位置付け

- 安全で快適な利便性の高い都市機能をコンパクトに集約。地域特性や個性を活かす地域生活拠点の形成

(4) 鷺沼駅前再開発の経過

- 平成27(2015)年6月に東急電鉄（株）と包括連携協定を締結
- 平成29(2017)年8月に鷺沼駅前地区再開発準備組合(以下「準備組合」)設立。計画区域は約1.9ha
- 再開発事業により、民間活力を活かして、「交通広場の拡充や拡充に併せたバス路線の充実などの公共交通の利便性の向上」、「駅・生活機能・地域をつなぐ広場機能の導入による多世代が訪れ、交流し、多様なコミュニティ形成に寄与する空間づくり」、「駅前に住む・駅前で働く・1日過ごすなど多世代の多様なライフスタイルに対応する機能集積」など地域生活拠点にふさわしいまちづくりを期待
- 平成31(2019)年度に市街地再開発事業等に関する都市計画決定、平成33(2021)年度に工事着手を目指して事業計画の検討

(5) 議会各会派、市民等からの意見・要望（H30年2月まで）

- 市全町内会連合会、再開発推進協議会から要望書提出
- 宮前区議団から平成30(2018)年度予算への緊急要望

(6) 検討に関する考え方（H30年2月公表）

- 準備組合が進めている計画検討の中で議論が可能となるよう、平成30(2018)年度内の基本方針策定を目指して検討



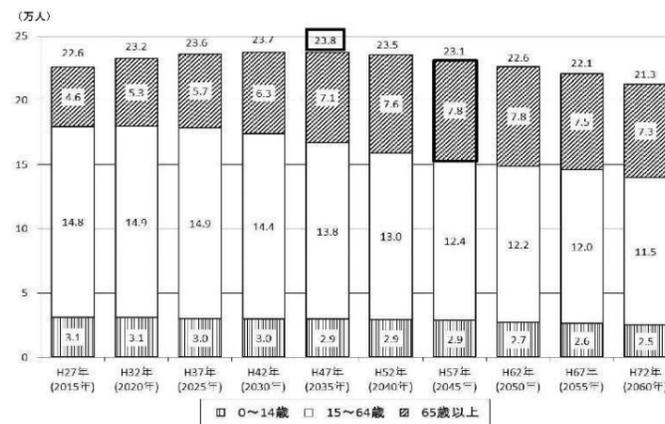
第2章 宮前区の概況

1 区の成り立ち、概要

- 宮前区は、多摩丘陵の一角に位置し、丘陵、坂、谷戸などで構成された起伏に富んだ地形が特徴

2 人口構成、将来人口推計

- 人口は、分区当時の約15万人から急速に増加し、平成30(2018)年1月現在で約23万人
- 東急田園都市線沿線を中心に人口が分布
- 区内の年少人口の割合は13.6%（7区中最高）、「夫婦と子」のみからなる世帯の比率は34.4%（7区中最高）、昼夜間人口比率は73.4%（7区中最低）
- 区内の総人口のピークは平成47(2035)年で23.8万人、老年人口のピークは平成57(2045)年で7.8万人



資料：平成27(2015)年川崎市総合計画第2期実施計画の策定に向けた将来人口推計について

3 これまでのまちづくりの取組、公共施設の概況

(1) これまでの区民参加によるまちづくりの取組

- 宮前区区づくりプラン ガーデン区構想(平成9(1997)年3月策定)…当時の総合計画を受け、区民参加により宮前区の将来像を明らかにしていこうとしたもの
- 宮前区まちづくり協議会…区づくりプランの理念に基づき、魅力あるまちづくりをめざす活動を継続
- 都市計画マスタープラン宮前区構想区民提案(平成13(2001)年作成)…ガーデン区構想を踏まえた区民提案
- 区民会議…参加及び協働による区における課題の解決を目的として調査審議を実施

(2) 区役所、市民館・図書館の現状と課題

- 施設配置の経過…昭和57(1982)年に高津区から分区した際、土地の有効利用や機能の向上といった観点から総合庁舎として区役所と市民館、図書館等を同じ場所に設置。必要面積や当時の交通計画等を考慮
- 区役所…区役所、向丘出張所、鷺沼行政サービスコーナーの3か所で行政サービスを提供
- 市民館・図書館…市民館、図書館、菅生分館(市民館分館)、有馬・野川生涯学習支援施設(アリーノ)

<現施設の課題>

- バリアフリー面…南側道路と北側道路は建物1層分の高低差があり、出入口は1階(北側)と2階(南

側)に分かれているため、総合案内等の位置や動線が分かりにくい構造。また、通路や出入口の幅が狭い。

- 「平成30年度行政監査結果報告書」では、区役所・市民館・図書館のバリアフリーの複数の課題を指摘
- 建物の維持管理面…雨漏りや設備機器の経年劣化が生じており、適切な施設点検・効果的な修繕等の保全を実施し、施設利用の安全確保、施設の長寿命化、環境の向上に向けた取組を行う必要がある。
- アクセス面…区役所等施設へのアクセスは、古くは分区当初から課題として指摘されており、区役所駐車場部分の改修によるバスターミナルの設置やシャトルバス等の運行など、近年に至るまで検討を重ねてきたものの、物理的な課題や採算性、ランニングコストなどの課題があり、実現していない。

4 公共交通による駅アクセスの現状と課題

(1) 宮前区内の交通の現状

- 鉄道から離れた地域でバスの利用が多い。
- 自動車による移動の割合は減少傾向
- 高齢者は年齢とともにバスの分担率が高まる。

(2) 宮前区内の路線バスの現状

- 野川柿生線沿線は溝口駅、尻手黒川線沿線は宮前平駅、東急田園都市線東側は鷺沼駅への接続
- 小田急線沿線方面へのアクセスは、宮前平駅からはあるものの、鷺沼駅からはない。

(3) 再開発を見据えた鷺沼駅発のアクセスの現状と課題

- 区内3駅の中で最も鉄道乗降客数が多い。
- 路線バスによる駅へのアクセスが多い中でバスバース*が4バースしかなく、1バースあたりのバス便数は市内主要駅の中で最大。バス需要に応える増便等の対応が難しい。
- 交通広場に関する課題…バス、タクシー、一般車が無秩序に混在
- 周辺交通に関する課題…交通広場の出入り口周辺に3つの信号が近接するため交通処理能力が低下、右左折レーン未整備による交通混雑が発生
- 機能に関する課題…都市の広場として憩える場所や待合スペースなどの交流機能が不足

*バスバース…バスに乗降するための所定の停留場所のこと



宮前区を通過する路線バスの現状(線の幅は本数に比例)



鷺沼駅周辺図

第3章 市民意見の把握

1 「宮前区のミライを考える さぎぬまプロジェクト」の全体像、取組の概要、市民意見の整理

- 鷺沼駅前に望まれる公共機能について、区役所・市民館・図書館という区民が利用する施設の移転可能性を含めて検討していくため、区民の生活実感としてのニーズや課題の把握を重視し、様々な取組を通して、多角的な意見の把握を実施
- 区民とともに検討するプロジェクトとして「宮前区のミライを考える さぎぬまプロジェクト」という名称を付けて周知

(1) 意見交換会

- 4回連続のワークショップによる創造的な議論の場として参加者同士の率直な意見交換を促進

回数	実施日	会場	出席者数	傍聴者数
第1回	平成30(2018)年6月9日(土)	宮前区役所	45人	14人
第2回	平成30(2018)年7月21日(土)	宮前区役所	46人	13人
第3回	平成30(2018)年9月8日(土)	宮前区役所	44人	9人
第4回	平成30(2018)年10月27日(土)	宮前区役所	43人	26人

- 意見交換会の「成果」は、各グループが話し合いながら作り上げた「模造紙」そのものだが、ここでは検討テーマと各グループのキャッチフレーズを紹介

<テーマ、キャッチフレーズ>	
①鷺沼駅周辺のまちづくりと公共機能	Aグループ：多様性、多世代（Colors, Future! いろいろって、未来。） Bグループ：ベッドタウンから生活するまちへ 皆がずっと住みたい 毎日楽しいさぎぬま
②宮前区全体のまちづくりと鷺沼駅周辺再編整備	Cグループ：子育てしたくなるまち 若い人が集まる 人を集める Dグループ：防災、コミュニケーション、教育、緑を大事にしてブランド化につなげる
③交通・アクセス	Eグループ：人にやさしく、まるく、近くなる さぎぬま
④検討の進め方	Fグループ：限られた期間における効果的な情報発信と意見の吸い上げ、継続的な市民参加、その集約、結論のまとめに向けた努力

- また、寄せられた意見のうち、鷺沼駅周辺再編整備におけるコンセプトや機能・サービスという観点から整理可能な意見を本市として抽出

コンセプト	<ul style="list-style-type: none"> 子どもから高齢者まで多世代が安心して集い、活用し、交流でき、豊かな時間が過ごせる多様性や創造性のあるまちづくり 災害に強いまちづくり ひとにやさしく機能的で安全な交通広場から様々な場所へ繋がる、生活に便利なまち
機能・サービス	<ul style="list-style-type: none"> 子育て中の方や高齢者、障害者、外国人等、必要とする方への相談や申請等の行政サービス機能 区役所は防災拠点として機能する場所に配置 世代別のニーズに合わせたスペースを持つ図書館機能 音楽の発表や練習、市民活動のためのスペース 働く場所や保育・子育ての施設・機能 多様なコラボレーションが可能な場として、シェアワーキングスペースや広場等の空間 ユニバーサルデザインに配慮し、安全性や快適性を備えた交通広場 小田急やJR等の各路線につながるバス路線を新設し、様々な場所へ繋がる

(2) 区民意識アンケート

- 宮前区の今後のまちづくりに向けた区民の率直な意識を統計的に把握することを目的に実施

調査期間	調査対象／有効回収数
平成30(2018)年6月7日(木)～ 平成30(2018)年6月25日(月)	宮前区内在住の18歳以上の男女個人2,000人(外国人含む) ／1,057件(52.85%)

- 区役所へのアクセス課題…区役所・市民館・図書館への距離への満足度において、不満と答えた人の割合が6割近い結果
- 鷺沼駅周辺のまちづくりへの期待…都市機能の集積による完結型のまち、憩いの空間や、災害発生時に避難場所としても使える空間
- 鷺沼駅周辺のまちづくりへの懸念…鷺沼駅周辺の駐車・駐輪スペースの整備、区内各所から鷺沼駅に行きやすくなると良い

(3) まちづくりフォーラム

- 取組の概要や検討状況等について説明し、参加者から幅広く意見を伺うため、当初予定していた2回のフォーラムに、追加開催した中間報告まちづくりフォーラムを加え、計3回開催

回数	実施日	会場	来場者数
第1回	平成30(2018)年5月27日(日)	JAセレサ川崎本店 セレサホール飛翔	約200人
中間報告	平成30(2018)年8月26日(日)	宮前区役所4階大会議室	約150人
第2回	平成30(2018)年11月11日(日)	宮前区役所4階大会議室	約200人

(4) 関係団体等説明・ヒアリング

- 区役所の日常業務等で関わりのある団体等を対象として検討状況等について説明・ヒアリング

回数	実施期間	実施団体数(人数)
第1回	平成30(2018)年2月14日(水)～ 平成30(2018)年3月26日(月)	35団体(401人) 1団体当たり40分程度
第2回	平成30(2018)年10月4日(木)～ 平成30(2018)年11月8日(木)	20団体(240人) 1団体当たり60分程度

(5) 意見箱

- フォーラムや意見交換会での御意見を踏まえ、意見箱を設置

	設置期間	設置場所	件数
区内公共施設	平成30(2018)年10月22日(月)～ 平成31(2019)年1月31日(木)	区内7か所	75件
インターネット	平成30(2018)年11月16日(金)～ 平成31(2019)年1月31日(木)	—	70件

- 関係団体等説明・ヒアリング、まちづくりフォーラム、意見箱等で寄せられた主な意見は以下のとおり

期待する意見	<ul style="list-style-type: none"> 区全体が明るくなり、宮前・向丘両地区にとって便利さが感じられるといい。／公共機能を導入し、宮前区の核となる取組になるといい。／子育て機能等を充実し、今後も選ばれ、住み続けたいまちにしていけるといい。／図書館やホール等を設置してほしい。／コンパクトシティを実現するために、駅前に必要な機能を導入してほしい。／子育て世代、高齢者にとって、現区役所等は不便なので、今後のことを考えると、バスネットワークが充実して便利になる鷺沼駅前に移転するのはいい。／区役所等が鷺沼駅前に移転しても宮前平には警察と消防が残るため、区内に防災拠点が2つできるなら区全体としては良い方向だと思う。／区民のコミュニティづくりに関わるイベントに適したスペースを整備してほしい。
懸念する意見	<ul style="list-style-type: none"> なぜ移転しなければならないのか。／移転ありきで検討が進められているのではないか。 一部機能の移転で良いのではないか(全てを移転する必要はない)。／現区役所等のアクセスが課題ならば、シャトルバスやコミュニティバスを検討すればよい。／鷺沼駅周辺は土砂災害警戒区域に指定されていて危険ではないか。／防災上、区役所・警察署・消防署が隣接している現在の場所が理想的ではないか。／時間を掛けて検討すべき。／鷺沼駅周辺の道路整備、駐車場の確保が必要。／多くの区民が取組について知らないまま基本方針を決定すべきではない。
その他	<ul style="list-style-type: none"> 区内全域から鷺沼へのバス網の整備が必要。／子ども含め多くの意見を聞いてほしい。 仮に区役所等を移転した場合の跡地の活用の検討が重要。／向丘出張所の機能充実が重要。 これまで市民参加、市民と行政との協働で施設整備を検討してきた歴史がある。今後についても市民参加で検討していくことが必要。

(6) 区長と語る会

- 宮前区長が中学生・高校生と、宮前区のまちづくりや自分の将来のことなどについて意見交換

回数	実施日	対象／人数
第1回	平成30(2018)年10月9日(火)	宮前区内8中学校／20人
第2回	平成30(2018)年12月12日(水)	県立川崎北高等学校／14人

2 市民意見のまとめ

- 鷺沼駅周辺再編整備に求められる機能・サービス…図書館機能やホール、市民活動のスペース、相談や申請等の行政サービス機能、保育・子育て機能、多様なコラボレーションが可能な場としてのシェアワーキングスペース、憩いの空間となる広場など
- 交通・アクセス…現在の区役所・市民館・図書館への距離やアクセス向上、鷺沼駅周辺に十分な駐車・駐輪スペースの整備、安全性や快適性を備えた交通広場の設置、小田急やJR等の各路線に繋がる路線バスネットワークの充実
- 防災…区役所は防災拠点として機能する場所に設置、現在の区役所・警察署・消防署が隣接している立地が理想的、鷺沼駅周辺の一部が土砂災害警戒区域に指定されて危険、災害に強いまちづくり

第4章 現在の区役所等施設の継続利用と移転の比較 ①

1 検討対象とする公共機能の考え方

- 移転も含めた検討の対象とする大規模な公共機能の考え方について整理

(1) 基本的な考え方

ア 駅を中心とした多様なライフスタイルに対応したまちづくりを推進するものであること

- 商業、都市型住宅、文化・交流、子育て支援等の都市機能が調和した市街地形成の誘導との整合

イ 主として市民利用における利便性の向上を図るものであること（市民が利用する施設であること）

- 市民の利便性向上を図るため、市民利用という観点から整理

(2) 基礎調査の実施

- 移転可能性を検討する大規模な施設は、区役所、市民館、図書館の3施設として検討に必要な次の項目について、外部専門家による基礎調査を実施
 - 立地特性の比較・・・現区役所等施設のある宮前平周辺と鷺沼駅周辺の立地特性の比較を、アクセス性、防災性、周辺の土地利用の観点から比較・評価
 - 施設設置パターンの検討と比較・・・区役所、市民館、図書館を、宮前平周辺と鷺沼駅周辺のどちらに設置するか、3パターンを設定した上で、建物の維持管理・運営面やコスト面について比較・評価

2 立地特性の比較

- 各詳細項目における評価の記号は、各観点から優位性を相対的に評価したもの。対策や対応が可能なものについても現状のみで評価

(1) アクセス性（公共交通機関）

- 現区役所等施設は区域のほぼ中心であり、最寄駅（宮前平駅）から坂道で徒歩10分、アクセスするバスは平日では一日に約280本（宮前平駅発は約140本）
- 鷺沼駅周辺は、区域のやや南寄りに位置しているが、アクセスするバスは平日では一日に約560本であり、再開発に合わせて路線バスネットワークの充実が図られる点は優位性あり

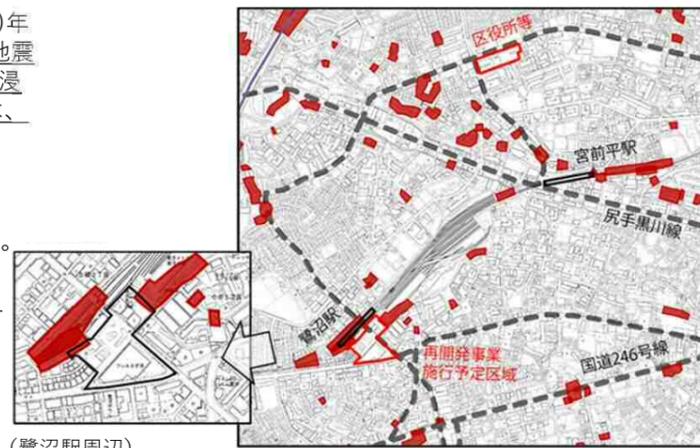
	宮前平（現区役所等施設）周辺	評価	鷺沼駅（再開発区域）周辺	評価
位置	・区域のほぼ中心	○	・区域のやや南寄り	△
鉄道駅との関係	・各駅停車の停車駅から徒歩10分（坂道）	△	・急行の停車駅から至近	○
区内からのアクセス（公共交通）	・区役所にアクセスするバスは、平日約280本／日（約140本／日） （カッコ内は宮前平駅発の内数）	△	・駅にアクセスするバスは、平日約560本／日 交通広場の拡充により、拡充に併せた路線バスネットワークの充実が図られる。	○

(2) 防災性（地震等の影響）

- 川崎市地震被害想定調査報告書（平成25(2013)年3月）に基づく「大規模災害の被害想定（想定地震での震度分布、想定地震による液状化危険度、浸水被害予測、津波浸水被害予測）」については、両区域で差異は見られない。

ア 地形・地質

- 両立地とも、宅地造成工事規制区域内であり、区域の一部が大規模盛土造成地に含まれている。
- 現区役所等用地から尻手黒川線にアクセスする道路の一部、鷺沼駅周辺の法面上部（一部）が土砂災害警戒区域に指定。地質調査の結果に応じた杭基礎構造による頑強な地盤（支持層）への支持が検討されるため、建物への影響は生じないと想定



（鷺沼駅周辺）

土砂災害警戒区域の指定図

	宮前平（現区役所等施設）周辺	評価	鷺沼駅（再開発区域）周辺	評価
大規模盛土造成地	区域の一部が大規模盛土造成地に該当	△	区域の一部が大規模盛土造成地に該当	△
土砂災害警戒区域	土砂災害警戒区域外	○	法面上部（一部）が土砂災害警戒区域指定	△

イ 災害時のアクセス

- 緊急輸送道路について、宮前区内の第一次緊急輸送道路（尻手黒川線・国道246号線）からのアクセスについては、大きな差異は見られない。
- 駅前においては、災害時の交通混雑が懸念されるため、災害時のアクセスについては、宮前平周辺に優位性あり

	宮前平（現区役所等施設）周辺	評価	鷺沼駅（再開発区域）周辺	評価
道路網等	・都市計画道路(幅員18m)に接続（片側一車線）	○	・都市計画道路(幅員16m)に接続（片側一車線） ・駅周辺に橋梁（鷺沼橋）があるが耐震対策済 ・駅前、災害時の交通混雑が懸念	△
緊急輸送道路	・第一次緊急輸送道路へのアクセス（尻手黒川線から約0.5km、国道246号線から約2km） ・第二次緊急輸送道路に接続	○	・第一次緊急輸送道路へのアクセス（尻手黒川線から約1.25km、国道246号線から約0.5km） ・第二次緊急輸送道路に接続無し（※）	○
耐震診断義務化路線	指定外（「その他の緊急輸送道路」に位置づけ）	○	指定外（前面道路は「その他の緊急輸送道路」の指定外）	○

（※）緊急輸送道路とは、発災時の救助人員や物資等の緊急輸送を円滑かつ確実に行うための道路で、市町村庁舎をはじめ、主要な防災拠点の移転や変更、新たな道路の供用等があった場合には、適宜見直しを行うこととしている。

ウ 建物整備環境等

- 長寿命化した後に現地で建て替える場合より早期に新設整備され、十分な機能確保が図られる鷺沼駅前再開発区域の方が、業務継続等の観点から優位性あり
- 警察署や消防署と隣接して立地していることは現区役所等施設に優位性あり
- 区の災害対策本部機能を有する区役所が鷺沼駅周辺に移転する場合、鷺沼（区役所）、宮前平（消防署・警察署）の2拠点体制として被災リスクを分散させることが可能

	宮前平（現区役所等施設）周辺	評価	鷺沼駅（再開発区域）周辺	評価
整備手法	単独施設	○	複合施設	△
施設の耐震性能※（区役所）	現在：耐震補強により「人命の安全確保に加えて機能確保が図られている」（耐震安全性Ⅱ類：重要度係数1.25、Is値0.75相当） 建替え後：「人命の安全確保に加えて十分な機能確保が図られる」（重要度係数1.5、Is値0.9相当）	△	「人命の安全確保に加えて十分な機能確保が図られる」（耐震安全性Ⅰ類：重要度係数1.5）	○
設備・機能等	既存建物への新たな設備・機能等の導入は、設置スペースや施工上の制限がある	△	最新の設備・機能等の導入が可能	○
周辺の公共施設	宮前警察署 宮前消防署	○	—	△
周辺環境（避難所・オープンスペース等）	富士見台小学校（避難所） 宮前平中学校（避難所、地域防災拠点） 宮前市民館（帰宅困難者滞在施設）	○	土橋小学校（避難所） 鷺沼小学校（避難所） アスリエ鷺沼（帰宅困難者滞在施設） 鷺沼ふれあい広場 ヘリコプターの指定臨時離着陸場	○

(3) 周辺の土地利用

- 商店会や金融機関の施設が立地・整備され、再開発事業により商業機能の拡充が図られる、鷺沼駅周辺に優位性あり

	宮前平（現区役所等施設）周辺	評価	鷺沼駅（再開発区域）周辺	評価
官公署	消防署、警察署が隣接	○	—	△
大規模商業施設	東急宮前平ショッピングパーク （店舗面積：約2,052㎡）	○	フレルさぎ沼 （店舗面積：約9,492㎡）	○
商店会	—	△	さぎぬま商店会（会員数 108団体）	○
金融（銀行窓口）	川崎信用金庫 ※宮前平駅前…みずほ銀行、横浜銀行、JAセレサ	△	三菱UFJ銀行、横浜銀行、JAセレサ みずほ銀行、城南信用金庫、さわやか信用金庫	○

第4章 現在の区役所等施設の継続利用と移転の比較 ②

3 施設設置パターンの検討と比較

- 施設の「維持管理・運営面」、「コスト面」について比較を行うため、区役所、市民館、図書館の設置位置について次の3つのパターンをモデルケースとして想定し、比較

パターン①：区役所、市民館・図書館を長寿命化し、現地で建て替える場合
 パターン②：区役所、市民館・図書館を鷺沼駅周辺再編整備に伴い移転する場合
 パターン③：区役所は長寿命化して現地で建て替え、市民館・図書館は鷺沼駅周辺再編整備に伴い移転する場合

(1) 維持管理・運営面

- 現区役所等用地は高低差があり、大規模修繕を行っても建物の造りを大幅に変更することはできず、築60年まで長寿命化し、現地で建て替える場合は、建替えまでの期間、バリアフリー対応に課題
- 鷺沼駅周辺再編整備に伴い移転する場合は、他の施設との合築になるため、管理組合の一員として建物を適切に維持していく必要があり、施設の維持管理に関する自由度が低いなどの課題
- 一方、鷺沼駅周辺では、商業施設や広場機能等の民間施設と区役所、市民館・図書館等の行政施設の連携、機能・空間の融合や多機能化を図ることによる相乗効果を見込む。

パターン名	パターン①	パターン②	パターン③
項目	区役所、市民館・図書館を長寿命化し、現地で建て替える場合	区役所、市民館・図書館を鷺沼駅周辺再編整備に伴い移転する場合	区役所は長寿命化して現地で建て替え、市民館・図書館は鷺沼駅周辺再編整備に伴い移転する場合
建物整備時の機能・サービス	・通常の整備方法では少なくとも区役所の仮移転が必要となり、その位置や建物構造などによっては、一定期間区民の利用に支障が出ることが想定される。	・期間を空けることなく再開発ビルに必要機能・床面積を確保することが可能である。	・区役所を現地で建て替える場合は仮移転が必要であるが、市民館・図書館の跡地に整備する場合は仮移転は不要となる。その場合、区役所建替えまでの間、市民館・図書館施設・用地の活用には制約が出る。
評価	△	○	△
施設の維持管理	・市の方針に基づく維持保全が可能である。	・他の施設との合築になるため、管理組合の一員として建物を適切に維持していく必要があり、自由度は低い。	・区役所は、パターン①と同じ ・市民館・図書館は、パターン②と同じ
評価	○	△	区役所○ 市民館、図書館△
利用のしやすさ 使い勝手	・当面（少なくとも約25年間）は、大規模修繕を行っても建物の造りを大幅に変更することはできず、現在の建物を継続利用する。 ・建替えまでは、現在の敷地の高低差等により、バリアフリー対応に課題がある。	・他の施設との合築になるため、一定の制約はあるものの、区民意見を踏まえ、設計上の工夫により、使い勝手や機能の向上に向けた建物整備が可能である。 ・バリアフリー・ユニバーサルデザイン対応が可能である。	・区役所は、パターン①と同じ ・市民館・図書館は、パターン②と同じ
評価	△	○	区役所△ 市民館、図書館○
運営	・建替え後は、区役所、市民館、図書館の連携、機能・空間の融合や多機能化を図ることによる相乗効果が見込まれるが、建替えまでは、一定程度の連携、場の共有等にとどまる。	・区役所、市民館、図書館及び民間施設との連携、機能・空間の融合や多機能化を図ることによる相乗効果が見込まれる。	・市民館・図書館と民間施設との連携、機能・空間の融合や多機能化を図ることによる相乗効果が見込まれる。 ・区役所は単一機能での運営となる。
評価	△	○	△

(2) コスト面

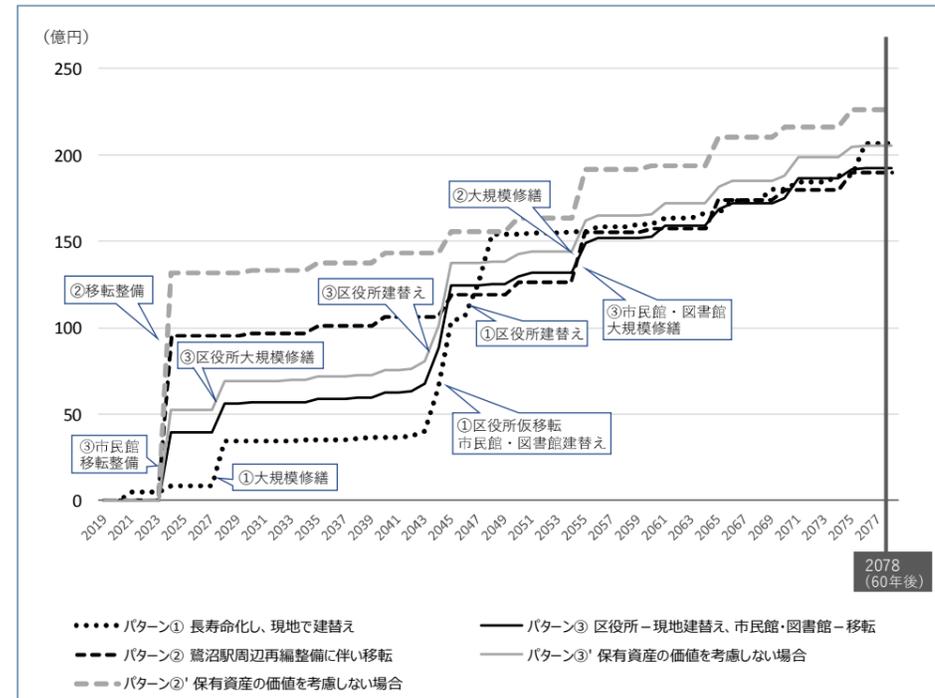
- パターンごとに現施設の想定修繕費、新施設の想定整備費、新施設の想定修繕費を累計
- 算出する期間の設定により累計費用が大きく変わることから、端的に想定累計費用でコスト面の優位性を判断することは困難

■今後60年間（※1）にかかる想定累計費用比較（2019～2078年）

（※）表内の注釈は本編参照

		現施設の仮修繕計画に基づく想定修繕費 a		新施設の想定整備費 b			新施設の想定修繕費 c		現区役所等用地財産台帳価格 d	累計費用 e a+b+c-d (a+b+c)	
		修繕費	保全期間	本体整備費	仮設関係費用	移転時期	小計	修繕費			保全期間
①長寿命化し、現地で建替え	区役所	約 17億円	24年間 (築60年まで)	約 42億円	※4 約 16億円	2049年度	約 117億円	約 16億円	29年間	-	※2 202～212億円
	市民館・図書館	約 20億円	27年間 (築60年まで)	約 59億円	-	2046年度		約 36億円	32年間	-	
②鷺沼駅周辺再編整備に伴い移転	区役所	約 0.04億円	6年間 (築42年まで)	約 79億円	-	2025年度	約 132億円	約 42億円	53年間	約 24億円	※2 185～195億円 (222～232億円)
	市民館・図書館	約 0.02億円	6年間 (築39年まで)	約 53億円	※3	2025年度		約 53億円	53年間	約 13億円	
③区役所-現地建替え、市民館・図書館-鷺沼に移転	区役所	約 17億円	24年間 (築60年まで)	約 42億円	※5 約 13億円	2046年度	約 108億円	約 27億円	32年間	-	※2 187～197億円 (200～210億円)
	市民館・図書館	約 0.02億円	6年間 (築39年まで)	約 53億円	※3	2025年度		約 53億円	53年間	約 13億円	

■今後の施設整備にかかる想定累計費用



4 立地特性等の比較に関する整理

- アクセシビリティは、路線バスネットワークの充実等により鷺沼駅周辺に優位性
- 防災性は、大規模災害の被害想定は異なるが見られない。
- 「地形・地質」…両立地とも留意すべき点あり。杭基礎構造で対応可。
- 「災害時のアクセス」…特に駅前で災害時の交通混雑が懸念されるため、宮前平周辺に優位性
- 「建物整備環境等」…今後30年間の大規模地震の発生確率から、早期建替えとなる鷺沼駅周辺に優位性
- 警察署や消防署と隣接して立地していることは宮前平周辺に優位性
- 区役所が鷺沼駅周辺に移転する場合、鷺沼（区役所）、宮前平（消防署・警察署）の2拠点体制として被災リスクを分散させることが可能
- 維持管理・運営面は、現在の建物ではバリアフリー対応について建替えによらなければ解消できない課題があるが、単独施設として自由度が高い維持保全が可能。
- 鷺沼駅周辺再編整備に伴い移転する場合は、他の施設との複合施設として維持管理に関する自由度が低くなるが、行政施設と民間施設との連携、機能・空間の融合や多機能化による相乗効果を見込む

第5章 鷺沼駅周辺再編整備に伴う公共機能に関する基本的な考え方 ①

1 公共機能の方向性

(1) 諸条件及び将来展望を踏まえた総括

<現区役所等施設へのアクセス性の課題>

- ・ 将来人口推計では、現在の区役所等施設が築60年を越える2045年でも現在とほぼ同数の人口が想定される一方で、65歳以上の人口比率は33.9%と高齡化は着実に進行
- ・ 起伏に富んだ地形が特徴の宮前区では、現区役所等施設へのアクセス向上は今後も重要な検討課題

<多様な市民意見>

- ・ 関係団体等説明・ヒアリングやまちづくりフォーラムでは、今回の検討に対する期待や懸念、提案
- ・ 全4回の意見交換会では、まちづくりのコンセプトや機能・サービスという観点から整理可能な未来志向のアイデア、提案など、鷺沼駅周辺再編整備の今後の取組にもつながる意見

<継続利用と移転の比較>

- ・ 宮前平周辺と鷺沼駅周辺の地形・地質をはじめとした立地条件等を精査した結果、それぞれにメリット・デメリットがあるものの、両地域とも必要な災害対策が可能であり、大規模災害の被害想定では差異がない。
- ・ 一方、今後30年以内に首都直下地震の発生する確率が70%とされる中で、先んじて建物・設備を更新することによる更なる安全性や機能性の向上、再開発による交通広場の拡充等を契機とした交通結節機能の向上、多様なライフスタイルに対応した都市機能の集積による利便性の向上は、立地特性として鷺沼駅周辺が持つ大きな優位性

<準備組合との調整>

- ・ 意見交換会等で寄せられた様々な市民意見等を踏まえ、準備組合に対し、現時点での再開発コンセプトや施設ゾーニング等について検討を依頼。その結果提示されたものについて、必要規模、利便性、安全性、まちづくりの方向性と効果、市民意見の反映状況等という観点から改めて検討・確認

本市では、こうした諸条件及び将来展望を総合的に整理・検討し、今回の再開発を、より良い宮前区のミライに繋がる契機と捉え、鷺沼駅周辺再編整備に伴う公共機能の方向性及び基本的な考え方を、次のとおり取りまとめた。

(2) 方向性

- ① 将来的な少子高齡化の一層の進行を見据え、災害に強く、しなやかで多様なコミュニティを創出する宮前区のミライを展望し、民間事業者による再開発によって交通結節機能をはじめ、都市としての機能が向上する鷺沼駅周辺に、宮前区役所・市民館・図書館を移転・整備し、宮前区全体の活性化を促す「核」としての地域生活拠点の形成を図る。
- ② 民間事業者による再開発事業との連携により、民間施設と行政施設の相乗効果による機能・空間の実現を図り、文化・交流拠点の形成と新たなコミュニティの創出を図る。
- ③ 現区役所等施設・用地は、本市の貴重な財産として、地域課題の解決や魅力ある地域づくりに向けた活用のあり方について、宮前区全体と周辺エリアの将来を見据え、市民参加で検討する。

(3) 基本的な考え方

① 鷺沼駅の交通結節機能の強化を踏まえた宮前区の核となる地域生活拠点の形成

- ・ これからの区役所（平常時）は、福祉や介護、生活支援に関する相談などの行政サービスを提供
- ・ 高齡化が進む中では、市民館・図書館も含め、公共交通によるアクセス性の確保がより重要
- ・ 鷺沼駅再開発では、宮前区全体の発展に資する鷺沼駅へのアクセス向上や多様なライフスタイルに対応した都市機能の集積による利便性の向上
- ・ 通過交通等に配慮した混雑対策など、駅周辺の交通環境改善に向けた取組を推進
- ・ 将来を見据えたコンパクトなまちづくりを推進するため、区役所・市民館・図書館を一体的に移転・整備し、宮前区の核となる地域生活拠点の形成を図る。

② 建物・設備の更新と的確な機能分担による災害に強いまちづくり

- ・ 再開発に合わせて建物・設備を更新することにより耐震性や耐火性、運営面を考慮した機能性の向上を図るなど、既存建物以上の安全性と機能性で、区役所（災害時）の「機能」を確実に確保
- ・ 鷺沼（区役所）、宮前平（消防署・警察署）の2拠点体制として被災リスクを分散、新たに回復力（レジリエンス）と多重性（リダンダンシー）を確保

③ 民間施設等との連携による文化・交流拠点の形成と新たなコミュニティの創出

- ・ 再開発事業による施設整備として、これまでの区役所、市民館・図書館としての単一機能的な施設ではなく、民間施設との連携、機能・空間の融合や多機能化を図ることによる相乗効果により、若い世代に選ばれ、多世代が集まり、多様なコミュニティを創出する新たな文化・交流拠点を形成

- ・ 市民館・図書館に加えて区役所も含めた公共機能を一体的に移転・整備することで、地域人材の育成や市民活動支援など、これまでも相互に連携して進めてきた取組を継承、発展させ、コミュニティに関わる施策の総合化を図る。

④ 現区役所等施設・用地の活用に向けた市民参加による検討

- ・ 現区役所・市民館・図書館移転後の施設・用地（以下「現区役所等施設・用地」）は、本市の貴重な財産
- ・ 意見交換会やフォーラムでも、「現在の区役所でこれまでに培ってきた人や活動のつながりに配慮してほしい」、「文教地区としての魅力を落とさないでほしい」、「跡地は防災の拠点に」、「スポーツができる広場を整備してほしい」等の意見
- ・ 現区役所等施設・用地の活用については、今後、宮前区全体の将来のまちづくりや現区役所周辺エリアの活性化等の観点から課題やニーズを整理し、市民参加で検討

⑤ 地域バランスを考慮した区全体の機能向上（向丘出張所の機能の検討）

- ・ 向丘出張所については、地域バランスを考慮した区全体の機能向上という観点や、本市の関係施設の位置付け・検討状況を踏まえ、「身近な活動の場」や「地域の居場所」としての活用など、地域の皆様とともに地域ニーズや課題を把握・整理し、機能のあり方について検討

2 導入機能及び規模の方向性

(1) 区役所機能

<目指す方向性>

- ・ 区役所改革の基本方針における「めざすべき区役所像」に基づく取組を推進
- ・ 中長期的な展望を前提とした鷺沼駅周辺ならではの立地を活かした行政サービスの提供
- ・ 災害に強いまちづくりに向けた更なる地域防災機能の強化

<機能・サービス>

- ・ きめ細やかな相談支援、行政サービスの総合的な提供、コーディネート機能の強化
- ・ 「これからのコミュニティ施策の基本的考え方」に基づく取組の推進、地域包括ケアシステムの構築に向けた取組の推進、地域防災機能の強化、バリアフリーやユニバーサルデザインへの対応

<規模>

- ・ 将来的な組織再編等への対応を想定しつつ、現庁舎と同程度の施設規模を基本

<整備位置、時期>

- ・ 区役所機能は、防災上の機能に配慮し、民間施設が集中する駅前街区ではなく北街区の低層部に整備
- ・ 整備時期の詳細は未定だが、概ね平成40（2028）～42（2030）年度頃の完成

(2) 市民館・図書館機能

<目指す方向性>

- ・ 再開発により建設される同じ建物内の店舗や駅前商店街など商業施設・民間施設との近接による相互連携の可能性が発生。施設の更新による新たな施設・設備を活用したサービスの可能性の拡大
- ・ こうした機会を最大限に活かしながら、社会教育及び生涯学習にかかる環境を整備し、事業の充実やサービスの向上を目指す
- ・ 新たな施設を区の生涯学習の拠点とし、地域で活動する主体や諸施設と連携して幅広い地域で事業推進

<機能・サービス>

- ・ これまで実施してきた市民館事業や図書館事業の継続、区役所と連携した事業を実施
- ・ 民間事業者等と連携した、幅広い生涯学習事業や図書館サービス、イベント等の実施
- ・ 市民館・図書館に対する認知度や興味関心を高めるための取組を実施
- ・ 施設整備にあたっては、バリアフリーはもとより、市民館・図書館等の類似施設における他都市の先進事例も参考としながら、利用者のニーズに対応した環境整備、施設・設備を活用した新たなサービスの検討
- ・ 気軽に館内に立ち寄れる雰囲気、活動しやすい動線や諸室・機能配置などを検討

<規模>

- ・ 今後も生涯学習施設としての取組を推進していくため、現施設と同程度の施設規模を基本としながら機能充実に向けた効果的なスペースの活用を検討

<整備位置、時期>

- ・ 市民館・図書館機能は、民間施設との連携による相乗効果を活かすため、駅前街区の低層部に整備
- ・ 平成33(2021)年度工事着手予定。平成37(2025)又は38(2026)年度中の供用開始を目指す



■導入機能の配置イメージ（準備組合提供資料）
※本図面は現時点のものであり、今後変更になる可能性があります。

第5章 鷺沼駅周辺再編整備に伴う公共機能に関する基本的な考え方 ②

3 駅アクセス向上の方向性

(1) 方向性

< 駅周辺交通環境の改善 >

- バスバース数の増加などの交通広場の拡充による安全性等の確保や通過交通等に配慮した、駅周辺の交通流の改善を図る。
- 限られた空間を立体的に活用し、乗り継ぎ利便性やユニバーサルデザインに配慮した、人にやさしく、機能的で、誰もが安全、安心、快適に移動できる交通広場や駐輪場などの交通環境の整備を図る。

< 路線バスネットワークの充実 >

- 路線バスネットワークの充実に向け、小田急沿線方面などの路線の新設や、鷺沼駅周辺に移転する区役所等施設へ向丘地区方面などからのアクセス強化を図るための既存路線の再編などバス事業者と連携した取組を推進



※本図面は、現時点のものであり、今後の管理者協議等により変更になることがあります

(2) 具体的な取組

< 駅周辺交通環境の改善 >

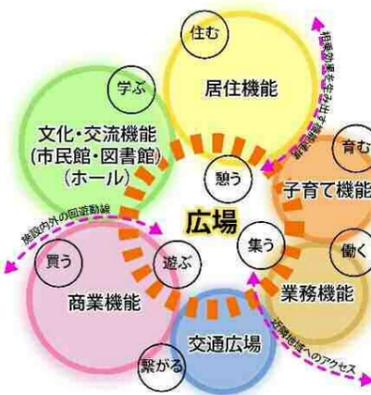
- 施策① 交通広場の拡充
- 施策② 交差点の集約化
- 施策③ 周辺道路への右左折レーンの設置
- 施策④ 交流機能の確保
- 施策⑤ ユニバーサルデザインへの配慮
- 施策⑥ 駐輪場等の確保
- 施策⑦ 歩行空間の確保

< 路線バスネットワークの充実 > (※)

- 広場再編整備前の先行的な取組
(「鷺沼駅～聖マリアンナ医科大学前」路線新設)
- 広場再編整備の機会を捉えた路線バスネットワークの充実に向けた取組
 - ①新たに鷺沼駅に接続する路線
 - ②既存路線の増便等によるアクセス強化

4 民間事業者と連携した取組の方向性

- 多角的な区民意見の把握を行う中でいただいた、公共機能の枠を越えた意見や公共機能と民間施設の連携や補完に関する様々な意見を踏まえ、利用者の多様なニーズに対応するため、目的や機能の補完、交流の創造等に着眼し、公共施設と民間施設の連携、機能・空間の融合や多機能化を図ることによる相乗効果を創出
- 乳幼児から高齢者まで多世代が豊かな時間を過ごせる場や官民の垣根を超えたフレキシブルに使える場、駅・交通広場・広場と連携した空間づくりなど、複合施設であることのメリットを最大限に活かし、若い世代に選ばれ、高齢者が安心して暮らし続けられるまちづくりに向けて、新たな賑わいや交流の促進に向けた取組を推進



■機能連携イメージ (準備組合資料)

5 現区役所等施設・用地に関する考え方

- 市による施設・用地保有
- 宮前区全体と周辺エリアの将来を見据えた課題やニーズの整理
- 市民参加による検討

6 向丘出張所の機能のあり方の検討

- 「身近な活動の場」や「地域の居場所」としての活用策の検討、地域防災機能の検討、地域包括ケアシステムにおける今後の取組として、出張所での面接や相談など、場としての活用
- 「これからのコミュニティ施策の基本的考え方」に基づく検討、取組の推進
- いずれの取組も地域の皆様とともに、地域ニーズや課題を把握・整理し、概ね10年にわたる事業全体の想定スケジュールと並行して、機能のあり方について検討

第6章 今後の取組

第5章の方向性を踏まえ、再開発に関連したスケジュール等を「今後の進め方」として示す。

1 再開発に関する取組

- 今後は、本基本方針(案)で示した各機能の規模等を踏まえ、準備組合において、より詳細な検討
- 平成31(2019)年度の環境影響評価手続、都市計画手続を経て、平成32(2020)年度に、都市再開発法に基づく事業認可(再開発組合の設立認可)を行い、平成33(2021)年度の工事着手を目指して取組推進
- この間の市民意見聴取は、環境影響評価、都市計画それぞれの手続の中で説明会や意見書提出の機会
- 平成33(2021)年度以降、街区ごとの段階的な施工を検討

■再開発事業全体スケジュール(想定):



2 導入機能の詳細検討

(1) 駅前街区(市民館・図書館機能)

- 平成31年度、市民館・図書館の導入機能の具体的な市民意見を聞きながら基本計画の策定に向けた検討

■駅前街区(市民館・図書館)スケジュール(想定):



(2) 北街区(区役所機能)

- 導入機能の目指す方向性等を踏まえ、効果的な機能配置や空間構成も含めた仕様等について、市民意見を聞きながら検討し、基本計画の策定に向けた取組を推進

■北街区(区役所)スケジュール(想定):



3 現区役所等施設・用地に関する検討

- 現区役所等施設・用地全体の新たな用途での活用は、区役所移転完了後(平成40(2028)ー平成42(2030)年度以降)の予定
- 平成33(2021)年度、駅前街区の工事開始予定。市民館・図書館の移転に向けた取組が本格化
- 平成34(2022)年度を目途に、現区役所等施設・用地活用の基本的な考え方を定める「(仮称)宮前区役所等施設・用地の活用に関する基本方針(以下「活用基本方針」)」を策定
- 段階的な検討ステップを想定し、地域課題や行政需要、地域ニーズ等との調和を勘案しながら、市民参加手法の導入や必要に応じて民間事業者のノウハウの活用等を行いながら検討

【ステップ1】 前提条件の整理及び活用基本方針の策定

【ステップ2】 活用基本方針に基づく取組の推進(市民館・図書館移転後)

【ステップ3】 新たな用途のための整備等着手(区役所移転以降)

■現区役所等施設・用地に関する検討スケジュール(想定):



4 庁内検討・推進体制

- 推進に必要な組織体制等は、進捗状況等に応じて順次検討
- 平成31(2019)年度は、副市長を座長とする「(仮称)宮前区のまちづくりに関する公共機能検討会議」を設置し、宮前区全体の機能向上、持続可能なまちづくりに向けた取組について、引き続き関係局が連携しながら検討・推進